



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



R I 会長ご夫妻と野口ガバナー

CONTENTS

R I 会長のメッセージ	1
2007-2008年度 会長賞	3
ガバナー就任の挨拶	5
野口 清ガバナーに期待する	7
田口 厚直前ガバナーに対する謝辞	8
ガバナー補佐挨拶	9
ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表	14
ロータリークラブ会長・幹事名簿	15
地区主要行事予定表	17
地区組織図	19
地区関係予算	21
報告のしおり	23
送金のしおり	24
文庫通信	裏表紙



ROTARY SHARES



2007-2008年度 RIテーマ

ROTARY SHARES

ーロータリーは分かちあいの心

2007-2008年度

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

親愛なる朋友ロータリアンの皆さん

ロータリアンというのは、実に豊かな多様性に満ちた人々の集まりです。さまざまな国でさまざまな言語を話す私たちは、信仰も政治的見解も、ひいては哲学的な信念をも異にしています。120万人の会員の間に共通する一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かち合い」という名の精神でできた糸です。ロータリアンは、広大な範囲の人道的、社会的問題に挑むプロジェクトを効果的に遂行するために、自らの時間や才能、専門知識、資金を分かち合っています。また、思いやりと熱意を分かち合い、恵まれない人々を助け、より良い世界を築こうという決意を分かち合っています。さらには、ロータリーを世界第一級の奉仕団体へと発展させた比類なき奉仕への情熱を分かち合っているのです。

この基本的とも言える寛大な精神を2007-08年度のテーマに反映したく、私は「ロータリーは分かちあいの心」というテーマを選びました。このテーマが、次年度、すべてのロータリアンにとって誇りの原点となり、また、私たちの活動の原動力となってくれることを願います。

分かち合いと言うと、大勢による偉業を推進することを連想されるかもしれませんが、それは同時に一個人による行為であり、個人的な選択でもあります。私たちの一人ひとりがどれだけ時間とエネルギーをロータリーに捧げるかを決めるわけですが、その決意がやがては、各クラブが地元や海外の地域社会とどれだけ分かち合うことができるかを決定づけるのです。ですから、私は皆さんにお願いしたいのです。どうか、これまで以上にロータリーと個人的にかかわり、奉仕プロジェクトと会員増強の両面から積極的に参加してください。

私の呼びかける個人的な関与にはロータリー家族の皆さんからの参加も含まれていますが、この「ロータリー家族」は私が継続したいと望

むもう一つの強調事項です。ロータリアンとその家族だけでなく、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、ロータリアンの遺族の方々、そしてロータリーの目標と理念の推進に向けて私たちと協同で活動してくださる方々も皆、このファミリーの一員です。ロータリー家族が一体となれば、私たちは奉仕と親睦の理念を世代を超えて伝えながら、ロータリーのプログラムを世界中に広めていくことができるのです。

継続性はロータリーの成功には欠かせない要素ですから、保健、識字率向上、水保全が引き続き次年度の奉仕の焦点となります。これは、多くのクラブにとっては、地元や海外の地域社会において今後もプロジェクトで成果を上げていくことを意味します。一方、新しいプロジェクトの立ち上げを考えているクラブに私がお願いしたいのは、独自の創造性を駆使して、新しいアプローチを用いていただきたいということです。例えば、水の浄化、読み書きの教育、家々への安全なエネルギー源の供給などに、いかにして新技術を用いることができるかを検討してみてください。そして、こういった画期的な解決策を、実り多いプロジェクトのアイデアを模索している他のロータリー・クラブと分かち合っていたいただきたいのです。

2007-08年度の計画を立てる際に、もう一つクラブに奨励したいのは、国連ミレニアム開発目標、中でも特にサハラ砂漠以南のアフリカ諸国の「ミレニアム・ビレッジ」プロジェクトへの参加です。これらのビレッジは、ロータリー地域社会共同隊（RCC）と同様、極貧状態にある地域社会が自助自立を目指すのを支援するボトムアップのアプローチ、つまりは下意上達の形を採っています。この重要な目標を支援するために、ロータリー地域社会共同隊を通じて私たちが学び、蓄えた自助自立推進に関する知識を分かち合おうではありませんか。

2007-08年度のテーマには、二つの意味があります。一つは、ロータリーは分かちあうということ、もう一つは、私たち皆がロータリーを分かちあうということです。私がロータリアンになってから最初の30年間、ロータリーはたゆみない発展を遂げました。しかし、その間ただ一人として新会員を入会させたことのなかった私は、その発展に全く貢献していなかったのです。ロータリーの加盟クラブの数が減り始めたときにはじめて、自分が心から大切に思ってきた組織はもはや放っておいてはひとりでの発展し続けることはできないのだと、突然、気づきました。自分が、そしてすべてのロータリアンが、新会員を連れてくる責務を分かち合わなければならないのだと、そのとき理解したのです。そして私は初めてその責務を果たしました。

次年度、私は皆さん一人ひとりに、それぞれの役割を果たし、地元地域社会の事業や専門職務のリーダーの方々とロータリーを分かち合ってくださいようお願いすることになります。2007-08年度、理事、研修リーダー、会員組織コーディネーター、地区ガバナー、クラブ会長からなる私のリーダーシップ・チームの全ロータリアンに、少なくとも1名の新会員を入会させていただくという目標を設定しました。元RI会長にもこの目標への支援をお願いしています。これに加えて、新会員をもたらしたすべてのロ

ータリアンを表彰する計画も準備しました。

ともにロータリーの発展に対する責務を分かち合い、すべてのクラブをより充実した存続力あふれる存在にしていきたいと思います。

ダイナミックなプロジェクトのアイデアを立案したり、他の会員を行動へと駆り立てたりする献身的なロータリアンが、すべてのクラブの支柱的存在となることは明白ですが、そのような人物の数は決して多くありません。しかし、私たちが自ら進んで関与することを決意し、その重要な最初の一步を歩み出すなら、そしてただ一言、「はい」と肯定的な返答をすることができたなら、誰もがこのようなロータリアンになれると私は信じています。

はい、そのプロジェクトを率先して行います。

はい、新会員を連れてきます。

はい、クラブをさらに充実させるために、自分のアイデアと資源を分かち合います。

ひたむきに、そして積極的に活動する120万人のロータリアンをもってすれば、ポリオ撲滅の仕事を完遂し、保健、水保全、識字率向上に取り組むプロジェクトを遂行し、地球上の隅々にまで平和という大義を推し進め、「ロータリーは分かちあいの心」を明確に、しかも力強く実践できると私は信じています。

2007-2008年度

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン氏 略歴

1958年以来公認会計士を務めているウィルフリッド J. ウィルキンソン氏は、税務会計事務所、ウィルキンソン・アンド・カンパニーの設立者です。同氏は、オンタリオ州公認会計士評議会の会長、また、カナダ公認会計士協会およびオンタリオ州公認会計士協会の両団体の財務長を務めました。また、ケベック州公認会計士協会およびロイヤル・カナディアン・ミリタリー・インスティテュートの会員でもあります。

ウィルキンソン氏は、トレントン・メモリアル病院の募金委員会委員長、ペレビル・チェジャイアー成人身体障害者ホームの創設委員長、ローヤリスト大学の理事長、カナダ・ボーイスカウト地区評議会会長として活躍しました。会計士を退職した後は、非常勤でクインテパレエスクールの常任理事を務めました。

氏は、1962年以來のロータリアンで、所属するオンタリオ州、トレントン・ロータリー・クラブの元会長です。ロータリーでは、副会長、理事、財団管理委員、地区ガバナーを歴任しました。国際協議会で討論リーダーを務めたほか、複数のロータリー委員会の委員長と委員を務めた経験があります。

また、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会の委員として、世界的なポリオ撲滅への活動に専心してきました。ウィルキンソン氏は、ケニア、タンザニア、インドで行われた全国予防接種日に参加し、パキスタンではアフガニスタン難民の子供たちにポリオ・ワクチンを投与しました。保健、飢餓追放および人間性尊重補助金プログラムのボランティアとしてインドに渡った経験もあります。そのほか、ウィルキンソン氏は南アフリカ、ナミビア、英国、ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国とカナダの各地でロータリーの奉仕を行ってきました。シカゴで開かれた国際ロータリーの100周年年次大会をはじめとする複数の大会において委員長を務めました。

私生活においては、1953年にジョアン夫人と結婚し、4人の息子さんがいます。

2006年5月

ROTARY SHARES

2007-2008年度 会長賞

2007-2008年度

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

はじめに

会長賞の受賞資格を得るためには、各ロータリー・クラブは会員増強目標を達成し、さらに会長賞要項に挙げられている6つの分野からそれぞれ1つずつ活動を完遂しなければなりません。クラブの業績を証明するために、本申込書に署名の上、地区ガバナーにお送りください。

地区ガバナーが2007-08年度会長賞の受賞資格を得るためには、地区内の50パーセント以上のクラブが会長賞の受賞資格を得ることに加え、ガバナーと地区内クラブ会長の50パーセント以上が、2007年7月1日から2008年3月31日までの間に新会員を1名入会させなければなりません。受賞資格を得たガバナーは、これらの功績に対しRI会長より表彰を受けます。

ガバナーにより証明されたクラブのリストは、2008年4月15日までにRIに必着しなければなりません。

リストは、Eメール (riawards@rotary.org)、またはファックス (1-847-866-6116) でお送りください。

地区ガバナーの表彰

地区ガバナーが2007-08年度会長賞の受賞資格を得るためには、地区内の50パーセント以上のクラブが会長賞を受賞することに加え、ガバナーと地区内クラブ会長の50パーセント以上が、2007年7月1日から2008年3月31日までの間に新会員を1名入会させなければなりません。

2007-08年度ローターアクトおよびインターアクト会長賞

ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、「ロータリーは分かちあいの心」を実践する価値ある奉仕活動を遂行したことにより、表彰を受けることができます。本賞の受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブは、本要項に挙げられた活動の中から（分野は問わず）少なくとも4つの活動を実行しなければなりません。提唱クラブは、ローターアクトおよびインターアクト会長賞申込書に署名した上、2008年3月31日までに地区ガバナーに提出しなければなりません。その後、ガバナーは、有資格のクラブのリストを2008年4月15日必着でRI世界本部に送付しなければなりません。

会員目標（必須）

2008年3月31日までに1名の会員純増を達成する。

会員増強

- ◆クラブ会員が地区会員増強セミナーに出席するよう、しっかり確認する。
- ◆2008年3月31日までに、会員（クラブ会長を除く）の10パーセント以上が、新会員をクラブに入会させる。
- ◆2008年3月31日までに、財団プログラム（国際親善奨学生、研究グループ交換チーム・メンバー、ロータリー世界平和フェロー）、あるいはRIプログラム（元青少年交換学生、ローターアクト会員、インターアクト会員）の学友を勧誘する。
- ◆2008年3月31日までに、複数の会員を勧誘したクラブ会員を正式な形で表彰する。
- ◆会員の多様性を奨励し、均整の取れた会員基盤を推進する。クラブに現在会員のいない属性のグループから新会員を入会させる。
- ◆会員見込者を探し出すために、資格を備えた地元社会の企業や専門職務のリーダーに関する分析を行う。
- ◆移転するロータリアンが移転先の新しい地域社会のクラブに入会できるよう手助けをすることによって、会員をロータリーにとどめる。
- ◆他の地域で同じ専門職務に携わる仲間を勧誘する。あるいは自分の会社の新入社員を地元のロータリー・クラブに勧誘する。
- ◆RIウェブサイト (www.rotary.org) の「会員アクセスページ」を利用して、毎月、新会員の報告を行う。

クラブ奉仕

- ◆地元の公共図書館か高校の図書室のために、クラブが「ザ・ロータリアン」誌または「ロータリーの友」誌の購読権を寄贈する。
- ◆適切とみなされる場合、次期クラブ役員ならびに会員が、会長エレクト研修セミナー (PETS)、地区協議会、地区ロータリー財団セミナー、地区大会に出席するよう、確認する。
- ◆ポリオ撲滅に対し卓越した奉仕を行った会員を表彰する。
- ◆今年、クラブのすべてのロータリアンがクラブの活動に参加するよう、一人ひとりに呼びかけるようにする。プロジェクト委員会の委員を務める、あるいはクラブ奉仕のある面を担当するなど、参加の形は問わない。
- ◆クラブのロータリアンで広範囲にわたるさまざまなクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者として表彰する。
- ◆少なくとも5つの機会に奉仕活動や親睦活動に参加してもらうことで、会員の家族でロータリアンでは

ない人々（配偶者、成人した子供、物故会員の配偶者など）をロータリー家族に迎え入れる。

- ◆ロータリアンとその家族のためにプロジェクトや活動を援助する、ロータリー家族委員会を任命する。
- ◆地元の非政府団体から講演者を招いたり、国連ミレニアム開発目標（www.un.org/millenniumgoals、英語）に関するクラブ・プログラムを実施する。

職業奉仕

- ◆職場や職業生活での倫理と四つのテストの適用に関する集会を開く。
- ◆すべての新クラブ会員に「四つのテスト」または「ロータリアンの職業宣言」（200-JA）を配布する。
- ◆専門職業評議会の委員や同業者団体の会員となる、または職業や専門技能に対する誇りを持つよう推進するキャンペーンを職場で開発し、実施する。
- ◆クラブの各会員に、若い人を1人ずつ担当して指導を行うよう求め、少なくとも半数のクラブ会員に参加してもらう。
- ◆ロータリアンが若い人々を職場に連れて行き、職業の機会について教育するための日を設ける。
- ◆少なくとも1名の会員に、職場で高校生や大学生のためにインターンの場を提供してもらう。
- ◆職業奉仕月間（10月）中に職業奉仕活動を組織する。
- ◆ロータリー・ボランティアとして1名のクラブ会員を登録し、ボランティア奉仕活動補助金を申請するよう奨励する。
- ◆1名のクラブ会員に、研究グループ交換チーム・メンバーを職場に受け入れてもらう。

社会奉仕

- ◆地域社会のニーズ調査を行い、少なくともクラブ会員の半分とその配偶者が参加する新規の地元奉仕プロジェクトを立ち上げるために、その調査結果を活用する。プロジェクトの支援団体としてGoodwill Industries International（国際友好産業振興団体）*を考慮する。
- ◆新しいロータリー地域社会共同隊を提唱する。
- ◆地元地域で水保全プロジェクトを実施する。
- ◆保健への認識向上キャンペーンもしくは保健問題に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。
- ◆地域社会で識字率の向上に取り組むプロジェクトを提唱、もしくは参加する。国際読書協会(International Reading Association)*と協同でプロジェクトを開発することを検討する。
- ◆印刷媒体、ラジオやテレビ番組、看板などを利用し、公共奉仕広告（可能であれば、ロータリー公共イメージ・キャンペーンで提供されている公共奉仕広告）を掲載（放送）することによって、一般の人々にロータリーについて広める。
- ◆平和あるいは紛争解決を推進するために立案されたプロジェクトを提唱、または参加する。
- ◆世界平和フェロー（現在のフェローと元の参加者）をクラブの会合に招き、スピーチをしてもらう。
- ◆クラブ会員とロータリー財団学友とが協力して遂行できる社会奉仕プロジェクトを実施する。

国際奉仕

- ◆世界社会奉仕プロジェクト交換一覧表に登録されているプロジェクトを支援する、もしくはプロジェクトを登録する。
- ◆国連ミレニアム開発目標(www.un.org/millenniumgoals、英語)を出発点として、少なくともクラブ会員の半分が参加できる新規の国際奉仕プロジェクトを立案し、着手する。
- ◆水保全、保健、識字率向上を目的とするプロジェクトを実施するために、ロータリー財団マッチング・グラントまたは保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金を申請する。
- ◆「毎年あなたも100ドルを」の目標である、一人当たり米貨100ドル以上のロータリー財団への年次プログラム基金寄付を達成する。
- ◆水保全や衛生に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。
- ◆国際的な識字率向上プロジェクトを実施する。
- ◆少なくとも1つのロータリー財団教育プログラム補助金(奨学金)を得るために、地区レベルで競う資格のある候補者(国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェロー、研究グループ交換チーム・メンバーもしくはリーダー、大学教員のための補助金参加者)を探し出す。
- ◆研究グループ交換チームを派遣する、チーム・メンバーを受け入れる、またはロータリー友情交換プログラムに参加する。
- ◆世界ネットワーク活動グループについてのクラブ・プログラムを実施する、またはクラブ会員の少なくとも5パーセントをグループの一つに入会させる。
- ◆ポリオ・プラス、またはポリオ・プラス・パートナーにクラブから寄付を行う。
- ◆ポリオ・プラス、および世界ポリオ撲滅推進活動におけるロータリーの役割に関するクラブ・プログラムを実施する。
- ◆クラブ会員1名に、ロータリー財団国際親善奨学生のための受入側カウンセラーの役割を引き受けてもらう。

青少年

- ◆新しいインターアクト・クラブを提唱するか、地域社会または大学を基盤とする新しいローターアクト・クラブを提唱する。
- ◆ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の行事参加者を後援する。
- ◆青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー世界平和フェローを派遣する、または受け入れる。
- ◆地元の青少年のための就職相談や開発プロジェクトに参加し、キャリア目標を達成するために正式な学校教育がいかに重要かを強調する。
- ◆学校を後援する。
- ◆地域社会の児童虐待やストリートチルドレンの問題に対処するプロジェクトを提唱、もしくは参加する。

*RIは、これらの団体と正式な協力関係を結んでいます。

ROTARY SHARES



ガバナー就任の挨拶

今年度R I テーマ：ROTARY SHARES “ロータリーは分かち合う”

国際ロータリー第2740地区

2007-2008年度ガバナー 野口 清

会員の皆さんお元気でしょうか？

私は当然元気でなければなりません(?)。

ここで今年度の地区運営やテーマについて色々を書かなければならないところでしょうが、誰も読まない(?)、いや今までの私だったら読まないでしょう。従って、詳しいことは皆さんのクラブを訪問したときにでもお一人お一人とお話したいと思っております。

私は公式訪問で皆さんお一人お一人とお会い出来ることを非常に楽しみにしております。ロータリーの真髄は色々な人と知り合いになれることだと思っているからです。従ってここでは訪問した時には話さないで良い様に自己紹介だ

けでもさせて頂きたいと思えます。

生年月日は1951年1月8日で文字通りこれまで一か八(一か馬ち?)かの人生を送ってきました。精神科の医者をして30年間やっております。長い間やってきた割には人間(馬?)が良く分かりません。いや益々分からなくなって来ている今日この頃です。性格は筆圧が強いという事に表れている様にわがまま、思い込みが強い、激し易い、情にもろい、若い割には昔かたぎ、人見知りをするなど欠点ばかりの自己評価(他人も認めている?)をしています。趣味は酒、競馬、ゴルフ(最近腰痛がひどくて、言い訳か? スコアが悪くて)等々です。ロータリークラブ



国際協議会 本会議場の点鐘用の鐘

ROTARY SHARES

(佐賀ロータリークラブ)には1985年11月に入会しております。いつだったか忘れましたが国際青少年交換委員、委員長を務めさせていただいたことがあります。前年度佐賀ロータリークラブの会長を務めさせていただきました。それから私の恥ですが私の信条(?)から米山には一度も寄付したことがありません。これからはそうも行かないと思っております。

以上ですがまだ詳しくお知りになりたい方は訪問の際にでも。(まあそう言う方はいらっしやらないでしょうが)

そうは言っても何かしら書かなければいけないと言う意見がありましたので簡単に今年度の私の目標を書いておきます。

- ロータリーを楽しみましょう！
(是非、来年6月にロスアンゼルス世界大会に出席して楽しみましょう！)
- 主役はあなたです！
- 何か1つ良い事をしましょう！
- 地球環境保全
住まいは漏らぬ程度、食は飢えぬ程度
- 自分の周りに注意を向けよう
何か必要とされているものはないか？
- 私たちが行っている奉仕を知ろう！
- 仲間を増やそう！
多すぎますか？こういう風に頼りないガバナーですが皆さんの助けを借りて今年1年乗り切ろうと思っております。どうぞこの1年間よろしく願いいたします。

8月号より、「ロータリーとは？」のシリーズ掲載をしようと思います。今後、会員皆様のご意見・ご感想をお待ちいたしております。

2007-2008年度国際ロータリー
第2740地区ガバナー 野口 清 (のぐち きよし) 略歴

生年月日	昭和26年1月8日
現住所	佐賀市若楠2丁目1-1
現職	医師
学歴	日本医科大学卒業
職歴	1976年～1979年 国立病院肥前療養所勤務 1979年～1980年 佐賀精神病院勤務 1980年～1985年 野口クリニック院長 1985年～1989年 (医法) 清友病院院長・理事長 1990年～現在 野口クリニック院長 (医法) 清友会理事長

主なロータリー歴

1986年～	佐賀ロータリークラブ入会
1990年～1993年	国際青少年交換地区委員
1992年～1993年	佐賀ロータリークラブ幹事
1993年～1994年	国際青少年交換地区委員長
1999年～2000年	第2740地区 地区副幹事
2005年～2006年	佐賀ロータリークラブ会長

1987年12月	ポール・ハリス・フェロー
1989年12月	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (1回)
1992年7月	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (2回)
2005年7月	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (3回)
1999年11月	ベネファクター (1回)

ROTARY SHARES



「ロータリーを楽しもう」

野口 清ガバナーに期待する

国際ロータリー第2740地区

2006-2007年度ガバナー 田 口 厚

野口 清ガバナーは、1951年生まれ、56歳6ヶ月のガバナー誕生です。第2740地区歴代ガバナーの中でも、逸見パストガバナーに次ぐ、若さと行動力溢れるガバナーの登場です。3代続く医師ガバナーにひとつの区切りをつける意味においても活躍を期待いたします。地区方針として「ロータリーを楽しみましょう！」と地区内会員に呼びかけられ、ガバナーご自身が多くの会員との出会いを楽しみにされておられます。今年度の地区運営並びにガバナー方針を受けての各クラブにおける活動が、今から楽しみです。

野口ガバナーとは、エレクト時代、諮問委員会、地区委員会などでたびたびご一緒させていただいていますが、「勇猛果敢」の言葉がぴったり当てはまるお人柄であります。特に、地区国際青少年交換委員長を歴任され、派遣学生の問題解決のために渡米し、相手方との折衝に自ら率先して当られたとお聞きしております。また、今年度、最重要課題でありました「新世代危機管理委員会」設立に関しましては、そのご経験から「青少年交換制度」の利点を述べられ、地区と地区、クラブとクラブの信頼関係の中で実施しているプログラムに、国際ロータリーが介在するのはおかしいと持論を展開されました。最終的には、青少年交換事業の継続性とハラスメントなどに対する管理面を考慮され、委員会設置に理解を示していただきました。このように、ご自身の考えを率直に述べられる姿勢は今年度の地区方針にもつながるものと思います。

地区方針では「ロータリーを楽しみましょう」

「主役はあなたです」「何か1つ良いことをしましょう」の3点を述べておられます。例年、私を含めて、時のガバナーが掲げる「計数目標」を掲げておられません。「おや?」と思いますが、ガバナー方針を熟読すると、数字こそあげられていませんが、会員増強、奉仕活動（クラブ・職業・社会・国際そして新世代）への挑戦など、自分自身がロータリーを楽しむことによって、周りの人たちにその影響を与えることができる。ぜひ、ロータリーを大いに楽しむプログラムを工夫してください。と訴えられています。

ただ残念なことに、ガバナー就任を目前にして、日頃から右腕として頼ってこられた空閑地区幹事予定者が、5月下旬逝去されました。突然なことで、ガバナー事務所内に衝撃が走り、野口ガバナーもさぞ落胆のご様子と承っております。どうか、この難関を乗り越え、他のスタッフとともに手を携え、今後の地区運営に万全を期していただきたいと希望するものでございます。

公式訪問は7月10日 鹿島クラブを皮切りに、57クラブすべてを訪問されると承っております。約3ヶ月の長丁場となりますが、会員おひとりおひとりとの出会いを楽しみに「疲れなどはどこ吹く風」の世界にして下さい。そして、来年6月には、第2740地区の大デレーゲーションを組んでの「ロスアンゼルス年次大会」が待っています。「大いにロータリーを楽しみ」地区内会員に「主役はあなたです」の心意気を示していただきたいものです。



田口 厚直前ガバナーに対する謝辞

国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー 野口 清

「光陰矢の如し」、月日が経つのは早いものでもう自分の番がやって来ました。

田口直前ガバナー、本当にお疲れ様でした。国際協議会でRI会長ビル・ボイド氏から「LEAD THE WAY」「率先しよう!」というテーマを託され、わが地区では地球温暖化防止を重点項目にされ、特にクールビズを中心にPETS、地区協議会、公式訪問と精力的に活動を展開されました。圧巻だったのは感動的な地区大会でした。近来にない心に残る大会の一つに数えられるものと思います。

あっという間の2年間だったのではないのでしょうか。先生のご指導の賜物でわが地区は最近ぞくぞくと会員数が増えてきております。そのお人柄はもとより、卓越した指導力による結果であります。

先生からバトンタッチされて今年度、人柄も指導力も足元にも及ばない私とその傾向を受け継ぐことが出来るかどうか不安で仕方ありません。しかし、先生はパストガバナーとして未来永劫(?)に私をご指導戴けるものと信じ、意を強くしております。

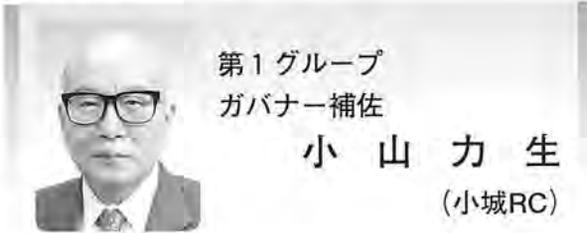
今年度は「ロータリーを楽しもう」という事を重点にして地区全体でロータリーの活性化を

図ろうと思っておりますが、何分人柄、指導力共に先生の足元にも及ばない自分でありますから、色々と失敗、ご迷惑をおかけする事と思えます。あしからず寛容の精神でお許しを。

最後になりましたが本当にお疲れ様でした。また悪童の私に対するご配慮、ご指導本当にありがとうございます。また地区全会員に対するご配慮、ご指導本当にありがとうございました。これからもますますご健康に留意され我々地区全会員のご指導をよろしく願います。来年のロスアンゼルスの世界大会にはご一緒しましょう。



ガバナー補佐挨拶



第1グループ
ガバナー補佐

小山 力生
(小城RC)

例会の席上、次期の第1グループのガバナー補佐選出は小城RCからと言われ、先輩方の多い中私が指名されました。今まで漠然と過ごしてきたので大変戸惑って居ります。お引受け致した上は一所懸命努力し、職務を全うします。

さて、今年度のRI会長のテーマはROTARY SHARES (分かち合う) です。会員各自の時間、才能、専門知識、資金を分かち合っているようなプロジェクトに取り組むこととなりますが、並大抵ではないと思います。此の度改めて「ガバナー月信」に目を通しました。不勉強で申し訳ありません。

今年は当クラブはライラ年次大会のホストクラブに決まっています。今後、グループ内のクラブを訪問させて頂きますが、ご意見ご指導の程よろしくお願い致します。

略 歴

生年月日 1932年8月29日
職 業 (有)小山新聞販売店 取締役
ロータリー歴 1991年3月6日 入会
2002~03年 会長
1997~98年 ポール・ハリス・フェロー
2003~04年 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
2000~01年 米山功労者
2002~03年 米山功労者



第2グループ
ガバナー補佐

権藤 幸彦
(佐賀空港RC)

※学歴

私の小学校入学の昭和16年に尋常小学校から国民学校に変わり、昭和22年中学入学時に旧制の中学校から新制中学に変わりました。此の様に学制の変動期に育っており、いまだに米語は敵国語との教えが純真な子供心に残っており、不得意部門のひとつであります。

最終学歴は昭和32年熊本大学工学部土木科卒であります。

※職歴

○昭和32年 建設会社に就職1年で退社

○昭和33年 佐賀県庁入庁

主たる経過を記すと

鳥栖土木事務所長・本庁河川砂防課長・佐賀土木事務所長・土木部長を経て、平成3年に佐賀県庁を退職。

その後公社・協会等に務めました。ロータリークラブに関する部分のみ記したいと存じます。

ご存知の佐賀有明空港が建設されるに当り、その利便施設である空港ビルが必要となり、平成7年2月に「佐賀ターミナルビル株式会社」が設立され、知事が社長で私が代表取締役専務に就任致しました。

それからがロータリークラブとの出会いの始まりでありました。

※ロータリークラブとの関わり

平成7年2月に「佐賀ターミナルビル株式会社」に入社しビルの設計に入ったところ、佐賀西ロータリークラブの会員さんが知事(会社社長)に「佐賀空港の発展につながるので佐賀空港ロータリークラブを創ったら」とのお話があり、これが私達「佐賀空港ロータリークラブ」の出発点だったと思います。

最初のうちは何かと理屈を並べ、お断りしていましたが、空港発展に繋がるという殺し文句には勝てず、友を誘って輪を広げました。ロータリークラブへの誘いは、高邁な理想が有るわけではなく、ロータリーが何んたるかを知らぬまま、唯々、人を集めることばかりに精力を注ぎ込んだものでした。

曰く「チャーター便で東南アジアに行こう」「ロータリーの名のもとゴルフツアーに参加しよう」等々、今想えば恥ずかしい限りです。

空港の開港に合わせて、空港ロータリーは、平成10年7月に創立する予定でしたが、西クラブのご指導で、1日も早くといわれ、平成10年4月4日に創立の日を見たものでした。創立メンバーは、25名、創立時の経過もあり、私が初代会長に就きました。全く無知な人々の集まりで、俗に暗中模索と言いますが、模索も無しの数年だったと思います。創立後退会者は多くを数え、慰留結果も無くあれよあれよと弱体化しました。その責任もあり2期と4ヶ月会長を務めましたが、その時の私の行動の拙さが今も尾を引いているのでは無いかと自責の念いっぱいです。

駄文を並べましたが、無知は無知なりに野口ガバナーの御指導を受け、第2グループの皆さんのご意見を聞き、より良きロータリーの活動に寄与することを念じて、ペンを置きたいと思ひます。

略 歴

生年月日 1935年3月13日
職 業 (株)日本ピーエス福岡支社(佐賀駐在)顧問
ロータリー歴 1998年4月 入会(創立会員)
1998年4月 創立時 会長
1998~99年 会長
1999~00年 会長

ガバナー補佐挨拶



第3グループ
ガバナー補佐
久原 康正
(白石RC)

ガバナー補佐という大役は弱小クラブでは荷が重すぎると思っております時に、年末に前蒲原ガバナー補佐殿に突如の御来訪を受け第3グループ内での申し送り決定事項との事で次年度ガバナー補佐就任の要請が指名かまだ判断をもつかない戸惑いの中で、スポンサークラブの大先輩でもある蒲原氏より補佐の役割につき色々とお熱意あふれる説明を戴きましたが、重責を感じて再三再四お断り申し上げましたが誠意と熱意に口説かれ遂に承諾致したような次第で、第1回地区チームリーダー研修セミナーにて野口ガバナーよりガバナー補佐委嘱状を拝受致し研修会が開催されるごとに、その責任の重大さに痛感し日頃の不勉強が祟り未だに後悔をしている所です。

しかし、御引受け致した以上、一生懸命努力を積み重ね職責を全うしたく思っており浅学非才な私ですが宜しく御願い申し上げます。

本年度RIテーマを『ロータリーは分かち合いの心』でウィルキンソン氏の所信で、豊かな多様性に満ちた寛大な精神の絆で結ばれた会員一人ひとりがロータリー発展に対する責務を分かち合い、クラブをより充実した存続力あふれる存在に致しましょうと推進テーマになされました。

さて、野口ガバナーはRIテーマを「ロータリーを分かち合おう」と解釈されロータリーの原点に戻って「ロータリーを楽しもう」と表現されロータリーの原点は友愛の精神と親睦から始まると思えますし実を射た考えだと本城バスターガバナーも申しておられました。

本年度地区方針は「ロータリーを楽しみましょう」が地区重点推進事業として唯一のテーマであり、簡潔な表現でもあり各クラブにおいても色々とお解釈解説が成されると思えますが、簡潔な言葉だけに難しく解釈せずに、ガバナーも申されるようにロータリー綱領を犯さない限り自由を選択してもらい、良い事をもって自分の職業を高めロータリークラブの発展に貢献をしながらロータリー生活を楽しみましょうが本音かと思えます。

ガバナー補佐の役割に就いて研修中に色々とお考えしてきましたが、ガバナーを始め地区と各クラブとの連絡役であり責務遂行にはクラブ会長、幹事、地区委員の皆様と密接な連携を保ちながら御意見を拝聴させて戴き、クラブの目的、目標に付いて理解を深め微力ながらも協力を惜しげなく致し対話を交わし友情の輪を広げながら楽しみを分かち合うことが出来ますよう念願申し上げ、この一年間を、第3グループの皆様方の温かい御指導と御支援の程宜しく御願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1934年1月26日
職 業 有限会社 重富呉服店 取締役
ロータリー歴 1983年3月 入会 チャーターメンバー
1985～86年 幹事
1992～93年 会長
1993年11月 ポール・ハリス・フェロー



第4グループ
ガバナー補佐
石松 憲一郎
(唐津RC)

この度、凶らずも第4グループのガバナー補佐を仰せつかり、非力ながら務めさせて頂きます。

ロータリーの先輩諸賢は「心を求めて例会に入り、境地を得て例会を去る」つまり「ロータリーの例会は人生道場である」と。実にロータリーは奥が深くロータリー歴35年、未だその域に達し得ません。

今年度のRIテーマは「ROTARY SHARES」 「ロータリーは分かち合う」です。これを受けて2740地区野口ガバナーは「ロータリーを楽しもう」そして「主役はあなたです」「何か一つ良い事をしましょう」と定められ、ロータリーは自分の職業を高め、社会に奉仕をする人をつくるのがロータリーの目的であり、その為には、より多くの人と知り合いとなり、交友を深め得た知識を自分の職業に活かして、それ自体が社会への奉仕につながって行き、これがまさにロータリーの特徴ある職業奉仕となり、ロータリーを楽しみ奉仕の喜びを体感している処をロータリー以外の人達に見て頂くことも会員増強につながるのではと云われています。

ロータリーは相互扶助と親睦そして奉仕だと思えます。すべては「出席にはじまり出席に終わる」ロータリーの原点を求めつつ例会に出席し自分の人格形成が磨かれ向上して行くと伝えられて来ました。

ガバナー補佐の役割は、野口ガバナーのご意向を理解尊重し、グループ内各クラブの連携調和に努めながら地区内ロータリークラブの更なる発展にあると信じております。

何卒、会員皆様方のご教示を頂き補佐としての任務を果たさせて頂き参ります。

末筆ながら貴クラブ様のご繁栄を心より祈念申し上げます。

略 歴

生年月日 1931年3月14日
職 業 大手口精工堂 代表
ロータリー歴 1972年11月14日 入会
1993年～94年 会長
<地区関係歴>
1988～89年 地区副幹事(地区月信担当)
ロータリーの友地区委員
1995～96年 雑誌会報・広報地区委員
2001～02年 ガバナー補佐(第1分区)
2005～06年 ロータリーの友地区委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー2回

ガバナー補佐挨拶



第5グループ
ガバナー補佐
岩崎 邦臣
(佐世保西RC)

この度ガバナー補佐のご指名をいただきました。

我が佐世保西RCには、チャーターメンバー及びパスト会長等、優秀なロータリアンが多く在籍されております。

その中で特に不勉強な小生を指名していただきました、井手会長に感謝いたしております。

小生の中では、クラブ会長が終われば「一丁あたり」と思い安心しておりました。

井手会長より

「人生一生勉強です。ガバナー補佐でロータリーの勉強ができるので、頑張ってください」

ロータリーでは、指名を受けると断れないと聞かされておりましたので

「ハイ 解りました」

と言ったものの、2月より、研修セミナー及び地区チームリーダー研修を受けましたが、初心に帰り、原点に戻るほど、補佐の仕事が勤まるか心配です。

野口ガバナー 今年度方針

- ロータリーを楽しみましょう
- 主役はあなたです
- 何か一つよい事をしましょう

以上を指針に、ガバナーご指導の下、10グループのガバナー補佐の方々と、一致総力をあげ、重責を果たしたいと思っております。

第5グループ各クラブ会長・幹事様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

略 歴

生年月日 1936年7月20日
職 業 岩崎断熱株式会社 代表取締役
(職業分類：配管工事)
ロータリー歴 1978年3月 入会
1984年～85年 幹事
1996年～97年 会長
1988年～02年 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー(5回)
米山功労者(メジャードナー)



第6グループ
ガバナー補佐
富田 耕司
(佐世保北RC)

2007年～2008年度のガバナー補佐として御挨拶申し上げます。

野口清ガバナーの補佐として1年間お世話になります。

ロータリーは今、今までの拡大・増強の結果としてやや足元が揺らぎ、求心力が弱くなっている部分もあると思われれます。100年を過ぎた組織が更なる発展をするにはどうあるべきか改めて考え直す必要があるかと思ひます。

ロータリアンとして自分の職業に誇りを持ち又ロータリーの会員である事の責任と誇りをどのように考えるのか、又実践するのかを自らに問い直すことから始まるのではないのでしょうか。

野口清ガバナーは地区テーマとしてロータリーを楽しみましょうと強調されています。ロータリークラブは組織のためにあるのではなく会員1人1人のためにあり、会員が思いやりと寛容の精神を身につけロータリーの仲間、そして職業にと貢献する事が基本ではないでしょうか。

野口ガバナーの思いをくみとり伝えることが私の役割と思ひますが、会員1人1人にとって又クラブにとって少しでもお役に立てればと思ひます。

グループの皆様の友情と御協力を宜しくお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1947年1月6日
職 業 株式会社とみたメンテ代表取締役
(職業分類：建築工事)
ロータリー歴 1984年 入会(創立会員)
1994年 幹事
2003年 会長
1992年 ボール・ハリス・フェロー
2004年 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
1992年 米山功労者
2001年 米山功労者
2004年 米山功労者

ガバナー補佐挨拶



第7グループ
ガバナー補佐
岩切 正幸
(島原RC)

補佐の役割、仕事は何なのか、全くその知識もなく、又その上に、私自身の立場の上から、時間的制約をうけて、この補佐のご用を務めることになり、果たして務められるのかと、今も悩みつつ、ガバナーに付いて歩いているのが、現状であります。

しかし乍ら、ロータリアンは、お役をお断りしてはいけないと教えられていましたので、奉仕の理想に燃えて勤めることが大切なことであると、自らに鞭打っているところであります。

現代社会は、物金に恵まれ過ぎて、子供を可愛がることばかりの生活のため、自己中心の利己主義の子供が多くなったと云われています。又感謝と喜びのない無感動な子供が増えると共に、無責任な子供たちが多くなってまいりました。こうした子供たちが、人間としての喜びが解るようになるためには、何を教えるべきか、文科省より打ち出されたのが、奉仕でありました。

私共は、常に奉仕を心がけて、ロータリークラブの活動を推進しているわけであります。奉仕をすることにより、目には見えないけれども、その人その人に徳が備わって参ります。人間と云うものは徳のあるなしによって、喜べる人と、喜べない人に分かれていくと思えます。

この世は平等の世界だと皆さんがそう信じているようですが、現実の世界をみてみますと平等とは云えません。生きるための人権は平等でありましても、生まれた家の大きさも違うし、親も違うし、頭の能力も違うし、財産も違います。

こうした違いは何故起こるのでしょうか。私は徳の違いであって、徳相應の与えによるものと思っています。

徳は、目に見えたものだけではありません。健康で長生き出来る健康長寿の徳や、夫婦が仲良く立派な子供が与わる家庭円満の徳や、余暇の徳がなかったら、ロータリーにも出席できません。それから何でも喜べる心の徳、人格の徳もなければなりません。

こうした徳を備えるためには、世のため、人のために奉仕をすることが肝腎なことだと思います。奉仕と云うのは解り易く申しますと、人を助けること、世のために尽すことであると思えます。

奉仕の理想に燃えて、ロータリアンとしての活動をすすめているお互いであります。皆様と力を合わせて、補佐の務めに励み、少しでもロータリークラブの上に奉仕出来ますようにと念じているところです。

略 歴

生年月日 1934年6月8日
職 業 天理教長崎教区長
ロータリー歴 1980年 入会
2001年～02年 会長
1991年10月 ポール・ハリス・フェロー
2001年12月 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
1999年9月 ベネファクター



第8グループ
ガバナー補佐
緒里 勇三郎
(諫早西RC)

地区出席委員長を務めた時、自分には企画力も行動力も、何も無いと実感しましたので今後はロータリアンとして過ごそうと思っておりました。ところが、昨年10月の当クラブの指名委員会で、ガバナー補佐に指名されました。知識も教養も無い私より立派な歴代会長がいらっしゃるのにも思いましたが、クラブの皆様からは、全面協力するから頑張れと励ましの言葉をかけられ、又、先輩の早田元ガバナー補佐から、ロータリーには、ノーは無いと説得され、受諾いたしました。

野口清ガバナーからガバナー補佐の委嘱状をいただき、第7・8グループのI・Mにおいて、宮崎前ガバナー補佐に紹介していただきましたが、不安ばかりでした。現在はとにかく頑張ろうと心にムチ打っております。

野口ガバナーは、2007-08年度のR・Iテーマ「ロータリーは分かち合いの心」を踏まえ、今年度方針を

「ロータリーを楽しみましょう！」

「主役はあなたです！」

「何か良い事をしましょう！」とされました。

この方針を理解し、第8グループの5クラブとガバナー事務所との調整役に務めます。

今年度第7・8グループ合同のI・Mの担当は第8グループです。

第7・8グループの会長幹事様をはじめロータリアンの皆様、どうかよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1941年4月10日
職 業 郵便事業(前南諫早郵便局長)
ロータリー歴 1992年 入会
2002年 会長
2004年 地区出席委員
2005年 地区出席委員長
1994年 ポール・ハリス・フェロー
2006年 ベネファクター

ガバナー補佐挨拶



第9グループ
ガバナー補佐

岩永信昭
(長崎北東RC)

野口清ガバナーが示された「ロータリーを楽しみましょう！」という地区方針をよく理解して活動して参りたいと思います。ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

入会以来、私が所属しておりますクラブ（長崎北東）の先輩、黒崎勇様、江崎辰男様、田中紀男様をはじめ、それぞれに个性的で魅力溢れる各年度の分区代理、ガバナー補佐の方々に接し、多くの事を学ばさせて頂きました。野田直幸前年度補佐には担当クラブへのご挨拶にご同行頂き、本当にありがとうございました。今年度は甚々荷が重く、心苦しい限りですが、精一杯努めて参る所存です。

コンビを組ませて頂く第10グループの阿部芳男様、今年度の各グループガバナー補佐の皆様、宜しくお願い致します。

第9グループの長崎RC石丸忠重会長、荒木健治幹事、福江RC橋本雅男会長、中山勝義幹事、長崎北東RC西亮会長、森山一幹事、福江中央RC堺末喜会長、山本稔幹事、長崎西RC江上徹也会長、牧文春幹事、長崎琴海RC高坂賢三郎会長、陣内嘉代幹事、各クラブの皆様、クラブ訪問等でお世話になります。宜しくお願い致します。ガバナーのご配慮で今年度は公式訪問とクラブ協議会が同一日です。当日は時間的に多少長びきましようが、全体として各クラブの負担軽減につながるものと考えています。

ガバナー事務所の皆様にもひと方ならぬお世話になるものと存じます。

ロサンゼルス国際大会は「ロータリーを楽しみましょう！」のモットーを最も体感できる機会だと思います。地区内の多くの皆様とご一緒にできます事を楽しみにしております。

略 歴

生年月日 1959年2月2日
職 業 内科、医療法人社団昭成会理事長
ロータリー歴 1996年3月27日 入会
2000～01年 幹事
2001～02年 地区インターアクト委員長
2002～03年 地区新世代委員長
2003～04年 会長
2004～05年 地区新世代委員長
2006～07年 地区新世代統括委員長
新世代危機管理委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者



第10グループ
ガバナー補佐

阿部芳男
(長崎北RC)

この度、第10グループのガバナー補佐の大役を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。浅学非才な私に勤まるか不安ですが、会員皆様のご協力と好意と友情の精神でお助け頂きたくお願い致します。

今年度のR.Iのテーマは「ロータリーは分かち合う」ですが、野口ガバナーは「ロータリーを楽しもう」という言葉で表現しております。私も同感であります。楽しくロータリー活動ができ、親睦を深める事に助力して参りたいと思います。

頭の痛い事もあります。来年6月に、ロサンゼルスロータリー世界大会に出席して楽しもうという宿題があります。チャーター便を飛ばす事までお考えです。頑張りましょう。

若くて行動力のある野口ガバナーの補佐役として任命された重責を果たすべく努力させて頂きます。

今年度の地区方針

1. ロータリーを楽しみましょう（親睦）
2. 主役はあなたです。（職業奉仕）
3. 何か1つ良い事をしましょう。（社会奉仕）

を理解してグループの調和を図り、R.I地区ガバナーとの連絡調整を行って参りたいと存じます。多数の会員と交流ができ、親睦を深める事ができる事は、私にとっても貴重な財産だと思っております。

皆様の良きパイプ役として私なりに努力して参りたいと思います。

グループの皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

略 歴

生年月日 1936年1月5日
職 業 アイティーアイ株式会社 相談役
ロータリー歴 1995年2月 入会
2000～01年 幹事
2005～06年 会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

国際ロータリー第2740地区 2007～2008年度

ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表

※今年度のクラブ協議会は公式訪問と同日開催です。

	クラブ名	公式訪問・クラブ協議会	
第1グループ	佐 賀	9月27日(木)	
	小 城	7月11日(水)	
	牛 津	7月20日(金)	
	多 久	7月12日(木)	
	佐 賀 大 和	7月17日(火)	
第2グループ	佐 賀 西	7月30日(月)	
	佐 賀 北	7月25日(水)	夜
	佐 賀 南	7月17日(火)	夜
	神 埼	8月 7日(火)	夜
	佐 賀 空 港	7月25日(水)	
第3グループ	有 田	7月24日(火)	
	武 雄	7月23日(月)	
	鹿 島	7月10日(火)	
	嬉 野	7月13日(金)	
	大 町	8月 9日(木)	
	白 石	7月18日(水)	
	太 良	7月19日(木)	夜
第4グループ	唐 津	8月 7日(火)	
	伊 万 里	8月 1日(水)	
	唐 津 東	7月26日(木)	
	唐 津 西	8月29日(水)	
	伊 万 里 西	8月 2日(木)	
	唐 津 中 央	8月31日(金)	
第5グループ	佐 世 保	8月22日(水)	夜
	平 戸	8月23日(木)	
	佐 世 保 西	7月31日(火)	
	北 松 浦	9月 4日(火)	
	松 浦	8月24日(金)	

	クラブ名	公式訪問・クラブ協議会	
第6グループ	佐 世 保 南	8月 3日(金)	
	佐 世 保 東	9月13日(木)	
	佐 世 保 北	9月 3日(月)	
	佐 世 保 中 央	9月13日(木)	夜
	佐 世 保 東 南	8月 8日(水)	
	H T B 佐 世 保	8月21日(火)	
第7グループ	大 村	8月28日(火)	夜
	島 原	9月11日(火)	
	雲 仙	7月14日(土)	
	大 村 北	9月12日(水)	夜
	島 原 南	9月 5日(水)	
	大 村 東	8月20日(月)	夜
第8グループ	諫 早	8月10日(金)	
	諫 早 北	9月20日(木)	
	諫 早 西	9月26日(水)	
	諫 早 多 良 見	9月18日(火)	
	諫 早 南	9月10日(月)	
	長 崎	9月 6日(木)	
第9グループ	福 江	7月27日(金)	
	長 崎 北 東	9月19日(水)	
	福 江 中 央	7月27日(金)	夜
	長 崎 西	8月28日(火)	
	長 崎 琴 海	8月30日(木)	
	長 崎 北	8月20日(月)	
第10グループ	長 崎 南	9月12日(水)	
	長 崎 東	9月14日(金)	
	東 長 崎	9月25日(火)	
	長 崎 中 央	8月27日(月)	
	長 崎 出 島	9月 7日(金)	

ROTARY SHARES

国際ロータリー第2740地区 2007~2008年度

ロータリークラブ会長・幹事名簿

	R C	会 長	幹 事
第1グループ	佐 賀	音 成 日佐男	岸 川 正 人
	小 城	鮎 川 好 彦	池 田 安 正
	牛 津	江 口 武	江 本 志寿雄
	多 久	田久保 怜	相 浦 封 哉
	佐 賀 大 和	吉 田 政 亮	於 保 静 枝
第2グループ	佐 賀 西	圓 田 稔	富 吉 敏 充
	佐 賀 北	武 富 邦 博	池 田 和 雄
	佐 賀 南	園 田 嘉 生	吉 川 隆
	神 埼	原 康 夫	生 島 忠 嗣
	佐 賀 空 港	栗 田 博 昭	小 林 孝 治
第3グループ	有 田	南 茂	福 田 羊 子
	武 雄	富 永 正 嗣	樋 渡 千 春
	鹿 島	幸 尾 孝 之	藤 永 勝 之
	嬉 野	山 口 孝四郎	山 口 保
	大 町	山 口 政 雄	鶴 田 健
	白 石	岸 川 享 仙	片 渕 正 人
	太 良	川 島 力 男	秀 島 寛
第4グループ	唐 津	新 富 繁 樹	新 富 哲 也
	伊 万 里	加志田 恵 久	一ノ瀬 芳 信
	唐 津 東	岩 崎 眞二郎	平 野 峻 策
	唐 津 西	瀬 戸 伸 雄	平 野 良 興
	伊 万 里 西	福 田 茂 弘	田 中 貞 義
	唐 津 中 央	濱 口 吉 治	近 藤 豊 守
第5グループ	佐 世 保	大 神 邦 明	中 村 徳 裕
	平 戸	松 浦 弘	川 上 岩 三
	佐 世 保 西	岡 本 章 二	西 浦 隆 洋
	北 松 浦	松 尾 清 治	山 口 俊 一
	松 浦	山 本 勝 治	小 田 浩

ROTARY SHARES

	R C	会 長	幹 事
第6グループ	佐世保南	川口睦郎	中村文昭
	佐世保東	志水孝明	前田和隆
	佐世保北	野畑義博	湯口純二
	佐世保中央	牛島義亮	四元清安
	佐世保東南	今里寿徳	大野満也
	H T B 佐世保	増本恒彦	川崎伸一
第7グループ	大村	中瀬和隆	副島正則
	島原	星野親房	花田勝美
	雲仙	廣瀬和一郎	宮田隆
	大村北	浦田直彦	清水祐一
	島原南	本多進	野村英作
	大村東	島信行	佐藤英人
第8グループ	諫早	林田千年	山田和弘
	諫早北	山口洋樹	本田清秀
	諫早西	荒木公義	植杉茂
	諫早多良見	北島良樹	柴田克博
	諫早南	助村房子	大砂清信
第9グループ	長崎	石丸忠重	荒木健治
	福江	橋本雅男	中山勝義
	長崎北東	西亮	森山一
	福江中央	堺末喜	山本稔
	長崎西	江上徹也	牧文春
	長崎琴海	高坂賢三郎	陣内嘉代
第10グループ	長崎北	上田惠三	中村良一
	長崎南	本田圭助	石丸利行
	長崎東	越智敏征	西田哲治
	東長崎	多良正治	山口善生
	長崎中央	植松俊徳	井筒亮平
	長崎出島	殿村周三	鶴田修

ROTARY SHARES

国際ロータリー第2740地区 2007～2008年度

地区主要行事予定表

月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会
7月		7	全国ガバナー会（東京）	22	国際青少年交換学生選考会
			第1回 諮問委員会	22	財団奨学生候補者研修会
			第1回 ガバナー補佐会	29	クラブ奉仕部門研修セミナー
8月	会員増強月間			4～5	インターアクト年次大会
				25～26	国際青少年交換学生オリエンテーション
9月	新世代月間		GETS	2	国際奉仕部門セミナー
10月	米職業奉仕月間		第2回 諮問委員会	29	国際青少年交換学生オリエンテーション
			第2回 ガバナー補佐会		
11月	R財団月間	16～18	地区大会		国際青少年交換学生九州旅行
		23	ロータリーゾーン研究会		
12月	家族月間			2	財団奨学生候補者研修会
				16	国際青少年交換学生クリスマス会

ROTARY SHARES

月	強化月間	日付	ガバナー事務所	日付	地区委員会
1月	R理解推進月間		第3回 諮問委員会 第3回 ガバナー補佐会		
2月	世界理解月間				米山記念奨学生選考会
3月	識字率向上月間		RI会長賞 } 申請 会員増強表彰 }	23	米山記念奨学生終了式・歓迎会 国際青少年交換学生オリエンテーション
4月	R雑誌月間		第4回 諮問委員会 第4回 ガバナー補佐会	6	財団奨学生候補者研修会
5月					米山記念奨学生オリエンテーション 国際青少年交換学生東京・関西旅行
6月	親睦月間			1 22	財団奨学生選考会 国際青少年交換学生オリエンテーション

ROTARY SHARES

国際ロータリー第2740地区 2007～2008年度 地区組織図

ガバナー諮問委員会		
PG	逸見 嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大村北
PG	牟田 勝輔	武雄
PG	辻 洋三	佐世保南
PG	野崎 元治	長崎
PG	草場立太郎	佐賀西
PG	武井 洋一	佐世保
PG	福井 順	長崎南
PG	隅田 達男	伊万里
PG	安部 直樹	佐世保
PG	栗林 英雄	諫早北
PG	本城 好春	唐津
PG	田口 厚	長崎

地区研修リーダー		
本城 好春	唐津	
地区拡大委員会		
栗林 英雄	諫早北	
本城 好春	唐津	
田口 厚	長崎	
ロータリーの友		
嬉野 勝利	佐賀	
財務委員会		
委員長 杉原 宏一	諫早北	
委員 北島 俊郎	唐津	
委員 吉田 正和	長崎	

ガバナー (RI役員)		
野口 清	佐賀	
ガバナー補佐		
担当	氏名	所属
1	小山 力生	小城
2	権藤 幸彦	佐賀空港
3	久原 康正	白石
4	石松憲一郎	唐津
5	岩崎 邦臣	佐世保西
6	富田 耕司	佐世保北
7	岩切 正幸	島原
8	緒里勇三郎	諫早西
9	岩永 信昭	長崎北東
10	阿部 芳男	長崎北

※クラブのグルーピングは従来どおり

ガバナー指名委員会		
PG	逸見 嘉彦	佐世保南
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大村北
PG	牟田 勝輔	武雄
PG	辻 洋三	佐世保南
PG	野崎 元治	長崎
PG	草場立太郎	佐賀西
PG	武井 洋一	佐世保
PG	福井 順	長崎南
PG	隅田 達男	伊万里
PG	安部 直樹	佐世保
PG	栗林 英雄	諫早北
PG	本城 好春	唐津
PG	田口 厚	長崎
G	野口 清	佐賀

ガバナー・エレクト		
鈴木 泰彦	佐世保南	

地区委員会 (◎印は委員長)

①クラブ奉仕統括委員会	②職業奉仕委員会	④新世代統括委員会
◎ 金武 良弘 佐賀南	◎ 竹田 健介 平戸	◎ 岡部 景光 有田
飯盛 康登 多久	百武 靖之 佐賀	田中丸治樹 伊万里
堤 和之 佐賀大和	百武 裕二 松浦	大島 隆 佐賀
時津芽久美 唐津中央	佐古 亮景 大村北	瀬戸口智彦 長崎南
白石公太郎 牛津		
駒井 英基 佐賀南		

③社会奉仕委員会
◎ 緒方 信行 佐世保北
池田 和雄 佐賀北
江良 秀樹 佐世保東
森 栄一郎 諫早北
久木元孝行 長崎

会員増強委員会		
◎ 飯盛 康登 多久		
草場 謙 佐賀		
大坪 豊 佐賀西		
岩永 正人 長崎		

ロータリー情報・広報委員会		
◎ 堤 和之 佐賀大和		
上野 倫五 佐賀大和		
岩崎 泰裕 唐津東		
松平 和夫 長崎		

ロータリー女性委員会		
◎ 時津芽久美 唐津中央		
緒方うらら 佐賀大和		
助村 房子 諫早南		

出席委員会		
◎ 白石公太郎 牛津		
織田 徳彌 佐賀		
富永 雅弘 佐世保		

インターアクト委員会		
◎ 田中丸治樹 伊万里		
西田 信行 佐賀北		
福田 雅信 有田		
平野 敦 唐津		
中村 人久 大村		
坂本周一郎 島原		
松園 隆 長崎出島		

ローターアクト委員会		
◎ 大島 隆 佐賀		
折敷瀬三徳 鹿島		
瀬戸 恵司 唐津東		
中尾 良樹 伊万里西		
金澤 一 佐世保東		
西山 浩一 諫早		
四元 幸彦 長崎		
堀 啓二 長崎北		

ROTARY SHARES

ガバナー事務所スタッフ			
役職	担当	氏名	所属
地区幹事	総括	空閑 清高	佐賀
副幹事	地区大会	武富 公二	佐賀
副幹事	月信	山下 雄司	佐賀
副幹事	クラブ奉仕	山本 康德	牛津
副幹事	職業・社会奉仕・米山奨学	赤坂 幹雄	佐賀
副幹事	財団奨学・学友	福岡龍一郎	佐賀
副幹事	国際奉仕	木下 博行	佐賀
副幹事	新世代	大島 隆	佐賀
副幹事	国際青少年交換	田島 広一	佐賀
副幹事	統括補佐・総務	大坪 恵介	佐賀
副幹事	総括補佐・会計長	嬉野 勝利	佐賀
委員	総括補佐	川副 幸一	佐賀

PETS実行委員会		
委員長	七田 秀徳	佐賀
副委員長	福岡龍一郎	佐賀

地区協議会実行委員会		
委員長	北島 恭一	佐賀南
副委員長	横尾 和正	佐賀南
幹事	成清 啓二	佐賀南

地区大会実行委員会		
委員長	指山 弘養	佐賀
幹事	武富 公二	佐賀
事務局長	赤坂 幹雄	佐賀

新世代危機管理委員会			
顧問	本城 好春	唐津	津
委員	野口 清	佐賀	賀
委員	鈴木 泰彦	佐世保	南
委員	岡部 景光	有田	田
委員	常多 勝己	長崎	北
委員	瀬戸口智彦	長崎	南
委員	田中丸治樹	伊万里	里
委員	大島 隆	佐賀	賀
委員	森永 太	佐賀	西
委員	澤山 俊雄	長崎	出島
委員	北郷 雅子	長崎	出島
委員	堤 和之	佐賀	大和
外部委員	塩飽 志郎	弁護士	
外部委員	相内 啓子	事務委託員	

⑤国際奉仕統括委員会		
◎	常多 勝己	長崎北
	森永 太	佐賀西
	澤山 俊雄	長崎出島
	牟田 清敬	佐賀

ロータリー財団委員会		
◎	森永 太	佐賀西
	川副 幸一	佐賀
	木村 一	佐賀西
	木寺 幸生	武雄
	玉野 哲雄	佐世保
	古賀 誠	北松浦
	石坂 和彦	大村
	三浦 達美	長崎東

⑥米山記念奨学委員会		
◎	北郷 雅子	長崎出島
	堤 光昌	佐賀
	隅 康二	佐賀西
	酒井田正宏	有田
	曾我 文雄	伊万里西
	立石 徳雄	佐世保
	棧 護	佐世保北
	為永 伸夫	大村東
	中島 恒幸	諫早多良見
	大原 玉瑞	長崎北東
	高田昌一郎	長崎中央

財団奨学・学友委員会		
◎	澤山 俊雄	長崎出島
	笠 慶宣	佐賀南
	永田 武義	佐世保北
	有田 信一	長崎中央

GSE委員会		
◎	牟田 清敬	佐賀
	副島真一郎	佐賀
	船越 哲	長崎北

ライラ委員会			
◎	岡部 景光	有田	田
	秀島 裕之	多	久
	山本 規仁	松浦	浦
	松尾 龍彦	東長崎	崎

国際青少年交換委員会		
◎	瀬戸口智彦	長崎南
	篠原 裕一	佐賀
	木村 公康	佐世保
	益田 荘一	長崎
	田嶋 英夫	長崎北東
	川口 史	長崎南
	飯田 義則	東長崎

ROTARY SHARES

国際ロータリー第2740地区 2007～2008年度 地区関係予算

(単位：円)

I. 地区関係資金人頭分担金

① 地区資金						
地区資金	地区大会 分担金	日本事務局分担金		特別会計繰入金		小計
		R文庫協力金	全国G会運営費	GSE分担金	世界社会奉仕資金	
6,200	6,000	300	200	500	360	13,560

II. 地区資金一般会計

収入の部		科 目	金 額
	(1)	地区資金	14,880,000
	(2)	地区大会分担金	14,400,000
	(3)	日本事務局分担金	1,200,000
	(4)	特別会計分担金	2,064,000
	(5)	その他収入	0
		収入合計	32,544,000

支出の部		科 目	金 額
	(1)	ガバナー関係費	6,420,000
		G E国際協議会	1,200,000
		全国G・PG会議費	2,500,000
		地区G・PG会議費	1,300,000
		各種会議費	900,000
		G記念品代	100,000
		渉外・広報費	420,000
	(2)	地区活動費・補助費	17,000,000
		地区大会	14,400,000
		地区協議会	300,000
		P E T S	300,000
		地区チーム研修セミナー	300,000
		インターアクト助成金	600,000
		ローターアクト助成金	700,000
	R Y L A助成金	300,000	
	R財団学友会	100,000	
(3)	G補佐費	1,500,000	
(4)	地区委員会費	3,760,000	
	クラブ奉仕	80,000	
	出席	70,000	
	拡大・会員増強	60,000	
	R情報	80,000	
	R女性	50,000	
	職業奉仕	150,000	
	社会奉仕	120,000	
	新世代	80,000	
	I A	450,000	
	R A	350,000	
	R Y L A	50,000	

支出の部		科 目	金 額
		国際青少年交換	1,000,000
		国際奉仕	80,000
		R財団	400,000
		財団奨学・学友	360,000
		G S E	80,000
		米山記念奨学	300,000
	(5)	日本事務局分担金	1,200,000
(6)	特別会計繰入金	2,264,000	
(7)	予備費・その他支出	400,000	
		支出合計	32,544,000

② ガバナー事務所資金			③国際青少年 交換資金	合 計	平均会員数
G事務所分担金	月 信 費	小 計			
3,200	1,900	5,100	2,000	20,660	2,400名

Ⅲ. ガバナー事務所・月信費会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
G事務所分担金	7,680,000	公式訪問旅費	400,000
月信費	4,560,000	人件費	2,500,000
R I 補助金	1,500,000	月信費	4,560,000
雑収入・その他	0	通信費	700,000
		消耗品費	1,200,000
		室料及び会議費	720,000
		旅費交通費	400,000
		G E 事務所費	3,000,000
		直前G事務所費	100,000
		予備費	160,000
収 入 合 計	13,740,000	支 出 合 計	13,740,000

Ⅳ. 国際青少年交換資金会計

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
国際青少年交換資金	4,800,000	学生滞在費補助	2,500,000
地区資金助成金	1,000,000	学生合同旅行	1,100,000
その他	0	オリエンテーション費用	1,100,000
クラブ負担金	0	学生歓送迎費他	50,000
来日学生負担金	0	委員会費・全国委員会費	550,000
		印刷費他	200,000
		通信費	200,000
		予備費	100,000
収 入 合 計	5,800,000	支 出 合 計	5,800,000

ROTARY SHARES

報告のしおり

報告の種類	報告期日	期限	摘要
半期報告	前期 07年7月1日 後期 08年1月1日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室
次年度会長・幹事決定報告 (公式名簿掲載資料)	07年12月31日	R I 事務所から送付された用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
クラブ事務所通知 (変更の場合)	都度速やかに	書式自由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
会員の入金・退会・変更	都度速やかに	日本事務局所定の用紙を使用	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	書式自由	R I 日本事務局奉仕室 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報Ⅰ	毎月8日	所定の用紙	ガバナー事務所
クラブ月報Ⅱ	毎月16日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	08年4月末日	R I 事務所から送付された用紙を使用 会長・幹事の署名が必要	ガバナー事務所

《報告先》

◇国際ロータリー日本事務局

〒115-0045
東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階
(奉仕室) Tel. 03-3903-3161
Fax. 03-3903-3781
(財団室) Tel. 03-3903-3192
Fax. 03-3903-3781
(経理室) Tel. 03-3903-3183
Fax. 03-3903-3781
(資料室) Tel. 03-3903-3194
Fax. 03-3903-3781

◇ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階
Tel. 03-3436-6651
Fax. 03-3436-5956
web@rotary-no-tomo.jp (問合せ)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (投稿)

◇ガバナー会事務局

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3433-6497
Fax. 03-3433-7395
govkai@orange.ocn.ne.jp

◇財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
Tel. 03-3434-8681
Fax. 03-3578-8281
mail@rotary-yoneyama.or.jp

◇ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
Tel. 03-3434-6456
Fax. 03-3459-7506

◇ガバナー事務所

〒840-0831
佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F
Tel. 0952-23-1828
Fax. 0952-22-7121
ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

送金のしおり

	送金資金の種類	金額	期限	振込先	
人頭分担金	RI人頭分担金 前期 07年7月1日現在会員 後期 08年1月1日現在会員	(年額US\$ 47.00) US\$ 23.50 US\$ 23.50 ※注1	07年7月1日及び 08年1月1日の会 員数を基準に7 日以内に送金手 続きを完了する	【三井住友銀行】 新宿通支店 (普) 6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島 四郎	
	中途入会会員RI人頭分担金 前期 (7/2~9/30入会者) 後期 (1/2~3/31入会者)	US\$ 11.75 US\$ 11.75	07年10月1日 08年4月1日		
	規定審議会の為の 追加人頭分担金	US\$ 1.00	07年7月1日 ※注2		
	地区資金等	地区資金	年間 6,200円(半期 3,100円)	07年7月1日及び 08年1月1日の会 員数を基準に7 日以内に送金手 続きを完了する	【佐賀銀行】 本店営業部 (普) 2771939 国際ロータリー 第2740地区 地区会計長 嬉野 勝利
		ロータリー文庫協力金	年間 300円(半期 150円)		
		全国ガバナー会運営費	年間 200円(半期 100円)		
		GSE分担金	年間 500円(半期 500円)		
		世界社会奉仕資金	年間 360円(半期 180円)		
		ガバナー事務所費	年間 3,200円(半期 1,600円)		
		ガバナー月購読料	年間 1,900円(半期 950円)		
国際青少年交換資金		年間 2,000円(半期 1,000円)			
小計		年間 14,660円(半期 7,330円)			
地区大会分担金	年間 6,000円	07年10月1日			
寄付金	ロータリー財団寄付金 ※負税 個人は、200万円まで 寄付金より1万円引いた分	一括20万円以上の 年次寄付と 恒久基金寄付	随時	【三井住友銀行】本店営業部 (普) 8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島 四郎	
		10万円以上20万円未満の 年次寄付のみ	随時	【三菱東京UFJ銀行】赤羽駅前支店 (普) 1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事長 岩井 敏	
		上記以外の寄付	随時	【三菱東京UFJ銀行】本店 (普) 1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎 【三井住友銀行】本店営業部 (普) 0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎	
	米山記念奨学会寄付金	〈普通寄付〉 金額×会員数(7月1日、1月1日現在) 〈普通寄付〉 米山功労賞 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 35万円未満 米山功労法人 35万円以上	07年7月1日 08年1月1日 随時	【三井住友銀行】京橋支店 (普) 0920373 (財)ロータリー 米山記念奨学会	
その他	ザ・ロータリアン誌購読料	1部・半期分 US\$ 6.00	07年7月1日 08年1月1日	RI人頭分担金と同じ	
	「ロータリーの友」購読料	1部・半期分 1,200円(消費税別)	07年7月1日 08年1月1日	【三井住友銀行】浜松町支店 (普) 6326314	
	文献資料代	表示価格	随時	ロータリーの友事務所	

※注1 規定審議の結果により変更の可能性があります。

※注2 07年7月1日の会員数を基準にRI人頭分担金と同時処理

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、37年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約1万9千点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

★利用方法★

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。
一部PDFで閲覧できます。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

(貸出し)

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

【開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日】



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F
TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？ (第1話)	1
ガバナー補佐リレー随想	2
委員長挨拶	3
米山奨学生紹介	11
2010~2011年度ガバナー・ノミニー推薦の件 ..	18
文庫通信	18
地区大会のご案内	裏表紙

大福帳^{えびす}恵比須さん 場所：佐賀恵比寿神社（佐賀市与賀町2-50）

本殿左右に10体の恵比須さんが鎮座され、その中に大変珍しく大福帳をひざの上でひろげられ、筆を持たれた恵比須さんがいらっしゃいます。宮司さんもたいそうお気に入りの恵比須さんだそうです。（隣接する与賀神社本殿の裏にも7体の恵比須さんがいらっしゃいます。）

恵比須神社では、毎年1月に「十日えびす祭」があり、多くの参拝者が訪れます。（牛津RC 山本康徳会員）



ROTARY SHARES



ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？ (第1話)

国際ロータリー第2740地区

2007-2008年度ガバナー 野口 清

これから12話にわたってロータリーとは何かということについて私見を述べて行きたいと思っておりますが、皆様も御一読されて、どしどし反論なり違う意見なり、御意見をお寄せください。一緒に考えて行きましょう。

さて、早速第1話を始めましょう。

人間は誰しも自分が一番可愛いものであります。人は自分が幸せになりたいと思って一生懸命頑張っております。その事自体は大変大切な事だと思います。

では、幸せとは何でしょうか？

価値観により、人それぞれ自分の幸せは違うと思いますが、幸せとは、まず経済的な成功を多くの人が思い浮かべるのではないのでしょうか。

一例をあげてみましょう。もし、ある人が非常に努力して、経済的成功を収め、世界のお金をすべて手に入れたとしましょう。(まあ不可能なことではありますが) その人は幸せになったのでしょうか？ その人はもうこの世界では生活ができません。なぜならば、その人以外の人たちも生きていかなければならないので、他の人たちはすでに他の手段を使って生活を始めているのです。すなわち、その人の集めたお金は価値がなくなっているからです。その人は自分のお金の価値を保つためには自分以外の人にそのお金を分かち与えるしか方法はないのです。

つまり、自分が幸せになるためには人に自分が努力して集めた物心を人に与えてこそ実現できるのではないのでしょうか？

すなわち、自分と同じように他の人も自分が一番可愛いと思って、幸せを求めているのだと言う事を分かる事、学ぶところがロータリーではないのでしょうか？



国際協議会 2007-2008年度日本ガバナー総揃い



ガバナー補佐 リレー随想 50からの夫婦改革

第1グループガバナー補佐 小山力生
(小城RC)

野口ガバナーは、本年度のR・Iテーマ「ROTARY SHARES」(ロータリーを分かち合う)を解釈されて、地区テーマとして「ロータリーの原点に戻ってロータリーを楽しもう」にしたい、これが会員獲得の最良の方法だと云われて居ります。

恐れ入りますが、私は今日までガバナー補佐としての活動をして居りません。近く新旧会長・幹事の懇談会に出席のあと各クラブ訪問をさせていただきます。

さて随想とのことですが普段勉強を怠っていますので、去る平成14年6月15日NHK「心の時代」に放送された内容を認めます。

講師：神戸大 脳外科医 尾形誠宏教授

①男は意識改革

早い時期から取り組む。夫婦は対等、従って女性を見下すことを止める。自由な時間を認め相手を尊重する。夫婦共通の土俵を作り役割分担の話合い。加齢による健忘、失敗を責めない。かばい合い、いたわり思いやりを以って接する。心ない言葉は凶器になります。禁句「ぼけたんじゃない」「いい年をして何を考えているの」

②性に関する思い

儒教の影響で夫婦間の話し合いがない。然し男性では60後半8割、80前半で4割という欲望有りというデータがでています。脳の細胞は胎児で100%、70~80歳で重さ9/10に、数は5/10になります。しかし、脳の神経細胞(シナプス)は刺激、学習することでその数が保たれ増えることがあります。脳は働きもので他の臓器より10倍~12倍働く。その為に十分な睡眠とストレス・負担になることを避ける。

③自己の不満、悩み、苦しみ、秘密を聞いてくれる信頼のおける他言しないパートナー、友人を持つこと。

④上記のことを文章に書くと心が少し柔らぎます。また後日読むのもよい。何事も気分転換を。無心になれる趣味、例えば音楽、釣り、登山などなど。

委員長挨拶



クラブ奉仕統括委員会

金 武 良 弘

(佐賀南RC)

この度図らずも地区の委員長に任命され、2月25日の地区チームリーダー研修セミナーを皮きりに4回の研修会に参加し、今更ながら後悔の毎日です。野口ガバナーとは大学の先輩・後輩の仲で普段の気安さから引き受けたものの、生来の怠け者で22年間のロータリー生活で何一つ身につけておらず、今この原稿を執筆中も国際ロータリーの「手続要覧」を片手にしている有様です。

クラブ奉仕統括委員会には「会員増強委員会」「ロータリー情報・広報委員会」「ロータリー女性委員会」「主席委員会」があり、今年度は特に優秀な委員長さんが就任されておりますので実りある1年になるのではと思っております。

新年度クラブ奉仕部門方針について

1. 野口ガバナーは今年度の地区テーマをロータリーの原点に戻って「ロータリーを楽しもう」としておられます。ロータリーの原点は「親睦」でありますので、これをクラブ奉仕委員会の今年度のメインテーマとして活動していきたいと思っております。
2. 目的にかなった例会。よい会員を選ぶ、そのための職業分類・会員増強委員会があり、親睦の効果をあげる為、出席、会報、ロータリー情報、広報委員会との連携を推進する。
3. 7月29日にクラブ奉仕セミナーを開催予定(6月初め現在)親睦・会員増強について各クラブに活動のアンケートを実施する。

以上微力ですが努力してまいりますので皆様のご指導、ご協力をよろしく。

略 歴

生年月日 1939年7月12日
職 業 外科医院 院長
ロータリー歴 1985年6月 入会 チャーターメンバー
2000年～01年 16代会長
1997年 ボール・ハリス・フェロー



会員増強委員会

飯 盛 康 登

(多久RC)

私は、07～08年度R I第2740地区の会員増強委員長を務めさせていただくことになりましたがロータリー歴は浅く、ロータリーに関する知識も経験も乏しい身でございませぬ。先ずもって、ガバナーのご指導、地区役員・会員の方々のご協力、そして何よりも地区2500余名のロータリアンの皆様のご支援ご協力を、心からお願い申し上げます。しかし任命を受けた以上は、それなりの目標に向かって(仲間を増やそう)努力を致しながら、野口ガバナーの純増1名を目指す所存でございませぬ。

クラブの組織、財政基盤確立のために会員数が少ない程意欲的な目標を設定し取り組んでいかなければならないと思ひ常に会員増強の呼びかけを強く強くお願いしている所です。93年入会をさせていただきましたが、設立時前に入会を勧められた時に何故入会を決断しなかったことを時々思いながらこんなに楽しく、なごやかな例会、月1回夜の例会、親睦会、IM、地区協議会、地区大会と地元の佐賀はもとより、長崎のロータリアンと多くの友人が出来たことは一生の思い出となり、入会以来、無欠席を続けられたことの一言につきませぬ。

R Iテーマ「Rotary Shares」「ロータリーは分かち合う」であります。つまりロータリーを楽しんでこそ素晴らしいロータリアンでありロータリーの真髄である職業奉仕だと思ひます。ロータリアンの皆様07～08年度、我々はさらに新しい仲間を増やそうを現実なものにするために力を尽くそうではありませぬか、この年度私と一緒に頑張りませぬ。

略 歴

生年月日 1941年1月30日
職 業 薬品製造卸業(明治27年創業)
不動産賃貸業
ロータリー歴 1993年5月 入会
2002～03年 ロータリー財団地区委員
2003～04年 ロータリー財団地区委員
2004～05年 ロータリー財団地区委員
1996～97年 ボール・ハリス・フェロー
1999年11月 ベネファクター
2002年12月 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

委員長挨拶



ロータリー情報・広報委員会

堤 和之
(佐賀大和RC)

このたび、地区のロータリー情報・広報委員長を仰せつかりました佐賀大和RCの堤和之でございます。地区委員長は米山記念奨学会を過去に経験いたしております。委員の方々にはマスコミおよび広告会社関係者を、とくにお願いいたしました。理由は、今年度は次の三つを推進しようと考えたからであります。

- 地区内57クラブの社会奉仕、職業奉仕活動を、積極的に地域社会へPRしてほしい。
- PRの情報のまとめ方(記事の特色とまとめ)と、写真撮影のノウハウ。
- ロータリーの友に記事と写真を積極的に送信して掲載してもらうよう努力する。

まだ新年度ははじまったばかりではありますが、委員会を開催して具体的な方策を考えてまいります。目ごろのロータリー活動が地域社会にさらに発信されて、地域社会の皆さんのご理解がいちだんと進めば、それぞれロータリー運動の地域浄化作用が進むことになるでしょう。きっといい結果を生むと期待して取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

略 歴

生年月日 1935年11月17日
職 業 株式会社 シグマ 相談役
ロータリー歴 1981年7月 小城RC入会
1994年2月 佐賀大和RC創立会長
2000~01年 米山記念奨学会地区委員長
2001~02年 米山記念奨学会地区委員長
米山功労者
ポール・ハリス・フェロー



ロータリー女性委員会

時 津 芽久美
(唐津中央RC)

この度、2007-2008年度のロータリー女性委員長を拝命することとなりました。

ロータリー暦もわずか2年と浅く、まだまだ学ぶことのほうが多い若輩者にもかかわらずこのような大役をいただき、これまでのさまざまな女性委員会の活動を継承してゆくことができるのかと不安を抱いております。

現在第2740地区全57クラブの内、女性会員が在籍しているクラブは22クラブとその半数以下で止まっております。会員数では2455名中66名と3%ほどに過ぎません。そのような中では素晴らしいご活躍をなさってこられた先輩方に学び、微力ではありますが力の限りを尽くして頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いたします。

本年度のRIテーマは「ロータリーは分かち合う」であり、地区方針では「ロータリーを楽しみましょう！」があげられています。この方針の下、男性、女性の性差にかかわらずロータリアンとして活動してゆくとはどういうことかについて考察を深め、これまでなかなか女性会員の入会が困難であったクラブにおいても一人でも多くの新入会員を迎えることができると考えております。まずは一ロータリアンとして、RIテーマと地区方針に基づいた活動を実践することで、女性の立場からの意見をプラスとして生かした幅広い活動を行うための基盤を整えて行ければと考えております。何卒、みな様のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

略 歴

生年月日 1964年1月26日
職 業 (有)虹の松原自動車学校 代表取締役
ロータリー歴 2005年7月 入会

委員長挨拶



出席委員会

白石 公太郎
(牛津RC)

私、今年度地区出席委員長を仰せつかりました、牛津ロータリークラブの白石でございます。

本来は牛津RCでは国際奉仕委員長であります、どう云う訳か理事会において私が地区出席委員長に決定致しましたのでと宜敷しくと幹事より指名が有り、何が何だか判らない内に3月と5月の地区協議会に出席を致しました。出席をして初めて大役を仰せつかった事に気がつき今更ながら名前だけでいいからと云われ、安受けあいした事を後悔しておりますが、野口ガバナーエレクトの次年度の方針を聞き、ロータリーを楽しもうと云う言葉にテーマにやや救われた気持ちでした。出席委員会の役目はまず第一に出席率の向上にあると思います。各クラブの委員の方達の意見を聞き、出席率の良いクラブの情報を提供して頂き、良い所はお互いに共有しあい出席率の向上に務めたいと思います。ロータリアンの原点はまず出席する事から始まると思います。そして会費を納める事、次に自分の職業を通じて地域社会に奉仕する事だと思っております。

当委員会の責務は地区大会及び協議会、地区研修会への積極的参加並びに各クラブへの出席率向上だと思っております。各クラブの委員の方及び先輩達の意見を聞きながら一年間、出席率向上にむけて頑張っていきたいと思っております。何卒会員皆様のご支援ご協力を頂きます様重ねてお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1946年3月3日
職 業 (株) 中部ガス 会長
ロータリー歴 1999年 入会
2001～02年 幹事
2004～05年 会長
2005～06年 S A A
2006～07年 国際奉仕委員長



職業奉仕委員会

竹田 健介
(平戸RC)

昨年の10月にスペインの各都市を見学する機会がありました。街の中心部を貫くセゴビアの水道橋の偉容は驚嘆に値するものでした。それについてスペインの哲学者ウナムノは次のように語っています。今を去る1800年の昔、ローマ人によって造られたこの水道橋は、遠い山々から湧ける都会に、冷たい水を送っていました。ほとんど60世代にもわたる人々がその水を飲んでいました。ところが、次に現れた世代はこう言いました。「この水道は全く驚嘆に値するものであるから、我々は子々孫々のためにこれを保存すべきである。」ご褒美として休息をそれに与えるために、彼らは現代式水道を建設しました。すると、その古い水道は崩壊しはじめたのです。それは、石灰やセメントを使わずに、荒削りの花崗岩の石材から造られていたのです。数世紀にわたる沈殿物が自然のモルタルとなっていたのです。ところが太陽熱はそれをボロボロにしてしまったのです。数世紀の年月をもってしても破壊することのできなかったものも、怠惰がこれを崩壊せしめたのであります。

そしてロータリーにおける職業奉仕にも同様のことが言えるのであります。

尊重はされても用いられずに、ロータリアンの実際の事業生活から遊離していれば、職業奉仕は不明瞭な、非実用的なものになってしまうのです。それは崩壊への道をたどるのであります。職業上の実務のむずかしい問題を毎日取り組んで、ためされ、試みられて、職業奉仕は新しい生氣と意義をもって発達するのであります。心に留め置きたい話として紹介致しました。

略 歴

生年月日 1950年3月5日
職 業 スーパーマーケット経営
ロータリー歴 1989年5月 入会
1996年～97年 幹事
2002年～03年 会長

委員長挨拶



社会奉仕委員会

緒 方 信 行
(佐世保北RC)

本年度、地区社会奉仕委員長を拝命いたしました佐世保北RCの緒方です。前年度、初めて地区社会奉仕委員になり、今年度委員長となり戸惑いと不安がありますが、自分でできる限り、精一杯努力したいと考えております。前年度の田口パストガバナーの基本方針である「地球温暖化防止」を今年度も継続していけないかと思ひ、4月に委員会を開催しました。野口清ガバナー、富田耕司第6Gガバナー補佐、松尾辰二郎佐世保北RC副会長と委員の全員出席の中で、議論した結果、次のようにテーマを決めました。

1. ノーマイカーディ・アイドリングストップ
2. 室温の調節
3. 植樹の促進

以上3点のテーマを中心に活動していくことになりました。

今年度のRI会長ウィルキンソンは「継続性はロータリーの成功には欠かせない要素」と言っています。前年度の事業を継続させながら、奉仕の情熱を分かち合うロータリアンとして意識を高めながら、大いにロータリーを楽しみたいと思ひます。

ロータリアンの皆様方の暖かい御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1956年8月25日
職 業 (有)オガタ 代表取締役
ロータリー歴 1987年2月 入会
2005~06年 幹事
2006~07年 社会奉仕地区委員



新世代統括委員会・
ライラ委員会

岡 部 景 光
(有田RC)

2007~08年度の新世代統括委員会とライラ委員会の委員長を賜りました。

新世代統括委員会は初めての役目です。ライラ委員会は前期に続き2年目でございます。新世代統括委員会にはインターアクト、ローターアクト、ライラ、国際青少年交換の四委員会が属しておりまして、若い世代の育成を担う委員会です。今期はインターアクトとローターアクトの両委員会が、交流を行ってお互いに相手を知り合うように試みてみようと考えています。

前期の田口ガバナーの時に「新世代危機管理委員会」が出来ました。発端は国際青少年交換留学生を犯罪から守ろうということからでしたが、同時に新世代育成プログラムに参加する、全ての新世代の安全と健康を守るなどの目的も含まれています。新世代を取巻く環境が、我々の若かった時に比べて大きく変わって来ていますので、ロータリーで守ってやろうという趣旨です。

ライラは「ロータリー青少年指導者セミナー」として毎年開催されていまして、今期は29回目になり小城ロータリークラブがホストで開かれます。若い人達の指導力を養い、目標を決めること、意志決定をすること、お互い助け合うこと、良き市民であることなどを実業界やロータリアン、地域社会の人達から学べるセミナーなのです。前回の28回ライラでは、田口ガバナーの地区テーマ「地球温暖化防止」にのっとり玄海原発を見学し、地球の病んでいる現状について考えました。参加すれば新しい出会いがありますし、今期もどのようなライラになるのか楽しみです。

みなさんのご協力をお願いします。

略 歴

生年月日 1944年5月9日
職 業 職業分類：建設設計
(電力送電鉄塔鉄構、通信用鉄塔設計)
ロータリー歴 1990年12月 入会
1994~95年 ローターアクト地区委員長
1995~96年 会長
1996~97年 ローターアクト地区委員長
1999~00年 社会奉仕地区委員長、有田RC幹事
2000~01年 社会奉仕地区委員長
2006~07年 ライラ地区委員長
1995年12月 ポール・ハリス・フェロー
2006年7月 米山功労者

委員長挨拶



インターアクト委員会

田中丸 治 樹
(伊万里RC)

インターアクト委員長の任を仰せつかりました伊万里ロータリークラブの田中丸です。

インターアクト地区委員を3年務めて感じていたことは、インターアクトの歌を歌えないインターアクター、ロータリアンが多いということです。それとインターアクトの徽章(バッジ)をつけていない事にも危機感を感じていました。

そこで、今年度の活動計画を「原点にかえり、基本の徹底をはかりクラブの活性化を推進する」としました。インターアクター、顧問教諭、ロータリアンが三位一体となってクラブの活性化をはかっていかなければなりません。

去る5月26日のインターアクト前期指導者研修会では、基本ルールを知った上でクラブ運営を行なうていただくために、全インターアクトクラブにインターアクトの歌のCDを配布し、標準インターアクト定款・細則の勉強会を行いました。

8月4日、5日の年次大会は、活水中学高等学校がホストクラブとなり大会テーマ「踏み出そう平和への一歩 ～若い力で明日を創る～」のもと開催されます。クラブ運営、社会奉仕、国際理解それぞれにおいて自分たちに何ができるか、自ら考え「平和への一歩」を踏み出すきっかけになる事と思います。

また、インターアクト週間(11月4日～10日)には、是非インターアクトクラブと合同の活動をお願いいたします。インターアクトクラブの活動について全てのロータリアンが関心を示し、活動を支え、励ましていただければ、クラブが活性化すると思います。

最後に、インターアクトクラブ活動を通し、目標である指導力養成、自己完成、他人への思いやり、家庭と家族の重要性、他人の権利尊重、責任強調、職業の品位と価値の認識、社会、国家、国際間の知識と理解等の推進を多くの若者が達成できるよう微力ではありますが務めてまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

略 歴

生年月日 1962年10月18日
職 業 (有) タップ情報通信 代表取締役
ロータリー歴 2000年11月 入会
2004～07年 インターアクト地区委員



ローターアクト委員会

大 島 隆
(佐賀RC)

昨年度に引き続きローターアクト委員会を預かりました。アクトクラブのあり方を本年度も引き続き提唱、未提唱に関らず問題提起をして行きたいと思えます。親の立場としてロータリアンの皆様には昨年より以上のコミュニケーションをお願いしたいと思います。アクトクラブの温暖化対策も引き続き活動する予定です。各提唱クラブの委員会との連携、インターアクトの例会に於いてアクトメンバーの参加、ライラに於いての積極的参加の指導、そして未提唱クラブからのアクトメンバー入会の推進等、地域ロータリークラブ総参加を目指して行きたいと思えます。

意識改革をなして行動しましょう。

未来を創る新世代の為に、御協力の程よろしくお願ひします。

略 歴

生年月日 1952年12月18日
職 業 飲食業(和食)
ロータリー歴 1996年2月29日 入会
2001～02年 ローターアクト地区委員長
2006～07年 ローターアクト地区委員長

委員長挨拶



国際青少年交換委員会

瀬戸口 智彦
(長崎南RC)

昨年度に引き続いて07-08年度も地区青少年交換委員長を委嘱されました。

昨年度は青少年交換事業が始まっていらいといわれるほどの難問が出現し来日学生の早期帰国、派遣学生に起こった問題など今までの青少年交換事業では到底考えられなかった難題が生じて地区委員会としても対応におおわらわでした。

幸い、いずれも関係クラブなど皆様の懸命なご苦勞のすえ全て事なきをえております。

今後、来日・派遣の青少年交換プログラムにおいて一度対応を考える必要がでてきているようです。さらに国際ロータリーやガバナー会議の提案により2740地区にも野口ガバナーのもとに危機管理委員会が設立されました。新しい制度のもと今年度も国際青少年交換学生プログラムが進行しようとしております。皆様にはこのプログラムをご理解いただき協力いただくようお願いいたします。

今年度の青少年交換プログラムは以下のよう
に予定しております。

- 7月22日 派遣予定学生の選考会
(ホテルニューオオタニ佐賀)
- 8月25-26日 来日・派遣学生の第1回オリエンテーション (ウェルサンピア伊万里)
- 10月7-9日 来日学生おくんちと長崎研修会 (JR長崎ホテル)
- 10月29日 第2回オリエンテーション予定
- 11月18-20日 九州旅行予定
- 3月23日 第3回オリエンテーション
(武雄センチュリーホテル)
- 5月中旬 来日学生 東京関西旅行予定
- 6月22日 第4回オリエンテーション
(ANA長崎グラパーヒルホテル)

略 歴

生年月日 1942年11月6日
職 業 せとぐち医院 院長
ロータリー歴 1981年10月7日 入会
1998-99年 幹事
1989-90年 ライラ地区委員長
1996-01年 財団学友地区委員
2001-02年 財団学友地区委員長
2003-05年 国際青少年交換地区委員
2006-07年 国際青少年交換地区委員長



国際奉仕統括委員会

常 多 勝 己
(長崎北RC)

この委員会は昨年度の組織編成に伴い新たに作られた委員会ですが、特に新しい内容を持ったものではありません。国際奉仕に関するロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会、GSE委員会の3つの委員会の活動を円滑に行えるよう統括をすることを目的としております。

我々ロータリアンひとりひとりの中にあるであろう「何か他のひとの役に立ちたい、ニュースで見る状況はこのまま放ってはおけない」という純粋な奉仕の気持ちを大きく集約してこれを国際間の協力、親善、平和に寄与しようということがRIの国際奉仕に対する基本方針の要旨でしょう。この方針に従って各委員会活動を統括していきたいと考えております。

配下各委員会には新進気鋭の委員長・委員が配置されており、彼らを中心として9月2日(日曜日)には武雄センチュリーホテルにてロータリー財団研修セミナーの開催が予定されております。そのときに本年度および今後の詳しい活動内容、活動方針が示されますので各クラブ関係各位の多数のご出席をお願いする所でございます。

略 歴

生年月日 1943年6月22日
職 業 医師(形成外科)
ロータリー歴 1989年6月26日 入会
1996-97年 幹事
2001-02年 会長
1999-00年 米山記念奨学地区委員
2006-07年 国際奉仕統括地区委員長

委員長挨拶



ロータリー財団委員会

森 永 太
(佐賀西RC)

このたび野口ガバナーの命を受け、全く予想だにできなかった財団委員長という重責を担うことになりました。ロータリー財団についての知識も経験もない私ではありますが、最後は、何か私にできることがあるならお手伝いしようという気持ちで引き受けました。

昨年11月23日岡山で開催されました2006～2007年度第1ゾーン～第4ゾーン（日本）ロータリー財団地域セミナーに野口ガバナーエレクトと2人で出席し、私にとっては初めてロータリー財団について勉強させて貰いましたが、ロータリーの奉仕活動とそれを支える財団の資金は車の車輪であることをくり返し教えられました。ロータリー財団のプログラム（教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラスプログラム）についての理解が少しずつ深まるにつれ、これがロータリーが国際組織として発展してきた一番の大きな理由であることが分かったような気がします。

ある元RI会長が「ロータリーは平凡な人々に非凡なことを行う機会を与える」と言われたそうですが、これはロータリアンにとって誰もが経験したことがある共通した認識ではないでしょうか。

さて、野口ガバナーのロータリー財団における今年度の方針は、寄付の目標額は設定せず自主性を尊重したいというものです。善意の寄付というのはロータリーの国際的奉仕活動を良く知ることがその基本であるという思いが込められていると理解しています。

非力ではありますが皆様のご協力を得まして何とか責務を果たしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

略 歴

生年月日 1947年9月10日
職 業 歯科医師
ロータリー歴 1987年 入会
1998～99年 幹事
1999～02年 米山記念奨学地区委員



財団奨学・学友委員会

澤 山 俊 雄
(長崎出島RC)

今年度は、笠 慶喜（佐賀南RC）、永田武義（佐世保北RC）、有田信一（長崎中央RC）そして私の計4人で担当する事になりました。前委員長の田中克憲様（長崎西RC）からご指導を受けこのたび委員長に就任致しましたが、その実務の複雑さ、多さにはいささか戸惑っているのが現状です。さて、私が短い間の委員経験で感じたことを少し述べさせていただきますと、受験される奨学生の方は皆学業優秀な方が多く、面接における態度も真剣の一言に尽きます。反面、他地区の方から留学が終わって帰国しても挨拶もないし、学友会にも入らない人もごく一部だがいるということを知ると残念に思います。私は自身の海外経験から一人でも多くの若者に海外を知ってもらい、世界規模での社会奉仕に寄与してもらえれば、もっと日本の評価・価値が上がると確信しております。

奨学金制度は全ロータリアンの血を汗の結晶といっても過言ではありませんので、我々委員はそのことを本当に理解してくれる人を選ぶという重責があります。これは推薦クラブ・顧問ロータリアンの方にも言えると思います。そこで私は、今後の委員会活動の中で皆様にお願ひしたいのは、各クラブの推薦に向けてのご尽力は言うに及ばずですが、推薦するときその本人の本制度に対する理解度、性格、健康状態を可能な限り把握のうえ推薦願ひたいということです。過去には面接に受かっては様々な理由から辞退するというケースが全国平均で約1割あると聞きます。これは奨学生・各ロータリー地区双方にとって非常に不幸なことであり、時間と労力の無駄になりますので特にお願ひしたい事項です。

最後に抱負としては、一人でも多くの奨学生を当地区から出したいことと、帰って来た方が学友として後輩の指導、それぞれの地域での社会貢献に具体的な行動を通じて成果を出してくれる事です。

略 歴

生年月日 1953年1月12日
職 業 澤山機設株式会社 代表取締役社長
ロータリー歴 1998年9月4日 入会 チャーターメンバー
1998～00年 幹事
2003～04年 会長
2006～07年 財団奨学・学友地区委員

委員長挨拶



GSE委員会

牟田 清 敬
(佐賀RC)

GSE地区委員の経験もなく、突然に地区委員長に就任ということになりました。これから何をすべきかと言うより、GSEとは何か、これまでGSEがどのような活動してきたかを勉強しております。

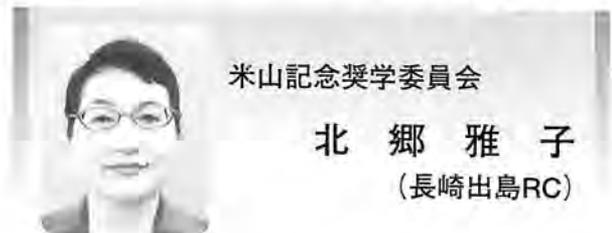
これまで当2740地区はGSEメンバーを海外に派遣し、また、受け入れるという目覚ましい活動を行っております。諸先輩の活動に頭の下がる思いです。このような活動を直ちに行うということは現実的に厳しいものがあると思います。これまでの実績を分析し、その活動を今後どう活かすかを考える必要があると思います。交渉、人員、予算等、考えるべき問題は山積みと思います。そのひとつひとつをどのようにクリアされてきたのか、事実を検証していきたいと思います。

私が委員長を務める期間では時間的にこの検証さえ、どこまでできるか不安ではあります。微力ながら頑張りたいと思います。

2740地区会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

略 歴

生年月日 1958年9月4日
職 業 弁護士
ロータリー歴 1999年 入会
2003～04年 幹事



米山記念奨学委員会

北 郷 雅 子
(長崎出島RC)

2007～2008年度地区米山奨学委員長を仰せつかりました長崎出島RCの北郷：ホンゴウです。

米山奨学委員会の運営に当たりましては、PG隅田奨学会理事、野口Gを始め、浜本・前田・高木前地区委員長のご指導と10名の地区委員の皆様とも協議を行ない、女性としての視点も加えて、この事業を進めたいと思いますので、宜しくお願い致します。米山奨学事業も、今年40年目を迎え、転換期だと思われます。当地区にはPG隅田奨学会理事も居られますので、もっとアクティブな活動も出来るのではと思いません。ご寄付⇒奨学生との交流などを通じての結果の実感：地域的にその実感をされたことがないクラブもあると思われます。今までの「出前卓話」と新しく「プレゼン卓話」という奨学生のスピーチの場を企画します。10月の米山月間以外のときでも卓話派遣を致しますのでご連絡下さい。

今年は学生18名（内継続4名）の奨学生の「世話クラブ」とカウンセラーの方々には「米山奨学会事業」への更なる暖かいご協力などを御願ひ致します。また、学友（奨学生OB）の消息を出来るだけ知りたいと思ひます。以前の世話クラブやカウンセラーの方、また、各クラブの事務局のご協力を、今後とも宜しく御願ひ致します。

今年度の米山寄付金の目標も、会員一人当たり12,000円をお願い致します。「日本ロータリーの誇り」とも言うべき、米山奨学事業の継続と発展の為に、皆様方の暖かいご支援とご協力を切に御願ひ申し上げます。

略 歴

生年月日 1949年3月24日
職 業 (有)華工房苑土蘭 代表取締役社長
ロータリー歴 1999年1月4日 入会
2005～07年 米山記念奨学地区委員

米山奨学生紹介



ヨウ 楊
リョウ 柳
国 籍：中国
大 学：佐賀大学
世話クラブ：佐賀 R C
カウンセラー：赤坂 幹雄

私は楊柳と申します。出身は中国の北京です。中国で大学を卒業してから、私は就職しました。仕事をしているうちに、自分の日本語や専門知識などの勉強不足を感じて、若いうちに、もっといろいろな知識を身につけたいし、いろいろなことにチャレンジしたいと思い、日本留学を決意しました。

いま、私は佐賀大学の経済学研究科企業経営を専攻している2年生です。私の研究テーマは日本のコンビニエンス・ストア業界についての分析です。日本のコンビニ各社は小売業界の激しい競争のなかで勝ち抜くために、差別化を図っています。近年、コンビニ各社の海外進出が盛んになってきています。その中で、特に中国での進出について研究しています。

中国のコンビニ業界はまだ日本のように進んでいないですから、日本のコンビニのノウハウを中国に導入することが、これからの課題となって、研究の目的は中国のコンビニ業界がどのような方向に進むべきかということです。私は米山奨学生の一人として、母国と日本の架け橋になって、自分のささやかな力でも世界発展のために貢献していきたいと思えます。

私はもう日本に来て3年間が経ちました。留学を通して、様々な国籍の人たちと触れ合うことは、自分自身を見直す良いきっかけとなり、さらなる自己の成長を目指す良い刺激になると強く感じました。この3年間で得たものは、語学力よりは、どんな異文化のなかで飛び込んでいける自信と、どんな人とも分かり合えるという自信です。

これから、私は米山奨学生として、まず自分の研究課題を完成したいと思います。学業以外の活動は、世話クラブの例会に出席し、カウンセラーやロータリアンとの心の触れ合いを通して国際文化交流及び相互理解を深めロータリーの奉仕の精神を学び、文化交流、地域交流やボランティア活動などを積極的に参加したいと思います。将来、ロータリーの理想とする国際平和と発展のために貢献する人になりたいと思えます。



トウ 湯
エン 艶
国 籍：中国
大 学：佐賀大学
世話クラブ：牛津 R C
カウンセラー：西岡 健次

私は中国人留学生の湯艶（とうえん）と申します。中国江蘇省の南通の出身です。南通は江蘇省東南部にあり、上海や蘇州とともに、揚子江下流に位置しています。2002年に南京師範大学の日本語専攻を卒業し、故郷に戻り日本語教師として南通農業職業技術学院に勤めておりました。2004年に同大学の副学長及び佐賀女子短期大学の先生方のご尽力により、両校は姉妹校としての友好関係を締結するに至りました。翌2005年、私は初めての特別研修生として、三人の学生を引率し佐賀女子短期大学で五ヶ月間の研修を受ける機会に恵まれました。この研修中に、日本文化・日本社会についての自分自身の理解を深める必要を痛感し、佐賀大学大学院の教育学研究科（社会科）を受験いたしました。無事合格通知をいただき、現在は博士課程前期（修士課程）の二年生です。研究テーマは「生涯学習時代における町づくりと、人づくりに関する日中比較研究」です。

ところで、大学院の一年生の時に、留学生掲示板に書いてある松梅小学校柿むき大会の知らせを見て、日本人小学生との交流のために、その活動に参加しました。参加する時、たくさんのロータリークラブの先生達に会いました。その時はロータリーというクラブはどのような組織であるのか、それになぜロータリー先生達が学生の成長に関心を持っているのかについてぜんぜん分からなくて、それで興味を持っていて帰ってから自分でインターネットを調べはじめ、その後分かるようになりました。ロータリーは「職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりなのです。」ロータリーは世界に目を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、多方面にわたって多大の貢献をしています。たとえば、子どもの教育、医療事業などです。その時からほんとうに心からロータリークラブの先生に感心するようになりました。

今年は私はほんとうに幸運で、自分もロータリーの奨学生の一人としてロータリーのいろいろな先生と交流ができるようになります。この恵まれた環境の中で、私はロータリー先生達を模範として自分の研究に熱心に取り組み、一生懸命頑張りたいと思っています。これから、みなさま、どうぞよろしくお願ひします。

米山奨学生紹介



シ
時 旋
国 籍：中国
大 学：佐賀大学
世話クラブ：佐賀西 R C
カウンセラー：松本 一

私は佐賀大学経済学研究科2年生の時旋と申します。私が留学先に日本を選んだのは日本が私にとって最も親しみのある国だからです。私と日本との出会いは小学校の時です。小学生の時、学校行事の一環で日本の小学生と交流するというものがあり、私は学校の代表として東京へ行きました。私は小学生ながら経済大国日本の豊かさを強く感じ、いつか中国も日本のようになればなあと感じたのを覚えています。帰国してから、日本語を勉強し始め、大学3年生の時、交換留学として1年間日本に来ることができました。この1年間、学校生活やアルバイトを通して、多くの日本人と接し、多くの日本の事を学びました。そして是非大学院は日本の大学院に行きたいと思い、念願叶って、今佐賀大学の大学院生となることができました。

今私は、「中国と日本の企業会計基準の比較」について研究しています。中国は目覚ましい経済成長を続けていると同時にいろいろな問題も抱えています。特に会計制度の面で世界各国と通用できるように国際水準のレベルの会計制度の変革を迫られています。日本の会計制度、会計基準はとても整備されていて、国際会計基準とはほぼ同じです。各別の所は国際会計基準より、合理的だと思います。ですからまず日本の会計基準の設定主体プロセスなどについて研究し、次に中国の会計基準と比較し差異を明確にします。そのうえで中国会計の問題や改善すべき点を明らかにし、中国会計基準を国際会計基準に引き上げるための方法を研究していきたいと思っています。これは私の米山奨学生としての抱負です。

今回、米山ロータリー奨学金に合格させていただいて、国際理解と世界平和を促し、各業の優れたロータリアンとお会いできて、私にとってとても大きな財産になりました。自分も社会に貢献できる人になれるように頑張りたいと思っています。



コウ
黄 晟
国 籍：中国
大 学：佐賀大学
世話クラブ：佐賀北 R C
カウンセラー：福元 裕二

私は佐賀大学経済研究科の黄晟と申します。7年前、中国から来て、福岡での日本語学校で、1年間半の日本語を学びました。その後、佐賀大学に合格し、経済学部に入り、4年間の勉強を終えて、今、大学院で会計について、研究をやらせていただいております。

日本での7年間の生活の中に、苦しいことがあれば、楽しいこともあります。そして、たくさんの人々と出会ったり、別れたりもしてきました。本当に、7年ということは長いものでありながら、短いものでもあります。

今回米山奨学生として、支援を受けていただきまして、ありがたい気持ちはいっぱいあります。このように、私達外国人留学生は、支援を受けていることにより、もっと学習できていますし、国際交流への参加することも多くなってきました。本当に助かりました。

一人の米山奨学生としての抱負はもっとたくさんの人のために動きたいと思っています。これまで、中国語教室など国際交流活動をやってきました。また、5月に障害者のための就職相談会のお手伝いをさせていただきまして、本当に人に役立てる時の幸せ感を味わいました。

これから、せっかく日本にやってきて、ここまで身につけた日本語を活かして、日中間の交流活動や外国人留学生などのため、何をやっていきたいと考えながら、計画を立てています。とにかく、社会に、人に役立つような人間にならないといけませんという気持ちを持って活動していきます。



米山奨学生紹介



アラヤヴィラシット シットテイン
ARAYAVEERASID SITTHINAN

国籍：タイ
大学：佐賀大学
世話クラブ：神埼RC
カウンセラー：宮島 清

はじめまして、アラヤヴィラシット・シットテインと申します。タイのバンコクから参りました。1979年1月9日に生まれて、28歳で、独身です。趣味はいろいろ有り、特に読書とサッカーです。現在、佐賀大学農学研究科応用生物科学専攻大学院2年生です。研究内容といたしまして、キチン・キトサンについて研究しています。といっても、専門的な分野なので、ぴんと来ない方が多くいらっしゃると思います。簡単に申しますと、キチンとは、カニやエビの殻に含まれている動物性の不溶性食物繊維でこの細胞壁部分にも存在します。このキチンを分解してアミノを基本成分とした多糖類のことをキトサンとよび、通常はキチン・キトサンと呼ばれます。キトサンという物質は栄養素ではありません。免疫力を高めたり、体内の有害物質を吸着排泄するなどの機能があります。食品添加物、環境汚染物質、喫煙などの病気の誘発因子を排除する手段としてキトサンは有効なものと考えられています。キトサンに含まれるアミノ基が有害物質に吸着して体外に排出します。

ところで、米山奨学金をいただくことができたことは、本当にありがたく思っています。米山奨学生としての抱負ですが、まず初めに、私は日本に来て、はやくも2年半が経過しました。日本での留学生活もいよいよ大詰めに近づいてきています。今は7月末の修論文の締め切りに向かって、一生懸命研究を頑張っています。このような厳しい状況の中での米山奨学生として選ばれたことを光栄に感じました。そしてこれから多くの人々と出会う機会も増え、さまざまな体験をし、人間や社会や世界への視野が一挙に広がると思っていますので、米山奨学生としてできるだけ頑張りたいと思います。奨学生として貴重な体験をさせていただくことに感謝するとともに、日本で学んだことを、今後帰国してそうした経験が自国にお役に立つなら、大変幸せなことだと思っています。帰国後、日本をはじめ、いろいろな国と貿易している会社に就職したいし、国際交流の仕事も勤めたいし、いつか余裕があれば、自分の貿易会社を作りたいと思います。そして、ロータリアンの方たちと同じように社会に貢献したいと思っています。

最後ですが、米山奨学金という制度、また奨学金に寄付をしておられる皆様に、心から感謝したいです。皆様に早くご恩返しができますように、頑張っていきたいと思っています。



ハイ コク テツ
裴 国 哲

国籍：中国
大学：佐賀大学
世話クラブ：大町RC
カウンセラー：山本 武

私は日本語をもっと学び、日本の先進経済知識を勉強したいという目的で1999年10月に日本へ留学に来ました。2001年4月長崎国際大学国際観光学科に入学し、2005年3月に卒業しました。その後、マーケティングに関心を持ち、より深く研究するために、2006年4月に佐賀大学大学院に入学しました。現在、就職活動と自分の研究に力を入れて、頑張っています。

自分の信条は「動き出さなければ何も得ることはない」ということです。何事もチャレンジすることで学びさらにそれを活かしてチャレンジしていくことで自分を磨いて向上していきたいと考えています。将来、社会人となっても、どのような仕事でもまず「チャレンジをしたい」「学びたい」という気持ちが一番大切だと思います。

米山奨学生としての抱負は「自己成長」「社会への貢献」という二つがあります。米山奨学生として異なる文化だとか、あるいは宗教、それから習慣に対して理解する能力やコミュニケーション能力を求められているから、そのためには常に日本語と日本文化の研鑽、日本語の知識の習得に努めなければなりません。それが結局は自分を成長させることに繋がるのだと思います。ここで日本の文化についてちょっと話したいと思います。日本に来て、相撲の土俵中継をよく見えています。相撲の力士の体は大きいですが、動きが速くてとてもかわいいなと思います。そして、審判長、行司の服装もおもしろいと思います。外国人にとって、日本の文化であるというインパクトがあります。単に競技勝負を見せるだけではなく、相撲の土俵には日本文化が集約されていると思います。次に「社会への貢献」ですが、これは米山奨学生として、一生かけて行っていかなくてはならないことです。私は日本に来て、もう7年目になって、これまでの7年間の留学生活において、周りのたくさんの方々に数え切れないくらいお世話になって参りましたが、今後はこれまでに受けたご恩を何倍も日本社会に返していかななくてはならないと思っています。将来、社会人になって、自分が日本で学んだ知識を生かして日本社会、そして中日の経済発展に貢献したいと思います。

米山奨学生紹介



リン キン キ
林 欣 儀

国 籍：台湾
大 学：長崎県立大学
世話クラブ：佐世保R C
カウンセラー：森 信正

私は台湾から来た留学生の林と申します。この度、2007年度の米山奨学生に合格させていただいて、ほんとう嬉しかったです。私も大変励まされましたので、今後もっと様々な面で頑張っていきます。それでは、私のプロフィールと自己紹介をさせていただきます。私は台湾の高雄の出身である。高雄は台湾の南にあって、台湾で第2の都市である。大変暑いところですので、夏になると、毎日30度以上の真夏日です。私は1981年に生まれ、今年の8月になると、26歳になります。今までの経歴は、地元の小中学校に卒業して、屏東にある大仁技術学院応用日本語学科に進学しました。なぜ日本語学科を選んだのかというと、幼い頃から、日本に留学することを憧れ、日本語をうまく話したかったのです。そして、4年前、2003年4月やっと日本にやって来ました。最初は大阪にある関西国際学友会で日本語を勉強し、国公立大学に進学をできるように頑張って勉強しました。大学を受験するために、日本語だけでなく、英語や数学も勉強しなければなりません。あの頃、言葉や食事のことなどで、とても苦労しました。私の勉強希望は流通経営だったので、長崎県立大学に進学することに決めました。今年すでに大学の4年生になって、ゼミはIT情報関係について勉強しております。今もうすっかり日本の生活を慣れて、長崎の日本人がとても親切な方ばかりなので、私もますますこのところに離れなくなりました。私の趣味は言葉の勉強やパソコンを利用して、ネット中いろんな国のニュースや情報を見たり、勉強したりすること。将来の目標は自分の日本語やほかの言葉の力を生かして、パソコンやネットワークを使って、グローバルな経営をやってみたいのです。私は米山奨学生としての抱負は、一層頑張って、勉強分野がもっと広がって、卒業してから、しっかり仕事の面にも力を入れて、結果出るまでやりぬくことがしたいです。私は積極的な性格を持って人間ですので、やる気があれば、なんでもできると思います。いつか、成功したら、私は米山奨学会の力になりたいです。私は今度の奨学生になって、米山奨学会にも責任があると思います。もっと礼儀正しくなって、もっと日本の社会に役立てるようになります。これからもいろいろな面で努力して、心がけていきますので、どうぞよろしくお願ひします。



コ ショウ チク
幸 筱 筑

国 籍：台湾
大 学：長崎国際大学
世話クラブ：佐世保北R C
カウンセラー：深町 等

1. 私のプロフィール

私は3年前に台湾から参り、前半は東京の日本語学校に通い、その後、長崎国際大学国際観光学科の3年次生として編入しました。現在、同大学の修士課程に進み、観光学を専攻しています。実家は台湾の南投という所で、家族は5人です。

台湾の大学では観光学を専攻し日本語も学びました。私は3年生の夏休みに日本へ来るチャンスに恵まれ、奈良でホームステイをしました。日本語の先生やホストのお父さん、お母さんには大変お世話になり、日本人の礼儀正しさ、優しさ、親切さに感動しました。わずか1週間の滞在でしたが、日本がさらに好きになりました。

大学を卒業して、電子機器用のモーター会社に入社し、日本人の顧客にメールで連絡するセールアシスタントとして1年半仕事をしました。就職後も夕方は日本語の塾に通いました。

台湾では日本語の会話を練習する機会が少ないので、日本留学を決意しました。

2. 米山奨学生としての抱負

今後は大学院での研究を進めるとともに、ローターアクトへの参加もできるだけ積極的にしたいと思います。去年は学内のローターアクト活動に時々参加しましたが、学外では地域の様々な職業の人々と出会うことができ、異文化理解と国際平和への高い意識を養うことができると期待しています。

大学院修了後は、台湾に帰って観光産業、特にホテルやレストランでの仕事に従事したいと考えています。台湾にとって日本人観光客は大切なお客様です。私が留学中に学んだ日本文化や日本人の心情および慣習などを台湾の人々に伝え、台湾人と日本人の友好的なコミュニケーションが図れるようにしたいと思っています。

また、台湾を訪れる日本人観光客に心のコもった「おもてなし」ができるように、微力ながら貢献したいと考えています。将来、台湾と日本人との架け橋となって国際社会で活躍したいと考えます。

米山奨学生紹介



イ ミョン ヒ
李 明 姫

国 籍：韓国
大 学：長崎国際大学
世話クラブ：佐世保中央RC
カウンセラー：井上 亮

『私のプロフィール』

1. 名 前：李明姫（イ ミョンヒ）
2. 出身地：韓国蔚山
3. 生年月日：1979年9月4日
4. 所 属：長崎国際大学 大学院2年生
観光学専攻
5. 趣 味：国際交流、
ハングルを教えること、
クラシック音楽鑑賞、読書
6. 特 技：笑顔
7. 将来の夢：大学の先生

『米山奨学生としての抱負』

今回米山奨学金の奨学生として選ばれたことを大変嬉しく思います。奨学生として選ばれたことを励みとして、今後も大学の研究や勉強、その他様々なことに一生懸命取り組んで奨学生の名に恥じぬよう今後とも精一杯頑張る所存です。

また、今回私が所属している佐世保中央ロータリークラブは韓国釜山の蓮山ロータリークラブと姉妹関係にあることから佐世保と釜山の架け橋になって積極的に交流活動を行いたいと考えております。

交流の際には、まずお互いの文化を理解することが大切です。相互理解を進めるためには、何よりも“言語”が大事だと私は思っています。

そのため、私は佐世保中央ロータリークラブにハングル講座を設け、韓国語だけではなく、文化や習慣などを紹介し、佐世保中央ロータリーと釜山蓮山ロータリーがこれまで以上の友情を深めていけるよう頑張ろうと決意しています。

最後に、これからも現状に満足することなく、自分なりのスタイルを保ちながら、さらに精進していきたいと思っております。



シン ヒョン ホ
申 鉉 浩

国 籍：韓国
大 学：長崎大学
世話クラブ：長崎RC
カウンセラー：本田 時夫

・私のプロフィール

1977年韓国の全羅南道（Chonranamdo）高興（Goheung）で生まれて、麗水（Yeosu）に位置している全南大学で海洋環境と植物プランクトンの生態を専攻しました。2005年12月日本に入国して現在長崎大学の博士2年生課程に在学中で、日本や韓国で見られる海洋環境の変化と植物プランクトンについて研究を行っています。韓国で研究している間、人類の生活で海洋環境の重要性を知り、より良い研究環境で研究をしたいと考え、日本への留学をしました。韓国での修士課程では日本や中国の色々な研究者たちと一緒に研究活動をした経験があり、海を守る活動に参加するため海洋環境調査資格及び様々な海洋関連資格を取得して奉仕活動にも参加しました。さらに現在は長崎大学韓国人留学生会の会長を兼任しており、韓国人留学生たちと一緒に長崎市の地域奉仕にも参加しています。

・米山奨学生としての抱負

私は今年から米山ロータリー会員として活動できる資格を持つことができ、自負心を持って勉強する学生として、そして研究者として人間生活に助けになれる活発な活動をするつもりです。即ち、米山ロータリークラブの精神や理念を基礎として海と人間という分野に貢献できる研究者として活発な活動をするため努力します。また、色々な国の研究者たちと研究交流をしながら日本で感じて習った日本文化を伝播することができる伝道師としての役割をするとともに、他の文化にも積極的に触れあいます。さらに、たくさんの人々の喜び幸せのため奉仕活動にも積極的に参加してそこで終わらない、韓国に帰国した時には私のような日本への留学を望む学生のためにロータリー会員として活動します。

米山奨学生紹介



タン チャ チュン
陳 佳 健
 国 籍：マレーシア
 大 学：長崎総合科学大学
 世話クラブ：長崎北RC
 カウンセラー：松山 要

私は陳佳健と申します。7年前に、マレーシアから来ました。現在、長崎総合科学大学大学院工学研究科生産技術学専攻2年生です。ロータリー米山奨学生として選んでいただいて、ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

高校卒業後、東京のアジア学生文化協会という日本語学校で、1年間日本語を勉強しまして、長崎総合科学大学に進学しました。

大学1年生の時、日本語があまり理解できなかったのも、とても大変でした。しかし、矢島研究室に入って、先輩方が指導員として、私に日本語や数学などを教えていただきました。おかげで、大学生活が楽しく、無事に卒業することができました。心から感謝しています。大学院1年生の時、矢島研究室の室長を務めて、先生や後輩とのコミュニケーションの大切さを学びました。

現在、私の修論研究は、船体用極厚高張力鋼板溶接継手部の破壊靱性評価です。分からないことはまだ沢山ありますが、先生と相談しつつ、頑張っています。

過日、株式会社新来島どっくから、採用内定通知が届きました。残された学生生活に、修論研究や日本語の勉強などを大事にして、有意義に過ごしますように努力したいと思っています。

学業はもちろんですが、ボランティア活動なども積極的に参加し、頑張っています。ボランティア活動を通して、人々の役に立ち、みんなと良い関係を作ることによって平和の第一歩だと思っています。

ロータリー米山奨学会を通じて、日本の文化や習慣などをもっと理解できることを信じています。将来、日本とマレーシアのかけ橋になれるように努力したいと決意しております。

これから、カウンセラーの松山さんとロータリアンの方々と良い関係を続けることを祈ります。どうぞよろしくお願いいたします。



ジャン イン サン
張 仁 山
 国 籍：韓国
 大 学：長崎大学
 世話クラブ：長崎南RC
 カウンセラー：藤井 徹

韓国人留学生、ジャンインサンと申します。

韓国のカンヌン大学の歯学部を卒業し、2004年の夏に日本に初めて来ました。歯科の材料には日本製が多く、長崎大学は矯正力学の分野が進んでいたのも、大学時代から日本での留学に憧れていました。今は長崎大学の大学院で矯正治療中の歯の移動の分析について研究しています。

長崎は海も山も近く、母校があるカンヌンというところととっても風景が似ていたのも、親しみを感じるところでした。

来日してもう3年目になりますが、専門の勉強以外にも日本語や日本文化の面白さを学び、とっても楽しいです。世界唯一の女性歌劇である「宝塚」に魅了されたり、相撲を見て技を当てたりするのが楽しみの一つになりました。

人に出会い、新しい経験をするのも、いつも何か学べる気がします。米山ロータリークラブを通して他の文化と接したり、様々な方々との出会い、また何か学べるのもとっても楽しみであり、このような機会が与えられたことに感謝しています。

研究の方も頑張っている良い結果を出したいですが、それだけでなく、ボランティアや文化交流においても積極的な米山奨学生になりたいです。



米山奨学生紹介



チャン・ティ・フォン

国籍：ベトナム
 大学：長崎総合科学大学
 世話クラブ：東長崎RC
 カウンセラー：吉田 稔

私はベトナムから来ました。チャンティフォンと申します。日本に留学した最初の頃は、精神的なプレッシャーでいろいろ苦労しました。ベトナムとはまったく違う環境の中で、自分の目標に向かった自分自身をうまくコントロールできるかどうか、たいへん不安でした。ベトナムにいた時は、勉強以外のことはほとんど両親にしてもらっていました。例えば母が作った食事食べて、普通の生活を送っていました。日本に留学してから、朝自分で起きることから始まって、料理、掃除、洗濯など全部自分で生活しなければなりません。そのおかげで、精神的に強くなったと思います。

日本で生活することに慣れてきた頃、精神的に余裕が出たせいか、勉強以外にもいろいろなことに参加するようになりました。日本語学校時代、私は、友人を通じて老人ホームにボランティアに行きました。老人と話したり、日本の昔の話を聞いたり、老人に食事を食べさせたり、私にとってはすばらしい経験になりました。

大学に入学してからも、国際交流活動などに積極的に参加しています。たとえば、大学で定期的に開催しているフリーマーケットに私たち留学生が参加しています。私にとって、このような活動は本当に楽しい時間です。これからもチャンスがあれば、ボランティア活動を続けたいと思います。

今年からロータリー米山の奨学生になりました。奨学生になったことで、ただ金銭的な援助を受けることだけでなく、安心して日本の生活と皆さんとの交流ができ、様々な人々と出会い、その人達との輪を広げることができて、とても貴重な経験をさせていただき、心から感謝しています。これからの勉強や日常生活において、大いに私を助けてくれると確信している。さらにこれからも、勉強にボランティアに一生懸命頑張りたいと思います。



エン 袁 源

国籍：中国
 大学：長崎大学
 世話クラブ：長崎出島RC
 カウンセラー：小田原 直樹

私は港町、中国四つ直轄市の一つ天津から来た留学生です。同じ港町長崎に来て八年目になります。最初全然日本語を話せなかったのが、大変工夫して勉強してきました。日本語を勉強し半年を経たある日、いつものようにテレビ番組を見たら少し聞き取れた時の感覚は一生忘れないものです。幼い頃から語学が好きで、海外に行ってみたくて思っていました。又、日本企業で働いた日本語が話せる祖父の影響でずっと日本に興味深かったです。しかし、日本に留学するチャンスを得て、嬉しいほかに心配や悲しい気持ちもありました。親、兄弟、友達のをばからひとりで遠い海外で一人暮らしするのが当時の私にとっては容易なことではなかったです。私は前向きでチャレンジすることが好きです。しかも一旦決めたことであれば、諦めず後悔せず最後まで頑張るタイプだと思います。日本の留学生活はもちろん楽しいことのみならず、辛いこと、困ること、悲しいこともいっぱいあったけれども、今の私はやはり七年前と同じ気持ちで頑張っています。七年間の経歴は日本語の上達、人生観の変化、未熟な少女から母親に変わりなどあらゆる面から私の成長が親に認められていて、自分でも気づいています。最初のホームシックから、言葉の通じない障壁、今の子供との離れ辛さ、研究の難しさまでの難関を乗り越えられるだからこそ成長になるはずだと思います。現在、長崎大学教育学研究科にて日中古典文学の比較研究をしています。文学、文化好きなので、日本の「和」という風格に一目惚れだったです。昔から中国と深い交流があったからとも言え、日本の特有な文学、文化が世界の舞台で輝いています。私のテーマは研究すれば研究するほど面白くなり、もっともっと知りたい探求心が強くなってきます。文学の研究と言いつつ、単なる文学だけではなく、それを通して日本人の心、人生観、仕方も少しずつ理解できるようになります。指導教官が明るくて親切な人で、いつも季節に合わせて様々な行事が行います。そのきっかけ、日本の伝統的な文化に触れることができました。わたしの趣味はその国のもう一つの顔になる音楽とダンスです。日本の若者が流行りの音楽、ダンスは無論、より昔の演歌、踊りが好きです。音楽は無国境で、唯一本当の世界言語だと思います。

日本語を身につけて、日本文化、知識を学んでいたのが、将来日本留学を終えたあと、それを活用できる仕事をして、日中交流の架け橋になりたいと思っています。日中交流、経済事業の中、私はただ何百万何千万分の一だけれども、全力を尽くして日中友好交流のために貢献したいと思っています。奉仕の人米山梅吉氏の願い「何事も人々にしてほしいと望むことは人々もその通りせよ」を心がけて、やりがいのある生活を送りたいです。私はずっと心残りが残ります。機会があれば、偏見無しで多くの日本人に本当の中国、庶民的な中国を見せたいです。日中交流が頻繁にあるとは言え、どうしてもマスコミの厳しきやその人の偶々の経験に影響されて、本当の中国を知っているひとはまだわずかの一部です。ですので、ロータリークラブを通して、各国の様々な人と出会い、自分の出身地天津をはじめ歴史悠々の発展している中国を紹介していきたいと思っています。近年、「グローバル化」という言葉が様々な領域で使われています。中国でも一つ同じような言葉が流行っています。「地球村」です。文字通り本来小さい単位「村」を大きい物質「地球」に付けて、矛盾に見える一方我々が生存している地球は「宇宙」というもっと大きい物質の中で一つの「村」であることは理解できないことはないでしょう。今後我々の「村」を興えて、平和で安易な豊かな生活を送れるのかを問題として考えなければなりません。又、「学問の道には終点がない」と信じています。これから留学生活を終えても、語学の才能を発揮し日本語、英語を上達するとともに、ほかの言語を勉強しようと思っています。真正正銘のグローバルな人になり、仕事と家庭、育児を両立できる輝く女性になりたいです。何年後に後輩にアドバイスができる先輩になりたいです。

国際ロータリー第2740地区クラブ会長各位

ガバナー 野口 清

2010～2011年度ガバナー・ノミニー推薦の件

国際ロータリー細則第13.020.3項により、2010～2011年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニー候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2007年10月31日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以ってご推薦下さい。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.4項）ガバナー・ノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則第15.070項を参照。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナー・ノミニーになります。

文庫通信

238号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩のロータリー観

- | | | | | |
|---------------------|---------|------------|------|-----|
| ◎「戦前の日本ロータリー」 | 直木 太一郎 | 関西ロータリー研究会 | 1972 | 25p |
| ◎「温故知新—ロータリーの今昔」 | 遠藤 健三 | D.263 | 1987 | 7p |
| ◎「佐々木孝三郎遺稿集(別刷)」 | 佐々木 統一郎 | | 1972 | 27p |
| ◎「常に心に四つのテストを」 | 富久 力松 他 | 大阪R.C. | 1983 | 35p |
| ◎「職業奉仕の研究」 | 前原 勝樹 | | 1980 | 18p |
| ◎「職業奉仕の勤どころ」 | 秦 孝治郎 | D.366 | 1971 | 93p |
| ◎「綱領の中の「奉仕」についての研究」 | 山下 静雄 | | 1979 | 3p |
| ◎「火種はみんな持っている(抄)」 | 松本 兼二郎 | 八幡西R.C. | 1969 | 31p |

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 [開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日]

訃報

慎んでお別れいたします 合掌。



故 空閑 清高 君
(佐賀R.C.)

国際ロータリー 第2740地区
2007～08年度 地区大会のご案内



ロータリーを楽しもう!

ホストクラブ：佐賀RC

コ・ホストクラブ：佐賀西RC，佐賀北RC，佐賀南RC，牛津RC

10月27日(土)

8:00～ 記念懇親ゴルフ大会：大和不動カントリークラブ（佐賀市）
(予定)

11月16日(金)

17:30～ RI会長代理歓迎晚餐会：ホテルニューオータニ佐賀

11月17日(土)

9:30～ 登録受付：佐賀市文化会館 大ホール
10:00～ 会長幹事会：佐賀市文化会館 大会議室
11:00～ 四委員会：佐賀市文化会館 イベントホール
13:00～ 本会議：佐賀市文化会館 大ホール
15:30～ 記念講演会：佐賀市文化会館 大ホール
18:00～ 記念懇親会：ホテルニューオータニ佐賀

11月18日(日)

9:00～ 登録受付：佐賀市文化会館 大ホール
9:30～ 本会議：佐賀市文化会館 大ホール
10:30～ 会員セミナー：佐賀市文化会館 大ホール

10:00～ 新世代の集い：佐賀市文化会館 中ホール
12:00～ 新世代懇親会：佐賀市文化会館 イベントホール

記念講演会
講師：五木 寛之 氏(小説家)



《お問い合わせ先》

地区大会事務局

〒840-0831 佐賀市松原1-2-3-5 佐賀商工会館 地下1階
電話 0952-28-6516 FAX 0952-22-7121

求む！恵比須さん情報

ガバナー事務所では、ガバナー月信の表紙に掲載する恵比須さんの情報を募集しております。あなたの身近なところにステキな“恵比須さん”がいらっしゃいませんか？ぜひ、ご紹介ください。

《応募方法》恵比須さんの写真と200字程度の紹介文(所在地を記入してください)を、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

国際ロータリー第2740地区のホームページを開設しました。是非ご覧下さい。

<http://www.d2740.jp/>



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？(第2話)	1
ガバナー補佐リレー随想	3
財団奨学・学友委員会研修会報告	4
クラブ奉仕部門研修セミナー報告	5
ガバナー公式訪問	7
第1回ロータリーの友委員会報告	14
新入会員紹介	15
寄付者紹介	16
会員数・出席報告	17
文庫通信	18
地区大会のご案内	裏表紙

^{えびす}
夫婦恵比須さん (場所：佐賀市材木1丁目2)

手に手つないで〜♪

2体の恵比須さんが1つの石に彫刻された、大変珍しい恵比須さんです。
1体(右側)は鯛を脇に抱え、もう1体(左側)は右手に魚籠(びく)を持ち、左手は隣(右側)の恵比須さんの右手にそっと手をかけられています。とっても仲睦まじい夫婦なのでしょう。

200年以上も前から、世の中の多くの夫婦の有様をみつめられてることでしょう。(牛津RC 山本康徳会員)





ガバナー連載シリーズ



ロータリーとは？

— 第2話 —

国際ロータリー第2740地区

2007-2008年度ガバナー

野口 清

今月はロータリーでよく使われる「超自我」について考えて見たいと思います。

書いてある字の如く、自分（自我）を超えると言う事でありましょうが、人間は神様ではないので自分を超えると言う事は不可能でしょ

う。自分を滅して他を助けることも不可能でしょう。

我を超えるとは何でしょうか？

超自我という言葉は精神分析の用語として使われる用語です。ちょっと難しいですが、その



国際協議会 全世界580地区ガバナーが一同に会して

定義を書いてみます。

「イド・自我と共に心を構成する3要素のひとつ。自我から分化発達し、社会的価値をとり入れ、あるべき行動基準によって自我を監視し、欲動に対して検閲的態度をとるもの。」

精神分析では人間の心はイド・自我・超自我の三つに分けます。

イド：心の奥底にある本能的エネルギーの源泉。快を求め、不快を避ける快楽原則に支配される。

自我：イドから発する衝動を、外界の現実や良心の統制に従わせるような働きをする。従って、これはその人その人によって違ってきます。性格、パーソナリティーと言われるものです。

ちょっと難しかったですか？

つまり、超自我とはその人のイド（快楽を求める欲望）が突き動かして、自我を通してその人が行った行動を、良かったことか、悪かった

ことかを、その人が生きている社会的価値基準に照らし合わせて判断するものということになります。これも難しいですね。

第1話でも書きましたが、人間は自分が一番可愛いものです。自分の幸せを求めるものです。ああしたいとか、こうしたいとか、欲望があります。（イド）。しかし、その欲望をそのまま実現すると、みんなに迷惑がかかるとか、社会的制裁を受けるとか、色々な条件を加味して、実現できる方法を考えます。（自我）。そうして行動を決定しているのが人間であります。

ここに、真実かどうか？ みんなに公平か？ 好意と友情を深めるか？ みんなのためになるかどうか？

4つのテストという社会的価値、あるべき行動基準によって自我を監視してこそ、ロータリーの言う超自我だと思うのであります。

すなわち、ロータリーは自己実現のための人生道場だと思うのであります。

ROTARY SHARES

ガバナー月信への投稿を7月20日迄と仰せつかり、記載は9月の予定とあります。

時に馴染んで何を書こうかと思い悩んでいると、丁度福岡市博物館で「国宝 鑑真和上展」が開催されています。

此の文章が皆様のお目にかかる頃は多くの人々が拝観を終えられ展覧会も終了していると思います。

鑑真和上は、我國に戒律を伝えられた中国の高僧です。和上の来日、その業績等については、讀本・新聞記事或いは映画「天平の甍」等々で皆さんも重々御存知の事であり、その内容には触れません。現在私はグループから離れていますが以前「鑑真和上顕彰会」として行った事を書いて見たいと思います。(顕彰会は現在も活躍中です)

和上一行は有明海を北上して佐賀県嘉瀬津に上陸されております。私達顕彰会では相集い和尚上陸の歴史を残そうと思い、人々に御浄財をお願いし、多くの賛同を得ました。

その浄財でもって上陸地点(現在の県立森林公園)に「和上坐像」と「遣唐使船模型モニュメント」を造りました。



左側：和上坐像 右側：モニュメント
中央：掠花樹

一方では和上来日迄の足跡を知ろうと周りの人々を誘い幾度となく和上修業の地、揚州を訪ねました。揚州の役所にも出向き、和上に縁が

ガバナー補佐 リレー随想



第2グループガバナー補佐
権藤 幸彦
(佐賀空港RC)

深い揚州の州花とされている「掠花」を頂き和上の霊を慰めようと碑の周りに植えました。その後挿木などで樹数を増し5月から6月にかけて清楚な花を見せてくれます。

その後、何か地域起しに寄与出来ないかと話が出、遣唐使船に因んで和上を偲ぶ「偲船」を造ろうとなり、これ又多くの賛同を得て12隻の遣唐使船を造りました。長崎の

ペーロン競争程ではないかも知れませんが、毎年1回和上を偲び1隻に16名程乗って手漕ぎ競争が行われています。

ロータリー会員の皆さん、機会があったら県立森林公園内の鑑真和上坐像とモニュメント、掠花を見て下さい。



遣唐使船競争状況

一閑和休題一

第1グループから、第10グループまでのうち、私共第2グループは、会員数に於て唯ひとつ200名を切るグループであります。

構成は佐賀市及びその周辺となっていますが少数ながら楽しいグループだと思っています。この楽しい雰囲気先輩土井補佐から受けましたので無事次期へバトンタッチを行いたいと思います。

ロータリーに対する見識とて無く、確固たる目標すら持ちませんが、ガバナーを補佐し会員の皆さんが少しでも楽しい想いをして頂ければと念じつつ補佐役を務めています。

財団奨学・学友委員会 研修会報告



地区財団奨学・学友委員会 委員長
澤山俊雄
(長崎出島RC)

7月22日11時より、ホテルニュー長崎にて野口ガバナー、福岡地区副幹事をはじめとした委員会メンバーによる今年度第一回委員会を、研修会に先立ち開催し、今年度の日程、実務作業などの確認を行いました。

続いて13時より17時まで、6月10日の選考会で選ばれた7名の奨学生候補者および顧問ロータリーアン、学友を交え総勢22名での第一回研修会を行い、冒頭ガバナー、委員長から挨拶と基本重要事項の説明を行った後に各委員から候補者へロータリーの基本用語、奨学生の制度について当面留意しなければならない点を説明しました。各候補者は、本研修会内容に基づいて諸手続きを行い、且つそれがRI財団管理本部に認められた後、晴れて正式な奨学生となれるわけですので、本人達はもとより顧問ロータリーアンの方も真剣そのものでした。

特に、この日のために特別に参加してくれた2名の学友の体験談および両名に対する質問は、実際に経験した先輩としての説明・対応だったため、有意義な時間になったと確信します。各奨学生候補者にとって、この第一回研修会がスタートで、最終ゴール（希望していた教育機関への留学）獲得までには、各候補者による更なる努力が不可欠なることを学んでくれたら研修会の意味があったと思います。

又、ガバナーからの熱い激励の言葉は各候補者の今後の行動の指針になったはずです。次回の日程としては、12月2日（日曜日）に第2回の委員会・研修会を行います。各候補者とも優秀なメンバーですので、健康面に今後は十分注意して、正式な奨学生になることを期待します。

最後に、紙面をお借りして前田中委員長の適切な引継ぎで本研修会を終了できたことに対し、厚く御礼申し上げます。



ROTARY SHARES

クラブ奉仕部門研修セミナー報告

地区クラブ奉仕統括委員長 金武 良弘 (佐賀南RC)
 地区ロータリー情報・広報委員長 堤 和之 (佐賀大和RC)

去る7月29日、佐賀市のマリトピアに於て本年度のクラブ奉仕部門研修セミナーを開催しました。当日の出席者は野口清ガバナーをはじめ、ガバナーエレクト、次期地区幹事、地区副幹事、第1～第9グループのガバナー補佐、それに各ロータリークラブの会長、クラブ奉仕委員長又は担当理事の方々と、又特別講師として西村栄時RI会員組織コーディネーター及び永富稔国際ロータリー2710地区パストガバナーを招聘した。

ごあいさつ

野口 清 ガバナー

7月の1ヶ月で17RCの公式訪問を無事に終えました。その間いろいろとお世話になりました。この場をお借りして感謝を申し上げます。米国でガバナー研修を受講した内容を、皆さんにお伝えしなければと考えています。ロータリーを楽しんでください。ロータリーはいいなあと思うことこそ会員増強ではないでしょうか。入会希望者が増えるロータリーにしたいものです。

金武良弘 地区クラブ奉仕統括委員長

きょうは参議院選挙の投票日でございます。当県では全国高等学校総合体育大会が昨日から開催されております。道路事情の悪いなかお集まりいただき深く感謝しております。ネクタイをはずしクールビズスタイルで、アンケート資料を参考にして活発な討論をお願いいたします。

特別講演

西田栄時PG (岩国西RC PG01～02)

永富 稔PG (下関東RC PG05～06)

100周年の歴史とロータリアン120万人を擁する組織に、私たちは身をおく喜びをかみしめたものです。RIは順当に発展してきたわけですが、日本の現状は目をおおうばかりです。最



高のときは13万人ものロータリアンがいたわけですが、昨年末は10万人を割るまでに悪化しています。ロータリー自身が以前のような輝きを失いました。

ロータリーに何が起きたのでしょうか？後継者不足や経営者の高齢化ばかりではない、もっと他に大きな問題があるように思われます。ロータリーに関心や愛情が薄くなり、自身を失いかけている、熱っぽいロータリアンが少ない、誇りあるロータリアンが少なく、パッチをつけていない、意識が低下しているように思います。

1ヶ月前、北海道苫小牧市のある会社が破産しました。その社長はあるクラブの会長経験者でした。私たちは倫理観や道徳観に基づき、ユーザーの身になってサービスするわけです。相手のため思いやりある職業奉仕が原点であります。地域の信用を勝ちとり、企業を発展させるには高い倫理観が求められます。

戦後からこんにちまで科学の進歩で社会は発展してきましたが、少数ですが善悪から損得へと道を過ったことが産業界の法令違反に続き新聞紙面を賑わし、国民の信頼を裏切るわけです。

職業奉仕は難しいです。しかし、本物の職業奉仕は光り輝きます。

組織が竹で編んだザルだとすれば、現在のロータリー組織は破れザルではないでしょうか。三年未満のロータリアンの退会者があまりにも多いのです。しっかりしたザルを作る努力が必要ではないでしょうか。

私からのお願いです。クラブ情報委員会が休眠してはいませんか？再開してほしいのです。機能をパワーアップしてください。クラブ研修リーダーを設置して、ロータリー精神を注入してください。P会長たちから、さらに学ぶようにしてください。ロータリーの良さを知らずに退会する人は、悪い風評を社会に広めます。ロータリーは二重三重のマイナスを受けることになるのです。

部門意見交換会

金武良弘統括委員長から総合的な現状報告があり、ついで飯盛康登会員増強委員長、助村房子前女性委員長、堤和之ロータリー情報・広報委員長、白石公太郎出席委員長らが問題を提起して参加クラブの会長・クラブ奉仕委員長の皆さんが、体験発表と意見交換を行い、午後5時にみのり多いセミナーを無事に終了いたしました。

駒井英基クラブ奉仕統括委員が総合司会を、山本康徳地区副幹事が会場設営を担当していただきました。感謝。



ガバナー公式訪問

鹿島ロータリークラブ

会長／幸尾 孝之 幹事／藤永 勝之

7月10日に、野口ガバナー、久原ガバナー補佐を迎えて、鹿島立ちということで地区最初の訪問を受けました。

まず、祐徳稲荷神社へ早朝より出かけ、会員である鍋島宮司と懇談されました。神社の最上階の広間で、野口ガバナーのスタートと一年間の無事を祈願していただきました。

会長・幹事・会長エレクトとの懇談会においては、クラブ運営について適切なご指導、又例会では、会員100%出席の中で“分かちあいの心”をわかりやすくご説明していただきました。当クラブも、昭和40年9月の創立以来42年目を迎え、楽しい例会、クラブ造りに努力しております。

今年度の活動テーマは、

- ①新会員に全員が声かけを
- ②例会では、会員が出来るだけ3分間スピーチに参加し、交流を広げる
- ③ロータリーを地域の中に発信して、ロータリーが地域の一員として認められるよう努力していく
- ④会員がよき指導者、献身的なロータリアンとなり得る新しい人をクラブに入会してもらおう

を掲げ、親睦委員会を中心に楽しいクラブ作りを目指したいと思っております。そして、ガバナーとロサンゼルス国際大会に一緒に行きましょう。



小城ロータリークラブ

会長／鮎川 好彦 幹事／池田 安正

7月11日に、野口清ガバナー、小山力生ガバナー補佐、大島隆地区副幹事をお迎えし、公式訪問が実施されました。

会長、幹事、会長エレクトとの懇談会から引き続きクラブ協議会に至る迄、適切な御指導を頂き緊張感も少なく和やかな雰囲気ですることができました。

中でも、クラブ幹事、SAA役務について詳しく説明していただき感謝致します。

当クラブは、1965年設立し、現在29名の会員、内名誉会員1名・女性会員2名であり近年、会員増強・退会防止には苦慮しているところであります。

今年度の地区方針をベースに親睦活動と社会奉仕活動の計画と実践に向かって会員全体が取り組むよう努力いたします。

【主要目標】

- *各部門における行事計画への積極的計画
- *会員増強・退会防止への積極的取り組み
- *同じ理想、目標を共存する他団体との交流
- *ロータリー財団への貢献

私どもロータリアンは、40年の歴史あるクラブに「品位と秩序」を保ちつつ「明るく楽しく愉快な」例会運営に務めて参ります。



ガバナー公式訪問

多久ロータリークラブ

会長/田久保 怜 幹事/相浦 封哉

7月12日(木)野口ガバナー・小山ガバナー補佐・木下地区副幹事で公式訪問において戴きました。

例会前の懇談会には、会長・副会長・幹事・副幹事の4名と、途中から飯盛地区会員増強委員長も参加し、多久クラブの継続的な行事及び活動、例会の運営とその雰囲気等お話をし、ご指導をお願いしました。

ガバナーからは、RIに対する不満は無いが、年度初めに作成しているクラブ概況並びに活動計画書が必要か、資源の無駄遣いではないか等お話をされ、お互い好感の持てる、有意義な会合であったと思います。

公式訪問でのお話は、ロータリーの役目・権利等ロータリアンが皆「はい、はい、はい」と言えるよう各自がクラブの支柱的存在であって欲しいことと共に、今年度の国際ロータリーのテーマ“ロータリーは分かちあいの心”について、現会員の維持と多くの会員の加入を促し、大いに“ロータリーを楽しもう”と強調されました。

協議会では、会長・幹事他各委員長から本年度の年間計画を発表し、特に会員の親睦と、地域社会に対する奉仕、地球温暖化防止の為に活動している使用済み割り箸の回収を継続し、例会時の箸もMy箸を使用することにしました。

【参考】2006～2007年度割り箸回収実績

重量1,077kg 179,560膳分(1膳6g) A4コピー用紙で59,833枚分

後日ガバナーから訪問に対するお礼と、当クラブに対しお褒めのハガキを戴き、尚一層頑張ってくださいと思っておりますので、ご指導宜しく御願ひ致します。

ご健康に留意され、益々のご活躍をお祈りし、御礼の言葉とします。



嬉野ロータリークラブ

会長/山口孝四郎 幹事/山口 保

7月早々の公式訪問のために時間がなく、それでも何とかクラブ現況活動計画書の作成を間に合わせ、当日緊張の中、山口会長、森副会長と共に玄関先で野口ガバナーをお迎えすることとした。先にお着きになった久原ガバナー補佐と雑談していると間もなく野口ガバナーと嬉野副幹事がお着きになると早速懇談会に入った。その後例会、クラブ協議会とスムーズに事が運ばれ午後3時すぎに無事公式訪問の行事が終了することができました。

一日を通して、バイタリティーに溢れる野口ガバナーのお話は大変感銘を受けることばかりでした。その中でも「推奨ロータリークラブ細則」については、「あくまでも見本としての細則であり、夫々のクラブの事情に合わせて独自の細則を定めていくべきである。」また、クラブ内管理として、審議系列(理事会)、執行系列(幹事)、審査系列(例会・総会)についての詳細なご説明などはまさに目から鱗が落ちる思いでした。

又、今年度の国際ロータリークラブのテーマである「ROTARY SHARES」についてお話を頂きました。

「分かち合うとは、人のために我を忘れて、自らを捧げることである。ロータリー会員の皆さんは、時間、才能、技術、お金、親切、思いやりなどいろんな分野で「超私の奉仕」を施すよう努力して下さい。」こんなすばらしい言葉で嬉野ロータリークラブの公式訪問を締めくくられ、JR電車、乗り合いバスを利用しながら嬉野の地を後にされました。



2007～2008年度 国際ロータリー 第2740地区 野口清ガバナー公式訪問



ガバナー公式訪問

雲仙ロータリークラブ

会長/廣瀬和一郎 幹事/宮田 隆

7月14日土曜日、今年最初にして最大の猛威をふるった台風四号が九州上陸をテレビ、ラジオが告げるその朝、野口ガバナーと木下副幹事は小雨驟雨、瞬間風速29Mを越える標高600Mの雲仙へおこし頂きました。当日は早朝七時JR佐賀駅から特急あかつき一諫早駅乗り継ぎの島鉄バスでご到着、あの笑顔で会場のホテルにお着きになり、開催を危ぶむ会員一同が安堵した瞬間でした。途中JR諫早駅手前では、突風でなぎ倒された大木が線路を覆い“あかつき”は急停車、障害物除去、安全点検で時間を要したものの一步間違えば大惨事になりかねない、ガバナーご自身の強運と“やれることはやる”との公共交通機関利用の意欲的な一面を拝察した次第でした。

さて野口清ガバナー、岩切正幸ガバナー補佐(島原RC)をお迎えしてのクラブ協議会は文字通り“ロータリーをたのしむ”和やかな雰囲気うちに終始しました。ガバナーの二年ぶりの雲仙ご訪問に知己も多く、特に今年度県下で最初のガバナー公式訪問地に選定頂き会員一同感激し、新たな結束力と今年も“やるぞ”の熱意に燃えました。

“対話と行動、そして楽しく”を今年の合言葉に、“雲仙の伝統と品格を引き継ぎ、来年の”雲仙ロータリー創立40周年”のプレ・イヤーとしてロータリーの原点を踏まえクラブ例会を充実し、地区大会へも積極的に参加します。会員の新たな希望と夢を語り誓いあった一日でした。この秋には名門雲仙ゴルフ場でのプレイをお約束しロータリーの発展と交流を誓い合い翌朝、バスで台風一過の雲仙路を下山されました。



佐賀大和ロータリークラブ

会長/吉田 政亮 幹事/於保 静枝



去る7月17日、野口清・第2740地区ガバナー、小山力生・第1グループガバナー補佐、田島広一地区副幹事を迎えてのガバナー公式訪問が行われました。例会に先立って午前11時から始まった会長・幹事との懇談会では、前もってクラブ現況及び活動計画書を提出しておりましたので、主に佐賀大和RCで抱えている問題点についての質問に対して、ガバナーとしての豊富な経験をもとに意見やアドバイスを頂きました。

その後、定刻12:30より例会が始まり、来訪者紹介等のプログラムに引き続き、約30分間にわたり野口ガバナーに卓話をお願いしました。プロジェクトを使って、国際ロータリーについてのお話や現状報告、また佐賀大和RCが活動するに於ける方向性を教えて頂きました。最後に、野口ガバナーより「ロータリーを楽しみましょう。主役はあなたです。何か一つ良い事をしましょう。」という地区方針などをユーモアを交えて話していただきました。

休憩後にクラブ協議会に入り、各四大奉仕委員長の活動方針発表後に小山ガバナー補佐より講評を頂き、クラブ協議会も無事終わりました。

我がクラブは、会員数24名の中に女性会員3名が在籍しており、その中の一人に今年度の幹事の役をお願いしています。平均年齢は56歳という若いクラブです。厳しい社会状況・経済状況の中ですが、今年度は、奉仕活動について今まで以上に力を入れて、知恵を分かちあい、活力を分かちあい、地元地域社会で汗を流し、事業や専門職務のリーダーの方々とはふれあい、ロータリーが核となって地域活動に貢献したいと思っております。

今年度のテーマ『ロータリーは分かちあいの心』の理念を堅実に引き継ぎ、地域性を活かして会員一丸となってロータリー活動を進めていきたいと思っております。



ガバナー公式訪問

佐賀南ロータリークラブ

会長/園田 嘉生 幹事/吉川 隆

2007年7月17日(火) R I 第2740地区ガバナー野口清様、第2グループガバナー補佐 権藤幸彦様、ガバナー事務所委員 川副幸一様、佐賀RC幹事 岸川正人様をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

野口清ガバナーは卓話をされてすぐ、「私は地区方針を『ロータリーを楽しもう』にしましたので、今日は楽しく会食しながら話しをしましょう」と提案され、乾杯をした後に和やかな雰囲気の中で始まりました。クラブ始まって以来の事ではないかと思えます。



野口清ガバナーは、会員が増えるためには親睦を深め、会員の皆様がロータリーを楽しみ、奉仕の喜びを体感しているところをロータリー以外の人たちに知っていただくのが最も重要だと話され、また国際ロータリーの役割、国際ロータリーの権限、規定審議会、クラブ内管理(理事会審議系統、執行系統、例会審議系統)、幹事の役割など有意義なお話をさせていただきました。これからの一年間、皆様にご指導をいただきながら「ロータリーを楽しもう」を実践していきたいと思っております。

白石ロータリークラブ

会長/岸川 享仙 幹事/片淵 正人

去る7月18日、野口ガバナー、久原ガバナー補佐、川副ガバナー事務所委員、佐賀クラブより寺島君をお迎えし、白石ロータリークラブ公式訪問例会を開催いたしました。

開口一番、「まず会員増強やね」の言葉を頂き、ズバリと我がクラブの問題を指摘頂きました。私たちもその事は感じていましたので「やはり！」言う感じでした。白石に勤務して居られた事がお有りだと聞いてとても親近感がわきました。早速、電話でお知り合いの方へ協力依頼をして頂き大変心強く、会員増強の自信が持てました。

卓話の時間にはアメリカのサンジェゴでの国際協議会のお話の中でSAA権限の事は、ロータリーの厳粛さを感じました、我がクラブでも、愉しさの中にも厳粛であることを学ばねばならないと思えます。

野口ガバナーは「ROTARY SHARES」を「ロータリーを楽しもう」と解釈されております。私も同感でございましたので週報用紙のタイトルを「ロータリーを楽しもう」といたしました。これからもこの趣旨に沿いながらロータリーを楽しんでいきたいと思えます。

最後になりましたが、公式訪問が和やかな中で終了出来ましたことに会員一同感謝申し上げます。

新体制になって3週目で準備も不十分でありましたが、ロータリーのお心でお許しください。

早速のお礼状を頂きましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。



ガバナー公式訪問

太良ロータリークラブ 会長/川島 力男 幹事/秀島 寛

ガバナーの手土産の切り口ではじまった今回の公式訪問は、7月19日(木)太良ロータリークラブ会館での開催でした。

会員増強の話題の中で予期せぬ新入会員候補者の名前を挙げられ、また確約の太鼓判付きを戴けた事にメンバー一同深い感銘を受けました。

少人数であることを懸念することなく、ロータリーの原点は此処に在りと励まされ9名全員の氏名まで記憶して戴けたと認識しております。

アフターロータリーでは帰路の電車の時間調整の間に更に親睦を深めさせて頂き、きたる秋の地区大会には当クラブ全員揃って野口清ガバナーと再会出来ることを目標とし楽しみにしております。



牛津ロータリークラブ 会長/江口 武 幹事/江本志寿雄

牛津ロータリークラブのガバナーの公式訪問は7月20日の金曜日、今だ梅雨の明けない蒸し暑い雨の中公式訪問が難うございました。

牛津ロータリークラブは創立30周年の記念式典も終わり、いつもどおりの牛津ロータリークラブとして動き始めました。

RIのテーマ及び野口ガバナーの活動方針が、我が牛津ロータリークラブの歴代の会長、諸先輩達が永年培ってきたスローガンの親睦と奉仕と合い通じる所であり、8月の親睦家族旅行、12月のクリスマス会、婦人の集い、それに三地区のゴルフ大会、四地区の親睦会等を通じてクラブ内外との親睦に務めてまいりたいと思いますし、我がクラブで6月末日で退会者が3名あり今後新入会員の勧誘をしていく上において親睦を大事にして新入会員の増員に頑張っていきたいと思っています。

奉仕活動においても、仏舎利等の除草作業、今年始まるアイルへの通じる測道に30周年記念事業として植樹を実施したところの除草作業及び花の苗の植栽等を行うとともに、他にも我がクラブで出来る範囲内で会員全員で継続できる奉仕活動を実施したいと思っています。

我が牛津ロータリークラブは親睦と奉仕の精神を受継いで行きたいと思っています。



ガバナー公式訪問

武雄ロータリークラブ

会長/富永 正嗣 幹事/樋渡 千春

7月23日、野口清ガバナー、久原ガバナー補佐、福岡副幹事をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。

情というのは、知識の温度を変え、知というのは、情報の明度を変える……まさに野口ガバナーの来訪は、その世界でありました。

くしくも、当日新入会員の入会がありまして、野口ガバナーより、ロータリーのバッチをつけて頂きました。これも名誉なことで、めったにあるものではないと、感激しています。「ロータリーを楽しもう」というテーマが、会員に伝わってゆく風を感じ、又久原ガバナー補佐の、にこやかな笑顔が印象的な公式訪問でした。懇談会等のご指導、本当にありがとうございました。



有田ロータリークラブ

会長/南 茂 幹事/福田 羊子

7月24日(火) 2007-2008年度第2740地区ガバナー野口清君の公式訪問を開催するにあたり、野口清ガバナーにおかれましては、大変お忙しい中貴重な時間を頂き誠にありがとうございました。お蔭様で滞りなく終了させることが出来ましたことに先ずもって厚くお礼申し上げます。

又当日は、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会でご指導を賜り有り難く感謝しております。加えて、有田ロータリークラブが誇る地元出身の日本人として最初のロータリアン福島喜三次氏の顕彰碑に参拝し、記念撮影をして頂き感慨深いものがありました。又ガバナーをお迎えしての歓迎会、その後の野口ガバナーとの佐世保での二次会は大変盛り上がりました。野口ガバナーの今年度の地区の強調事項の中に「ロータリーを楽しもう」とあります。正に楽しく過ごさせて頂きました。お疲れ様でした。

後日耳にしたところによりますと、有田ロータリークラブも発足以来47年目を迎えますが、今までこうして直接ガバナーと接し、二次会まで過ごしたことがないと知り大変未曾有なる事で、私も感動しています。

どうぞ野口ガバナーにおかれましては、今後体調には十分気を付けて頂き、益々のご活躍を祈念し、有田ロータリークラブ会員一同お礼申し上げます。



ガバナー公式訪問

佐賀空港ロータリークラブ 会長/栗田 博昭 幹事/小林 孝治

7月25日野口ガバナーはじめ、権藤ガバナー補佐、木下副幹事、岸川君（佐賀RC）をお迎えし、和やかな雰囲気の中で例会が進められました。3役懇談会においては当初、野口ガバナーより佐賀空港RCの現況について質問をされ、まとまりのあるクラブであると感心されていました。また、ロータリークラブの運営については親切かつ分かりやすく説明をして頂き、今後の運営について大変参考になりました。

当クラブでは食事を最初に摂りますが、ガバナーが一番に食事を終わられ、いつも一番である権藤ガバナー補佐が少しばかり驚かれていたようです。ガバナーの卓話ではガバナーの役目や国際ロータリーについてわかりやすく、また、国際協議会での研修のようすを、身振り手振りで軽快に話をされました。

当クラブは今年10周年を迎えます。現在会員数17名の少数ですが、記念式典に向け、全員一丸となり準備を進めています。また、恒例の全国空港ロータリーフォーラムが11月に、広島ロータリークラブの主催で開催されます。全員出席を目標にし、他のクラブとの親睦を深め、ガバナーの方針である「ロータリーを楽しもう」を実現したいと思います。最後になりますが、集合写真の背景にある手書きの看板を、記念にお持ち帰り頂きありがとうございます。



佐賀北ロータリークラブ 会長/武富 邦博 幹事/池田 和雄

7月25日（水）野口清ガバナー、権藤幸彦ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会が開催されました。

当クラブは、今年で38年を迎え、現在、会員数40名で活動しています。

例会では、最初にバナーの交換をし、その後野口ガバナーより国際ロータリーの歴史、役割、権限など、スクリーンを使い分かりやすくお話され大変勉強になりました。ガバナーを囲んでの会食は、お酒も入りクラブ会員も楽しく歓談でき親睦を深めることが出来たと思います。

今年度の会長方針でもあります「楽しい例会づくり、退会防止、新会員獲得、出席率の向上、職業奉仕・社会奉仕・新世代委員会の合同事業」を基本方針として、ロータリー活動を大いに楽しみ、親睦を深め有意義なロータリーとなる様、頑張りたいと思います。



2007～2008年度 国際ロータリー第2740地区 野口 清ガバナー公式訪問例会 佐賀北ロータリークラブ 2007年7月25日



本年度“ロータリーの友”について

第1回ロータリーの友委員会報告



ロータリーの友 地区委員
 嬉野 勝利
 (佐賀RC)

2007年7月7日、品川グランドプリンスホテル高輪にてガバナー会、ロータリーの友委員会による合同会議が開催されました。

地区委員としては、ガバナーと意思疎通を図り、編集を建設的に進める。地区内各クラブに対して友誌作成編集にともなう、利用促進と広報活動を進める。

【参加者】

RI理事および神崎委員長、各地区委員総勢44名。

委員としては、毎月の友誌についての感想及び報告、の作業が科せられています。

各クラブの例会にて友誌の内容紹介を行い、100%会員への購読の促進、ガバナー公式訪問例会に同行し友誌の紹介をすること。

【会議内容】

- 1. 神崎委員長のあいさつ
- 2. ロータリーの友誌購読状況について
 本行所長
- 3. “友”ホームページ及び地区便りについて
 二神編集長
- 4. 地区委員自己紹介
 各地区委員
- 5. まとめ、閉会

本年度ガバナーテーマに伴い、地区より友誌への各種原稿を募集、投稿すること。

以上の事を同日3時間余にわたりレクチャーを受講しました。友誌委員としての心構えを新たに2007-2008年度国際ロータリー2740地区野口ガバナーの方針とともにがんばりたいと存じます。何卒、ロータリーの友の購読及び原稿作成、情報の寄稿を宜しくお願いします。

ロータリーの友購読は、日本のロータリアンにとって活動の根幹を成すものであり、なおかつロータリアンの公開討論の場でもあります。

ロータリー章典に定められている“ロータリー地域誌”はロータリーのあらゆる面にわたりロータリーの綱領を推進するために存在する、この基本方針で編集方針を定められています。また、ロータリーの友委員会はロータリー地域雑誌発行の不可欠な条件の一つとして設けられている委員会です。

ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀 R C
草刈 伸之 君



佐賀 R C
幸崎 正俊 君



佐賀 R C
高尾 正明 君



佐賀 R C
砥綿 正徳 君



佐賀 R C
福田 真也 君



佐賀空港 R C
荒谷 義照 君



有田 R C
金武 康男 君



武雄 R C
坂井 秀明 君



唐津 R C
木下 修一 君



唐津西 R C
村島 正康 君



佐世保西 R C
望月 太一 君



佐世保南 R C
田添 孝佳 君



佐世保南 R C
古賀 善剛 君



佐世保南 R C
増山 努 君



佐世保南 R C
池田 友己 君



佐世保南 R C
新福 春男 君



佐世保北 R C
柴田 隆司 君



佐世保北 R C
宮崎 博史 君



佐世保中央 R C
本田 実 君



島原 R C
中島 博行 君

ROTARY SHARES



島原RC
荒木 恭子 君



島原RC
高木 宏敏 君



諫早RC
一瀬 勝範 君



諫早RC
野中 実 君



諫早西RC
吉田 知之 君



長崎RC
小松 雄介 君



長崎RC
水野 正幸 君



長崎北RC
荒神 徹 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	池 田 和 雄	佐賀北RC
	野 口 清	佐賀RC
マルチプル・P・H・F	松 下 隆 義	唐津中央RC
	大 神 邦 明	佐世保RC
	川 添 忠 彦	佐世保南RC
	川 口 睦 郎	佐世保南RC
	中 村 文 昭	佐世保南RC
	南 野 健	大村北RC
米山功労者	野 口 清	佐賀RC
	蒲 原 健 次	有田RC
	森 田 常 正	鹿島RC
	松 永 忠 義	雲仙RC
	島 信 行	大村東RC
米山功労者 (マルチプル)	大 神 邦 明	佐世保RC
	前 田 一 彦	佐世保南RC
	川 口 睦 郎	佐世保南RC
	中 村 文 昭	佐世保南RC
米山功労者 (メジャードナー)	松 尾 雄次郎	唐津RC
	岩 崎 邦 臣	佐世保西RC

ROTARY SHARES

2007年7月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	83.13	65	0	68	0	3	5	2
	小城	4	89.65	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	4	91.74	33	0	30	0	-3	0	3
	多久	4	90.00	41	3	40	3	-1	0	1
	佐賀大和	4	84.37	24	3	24	3	0	0	0
	小計		87.19	191	8	190	8	-1	5	6
第2グループ	佐賀西	4	80.10	48	0	49	0	1	1	0
	佐賀北	4	86.47	40	3	40	3	0	0	0
	佐賀南	4	80.23	44	2	44	2	0	0	0
	神埼	4	70.00	31	0	31	0	0	0	0
	佐賀空港	4	67.65	16	1	17	1	1	1	0
	小計		76.89	179	6	181	6	2	2	0
第3グループ	有田	5	84.22	37	3	38	3	1	1	0
	武雄	4	87.36	55	0	56	0	1	1	0
	鹿島	4	93.36	40	2	39	2	-1	0	1
	嬉野	4	91.66	24	1	24	1	0	0	0
	大町	4	74.04	26	0	26	0	0	0	0
	白石	4	70.31	16	0	16	0	0	0	0
	太良	4	83.34	9	1	9	1	0	0	0
	小計		83.47	207	7	208	7	1	2	1
第4グループ	唐津	5	90.85	51	0	52	0	1	1	0
	伊万里	4	95.59	32	0	34	0	2	2	0
	唐津東	4	92.11	47	0	47	0	0	0	0
	唐津西	4	87.82	37	0	38	0	1	1	0
	伊万里西	4	88.13	44	0	48	0	4	4	0
	唐津中央	4	90.13	38	4	38	4	0	0	0
	小計		90.77	249	4	257	4	8	8	0
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	79	0	-1	0
平戸		3	87.39	41	0	40	0	-1	0	1
佐世保西		5	93.90	26	0	27	0	1	1	0
北松浦		4	89.00	22	0	22	0	0	0	0
松浦		4	93.55	30	1	31	1	1	1	0
小計			92.76	199	1	199	1	0	2	2
第6グループ	佐世保南	4	100.0	75	0	80	0	5	5	0
	佐世保東	4	76.85	29	0	29	0	0	0	0
	佐世保北	4	100.0	45	0	47	0	2	2	0
	佐世保中央	4	98.13	39	0	40	0	1	1	0
	佐世保東南	4	79.14	24	0	23	0	-1	0	1
	HTB佐世保	5	83.91	28	4	28	4	0	0	0
小計		89.67	240	4	247	4	7	8	1	
第7グループ	大村	5	93.97	51	3	51	3	0	0	0
	島原	5	89.20	34	3	36	4	2	3	1
	雲仙	4	93.90	28	0	28	0	0	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0	0	0
	島原南	4	64.00	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	4	84.42	47	1	46	1	-1	0	1
小計		87.58	213	8	214	9	1	3	2	
第8グループ	諫早	4	93.01	60	0	62	0	2	2	0
	諫早北	4	84.31	61	0	61	0	0	0	0
	諫早西	4	92.96	44	0	45	0	1	1	0
	諫早多良見	5	93.15	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	4	82.90	29	4	29	4	0	0	0
	小計		89.27	232	4	235	4	3	3	0
第9グループ	長崎	4	85.35	94	0	95	0	1	2	1
	福江	4	88.26	39	0	39	0	0	0	0
	長崎北東	4	88.73	55	6	55	6	0	0	0
	福江中央	5	96.57	35	1	35	1	0	0	0
	長崎西	4	72.00	70	0	67	0	-3	0	3
	長崎琴海	4	71.59	22	3	22	3	0	0	0
	小計		83.75	315	10	313	10	-2	2	4
	長崎北	4	77.36	68	0	68	0	0	1	1
第10グループ	長崎南	4	85.77	84	0	84	0	0	0	0
	長崎東	4	98.25	57	0	57	0	0	0	0
	東長崎	4	81.04	30	0	30	0	0	0	0
	長崎中央	4	93.87	56	0	56	0	0	0	0
	長崎出島	4	75.00	57	12	57	12	0	0	0
	小計		85.22	352	12	352	12	0	1	1
合計		86.71	2,377	64	2,396	65	19	36	17	

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

文庫通信

239号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの課題

- ◎「パネルディスカッション クラブ活性化」 上條 優雄 (コーディネーター)
2007 9p (D.2790 地区大会)
- ◎「ロータリーと私」 佐原 元 2007 8p (D.2800 地区大会)
- ◎「時間に愛を込め、仕事に愛を込めることを」 深川 純一 2006 10p (D.2580 地区大会)
- ◎「社会奉仕について」 野崎 元治 2006 11p (D.2740 地区協議会)
- ◎「CLPの一考察」 成川 守彦 2007 10p (D.2640 月信)
- ◎「CLP研修委員会の報告」 三木 靖 2007 2p (D.2730 月信)
- ◎「参考!! CLPアンケート」 2007 2p (D.2830 月信)
- ◎「危機管理委員会設置の目的、経緯・内容」 落合 雅雄 2007 5p (D.2550 月信)
- ◎「危機管理委員会設置の目的、経緯及び内容等について」 本山 新三 2007 4p (D.2680 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

- ◎「ロータリーとは?—ロータリアンであることの意義」 成川 守彦 宇都宮北R.C. 2007 4p
[申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】

求めよう!

◎クラブ行事報告

ガバナー月信でクラブの活動を紹介します。

《応募方法》500字以内(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

えびす

◎恵比須さん情報

ガバナー事務所では、ガバナー月信の表紙に掲載する恵比須さんの情報を募集しております。あなたの身近なところにステキな“恵比須さん”がいらっしゃいませんか?ぜひ、ご紹介ください。

《応募方法》恵比須さんの写真と200字程度の紹介文(所在地を記入してください)を、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



RI第2740地区2007～2008年度地区大会のご案内 ロータリーを楽しもう!

2007年10月27日(土)・11月16日(金)～18日(日)

記念懇親ゴルフ・囲碁・将棋・麻雀大会

10月27日(土) 大和不動カントリー倶楽部
ホテル龍登園



大和不動カントリー倶楽部

The New Otani
ホテルニューオータニ佐賀



RI会長代理歓迎晩餐会

11月16日(金) 17:30～19:00
ホテルニューオータニ佐賀

大会1日目

11月17日(土) 10:00～20:00

- 10:00～12:00 **会長幹事会**
(佐賀市文化会館 大会議室)
- 11:00～12:00 **各種委員会**
(佐賀市文化会館 小会議室)
- 12:30～ **登録受付**
- 13:30～17:30 **本会議**
(佐賀市文化会館 大ホール)
- 講演／五木寛之氏**
- 18:30～20:00 **記念懇親会**
(ホテルニューオータニ佐賀)

レディースプログラム

佐賀城址・旅館あけぼの
10:00～12:30

佐賀城本丸歴史館

佐賀城本丸御殿の一部を忠実に復元した「佐賀城本丸歴史館」が佐賀城跡に建てられています。当館は、日本で初めて本丸御殿を復元しており、木造復元建物としては日本最大規模の2,500平方メートルを誇ります。館内では、時代を先導した「幕末・維新期の佐賀」をテーマに佐賀城の復元や幕末・維新期を先導した佐賀藩の科学技術、佐賀が輩出した偉人について分かりやすく紹介しています。



いつき ひろゆき
五木 寛之氏 (小説家)

1932年、福岡県に生まれる。戦後北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞受賞。『青春の門』で吉川英治文学賞を受ける。代表作は『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『運如』『大河の一滴』『21世紀仏教への旅』。現在直木賞、泉鏡花文学賞、吉川英治文学賞その他数多くの選考委員をつとめる。

大会2日目

11月18日(日) 8:30～13:30

- 8:30～ **登録受付**
- 9:00～10:30 **本会議**
(佐賀市文化会館 中ホール)
- 10:45～12:15 **特別企画 ロータリー寄席**
(佐賀市文化会館 中ホール)
- 9:30～10:30 **新世代の集い**
(佐賀市文化会館 イベントホール)
- 12:30～13:30 **新世代懇親会**
(佐賀市文化会館 イベントホール)
- 12:30～13:30 **地区内女性会員の集い**
(会館内レストラン「季楽」)

ロータリー寄席

寄席の前座として、ロータリアンによる大喜利大会を実施。その後プロの落語家による独演会を実施し、一般来場者にも楽しんで頂きます。



注) 上記プログラムに関しましては2007年8月現在の予定でございます。変更の可能性もございます。その場合はご了承下さい。



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信
クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



えびす
新天町の恵比須さん (所在地：伊万里市新天町えびす通り)

新天町の恵比須さんは、明和9年(1772年)1月9日建立で、伊万里市内では一番古い恵比須さんです。市民からも大変親しまれ、毎年2月10日には、新天町商工振興会が主催で「えびす祭り」が行なわれ、伊万里市内外から多くの人たちがおみえになり、大にぎわいです。

(伊万里RC 白川十郎会員)

CONTENTS

ロータリーとは？(第3話)	1
ガバナー補佐リレー随想	3
ガバナーエレクト事務所開設のご案内	4
インターアクト年次大会報告	5
国際青少年交換学生第1回オリエンテーション報告 ..	7
ガバナー公式訪問	9
新入会員紹介	17
寄付者紹介	18
会員数・出席報告	19
文庫通信	20
地区大会のご案内	裏表紙



ROTARY SHARES



国際協議会 「リラックス体操」の1コマ

標準ロータリークラブ定款

今月はちょっと難しく、面白くなく、退屈な話になるかも知れません。私自身が良く理解していないのでわかりやすく伝えることが出来るかどうか自信がありません。

ロータリーはポール・ハリスが創始者であることはロータリアンなら誰でも知っておられることでしょう。このポール・ハリスがロータリーに果たした重要な役割は、優秀な、すばらしいロータリーの思想、理念を開発したことにあると思います。現在までポールの他にもこのような思想、理念を開発してきた人はたくさんいます。このようなすばらしい理念のもとにはたくさんの方が集まってきて、組織（クラブ、地区、国際ロータリー）が作られることになりました。そのような組織が出来ると、それを管理、運営方法を開発しなければならなくなります。

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第3話 —



国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー
野口 清

ROTARY SHARES



MULLER
NATHAN U. CARMACK



リラックス体操のコーチ



このようにロータリーには次の2つの重要な要素があると思います。つまり、

1. すばらしい思想、理念の開発
2. 組織を管理運営する方法の開発

組織の管理運営の開発に努力したのが Chesley R. Perry という人でした。彼は1922年に現在の様なクラブ単位のロータリーの組織管理原則を作り上げることに成功しました。それが定款細則論といわれるものです。これは同じ理念のもとに集まる人たちを共通に管理する合理的な原則であります。

ロータリークラブは、本来は自治団体でありますから、クラブ内部のことは自由に決めることができますが、すべてのクラブがロータリー

クラブと言えるための共通要素、即ちロータリークラブの中核部分だけは、全世界のロータリークラブが共通に持とうという考え方で出来上がったのが標準ロータリークラブ定款でありました。

そして、この標準ロータリークラブ定款を国際ロータリーが預かり、その違反に対してだけは国際ロータリー細則第3条3項によってクラブを懲戒することが出来ることになっています。

ですから、標準ロータリークラブ定款さえ守っていれば、後のことはご自由にどうぞというのがロータリーの立場です。

この標準ロータリークラブ定款を修正することは出来ませんが、定款改正の提案を行って国際大会の決議を経れば可能なのであります。

提案権はあるということになります。

ROTARY SHARES



ガバナー補佐 リレー随想

「第一歩の親睦は居酒屋」



第3グループガバナー補佐
久原康正
(白石RC)

国際ロータリー加盟認証状伝達式典も、予想以上の登録友情参加者も多く各クラブ会員の皆様が盛大に祝福して戴き、新クラブとして順調な発足ができ、会員一同は安堵と満足感はあるものの週一回の例会出席にも自己の時間調整や例会曜日の不慣れで困った事や幹事報告を色々聞いても皆目知らない事が多く自問自答の繰り返しに、夜九時頃突如、幹事殿より「唯今から炉辺会議を催すから例の居酒屋へ集合」の電話を受け半信半疑の気持ちで出掛けてみると、すでに会長・幹事・会計の諸先輩各位に迎えられ、先ずは「駆けつけ3杯」の杯を回された時に式典で手足となって働いた若手数数名も来店し、私同様に格式の駆けつけ3杯の祝杯をしてもらい、間を置いて徐に幹事殿より炉辺会議の目的は親睦と融和を図る為の集いで、ロータリーの絆で結ばれた同志として「自他ともに存在価値」を知ることが第一歩の親睦が始まると思う、今夜はゆっくりと酒を酌み交わし、ともに語り合い、労苦の気分転換に声高らかにカラオケでも歌い、楽しい夜の会議を盛大に踏み出そうから始まり、終わりは色香の四方や話もつきて午前様の帰宅で、誰でも起床が大変だった事が例会で話題に上り、その後は月一回、公平な割勘制の居酒屋炉辺会議が開かれ回数を重ねる度に夜の参加会員数も多くなり、自然とロータリーに就いても解らない問題点にも酒を酌み交わしながら色々対話が盛り上がり議論に講じる者や、カラオケで得意の演歌を唸る者で楽しい炉辺会議が軌道にのり、年齢は問わず会員も生業と夜との時間調整が上手とみえ月二回位誰とは言わず水曜日の夜は自ずと居酒屋へ集まり有意義な時を楽しみながら過ごすように成った事が、昼の例会にも活気を帯び質疑応答も出るようになり、経済情勢にも会員同志の会話も弾み、楽しい例会を醸し出したのも炉辺会議の集いの成果も一因であったと今も信じている。

更に一年後は「サツキ会」の名称で月一回の会員夫人達による夜の集いの会が結成され、炉辺会議や例会での楽しさが家庭で囁かれたのか教唆されたのか、楽しみは、ともに分かち合おう事が如何に大切か、その因果関係の作用に驚嘆した事を二十余年ぶりの思い出として記述させて頂きました。

国際ロータリー第2740地区

ガバナーエレクト事務所開設のご案内

第2740地区ガバナーエレクト事務所を下記により開設いたしますので、ご案内申し上げます。つきましては、向後何かとご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(記)

開設日／2007年7月2日(月)

所在地／〒857-0052 佐世保市松浦町5-13 グリーンビル205号室

T E L : 0956-56-3122

F A X : 0956-56-3086

E-mail : ri2740@coda.ocn.ne.jp

執務時間／2007年9月まで 平日10:00～15:00(土・日・祝日は休日)

2007年10月より 平日 9:00～17:00(土・日・祝日は休日)

尚、事務所は2008年7月1日よりガバナー事務所となります。

次年度の主な会議スケジュールは以下のとおりです。

	開催日
地区研修セミナー	2008年2月16日(土)
会長エレクト研修セミナー	2008年2月24日(日)
地区協議会	2008年4月19日(土)
地区大会	2008年11月14日(金)～16日(日)

ROTARY SHARES

インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員長 田中丸 治 樹
(伊万里RC)



平成19年8月4日(土)、5日(日)長崎市の「矢太桜」で「2007-2008年度インターアクト年次大会」が活水中学高等学校をホスト校に開催されました。

長崎市長、ホスト校校長を来賓に迎え、インターアクター159名、顧問教諭25名、ロータリアン115名、来賓17名、計316名の参加でした。

今大会のテーマ「踏み出そう平和への一歩～若い力で明日を創る～」のもと平和について多くの事を学んだ大会でした。

今大会では、「音楽を通して平和について伝えたい」とのホスト校提唱長崎出島ロータリークラブ殿村会長、草野実行委員長の言葉通り音楽で感動を頂いた大会となりました。

「平和の歌」歌詞コンクール最優秀賞の長崎女子高校IAC1年 林田安澄さんの「この世

界を笑顔に」に活水中学高等学校の小土井彩華さんの作曲、草野実行委員長の編曲で曲が披露され参加者に感動を与えました。

分科会では、クラブ運営部会で原爆、非核、戦争、紛争、地雷、クラスター爆弾、高校生1万人署名活動と多くの事項について討議が行われ、平和についての理解を深めました。



開会式



君が代・インターアクトの歌斉唱

社会奉仕部会では環境問題対策について各校の取り組み報告、「平和とは何か」を考え班毎にまとめて発表、「平和」に対して私たちが出来ることを討議しました。

国際理解部会では、テーマ「分かち合い」をパズルで言葉やジェスチャー、合図を使う事無く正方形を作る作業を通して、コミュニケーションと分かち合う心の大切さを学びました。

記念講演一人目は、永井隆博士の次女、筒井茅乃様の「父を語る」で永井博士の生い立ちから被爆後の生活、人柄を語っていただきました。

続いて記念講演二人目の、世界平和アピール7人委員会の土山秀夫様が「平和について」を、分かりやすい言葉で、人権、自由、差別などについてお話しいただきました。

高校生1万人署名活動報告では、活水中学高等学校平和学習部での活動をスライドを使い、長崎市内だけでなく、長崎県内での活動で74,653人分署名が集まったことが報告されました。

記念演奏でピアニストの横山幸雄様の演奏(ショパン4曲)をいただきました。力強いプロの演奏に会場は、魅了されたひと時でした。

最後に、「平和の歌」歌詞コンクール最優秀賞の「この世界を笑顔に」をインターアクター全員で合唱して再びの感動で年次大会を閉めくりました。

大会を通して「平和への一歩」を踏み出すきっかけができた年次大会でした。



クラブ運営部会



社会奉仕部会



国際理解部会

ホスト校/活水中学高等学校 I A C 提唱:長崎出島 R C

コ・ホスト/長崎女子高校 I A C 提唱:長崎 R C

長崎女子商業高校 I A C 提唱:長崎南 R C

海星学園 I A C 提唱:長崎西 R C

大会関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

*詳しくは R I 2740 地区 インターアクト ホームページ をご覧下さい → <http://iac.no-blog.jp/>

ROTARY SHARES

国際青少年交換学生 第1回オリエンテーション報告

地区国際青少年交換委員長
瀬戸口 智彦
(長崎南RC)



【日時】平成19年8月17日～18日

【会場】ウェルサンピア伊万里

【参加者】33名

1. 来日学生 5名

Timothee Helmstter (ティモテ)	フランス (佐賀)	致遠館高等学校
Robert Sverre (ロバート)	ノルウェー (佐世保南)	聖和学院高等学校
Jeremmy Lawrence (ジェレミー)	コネチカット (諫早北)	鎮西学院高等学校
Alex Frackenhohl (アレックス)	ニューヨーク (長崎南)	南山高等学校
Samantha Downes-borowski (サム)	セントポール (長崎)	長崎南高等学校

2. 帰国学生

3. クラブ関係者

4. ホストファミリー

5. ガバナー事務所 副幹事

6. 地区委員

7. ガバナー事務所交換学生専任



【日程】第1日目 (8月17日)

13:30～14:00 登録・受付

14:00～15:00 全体会議

国際青少年交換委員長挨拶
国際青少年交換委員会の紹介
オリエンテーションの説明
記念撮影

15:30～16:30 ブロック会議 夫々の問題点を討議

来日学生

帰国学生 スライドプレゼンテーション

ホストファミリー・カウンセラーの注意事項

16:30～18:00 全体会議

《ブロック会議の報告後》

来日学生の日本での生活へ期待と不安

- 帰国学生の外国滞在中の感想／思い出
 ホストファミリー・カウンセラーの対応について
- 19:00～21:00 歓迎パーティー
- 国際青少年交換委員長挨拶
 来日学生自己紹介
 帰国学生の外国滞在中の感想／思い出
 家族とクラブ関係者の感想

第2日目 (8月18日)

- 6:30～ 起床
- 7:30～ 8:30 朝食
- 9:00～12:00 県立九州陶磁文化館見学
 (日本美術の真髄に触れましたし、からくり時計にも皆感激)
- 12:30～13:00 昼食
- 13:00～15:00 ブロック研修
 (帰国学生による来日学生への日本語授業に来日早々ながら巧みに対応)
- 15:00～16:00 オリエンテーション 閉会式
- ①地区委員長の講評
 - ②地区副幹事挨拶
 - ③閉会の辞



今回の第1回のオリエンテーションは派遣学生の推薦がまにあわず派遣学生の参加がありませんでしたが、来日学生の元気な真面目な様子さらに帰国学生 (Rotex) の皆さんが積極的に参加協力してオリエンテーションを盛り上げてくれたことに非常に感謝します。

ガバナー公式訪問

唐津東ロータリークラブ

会長／岩崎眞二郎

幹事／平野 峻策

去る7月26日（木）唐津のクラブのトップを切って野口ガバナー公式訪問がありました。

野口ガバナーは地球温暖化の問題をかんがみ、全てのクラブに訪問する時は、公共交通機関を利用してあります、との事でした。

全クラブを公共交通機関を利用して訪問されるのも大変であるが、地球温暖化の問題に率先して関わっておられる事に敬意を評させていただきます。我々のクラブに於きましても、この地球温暖化の問題には色々な方向から取り組ませて頂くつもりです。

我々のクラブの訪問は13番目だとの事でしたが、懇談会、例会、クラブ協議会を通じてお疲れの様子もなく、テキパキと整然とこなされていき、なかでも懇談会の場においては、詳しく色々な問題に（我々からの質問）もお答え頂いた事には感謝しています。

まだまだ暑い日が続くなか、まだ多くのクラブ訪問がある事でしょうが、体調に気を付けられて無事全クラブ訪問が終了し2740地区の益々の発展を祈念いたします。



福江ロータリークラブ

会長／橋本 雅男

幹事／中山 勝義

7月27日、野口ガバナー公式訪問を受けた。

新しいロータリー期を迎えたばかりの我がクラブで少々不安もあり準備も不十分だったように思えた。

そして、当日は岩永ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会も行われたのでお迎えするまでは不安と緊張でいっぱいだった。

例会前に、ガバナー、二人の副幹事とガバナー補佐との懇談会では、「貴クラブの良いところを教えてください。」との質問に今まで考えてきたことが無かったことだけに少しとまどいを感じたことが心に残った。

例会時に、パワーポイントを使いガバナーから今期の地区運営方針の説明とアメリカで行われたガバナー研修会の様子など詳しく卓話があった。

通常の公式訪問だったら、これで終わりとなるところだが、五島という場所のため、1泊とのこと、福江中央クラブとの合同懇親会を行った。

この場が、ガバナーと膝を交え話ができて今まで遠い存在であったガバナーが身近に感じられた最高の時となった。

本当にありがとうございました。



2007~2008年度 国際ロータリー 第2740地区

野口 清 ガバナー公式訪問



ガバナー公式訪問

福江中央ロータリークラブ

会長/堺 未喜 幹事/山本 稔

緊張と不安のなか例会前にガバナー、二人の副幹事とガバナー補佐との懇談会では、ガバナーより「貴クラブの良いところを教えてください。」との質問があり堺会長は、「事業活動が多いところですよ」と我がクラブの特徴を説明。

また、会員の退会防止と会員拡大が非常にむずかしいが、まずは自分自身がロータリーを楽しむ事が先決であると感じました。

例会では、バナー贈呈、歓迎の辞、最後にガバナー卓話で、パワーポイントを使い今期の地区運営方針の説明とアメリカで開催されたガバナー研修会の様子を言葉巧みに話されました。

例会終了後記念撮影を行い、その後岩永ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会を開催し各委員会より今年度の活動計画の報告が行われた。

夜には、福江クラブとの合同懇親会を行いガバナー、副幹事、ガバナー補佐と酒を飲み交わし色々な事を語り合ったが、何を話したか覚えていません。すいません。あまりにも楽しかった為飲み過ぎました。

最後に野口清ガバナー、木下副幹事、嬉野副幹事、岩永ガバナー補佐遠方よりご訪問ありがとうございました。また長時間にわたりお疲れ様でした。



佐賀西ロータリークラブ

会長/圓田 稔 幹事/富吉 敏充

7月30日(月)、野口ガバナー、権藤ガバナー補佐、赤坂副幹事、佐賀クラブから牟田君をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。例会に先立ってクラブ役員との懇談会が持たれましたが、クラブの現況と特徴のご説明の後、クラブテーマ「ENJOY ROTARY ロータリーに喜びを」と次年度に50周年を迎える心構えなどをお話しました。野口ガバナーからは和やかな雰囲気ながらも示唆に富んだお話を聞くことができました。

ご訪問いただいた皆様と会食の後のガバナー卓話では、パワーポイントを使った綺麗な画像を見ながら、サンディエゴでの国際協議会の様子をガバナーのご覧になった視線からお話いただき、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

卓話の後、クラブ協議会を実施しましたが、権藤ガバナー補佐の所感をいただいて、無事公式訪問の日程を終えることができました。暑い中をありがとうございました。



ガバナー公式訪問

佐世保西ロータリークラブ

会長/岡本 章二 幹事/西浦 隆洋

7月31日、野口清ガバナーをお迎えして例会を行いました。

佐世保地区では、佐世保西RCが最初の公式訪問でした。

ガバナー就任1ヶ月各クラブ訪問や各々のセミナーの開催で、お休みもなく、若干お疲れのご様子でしたが、バイタリティーあふれるユーモアを交えた卓話は、圧巻でした。昼食後の眠たい時間帯にもかかわらず、会員一同真剣に拝聴させていただきました。

その後クラブ協議会で、我が佐世保西RCの二大事業である、①国際奉仕では、姉妹クラブとの青少年交流事業（ショートステイ）、②青少年奉仕では、少年少女ミニバスケットボール大会（開催日/2007年9月1～2日）について協議に加わっていただきました。

今まで、RI意向の指導にそって行うことと思っておりましたが、野口ガバナーの基本的なお考えの、クラブ理事会の意思決定を優先すれば良いのではないかとアドバイスをいただきました。

今後当クラブ独自の考えで事業に取り組んでいけると思います。

クラブ役員との懇談も含め、4時間の長丁場でしたが、ガバナーの「ロータリーを楽しもう」というお考えが充分伝わってくる公式訪問でした。今後、佐世保西RCは会員一同、一人一人が、ロータリーを楽しみたいと思っております。

まだまだ暑い夏が続きます。野口ガバナーも健康にご留意され頑張ってくださいと願っております。2007～8年が素晴らしい年度であります様祈念申し上げます。有難う御座いました。



伊万里ロータリークラブ

会長/加志田恵久 幹事/一ノ瀬芳信

伊万里ロータリークラブでは、8月1日（水）野口清ガバナー、石松憲一郎ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。

折しも当日は、新しく会員になられた綱嶋隆家君の入会式を行い、野口ガバナーにはロータリーバッジを胸に付けていただき、綱嶋君には記念に残る例会となりました。

今年度地区方針として「ロータリーを楽しもう」と野口ガバナーは提案されています。

そしてガバナーの卓話の時間では、プロジェクトを使ってサンディエゴで開催された国際協議会の模様や、そこに集う各地区のガバナーエレクトとの交流、あるいは街の様子など楽しく愉快に話をされ、野口ガバナー自身がロータリーを楽しんでおられる様子がつぶさに感じられて、楽しいひとときはあっという間に過ぎ、時間を超過してしまいました。

当クラブとしましても、「ロータリーを楽しもう」のテーマのもと、親睦の環をよりいっそう広げるためクラブ内の親睦に止まることなく、近隣クラブとの交流の場を設けることによりたくさんの方々と知り合いになれるよう努めて参ります。

また、会員増強を通じて「ロータリーの楽しさ」を一人でも多くの方に広めていきたいと思っております。



ガバナー公式訪問

伊万里西ロータリークラブ

会長/福田 茂弘 幹事/田中 貞義

大型で強い台風5号九州上陸の恐れのある、8月2日12時30分より、野口清ガバナー・石松憲一郎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を、伊万里迎賓館を会場に開催いたしました。

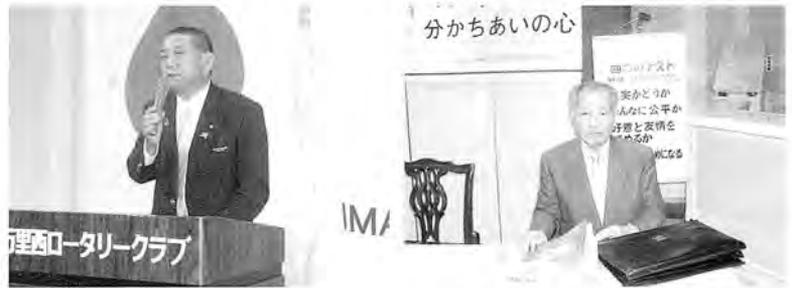
台風の影響で少し早めに来訪頂き、十二分な(ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・副幹事)懇談会の時間を得ることが出来感謝致しております。

公式訪問例会では、野口ガバナーより、「ロータリーは分かち合う」更に、「ロータリーを楽しもう」と言う地区運営方針を、パソコンとプロジェクターで分かりやすく、サンディエゴでの研修の様子等を織り交ぜながら、国際ロータリーの考えや今年度の方針を説明頂き、又多くの写真を披露してお話頂き感激致しました。

今年度の伊万里西ロータリーの運営方針は、ロータリーに入会して良かったと思える『自分の楽しさを、自分で探す』つまり、「ロータリーを楽しみましょう」です。

更に、会員増強と地球温暖化防止の3本柱で本年度の活動を行って参りたいと思います。

最後に、クラブ協議会の時間が押した事をお詫び申し上げます。



佐世保南ロータリークラブ

会長/川口 睦郎 幹事/中村 文昭

佐世保南ロータリークラブは、今年創立50周年を迎えます。会員75名(平均年齢60歳)

8月3日に野口清ガバナーをお迎えして公式訪問例会が開催されました。

当日は、台風5号が上陸、電車が遅れた為に自ら車を運転して会場にお越し頂き、本当に有難うございました。

例会では主に国際ロータリーの歴史についてお話をさせて頂き、後は国際ロータリーの仕事についてのお話でしたが、我々が知れない事等、積極的にお話して頂き大変充実した例会でした。

佐世保南ロータリークラブは、過去4人ものガバナーが選出されております。

そして今回は、鈴木泰彦氏がガバナーエレクトとして輩出されました。私どもが出来る最大限の協力を致す所存でございます。

会員相互の親睦、会員増強、地域社会への貢献等、大事な事業が山積致しておりますが、一つ一つ丁寧に取り組んでまいります。



ガバナー公式訪問

唐津ロータリークラブ

会長/新富 繁樹 幹事/新富 哲也

今回の公式訪問は、例年と違う切り口でロータリーを理解促進させられました。とくに片腕の地区幹事の空閑さんを失って、その量的、質的ご苦勞を乗り越えての2740地区の全クラブを単身で訪問されることに頭が下がりました。例会前のmeeting ではいろいろな裏話を、例会中はプロジェクターを駆使し、会員への面白い卓話を戴き、例会後本日の次の夜の公式訪問、神埼RCに間に合うギリギリの時間迄クラブ協議会に出席していただきました。

今回の卓話の中で

- 1) 国際RIと財団は別法人である。
- 2) 各RCは、寄付に応じてそれを使用することが出来ること。
- 3) 米山奨学は、受ける時各RCの要請に応じて卓話をする義務がある。
- 4) ガバナー月信の、ガバナーのロータリーについての考えを解説していただいた。

以上が印象的でした。

唐津RCは51年の歴史がありますが、古い皮袋に新しい酒を入れると、混ぜり合い馥郁とした味わいの酒になるように、野口ガバナー共々ロータリーを楽しみたいと思います。



神埼ロータリークラブ

会長/原 康夫 幹事/生島 忠嗣

神埼ロータリークラブでは去る8月7日、野口清ガバナー、権藤幸彦ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会前には、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会、クラブ協議会を行い、今期のクラブ運営に関する報告についてご指導いただき有意義な時間となりました。

例会では、野口ガバナーより国際ロータリーならびに地区方針、クラブへの要望など大変判りやすくご説明いただきました。

例会後のガバナーを囲んでの親睦会では、夜の例会の為お酒も入り、クラブ会員と楽しく歓談いただき親睦を深めていただきました。

本年も、当クラブでは「ROTARY SHARES」をテーマに「ロータリーを楽しみましょう」を基本に親睦活動、会員増強、奉仕プログラムの計画・実行に努めたいと思います。

今回、ガバナー自ら実行されている「地球環境保全」、車を使わずに2740地区の全てのクラブ訪問を行われること「何か1つ良い事をしましょう」を考えて行いたいと思います。

今後も、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



2007年8月7日(火) 吉野ヶ里町商工会

ガバナー公式訪問

佐世保東南ロータリークラブ 会長/今里 寿徳 幹事/大野 満也

8月8日(水)に野口清ガバナー、富田耕司ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。猛暑の中の例会となりましたが、例会前の会長・幹事・会長エレクトとの懇談では、当クラブの現況報告・環境問題に関する意見交換等をいたしまして有意義な時間を過ごさせていただきました。

例会では、野口ガバナーよりパワーポイントを使用され国際ロータリーの成り立ちや地区の方針、クラブへの要望、RIとRI財団の事業等、大変わかりやすくご説明をいただきました。これまでなんとなく理解していたことがありましたが納得できました。

当クラブの最大目標である会員増強に一致協力をしていきます。

外来の卓話を増やし外国語の取得などを目標に講座を設けたり、会員相互の親睦や地域社会にとって実りあるクラブ運営を目指して、思いやる心のあるクラブとして努力していきたくと思っています。



大町ロータリークラブ 会長/山口 政雄 幹事/鶴田 健

去る8月9日、野口清ガバナーをお迎えしてガバナー公式訪問及びクラブ協議会が実施されました。例会前の懇談会では久原ガバナー補佐、山下地区副幹事を交えて、当クラブの抱える問題点や活動状況を質問され、適切なアドバイスを戴きました。例会でのガバナー卓話ではユーモアを交えながら具体的に分かりやすく、熱心なお話でした。本当に有難うございました。今年、大町クラブは創立35周年の節目の年であります。9月には例会場の移転も致しますが基本的に立ち返り、例会を充実させ、会員相互の親睦をさらに深め、ロータリーを楽しみたいと考えています。

ガバナーが退席された後、バナー贈呈を忘れていた事に気付くハプニングもありましたが、和やかな雰囲気ですべて完了しました事を会員一同感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問

諫早ロータリークラブ

会長/林田 千年 幹事/山田 和弘

8月10日、野口清ガバナー、緒里勇三郎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会にさきだち、野口ガバナー、緒里ガバナー補佐と、当クラブ会長、会長エレクト、幹事と懇談会が開催されました。少し緊張もいたしましたが、ガバナーの気さくなお人柄に接することができ、R Iの情報やロータリーに対する思いを聞かせていただいた貴重な一時でした。

例会では、国際ロータリーの状況とR Iのテーマ等を、パワーポイントを使用してわかりやすく説明していただきました。出席したメンバー、特に新しいロータリーメンバーにとっては国際ロータリーの役割、各ロータリーとの関係などわかりやすくたいへん有意義な例会となりました。

当クラブは、現在62名の会員数で、最年長者は90歳、最年少者は40歳と幅広い構成となっています。そのおかげで温かい雰囲気での例会が開催することができ、他クラブに比較して、早期退会者が少ないのが特徴です。

今年度で48年目になり、再来年50年目を迎えるにあたり、「4つのテスト」の実践をメインテーマとしてロータリーの原点に戻り、先輩からの伝統を継承して行きます。



長崎北ロータリークラブ

会長/上田 恵三 幹事/中村 良一

8月20日(月)例会場ホテルニュー長崎にてガバナー公式訪問例会が行われました。

例会に先立ち午前11時より、野口ガバナー、阿部ガバナー補佐と、当クラブ会長、幹事、副幹事との懇談会が開催されました。野口ガバナーより、当クラブの特徴や特色、あるいは長所は何かなどのご質問があり、現状をご報告するとともに意見交換をさせていただきました。野口ガバナーは特に、長年当クラブ独自の事業として継続している国際交流基金委員会や年長者市民委員会の活動について関心を持たれ、称賛、激励の言葉もいただきましたことは当クラブとしては大変嬉しいことでした。また、ガバナーからロータリー財団や会員増強についてのお考えやご意見もいろいろ聞かせていただきました。

例会では、ガバナーご自身がパソコンを操作して、スクリーン上にガバナー研修に行かれたときの様子の写真などを映し、楽しいエピソードを交えながらお話をいただきました。野口ガバナーは「ロータリーを楽しみましょう」そして、来年6月にロスアンゼルス世界大会に出席して楽しみましょう!と提唱されています。気さくなご性格と精神科医としての見識を交えた卓話に、「ロータリーを楽しんでこそ、会員個々の時間、才能、技術などを分かち合うことができる」というガバナーのお考えや思いが伝わってきました。

ぜひ当クラブも世界大会には出来るだけ多くの会員で参加したいと思いました。



ガバナー公式訪問

大村東ロータリークラブ

会長/島 信行 幹事/佐藤 英人

8月20日(月)野口ガバナー、岩切ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問・クラブ協議会が開催されました。私と島会長は2時に事務局で待機、3時20分にロビーに出迎えに行くで野口ガバナー、岩切ガバナー補佐、岸川佐賀ロータリー幹事の3人が予定より早く到着されておられた。長崎の公式訪問を終えて来られたとのこと、早速懇談会に入りR Iのこと、ロータリー財団、地区大会のことなどガバナーから熱い思いを語られ、有意義な懇談会でした。続いて、例会場に場所を移し、島会長の歓迎の言葉の後、幸いにも、新入会員中尾光吉君に野口ガバナーよりバッヂを付けて頂き入会式、その後パワーポイントを使われ野口ガバナーの卓話、国際協議会、ロータリーとは、など我々に熱く、わかりやすく語られ、会員一同ロータリーを再認識したのではないのでしょうか。続いてクラブ協議会に移り、島会長の本年度運営方針、クラブの現況報告、各委員会活動を報告、岩切ガバナー補佐の所感をいただきました。

その後全員で記念写真撮影、クラブフォーラムでは野口ガバナーが会員一人一人と話し合われ大いに盛り上がり30分の時間延長、あっという間に点鐘となりました。最後に野口ガバナーから講評をいただき東クラブについて過大に評価していただき会員にとって今後のロータリー活動に大いに自信につながったものと考えています。野口ガバナー、岩切ガバナー補佐には健康に(飲みすぎ)に留意されまだまだつづく公式訪問頑張ってください。

大村東ロータリークラブ会員一同感謝を申し上げて、公式訪問の報告書とさせていただきます。ありがとうございました。



ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

会長/増本 恒彦 幹事/川崎 伸一

8月21日火曜日、野口清ガバナー、富田耕司ガバナー補佐をお迎えして、11時からの懇談会、12時30分からの公式訪問例会と無事終了する事が出来ました事につきまして、先ずもって御礼申し上げます。

例会でのお話しは、サンディエゴでのガバナー研修のお話しから始まり、R Iの現状、ロータリー財団のお話しと内容が進み、認識を新たにす部分や現状を確認する事が出来ました。

また、私共ハウステンボス佐世保ロータリークラブは会員数29名のクラブではありますが、本年度のロータリーのテーマ「ロータリーを楽しもう」の言葉通り、親睦をクラブの原点として楽しく運営されていることを、例会を通じてお知らせできたかと思っております。

最後になりますが、野口ガバナーに於かれましては、激務の1年かと存じます。今後、何卒お身体をご自愛されご活躍を頂きますようご祈念申し上げます。



ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀北RC
千綿浩一郎 君



佐賀空港RC
笠井 賢悟 君



唐津RC
上野 昭久 君



伊万里RC
綱嶋 隆家 君



伊万里RC
川原 文夫 君



唐津東RC
花田 正寿 君



唐津東RC
富永 弘文 君



唐津西RC
吉井 正司 君



伊万里西RC
秋山 徳昭 君



伊万里西RC
井手 正範 君



伊万里西RC
古賀 秀仁 君



伊万里西RC
古川 幸司 君



大村RC
村山 正男 君



大村RC
湯浅 幸一 君



大村東RC
中尾 光吉 君



長崎RC
岩本 省三 君



長崎RC
末 繁雄 君



長崎RC
菅谷 清 君



長崎RC
中川 正裕 君



長崎北RC
柴田 義孝 君

ROTARY SHARES



長崎南 R C
矢野 義友 君



長崎出島 R C
熊上富士夫 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名	
ロータリー財団	池 田 和 雄	佐賀北 R C	
	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	大 神 照 彦	長崎 R C
	マルチプル・P・H・F	浜 中 洋	長崎北東 R C
	ベネファクター	浜 中 洋	長崎北東 R C
	大口寄付者	西 村 金 造	長崎 R C
米山記念奨学会	米山功労者	三 浦 達 美	長崎東 R C
	米山功労者 (メジャードナー)	永 田 幸 人	長崎東 R C

ROTARY SHARES

2007年8月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	3	80.5	65	0	68	0	3	0	0
	小城	4	90.0	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	4	92.5	33	0	30	0	-3	0	0
	多久	4	85.0	40	3	40	3	0	0	0
	佐賀大和	3	81.9	24	3	24	3	0	0	0
	小計		85.9	190	8	190	8	0	0	0
第2グループ	佐賀西	3	77.0	48	0	46	0	-2	0	3
	佐賀北	4	83.8	40	3	41	3	1	1	0
	佐賀南	3	80.6	44	2	44	2	0	0	0
	神埼	4	74.4	32	0	32	0	0	0	0
	佐賀空港	4	60.0	16	1	18	1	2	1	0
	小計		75.1	180	6	181	6	1	2	3
第3グループ	有田	3	70.9	38	3	38	3	0	0	0
	武雄	3	83.9	55	0	55	0	0	0	1
	鹿島	3	91.2	40	2	39	2	-1	0	0
	嬉野	4	91.6	24	1	24	1	0	0	0
	大町	4	70.3	26	0	27	0	1	1	0
	白石	4	71.8	16	0	16	0	0	0	0
	太良	3	77.7	9	1	9	1	0	0	0
小計		79.6	208	7	208	7	0	1	1	
第4グループ	唐津	3	90.3	51	0	53	0	2	1	0
	伊万里	4	92.2	32	0	36	0	4	2	0
	唐津東	4	92.3	47	0	49	0	2	2	0
	唐津西	4	87.5	37	0	39	0	2	1	0
	伊万里西	4	86.2	44	0	48	0	4	0	0
	唐津中央	5	82.6	38	4	38	4	0	0	0
	小計		88.5	249	4	263	4	14	6	0
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	81	0	1	2
平戸	4	93.8	40	0	41	0	1	1	0	
佐世保西	3	94.2	26	0	27	0	1	0	0	
北松浦	3	100.0	22	0	22	0	0	0	0	
松浦	5	90.32	31	1	31	1	0	0	0	
小計		95.6	199	1	202	1	3	3	0	
第6グループ	佐世保南	5	100.0	75	0	80	0	5	0	0
	佐世保東	4	78.7	29	0	29	0	0	0	0
	佐世保北	3	100.0	45	0	47	0	2	0	0
	佐世保中央	4	100.0	39	0	38	0	-1	0	2
	佐世保東南	4	77.4	24	0	23	0	-1	0	0
	HTB佐世保	3	84.3	28	4	29	4	1	1	0
	小計		90.0	240	4	246	4	6	1	2
第7グループ	大村	3	99.2	51	3	53	3	2	2	0
	島原	3	86.1	34	3	36	4	2	0	0
	雲仙	3	90.8	28	0	27	0	-1	0	1
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0	0	0
	島原南	3	71.0	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	3	92.0	47	1	47	1	0	1	0
小計		89.8	213	8	216	9	3	3	1	
第8グループ	諫早	5	90.6	60	0	62	0	2	0	0
	諫早北	4	83.0	61	0	62	0	1	2	1
	諫早西	4	94.7	44	0	45	0	1	0	0
	諫早多良見	3	88.2	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	3	77.4	29	4	30	5	1	1	0
	小計		86.8	232	4	237	5	5	3	1
第9グループ	長崎	4	84.4	94	0	99	0	5	4	0
	福江	4	91.2	39	0	40	0	1	1	0
	長崎北東	4	91.1	55	6	55	6	0	0	0
	福江中央	3	98.9	35	1	34	1	-1	0	1
	長崎西	3	70.0	70	0	66	0	-4	0	1
	長崎琴海	4	73.8	22	3	22	3	0	0	0
	小計		84.9	315	10	316	10	1	5	2
第10グループ	長崎北	3	78.7	68	0	69	0	1	1	0
	長崎南	4	85.2	84	0	85	0	1	1	0
	長崎東	4	98.3	57	0	59	0	2	2	0
	東長崎	3	85.5	30	0	31	0	1	1	0
	長崎中央	3	91.7	56	0	56	0	0	0	0
	長崎出島	4	77.1	57	12	58	12	1	1	0
	小計		83.6	352	12	358	12	6	6	0
合計		86.2	2,378	64	2,417	66	39	30	10	

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

文庫通信

240号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩のロータリー観 (2)

◎「サービス思想の意味するもの」	塚本 義隆	大阪 R C	1972	66p
◎「フォアウェイ・テストは前進する」		大阪 R C	1972	42p
◎「小話“フォアウェイ・テスト”」	塚本 義隆	大阪 R C	1973	21p
◎「フォアウェイ・テストの日本語訳は正しいか」	塚本 義隆	D.366	1974	20p
◎「浪費ひどすぎる《こうして物を大切に》」	塚本 義隆	D.366	1975	49p
◎「むつかしくはないヴォケーショナル・サービス」	塚本 義隆	大阪 R C	1976	30p
◎「ロータリー定礎の三人」	塚本 義隆	大阪 R C・D.266	1979	42p
◎「ロータリアンのお題目」	塚本 義隆	大阪 R C	1979	29p

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】

来ももち!

◎クラブ行事報告

ガバナー月信でクラブの活動を紹介します。

《応募方法》500字以内(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

◎恵比須さん情報

ガバナー事務所では、ガバナー月信の表紙に掲載する「恵比須さん」を募集しております。あなたの身近なところにステキな「恵比須さん」がいらっしゃいませんか?ぜひ、ご紹介ください。

《応募方法》恵比須さんの写真と200字程度の紹介文(所在地を記入してください)を、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。



(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



RI第2740地区2007～2008年度 地区大会 のご案内 ロータリーを楽しもう!



2007年10月27日(土)・11月16日(金)～18日(日)

ごあいさつ



2007～2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー

野口 清



2007～2008年度
国際ロータリー第2740地区
地区大会実行委員長

指山 弘養

親愛なるロータリアンの皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃よりロータリー活動発展の為に、ご尽力頂き心より感謝申し上げます。

さて、この度第2740地区の地区大会を晩秋の佐賀市にて開催する運びとなりました。開催にあたり「ロータリーを楽しもう」という大会テーマを掲げ、ご参加頂いた皆様全員が心から楽しんで頂き、更に親睦が深まる大会となるよう只今準備いたしております。

大会第1日目は五木寛之氏の記念講演、そして2日目には「ロータリー寄席」など趣向を凝らしたプログラムを多数ご用意して、会員の皆様はもちろん、ご家族の皆様も楽しんで頂ける大会内容となるよう企画いたしております。

大いに語り合い、意義深い時間を共有できることを楽しみに致しております。

多くの方々のご参加を心より、お待ち申し上げます。

11/17
SAT

第1日

会場／佐賀市文化会館 (佐賀市日の出一丁目21-10)

10:00～12:00 会長幹事会

12:00～12:30 四委員会

13:30～17:30 本会議
講演



いつき ひろゆき
五木 寛之 氏 (作家)

1932年、福岡県に生まれる。戦後北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞受賞。『青春の門』で吉川英治文学賞を受ける。代表作は『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『運如』『大河の一滴』『21世紀仏教への旅』。現在直木賞、泉鏡花文学賞、吉川英治文学賞その他数多くの選考委員をつとめる。

会場／ホテルニューオータニ佐賀 (佐賀市与賀町1番2号)

18:30～20:00 記念懇親会

11/18
SUN

第2日

会場／佐賀市文化会館

(佐賀市日の出一丁目21-10)

9:00～10:30 本会議

10:45～12:15 ロータリー寄席

9:30～10:30 新世代の集い

12:30～13:30 新世代懇親会

12:30～13:30 地区内女性会員の集い

《ゲスト》

社団法人 落語協会会長
鈴々舎馬風 氏
(ねねねねじやばふう)



山田隆夫 氏
(やまだ・たかお)



鈴々舎風車 氏
(ねねねねじやまぐるま)



記念懇親ゴルフ・囲碁・将棋・麻雀大会
10月27日(土)
大和不動カントリー倶楽部・ホテル龍登園

RI 会長代理歓迎晩餐会
11月16日(金) 17:30～19:00
ホテルニューオータニ佐賀

注) 上記プログラムに関しましては2007年9月現在の予定でございます。変更の可能性もございます。その場合はご了承下さい。



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位

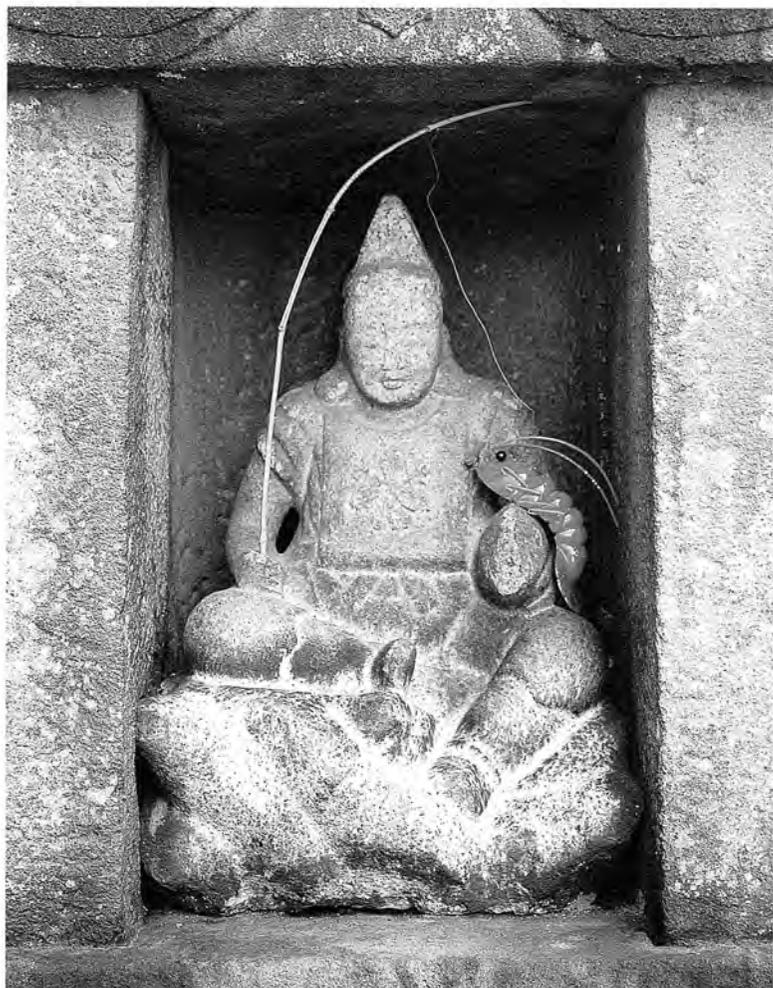


ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



ほうとうたいえびす
宝当鯛恵比寿さん (所在地: 佐賀市柳町1-16 八坂神社境内)

旧長崎街道筋の佐賀市歴史民俗館正面に八坂神社があり、その境内の石の祠の中に鎮座され、胸に花紋が刻まれた偉大な恵比寿さん。宝暦4年(1754年)に建立され、宝当鯛恵比寿さんとして絶大な人気があります。お参りしたら、宝くじが当たるかも…。(牛津RC 山本康徳会員)

CONTENTS

ロータリーとは？(第4話)	1
ガバナー補佐リレー随想	3
ガバナー・ノミニー決定宣言	4
国際奉仕部門研修セミナー報告	5
地区「米山の集い」報告	7
ガバナー公式訪問	9
ガバナーエレクト事務所よりお知らせ	19
新入会員紹介	20
寄付者紹介	20
会員数・出席報告	21
文庫通信	22
地区大会のご案内	裏表紙

vol. **5**
2007.11.1

ROTARY SHARES



国際協議会 「手に手つないで」の合唱

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第4話 —



国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー
野口 清

職業奉仕

ロータリーの原点は職業奉仕にあり、他の奉仕団体との異なるところであると言われます。それは自分の職業を高めること、社会にとって有益なものにすること、それそのものが社会に奉仕することになるということであると思います。これはある人にとっては自分のことしか考えていないと思われがちです。実際に1917年には純粋に社会に奉仕するべきであると言ってロータリークラブを去り他の団体を作った人達もいます。しかし、果たしてロータリーの職業奉仕の考え方は自分のことだけを考えていることになるでしょうか？



自分の職業を、社会にとって有益なものにする過程には、かなりの投資、損失、忍耐、我慢、自己との戦い等々かなりの精神的、物質的自己負担を強いられます。4つのテスト、職業倫理などを実践することにはかなりの自己研鑽が必要です。そのためにロータリークラブの仲間が必要になると思います。お互いに時間、知識、技術、熱意等を分かち合い、お互いを励ましあう、カウンセリングをし合う。そうして自分の職業を社会にとって有益なものにして行く。それがロータリーだと思えます。

ロータリーは人生道場、人格形成の場だと思

います。自分の職業が社会にとって有益なものになれば、自然と繁栄もしてきます。また繁栄させなければいけません。その繁栄でもたらされる時間、金銭を使って社会にも直接奉仕していくことも出来るようになるのではないのでしょうか。

したがって、ロータリーはまず職業奉仕があり、それから他の奉仕があるのだと思います。今の風潮で財団寄付、会員増強とあまりにも強調しすぎると、本来のロータリーの良さを何か失う様な気がしてなりません。

ROTARY SHARES

明治5年2月から9年11月まで、約5年間にわたり福沢諭吉37才は、かの有名な「学問のすゝめ」17編の小冊子を著述し世に出した。

明治初期の人心を啓発したその言葉は世紀を経ても新らしく、近代化を進む日本の新しい文化の啓蒙書となった。

第一編（端書）の書き出しは「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と云へり。

されば天より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生まれながら貴賤上下の差別なく、万物の靈たる身と心との働きをもって、天地の間にあるよろずの物を資り、もって衣食住の用を達し、自由自在、互ひに人の妨げをなさずして、おのおの安楽にこの世を渡らしめたまふの趣意なり」と続く。

17編の主なる内容は、第2編：端書、人は同等なること、第3編：国は同等なること、一身独立して一国独立すること、第4編：学問の職分を論ず、第5編：明治7年1月1日の詞、第6編：国宝の貴きを論ず、第7編：国民の職分を論ず、第8編：わが心をもって他人の身を制すべからず、第9編：学問の旨を二様に記して中津の旧友に贈る文、第11編：名分をもって偽君子を生ずるの論、第12編：演説の法を勧むるの説・人の品行は高尚ならざるべからざるの論、第13編：怨望の人間に害あるを論ず、第14編：心事の棚卸し、世話の字の義、第16編：手近く独立を守ること、心事と働きと相当すべきの論、第17編：人望論信用こそ人生の第一義。

この「学問のすゝめ」書き出しは高邁な文章であるが終わりに近くは非常に実用的になって来ている。

福沢は、人望論の中で三つの事をすゝめ、自分の為ひいては世の中の為になると云う。

1. 弁舌を学ぶこと
2. 顔色容貌を快活にすること（身嗜みを良くして人に不快感を与えない）
3. 交際を広く求むること（仕事や専門の異なる人と交際する）

この三点はロータリーの理想にも相通じることである。

明治4年に初めて文部省が設立され、全国にあった藩校や寺小屋にかわり小学校ができた時期であり、新教育に応ずるには教科書ができてなかったため、福沢ら知名人の著書が盛んに利用された。「修身論」が特に「学問のすゝめ」に関して参考書的に色々な形で活用されたと云う。

この「学問のすゝめ」は各編20万部の売行き、17編で340万部、明治時代きってのベストセラーとなり当時の社会に大きな影響を与えた。西洋文明の案

ガバナー補佐 リレー随想

「無冠の大平民 福沢諭吉」



第4グループガバナー補佐
石松 憲一郎
(唐津RC)

内書から福沢自身の意見を発表した著書でもあり、一人の思想著述家としても評価された。（当時の日本人口は3,500万人と推定されている）

「時事新報」の発行

明治15年3月、政府の懇請により、官民調和の目的で政治資金により新聞発行の計画を進めていたが事態が一変したので構想を変更し独力で新聞を発行することになった。不偏不党、厳正公平を目標とした、福沢の筆による「論説」には時代の良識を代表したものが掲載され「時事新報」は数年たらずして新聞界に確固

たる地盤を築く様になった。

「無位無冠の大平民」

明治27年8月、日清戦争の際、国に軍資金献金運動で金一万円を寄附した。その際、政府が勲章を授与しようとしたが、福沢は「勲章などは御免」との文章を時事新報に掲載これをことわった。

福沢は生涯一人の平民で終止し、位階、勲、爵位、学位など一身につけなかった。もし彼にその気があれば、おそらく、そのいずれも得られたであろう事は確実であった。福沢の友人であった洋学者の大家が有意有爵そして今日、その著書又その名前すら忘れられているのに無位無冠の福沢が、平成の世にも国民の間に強く生きているのは、誠に諭吉の偉大さを感じられる。あくまで人間の価値を人間そのものの本質（天賦人権思想）におき、人爵を意に介せず、権威に屈従せず身をもって、独立自主の主義を主張した態度は永く後世の範たるものである。

明治33年62才の時、民間の教育著書啓蒙功勞により皇室から金五万円を下賜されたが、福沢が創立した当時の「慶應義塾」基本金に寄付した。明治34年2月3日、一平民として文明開化の大本山と評された諭吉は66才の生涯を閉じたのである。

明治中期により政府の教育は、ますます国家主義、軍国主義の強化となり、福沢の自由主義思想は、日本教育思想の主流となる事はなく「学問のすゝめ」も、いつしか影の薄い古典となった。昭和の戦時中、軍部や政府は福沢を、ひたすら敵国米英の思想家として敬遠し、おくびにも「天は人の上に人を造らず…」この言葉は当然ながら、口に出せなかった。福沢が民主主義のキャッチフレーズとして甦ったのは太平洋戦後からである。

また、昭和33年12月1日 発行された一万円紙幣、永年親しまれた聖徳太子も、昭和59年11月1日より自由平等の福沢諭吉が登場し平成の今日迄23年間続いている。

〈参考資料〉旺文社文庫「学問のすゝめ」

ガバナー・ノミネー決定宣言



高城 昭紀 君
(島原RC)

2009～10年度ガバナー候補者について、2006年8月1日付「月信第2号」により区内全クラブに通知いたしましたが、期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いましては、RI細則第13.020節「ガバナーの指名手続」の定めにより、2007年7月5日のガバナー指名委員会に於いて指名されました、高城昭紀君(島原RC)が、2009～10年度ガバナーに就任するガバナー・ノミネーに選出されたことを宣言しました。

その後、現在まで異義申し立てがございませんでしたので、決定宣言いたします。

2007年10月11日

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 野口 清

高城昭紀君のプロフィールは次の通りです。

氏 名	高 城 昭 紀
生年月日	昭和16年2月11日
現 住 所	島原市中野町丙1165
現 職	医療法人ウイング 高城病院理事長・院長

◆履歴

S45年 久留米大学医学部を卒業
長崎大学医学部精神科教室
(高橋良教授)に入る
S50年 精神衛生鑑定医
S56年 長崎大学医学博士授与
S57年 長崎大学医学部非常勤講師
S58年 高城精神科病院院長(理事長)

島原看護学校講師
島原高校校医
県南保健所嘱託医
島原市心身障害児就学指導委員会委員
島原市福祉事務所嘱託医
島原養護学校校医
長崎家庭裁判所島原支部調停委員
島原高校同窓会副会長

◆ロータリー歴

1983年 島原ロータリークラブ入会
1987年 島原ロータリークラブ幹事
1990年 島原ロータリークラブ会長
1995年 ロータリー財団奨学地区委員
1999年 ロータリー財団奨学・学友地区委員長
2000年 ガバナー補佐

1987年 ボール・ハリス・フェロー
1997年 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー(4回)
1999年 ベネファクター(3回)

ROTARY SHARES

国際奉仕部門研修セミナー

報告

地区国際奉仕統括委員長 常多勝己
(長崎北RC)



2007年9月2日(日曜日)武雄センチュリーホテルにおいて表記セミナーが開催されました。野口清ガバナー、鈴木泰彦ガバナーエレクト、各グループガバナー補佐をはじめ関係者約130名の参加者がありました。

1) ローター財団セミナー

森永太委員長による財団プログラムの説明、特に人道的プログラムの詳しい解説があり、大変明快であり理解しやすいものであった。

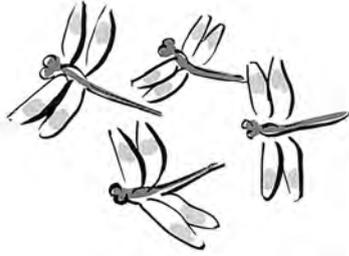
特にマッチンググラントについては長崎西クラブの江上徹也会長から、当地区とインドネシアバリ島地区とのこのプログラムの実例が示され、その軽妙な語り口もふくめて大好評であった。

2) 財団奨学・学友セミナー

まず澤山俊雄委員長から財団プログラムの中の教育的プログラムについての解説があった。特に焦点となったのは国際親善奨学金の種類についての説明であった。

その後2005-2006年度の国際親善奨学生であった林裕子さんが「イギリス エセックス大学への一年留学」について体験発表をされ、貴重な経験を通して本来の目的である親善大使としての役割も果たしてきたと報告された。





3) GSEセミナー

牟田清敬委員長および野口ガバナーよりGSEとは何か、今年度は何をすべきかなどの意見が報告された。今後3年以内にまた新しい交換計画がなされるであろう。

4) 質疑応答

GSEの相手国、相手地区の選定に関し過去2回の交渉に関与された長崎南クラブの本田圭助会長にその交渉過程などについて解説してもらった。ガバナーからも意見があり、いくつかの申し込みはガバナーエレクト、又はガバナー事務所にも来るといった説明があった。

かくして4時間にも及ぶセミナーはガバナー事務局のお世話のおかげで滞りなく終了した。

ご参加のみなさま大変おつかれさまでした。また、セミナーの進行にご協力いただきありがとうございました。



ROTARY SHARES

Report 地区「米山の集い」

地区米山記念奨学委員長 北郷 雅子
(長崎出島RC)



去る9月2日(日)、ホテルニューオータニ佐賀で「米山の集い」を開催致しました。当日は午後から武雄センチュリーホテルで国際奉仕部門セミナーもあり、野口ガバナーにはお忙しい中ご挨拶を頂き、奨学生に激励のお言葉を賜りましたことをお礼申し上げます。野口ガバナーは「米山奨学生の皆さんは奨学金の返済義務はありませんので、お金をもらえばなしと思われがちですが、ちゃんと勉強して返してもらいます。ロータリー活動をよく理解して頂き、母国或いは日本に、奨学生であったという証拠を示して欲しい。」と、ご挨拶されました。



野口ガバナー

米山奨学会理事の隅田バストガバナーより「奨学会事業について、昨年の寄付額は14億1千万円、それらは、すべて800人の奨学金として使われ、管理費や地区の活動には利息1億1千万円を使って運営されている。奨学生の皆さんには、先ずお願いしたいことはロータリーの一番の目的は『国際平和』です。戦争を阻止することが出来ないとしても、積極的に加担や参加することの無いようにして欲しい。ロータリー例会出席の意義は、異業種の人との交流によって、自分の人格を高めること。親睦を深めること、親睦とは相手の存在価値を認めること。勉強も大切ですが、勉強が終わってから後に真価が問われます。勉強ばかりでなく日本の生活を楽しんでください。」とユーモアも交えながらお話を頂きました。



隅田バストガバナー

その後10月の「米山月間」の為に、DVD『米山月間によせて』（日本のロータリーと米山奨学事業）をご覧頂き、また、「地区現況や活躍する学友について」PPTでの説明を致しました。（後から何名かのカウンセラーから、「映像があって良く理解できた」という感想を頂きました。）



リン・ケンキンさん

学友の卓話は、1995年から2年間佐賀北RCの奨学生で、現在は佐賀北RCのメンバー・06年にはマレーシアの奨学生のカウンセラーも経験されて、正に「活躍する学友」のリン・ケンキンさんをお願いしました。

テーマは「米山奨学金・真の価値は無限大」

米山奨学生を支援する理由は：『人生には限りがあ

ROTARY SHARES

る。しかし、知恵は永遠のものとして、誰かに伝え、教えていくしかない。奨学生は受け皿である』また、別の意味でロータリークラブは人生の図書館である。米山奨学金をもらって例会に出席することは図書館への入り口〔切符〕である。ロータリアンとの交流は人生の辞書を借りること。奨学金を頂くことよりもロータリアンから学ぶことの価値の方が何倍も大きい。人生で最も大事なことは素晴らしい人たちとの人脈である。奨学生に伝えたいことは、①質問する勇気を持つこと。②聞くこと〔聞く耳〕を学ぶこと。③真実を伝えるようになる事。と、熱意を込めてスピーチされました。

そして、午後からの親睦会は赤坂地区副幹事の乾杯に始まり、奨学生15名と指導教員3名から3分スピーチを頂きました。みなさん日本語も上手で、米山奨学生になった事の感謝や自分の研究について楽しく話されました。



田中 指導教員：佐賀大学教授
(牛津RC・湯艶さん)



光富 指導教員：佐賀大学教授
(神埼RC・アラヤヴィラシットさん)



石田 指導教員：長崎大学教授
(長崎西RC・鄭さん)

最後に前田博憲元地区米山委員長より「ロータリーは皆さんに見返りは求めません。しかし、それは何もしていないでいいと言う訳ではありません。日本語の難しいニュアンスかもしれませんが、そのところを理解して頑張ってください。」という言葉を受け、「手に手つないで」の合唱で終了しました。

地区内ロータリアンの皆様には、今後共に、米山奨学事業に対し、深いご理解と暖かいご支援をお願い申し上げます。



親睦会



ガバナー公式訪問

佐世保ロータリークラブ

会長/大神 邦明 幹事/中村 徳裕

8月22日水曜日、野口清ガバナー、岩崎邦臣ガバナー補佐、木下博行地区副幹事、そして佐賀RCの七田秀徳会員をお迎えして公式訪問例会を開催しました。

今回が、佐世保ロータリークラブで史上初めての夜の通常例会!? (少なくとも現役会員の記憶の中では初めてです) という記念すべき例会を、野口ガバナーをはじめ栄えあるゲストをお迎えして開催することが出来ました。

野口ガバナーは、終始笑顔であたたかく私たち佐世保RCのメンバーに接してください、「会員全員の思いや情報を発表する場を多くしている」「お互いに職業の専門的情報を提供して、職業を通じて活動をしている」「例会を楽しむ事を率先している。歌を歌う」「夜の例会は、今日が初めての開催である」「新人を理事に起用してみんなが参加できるようなクラブにしている」…と例会の席上にて、心温まるクラブへの感想をいただきました。

公式訪問例会後も、米海軍基地での2次会などにもご多忙の中ご出席くださり、楽しい佐世保ナイトを過ごさせていただきました。



平戸ロータリークラブ

会長/松浦 弘 幹事/川上 岩三

去る8月23日まだ残暑厳しい中、野口ガバナー、岩崎ガバナー補佐をお迎えし、平戸ロータリークラブガバナー公式訪問を開催致しました。

以前にも一度お会いして、お二人とも我々に対し気さくに声を掛けていただいていたせいかりリラックスした気分でお迎えすることが出来ました。

定刻12時30分より例会を開始し、各委員会報告・3分間情報の後、野口ガバナーにパワーポイントを使って約30分間卓話をして頂きました。特にお話しの中で、ロータリークラブを型にはまったクラブスタイルを通すばかりでなく、柔軟でかつ元気のある明るく楽しいロータリークラブでありたいと述べられました。出席された会員一同同感であったと思います。その後クラブ協議会に入り、各四大奉仕委員長の活動方針発表後、岩崎ガバナー補佐より講評を頂き、無事にガバナー公式訪問を終えることが出来ました。野口ガバナー、岩崎ガバナー補佐におかれましては、遠隔地にもかかわらず、疲れた様子をされず厳粛かつ和やかな例会が終了出来ましたことを会員一同感謝申し上げます。

我が平戸クラブは次年度にはガバナー補佐を選出するわけですが、「分かち合いの心」のもと益々地域社会に貢献していきたいと思っております。



ガバナー公式訪問

松浦ロータリークラブ

会長/山本 勝治 幹事/小田 浩

8月24日地球温暖化防止の地区方針もあり、クールビズスタイルで野口ガバナー、岩崎ガバナー補佐、山本地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

例会前での懇談会では、野口ガバナーから松浦クラブの良いところは何ですかと質問があり、派閥などが無く、またベテラン、若手の年齢差を感じさせない例会場の明るい雰囲気ではないかとお話しました。また、ガバナーよりクラブの運営等について、アドバイスをいただきました。

例会では、ガバナーからRI会長の指針、ガバナーの地区方針等についてパワーポイントを使い、時にユーモアを交えながら分かりやすく説明され、30分間の卓話の時間が短く感じられました。

例会後のクラブ協議会では、岩崎ガバナー補佐のもと、当クラブのクラブ運営方針に沿った各委員会の活動計画が発表されました。松浦RCは、今年度創立35周年を迎えます。現在会員数は31名ですが、今年度地区目標の純増1名を目標とし、また退会者を出さないための楽しい例会に心掛け、ロータリーを楽しみたいと思います。残念ながら当日の野口ガバナーを囲んでの懇親会は、ガバナーの急用のため中止となりましたが、9月28日の例会に出席される事になりましたので、夜例会に変更して歓迎させていただきます。



長崎中央ロータリークラブ

会長/堺 末喜 幹事/山本 稔

8月27日(月)、野口ガバナー、阿部ガバナー補佐、山本地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。午前中の懇談会で、野口ガバナーより「貴クラブの良い点を教えて下さい」との予想もしない質問からスタートし、緊張の中にも和やかにクラブの活動報告をさせて頂きました。例会では、ガバナー自らパワーポイントを使って国際協議会の報告や国際ロータリーの現状、今年度のテーマ、地区方針の説明をユーモアを交えて話して頂き、一生懸命ロータリーを楽しもうという言葉で締め括られました。

創立18年目を迎え会員56名、平均年齢58歳で、今日まで年間平均出席率が90%を割ったことがありません。100万ドル食事の収益による記念事業、障害児対象のホースセラピー体験、高齢者施設へのサンタ訪問等、特徴ある活動を続けており、野口ガバナーからも、会員の自主性を重んじ親睦を中心に行っている、居心地がいい、非常に出席率の高いクラブと高い評価を頂きました。今後、会員を60名に増員、地球温暖化防止事業にも取り組みながら、週に一度の例会がお互いに待ち遠しく楽しみにできるよう頑張っていきたい。



ガバナー公式訪問

長崎西ロータリークラブ

会長/江上 徹也 幹事/牧 文春

期首70名で24年目をスタートしました。ユーモアのセンスにあふれた明るい会員が多く、肩の凝らない例会のためメイクアップしやすいクラブと評価して頂いています。折々の夜の例会、懇親会、ロータリー情報委員会や新入会員歓迎を兼ねた飲み会、昼はゴルフやウオーキング同好会など友人作り、懇親の促進にはことかきません。会員のまもりはロータリーの事業、奉仕活動でも発揮され、昨年第9、10分区のIMを担当した際は「長崎西らしい手造りのIM」をモットーに会員全体が盛り上がり参加者にも好評でした。

伝統的に青少年、新世代の育成と支援を奉仕活動の柱にすえており、海星高校インターアクトのスポンサー、児童養護施設マリア園、明星園、浦上養育院の児童を高島での釣り大会に招待、高島幼稚園、小・中学校運動会での交流が継続され、今年からは長崎の大学生の地域起こし・国際交流の「わかもん祭り」が加わります。

長崎RCと共同でトーマス・グラバーの出身地英国アバディーンのパルガウニーRCと協力して大学生、若い社会人を相互に交換留学させ若者の国際化を支援する事業は12年目を迎えました。

ロータリー財団の同額補助金によるインドネシアの難聴対策支援、風頭公園の桜の植樹、マリア園の毛布クリーニングは会員が職業奉仕として個人的に継続していたことがクラブ全体の事業に発展したものです。ガバナー訪問では以上の様な活動を紹介し、問題点として出席率の回復策、会員増強・維持の工夫について意見交換しました。



大村ロータリークラブ

会長/中瀬 和隆 幹事/副島 正則

大村RCは、昭和35年2月23日県央地区として初めて創立されたクラブです。会員数は、野口ガバナーの公式訪問の折、入会式を迎えた新会員2名を含め現在53名です。会員の年齢も83歳から38歳までと幅広い年齢層を誇り、3名の女性会員、親子会員3組の在籍、また4代目となる会員も有した歴史を織り成す構成となっております。

当クラブの今年度のテーマである『クラブの歴史を振り返り、クラブの未来を語ろう!』に基づき、数少なくなった創立当時のことを知る先輩会員から、クラブの歴史・エピソードなどを語っていただき、来たる2年後の50周年に向け準備にとりかかる年度としたいと考えております。

ロータリー家族を含めた会員の親睦活動に重点をおき、納涼例会、観月例会、ファミリーXマス例会、新年例会(古希・還暦等祝い)、観桜例会、菖蒲例会などを行ない、ロータリーの奉仕活動の原動力となっております。

野口ガバナーが地区方針の中で「ロサンゼルス国際大会に出席して楽しみましょう!」と強く提唱されています。是非一緒に参加し、ロータリーが国際的組織であることを体感しましょう。



ガバナー公式訪問

唐津西ロータリークラブ

会長/瀬戸 伸雄 幹事/平野 良興

野口ガバナー、石松憲一郎ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会が開催されました。例会前には、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会が行われ、当クラブの現況報告や当クラブの重点課題は何かとの質問がありました。懇談の中で国際R Iと財団は別法人であるということを知りました。

ロータリー財団には、資金の運用、管理委員会に多々問題があるのご指摘でした。いろいろお話しを伺い、初めて知ることが多く勉強になりました。

また、卓話中はスクリーンを通して、ガバナーが研修なされたことを写真を使用してのお話しは、瞬間に時を刻み、終了しました。特にガバナーが主張なされたことは、◎今年度のR Iテーマ「ROTARY SHARES」[ロータリーは分かち合う]ことです。分かち合うとは、自分に不要になったものを施すことでなく、人類愛を実践することである。それには、時間と才能と技能が必要であるということ。◎国際協議会で学んだことは、ロータリーの真髄は多くの友人をつくること。◎今年度の地区方針は、①ロータリーを楽しむこと（親睦）。②主役はあなたです（職業奉仕）。③何か一つ良いことをしましょう（社会奉仕）。

以上三点を強調されました。ガバナーの気さくなお人柄に触れることができ、会員一同感謝申し上げます。ご自愛なされ、先生のご活躍を祈念致します。



長崎琴海ロータリークラブ

会長/高坂賢三郎 幹事/陣内 嘉代

8月30日（木）、野口ガバナー、岩永ガバナー補佐、佐賀RCより石川君をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。会場にご案内したと同時に大雨が降り、稲妻の光がまるで打ち上げ花火で歓迎しているかのような雰囲気の中で、お迎えすることができました。

野口ガバナーより「このクラブの良い所、特徴ある所」を尋ねられ、「会員22名、こじんまりとしていますが意思疎通が上手くいっているクラブであり、少人数のクラブにしては多くの活動をやっております」等と活動の内容を報告致しました。野口ガバナーは、特にカンボジア支援事業に興味を持たれ「今後もより一層の支援活動を続けて下さい」と、温かい激励の言葉を頂きました。

例会に使用されるパワーポイント関連機材全てを野口ガバナーご自身で設置され、国際ロータリーの役割及び今年のRIテーマ「ROTARY SHARES」について色々ご指導を頂きました。野口ガバナーには、例会終了後に開催した岩永ガバナー補佐とクラブ協議会にもご出席頂き、会員一同感激した次第です。

今期は会員増強に力を入れることを念頭において、会長をはじめ会員一同でもう一度初心に帰り、ロータリークラブ本来の目標である「奉仕の心」を再確認し、共に手と手をつないで世界中に友の輪を広げていきましょう。



ガバナー公式訪問

唐津中央ロータリークラブ

会長/濱口 吉治 幹事/近藤 豊守

「野口ガバナーの印象は」と聞かれたら、まずは「サプライズのある方」。これまでに公共の乗り物だけを利用して、公式訪問をされたガバナーはいないでしょうから。

次に「体験にもとづく、分かりやすい言葉で話をされる方」、「仕事を後に残さない行動力のある方」とお答え致します。

さて、8月31日午前11時、例会場のある唐津ロイヤルホテルロビーにて、野口ガバナーと石松ガバナー補佐を出迎えました。

まず、例会前のガバナーとの会談では、「国際ロータリーとR I財団との関係」、「地区補助金について」、「交換留学生プログラム」、「危機管理委員会」、「会員増強」等々について分かりやすくお話頂き、又我々からの質問にもお答え頂いて、かなりつつこんだ内容の話が出来たものと思っています。

その後の例会では、パワーポイントを使ってのベッツ体験報告。何度聞いても、大変刺激のあるお話で「あっ」と言うまの30分間でした。

最後に、まだ残されている公式訪問、健康に十分留意され、「公共の乗り物による公式訪問」を無事完了されることをご祈念申し上げます。



佐世保北ロータリークラブ

会長/野畑 義博 幹事/湯口 純二

今までにない酷暑もようやく峠を越え、朝夕は少しだけ秋の気配が感じられるようになった9月、我々は野口清ガバナー、富田耕司ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を3日の月曜日に開催しました。例会に先立ち、11時より約1時間、会長・会長エレクト・幹事との懇談会があり、「佐世保北RCのいい所を教えてください」というガバナーのおたずねに対し、野畑会長が「佐世保市内5番目のクラブとして、自由に闊達なクラブであること。又、国際交流や各種事業に精力的に取り組んでいる点」と回答されました。

例会では、野口ガバナーから素晴らしい卓話を頂きました。「国際ロータリー（R I）の情報伝達がガバナーの役割である」と前置きされ、R Iは①ロータリー哲学の追求、②ロータリー情報の媒介、③会員拡大の3つの業務に集約され、活動の主役はあくまで各クラブであり、我々ロータリアンであるという事を示されました。又、今年度R I会長の強調事項として、「ロータリー家族」という項目が追加された事にふれられ、特にロータリアンの遺族にもクラブ行事や地区行事への参加の誘いをしてほしいとの事でした。国際協議会でのウラ話も披露され、ガバナーの人柄がうかがえる楽しくて役に立つ卓話でした。これからの野口ガバナーの更なる活躍を佐世保北ロータリークラブ一同で期待しております。



ガバナー公式訪問

北松浦ロータリークラブ

会長/松尾 清治 幹事/山口 俊一

9月4日(火)の野口ガバナー公式訪問は、本当に楽しい時間でした。

ガバナーの枝葉末節に捉われない寛大さと謙虚さ、ユーモアを交えた巧みな話術に久しぶりに時のたつのを忘れ、皆、聞き入ってしまいました。

当クラブは、現在、会員数22名に激減していますが、ガバナーから、「ロータリーは、人数じゃない。例えば会員が少なくとも、これだけ立派な活動が出来るんだという範を示して欲しい。」と勇気づけられ、期待にこたえるべく、会員一同、〈ロータリーを楽しもう〉のスローガン通り、大いにロータリーを楽しみながら、会員及び家族の親睦を密にし、今やれる、意義ある事業を計画し、会員拡大へ向けての下地を作ってゆきたいと決意しています。

野口ガバナー、本当にありがとうございました。



島原南ロータリークラブ

会長/本多 進 幹事/野村 英作

去る9月5日(水)、野口 清ガバナー 岩切正幸ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会を開催しました。11時からの事前の懇談会では、最近のクラブの現状と推移についての意見交換と共に島原半島の産業経済状況、社会情勢や将来の見通しにまで話が及びました。島原南ロータリークラブは本年度で創立21年目になりますが、創立時は32名でスタートした会員も今では19名まで減少しております。大量の会員増が望めないなか、少人数でも着実にロータリークラブを活性化するためにはどうすべきなのかは我々の永遠のテーマです。ガバナーは他の少人数クラブの例をあげて懇切丁寧にご指導いただきました。

例会ではRI会長のテーマ「ROTARY SHARES」について詳しく説明いただきました。また、野口ガバナーが研修を受けられましたカリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会の様子をスクリーン映像で細部にわたり説明していただき、手に取るようにわかりました。そしてガバナーと各ロータリークラブの関係と役割の解説、ロータリーにおける親睦の大切さを強調されたのがとても印象的でした。

ガバナー公式訪問がかつてないほどの和やかな雰囲気の中で終了できましたことを会員一同感謝申し上げますと共に、今後とも尚一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問

長崎ロータリークラブ

会長/石丸 忠重 幹事/荒木 健治

9月6日(木)野口清ガバナー、岩永信昭ガバナー補佐、嬉野勝利副幹事をお迎えして公式訪問例会が開催されました。野口ガバナーは全クラブを公共交通機関で回られているとのことで、お迎えをする間もなく、直接例会会場に訪問されました。例会前の役員懇談会においては、当クラブの特長についての説明を石丸会長より聞かれ、自らパソコンに入力され例会資料を作成されました。又、国際ロータリーとロータリークラブの関係について、ロータリークラブは「奉仕哲学の追求」「ロータリーの拡大」「情報の伝達」を国際ロータリーから受託した機関であり、国際ロータリーはロータリアンを直接監督し、指導・助言を与えることはできないと明確に述べられ、石丸会長との共通理解を得るに至りました。又、クラブが得られない情報としてロータリー財団の現状報告がなされ、財団寄付のあり方について一石を投じる意見を拝聴しました。例会では、サンディエゴで開催された国際協議会の様子を、パワーポインターを使って報告をされ、時折、精神科医としての楽しいコメントを交えられ、楽しい時間を過ごすことができました。最後に長崎クラブの宝であるハーバート・J・テラー元RI会長の直筆「四つのテスト」をご来訪記念としてお贈りさせていただきました。



長崎出島ロータリークラブ

会長/殿村 周三 幹事/鶴田 修

去る9月7日(金)野口清ガバナー、阿部ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先立ちクラブ役員との懇談会が持たれクラブの現状や問題点及びRIや地区の役割等について率直にお話させていただき、特に出席率の低迷については例会への出席とメーカーの大事さについて常に言い続けるしかないとのアドバイスを戴きました。

例会での卓話ではRIの歴史・役割、クラブ内管理・運営、RIテーマ、地区方針等々についてパワーポイントを用いて時にはユーモアを交えて分かりやすくお話して戴きました。野口ガバナーは大変気さくな方で楽しく元気の出るお話でした。クラブ協議会では「活動計画要旨」の説明の後、阿部ガバナー補佐から、出席率の向上に努めること、インターアクト等青少年育成事業に力を入れているのは大変良いことだとの所感を戴き無事に終了することが出来ました。

野口ガバナー、阿部ガバナー補佐、お忙しい中大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問

諫早南ロータリークラブ

会長/助村 房子 幹事/大砂 清信

第8グループで初めての女性会長です。平均年齢は54歳と若く、ゆえにフェミニストが顔を揃え、和気藹々としたムードが漂っています。クラブ創立記念日の翌日、9月10日に野口清ガバナーと緒里勇三郎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会およびクラブ協議会が開催されました。会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、クラブの長所として「数は少ないがまとまりは良い」、「ロータリーを楽しもうという例会をやっている」と、お伝えしたところ、そのままのありがたい評価を頂きました。又、留学生の受け入れ・手続要覧・個人情報等についてのアドバイスを受け、ロータリー財団・国際ロータリーについて、野口ガバナーとしての見解を伺い、大変参考になりました。

野口ガバナーは、卓話でプロジェクターを使い、国際ロータリーの歴史から役割・権限まで分かりやすく説明されました。国際ロータリーは、ロータリアンの集合体ではないこと、ロータリアンを直接監督して指導したり助言を与えたりするものではないことを話され、従って今日は指導に来たのではないから、指導という言葉を使わないようにと諭されました。また、国際協議会で学んだこともご教授くださり、従前とは違う一皮むけたガバナー像を垣間見ることが出来ました。最後の記念撮影では、女性の隣が良いからと率先して会長の隣に座られ、我々以上にフェミニストぶり、やんちゃぶりを見せていただき、印象に残る例会でした。



島原ロータリークラブ

会長/星野 親房 幹事/花田 勝美

9月11日(火)午前10時50分。島原鉄道を利用して野口ガバナーが「島鉄本社前」駅に到着されました。9月に入ったというのに、真夏を思わせる日照りと30度を超える暑さの中での「島原ロータリークラブ」公式訪問でした。地球温暖化防止のため、出来る限り公共交通機関を利用して各地のクラブを訪問していただけるとのこと。長旅の疲れの様子もなく早速、会長、副会長、幹事により当クラブの概況報告を行いました。

その後、通常と同じ方式で例会の様子をご覧ください引き続き「クラブ協議会」へと移りました。野口ガバナーからは「伝統あるクラブが新旧会員間の暖かい交流や、『卓花』など特徴あるプログラム内容などで運営をされていることを実感し、大変感動しました。再来年は高城ガバナー誕生ということで、さらなる発展を期待しております。」との総評をいただきました。

当日は例会場である「島原温泉ホテル南風楼」でゆっくりと汗を流され、翌日、再び島原鉄道にて長崎地区クラブの訪問へと出発されました。



ガバナー公式訪問

長崎南ロータリークラブ

会長/本田 圭助 幹事/石丸 利行

9月12日、野口ガバナー、阿部第10グループガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立って行われた懇談会では、当クラブの特色を説明すると共に、野口ガバナーよりR Iや財団についてご説明いただき、活発な意見交換を行いました。

例会では、野口ガバナーより先ほどの懇談会の内容を素早くパワーポイントに取り込み、プロジェクターで映し出して卓話が始まったのには驚きました。僅かな時間の中で当クラブを把握されての暖かいコメントに引き続き、R Iと地区の方針を時には漫談を交えながら楽しくわかりやすくお話しいただき、ご指導を賜ったことを今後の課題として検討していきたいと思えます。

今回の公式訪問を節目として、当クラブは地区方針の達成とクラブ活動計画に掲げた奉仕活動を、全員一丸となって着実に実行していく決意を新たにしました次第であります。



大村北ロータリークラブ

会長/浦田 直彦 幹事/清水 祐一

9月12日、野口ガバナー、岩切ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問並びにクラブ協議会を開催しました。

当日は、当クラブの特徴でもある、今年度3回目のホームクラブ100%出席で両氏をお迎えすることができました。

本年度の野口ガバナーの「ロータリーを楽しもう」を昔から地でやっていますので、例会前の懇談会でも大いに意見交換ができました。

公式訪問では、野口ガバナーのユーモアあふれたお話を、スクリーンを通して拝聴することができ、特に会員増強においては、ガバナーの熱い思いを語っていただきました。

またクラブ協議会では少々アルコールの入った中でも、岩切ガバナー補佐の卓越した話術で会員を笑いの渦に巻き込みながら、今年度の方針をお聞かせいただきました。

本当に短い時間でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。

〈追伸〉昨年植樹したポールハリスゆかりの月桂樹も見事に根付き、青々とした葉を広げています。



ガバナー公式訪問

佐世保東ロータリークラブ

会長/志水 孝明

幹事/前田 和隆

「今度のガバナーは一味違う?」と、我々にはある種の期待感がありました。しかし大変失礼ながら、野口ガバナーの第一印象は「かなり声が大きい」「少々口煩そう」などが先に立ったのは事実です。が、実際にお会いしてみたら目から鱗!!

その大らかな人柄と明快な方針にグイグイと引き込まれ、期待を大きく超えるガバナーの来訪に9月13日の公式訪問例会は大いに盛り上がりしました。

会員それぞれが分かっていたつもりでしたが、「ロータリーは奉仕をする団体ではなく、奉仕をする人を育てる団体である」という根幹的考え方の再確認をし、「すべてのルールはクラブ主導で決められるものでなければならない」との基本的運営論も改めて考えさせられました。

ご本人は「やむなく引き受けた」と仰っていましたが、混迷する時代に一石を投げられる新感覚のガバナーとして、なるべくしてなられた方である事は間違いなし。そのご指導を基に我がクラブもより一層奮起したいと決意した次第です。

後日頂戴しました直筆のお礼状も感激いたしました。

この度はお忙しい中のご来訪まことにありがとうございました。



佐世保中央ロータリークラブ

会長/牛島 義亮

幹事/四元 清安

去る9月13日(木)午後6時30分より野口ガバナー・富田ガバナー補佐・山本地区副幹事をお迎えしスクールビズ形式でガバナー公式訪問例会を開催致しました。

事前の懇談会では、会員減少での収入減による諸経費削減での取り組み・会員の出席を理由にしての退会防止等について実例をあげられ適切なアドバイスを頂きました。

また、RIと財団との組織について説明がありました。例会ではプロジェクターを使い、ロータリーの歴史・RI標語「ロータリーは分かち合い」の説明・ガバナー研修会の話等などジョークを交えてのお話は大変おもしろく拝聴させて頂きました。本年度のクラブテーマは我を忘れ他に利を与えるという意味の「忘己利他」にしました。足元を見つめ直し、身の丈にあった活動、出席をしたくなるような例会、ガバナーの「ロータリーを楽しもう」の言葉通りロータリーの原点に戻って新しいクラブ作りを目指します。



ROTARY SHARES

国際ロータリー第2740地区

ガバナーエレクト事務所よりお知らせ

ガバナー月信 Vol.4 (10月号) でご案内しました、ガバナーエレクト事務所の執務時間と次年度の主な会議スケジュールで一部が変更になりましたので、改めてお知らせ致します。

執務時間 / 平日10:00～17:00 (土・日・祝日は休日)

	開催日
地区研修セミナー	2008年2月9日(土)
会長エレクト研修セミナー	2008年2月24日(日) ※変更なし
地区協議会	2008年4月27日(日)
地区大会	2008年11月14日(金)～16日(日) ※変更なし



◎クラブ行事報告

ガバナー月信でクラブの活動を紹介します。

《応募方法》500字以内(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀RC
弟子丸利治 君



多久RC
永石 喜八 君



佐賀南RC
菰田 秀三 君



伊万里RC
下田 昌樹 君



伊万里RC
小國 康智 君



諫早北RC
石橋 光成 君



諫早北RC
吉田 英雄 君



諫早南RC
酒井 郁子 君



長崎西RC
山下 隆広 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	里 脇 岩 男 大村東RC
	マルチプル・P・H・F	松 島 福 男 長崎南RC
米山記念奨学会	米山功労者	山 本 武 大町RC
		西 村 柳 介 諫早西RC
		中 野 隆 三 伊万里RC

ROTARY SHARES

2007年9月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	79.5	65	0	67	0	2	1	2
	小城	4	94.8	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	4	91.0	33	0	31	0	-2	1	0
	多久	4	91.4	40	3	41	3	1	1	0
	佐賀大和	4	76.0	24	3	24	3	0	0	0
	小計		86.5	190	8	191	8	1	3	2
第2グループ	佐賀西	2	84.6	48	0	46	0	-2	0	0
	佐賀北	4	91.1	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀南	4	84.6	44	2	44	2	0	1	1
	神埼	4	75.7	32	0	32	0	0	0	0
	佐賀空港	4	79.1	16	1	18	1	2	0	0
	小計		83.0	180	6	181	6	1	1	1
第3グループ	有田	4	70.5	38	3	38	3	0	0	0
	武雄	2	82.7	55	0	53	0	-2	0	2
	鹿島	4	90.1	40	2	38	2	-2	0	1
	嬉野	4	89.5	24	1	24	1	0	0	0
	大町	4	74.0	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	68.7	16	0	16	0	0	0	0
	太良	4	77.7	9	1	9	1	0	0	0
	小計		79.0	208	7	205	7	-3	0	3
第4グループ	唐津	4	91.2	51	0	53	0	2	0	0
	伊万里	4	94.4	32	0	36	0	4	0	0
	唐津東	4	94.4	47	0	51	0	4	2	0
	唐津西	4	92.4	37	0	39	0	2	0	0
	伊万里西	4	81.9	44	0	48	0	4	0	0
	唐津中央	4	91.4	38	4	38	4	0	0	0
	小計		90.9	249	4	265	4	16	2	0
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	81	0	1	0
平戸		4	92.5	40	0	41	0	1	0	0
佐世保西		4	92.3	26	0	27	0	1	0	0
北松浦		4	89.0	22	0	22	0	0	0	0
松浦		4	87.9	31	1	31	1	0	0	0
小計			92.3	199	1	202	1	3	0	0
第6グループ	佐世保南	4	100.0	75	0	80	0	5	0	0
	佐世保東	4	77.7	29	0	29	0	0	0	0
	佐世保北	4	100.0	45	0	47	0	2	0	0
	佐世保中央	4	100.0	39	0	38	0	-1	1	0
	佐世保東南	4	83.6	24	0	23	0	-1	0	0
	HTB佐世保	4	76.7	28	4	29	4	1	0	0
	小計		89.6	240	4	246	4	6	1	0
第7グループ	大村	4	100.0	51	3	53	3	2	0	0
	島原	4	87.5	34	3	36	4	2	0	0
	雲仙	4	87.2	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	33	0	0	0	0
	島原南	4	68.0	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	2	83.9	47	1	47	1	0	0	0
	小計		87.7	213	8	216	9	3	0	0
第8グループ	諫早	4	91.7	60	0	61	0	1	0	1
	諫早北	4	82.7	61	0	63	0	2	1	0
	諫早西	4	91.8	44	0	45	0	1	0	0
	諫早多良見	4	94.6	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	2	76.6	29	4	30	5	0	0	0
	小計		87.4	232	4	237	5	4	1	1
第9グループ	長崎	4	84.7	94	0	96	0	2	0	3
	福江	4	91.6	39	0	40	0	1	0	1
	長崎北東	4	86.2	55	6	51	5	-4	0	4
	福江中央	4	96.9	35	1	34	1	-1	0	1
	長崎西	4	73.0	70	0	66	0	-4	1	0
	長崎琴海	4	64.7	22	3	22	3	0	0	0
	小計		82.8	315	10	309	9	-6	1	9
	第10グループ	長崎北	4	84.4	68	0	69	0	1	0
長崎南		4	79.1	84	0	85	0	1	0	0
長崎東		3	98.3	57	0	61	0	4	2	0
東長崎		4	87.4	30	0	31	0	1	0	0
長崎中央		2	95.1	56	0	56	0	0	0	0
長崎出島		4	72.1	57	12	58	12	1	0	0
小計			84.3	352	12	360	12	8	2	0
合計			86.3	2,378	64	2,412	65	33	11	16

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

文庫通信

241号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

米山月間にあたって

- ◎「ロータリー・クラブ」 米山 梅吉 1929 20p
- ◎「国際ロータリーの組織に就て」 米山 梅吉 1931 8p
- ◎「八十五年前の日本・明治初期の海外留學生と男爵團琢磨」
米山 梅吉 1938 10・10p
(「看雲録」より)
- ◎「人と偽り」 米山 梅吉 1923 5p
(「提督ベルリ」より)
- ◎「ポールハリスと父米山梅吉」 米山 桂三 東京世田谷RC 1977 6p
- ◎「ロータリーと父 米山梅吉」 米山 桂三 東京南RC 1972 8p
- ◎「米山梅吉伝」 長井 盛至 米山記念館 1975 6p
- ◎「米山梅吉と雑誌『^{えいさい}穎才新誌』『太陽』」 井口 賢明 2007 2p
(米山梅吉記念館館報 Vol.9)
- ◎「米山梅吉と「新隠居論」登載誌『実業之日本』」 井口 賢明 2007 5p
(米山梅吉記念館館報 Vol.10)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】



RI第2740地区2007～2008年度地区大会

ロータリーを楽しもう!



2007年11月16日(金)～18日(日)

ご登録ありがとうございました。
みんなで地区大会を楽しみましょう!

RI 会長代理歓迎晩餐会

11月16日(金) 17:30～19:00 / ホテルニューオータニ佐賀

大会1日目

11月17日(土) 10:00～20:00

- 10:00～12:00 **会長幹事会**
(佐賀市文化会館 イベントホール)
- 12:00～12:30 **各種委員会**
(佐賀市文化会館 小会議室)
- 12:30～ **登録受付**
- 13:30～17:30 **本会議**
(佐賀市文化会館 大ホール)
- 講演 / 五木寛之氏**
- 18:30～20:00 **記念懇親会**
(ホテルニューオータニ佐賀)



いつき ひろゆき
五木 寛之氏 (作家)

1932年、福岡県に生まれる。戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞受賞。『青春の門』で吉川英治文学賞をうける。代表作は『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『蓮如』『大河の一滴』『21世紀仏教への旅』。

翻訳にチェーホフ『犬を連れて来た貴婦人』リチャード・バック『かめめのジョナサン』ブルック・ニューマン『リトルターン』等がある。

第一エッセイ集『風に吹かれて』は刊行40年をへて、現在総部数約460万部に達するロングセラーとなっている。ニューヨークで発売された、英文版『TARIK』は大きな反響を呼び、2001年度『BOOK OF THE YEAR』(スピリチュアル部門)に選ばれた。また2002年度第50回菊池寛賞を受賞。

1981年より休筆、京都の龍谷大学において仏教史を学ぶが、1985年より執筆を再開し、現在直木賞、泉鏡花文学賞、吉川英治文学賞その他数多くの選考委員をつとめる。

最新作に東京書籍刊『私訳歎異抄(しゃくたんにしょう)』がある。

大会2日目

11月18日(日) 8:30～13:30

- 8:30～ **登録受付**
- 9:00～10:30 **本会議**
(佐賀市文化会館 中ホール)
- 10:45～12:15 **特別企画 ロータリー寄席**
(佐賀市文化会館 中ホール)
- 9:30～10:30 **新世代の集い**
(佐賀市文化会館 イベントホール)
- 12:30～13:30 **新世代懇親会**
(佐賀市文化会館 イベントホール)
- 12:30～13:30 **地区内女性会員の集い**
(会館内レストラン「季楽」)



社団法人 落語協会 会長
鈴木舎馬風氏
(ねのねのじやまふう)

笑点でおなじみの
山田隆夫氏がついに
大喜利の司会で登場!!



山田隆夫氏
(やまだ たかお)

ロータリー会員とプロの落語家による大喜利大会と、馬風一門による独演会を実施します。



鈴木舎馬風氏
(ねのねのじやまふう)

注) 上記プログラムに関しましては2007年10月現在の予定でございます。変更の可能性もございます。その場合はご了承下さい。



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー **野口 清**

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



いしづくりえびす

唐津・大石町の石造恵比須さん (市指定重要有形民俗文化財)

鯛を小脇に抱え、ほほえみすわっている本像は、座高74cm・幅53cm。台石には「道しるべ」右：平戸・呼子、左：佐賀・長崎、前：筑前浜崎などが刻まれ左側には天保10年1月(1839年)建立の銘が見られる。

現在も、町内では「十日恵比須祭り」が毎年1月10日盛大に開催され地域の守護神としてしたわれている。(唐津RC 石松憲一郎会員)

CONTENTS

ロータリーとは?(第5話)	1
ガバナー補佐リレー随想	3
長崎くんち見学小旅行実施報告	4
第2回国際青少年交換オリエンテーション開催される	5
職業奉仕部門研修セミナー報告	7
ガバナー公式訪問	9
新入会員紹介	13
寄付者紹介	14
会員数・出席報告	15
文庫通信	16
地区大会記念事業・地区大会記念懇親ゴルフ大会 報告	裏表紙





国際協議会 RI 会長「テーマ演説」

青少年交換プログラムの是非を問う

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第5話 —



国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー

野口 清

青少年交換プログラムはロータリーのプログラムの中で唯一ロータリアンの関係者が参加出来るプログラムです。

一番最初はヨーロッパで始まったもので、ロータリアンの子弟（高校生）をクラブ対クラブ間で交換するものでした。その後急速にアメリカに広がり、ロータリアンの子弟だけでなく一般の子供たちにも門戸が広がられました。

基本的にはクラブ対クラブでの交換です。しかし、相手国に入国するに際してはビザの取得が必要となります。その取得に際してはクラブ単独では困難になり、地区が、または合同地区が代わって外務省との交渉を受け持ちビザを取得してきた経緯があります。現在、日本はその業務をガバナー会の中の全国青少年交換委員会（今は名称が変わっているかも知れません）が



受け持っています。このようにガバナー、地区が関わるということで国際ローターが交換プログラム規則を作って、それにそって全世界のこのプログラムが運営されています。ところがアメリカからオーストラリアに10年前に留学していた女性が留学中にホストファミリーの父親にセクハラを受け、10年間苦しんだと3年前にR Iを相手に訴え、R Iが敗訴し、R Iは多額の賠償金を支払わされる事件が発生しました。そのことを受け、R Iは交換規則を次の様に変更し、各地区がそれを受け入れなければ交換プログラムを認めないということを言ってきました。それは①各地区でセクハラ保険を掛けること。②ホストファミリーの犯罪歴を提出すること、でした。これに対して日本の各地区は各地区で新世代危機管理委員会を作り、その委員会まとめて全国組織を作り、NPO法人を形成し、そこが保険会社とセクハラ保険契約を交わすという形で、①セクハラ保険をクリアしました。(前年度田口直前ガバナーの功績) ちなみ

に保険金は1ロータリーアンに対して100円と決まりました。しかし、②はクリアしておりません。それでR Iは向こう1年間は認めるが、1年の間に②をクリアすることを要請してきています。しかし、日本の文化ではホストファミリーに犯罪歴を要求することになればホストファミリーがいなくなるのは必定です。

前にも言いましたが、このプログラムは基本的にはクラブ対クラブの交換です。それをR Iが規則を作ってあれこれということ自体おかしな話です。クラブがリスクを自覚して行うプログラムであれば特にR Iが規制をかけることは出来ないはずです。問題はビザの取得が単独のクラブで出来るかということです。それが出来ればクラブ単独で交換プログラムは出来るのです。

確かに青少年の育成は必要です。しかし、私は高校生はまだ親の養育期間のような感じを受けています。大学生の交換、育成に力を注いだ方が得策のような感じを受けている今日この頃です。

ROTARY SHARES

佐世保では、1951年に佐世保ロータリークラブが、最初に誕生し、佐世保RCがスポンサーで佐世保南RCが出来、佐世保南RCがスポンサーで、佐世保東RC、佐世保RCがスポンサーで、佐世保西RCが出来ました。小生は佐世保西RCに1978年に入会しました。

昭和56年6月13日嬉野町和楽園において、80～

81年度・4RCの会長・幹事会及び懇親会が、当時の福重分区代理をお迎えして開催されました。

席上、佐世保RCの松尾会長から、益々親睦を深めるため、この集まりを永続させては?とのご提案があり、会の名前を八福会と名づけて発足いたしました。

出席者/福重分区代理

- 佐世保RC 松尾会長
石井幹事、玉野副幹事
- 佐世保東RC 樋口会長
西岡幹事、小山副幹事
- 佐世保西RC 野々下会長
山崎幹事、岩崎副幹事
- 佐世保南RC 木原会長
江崎幹事、野田副幹事

第1回当番幹事は、佐世保南RC野田副幹事で、この会は、年4回・当番は持ち回りと決まりました。

それ以来、ゴルフ及び懇親会が、126回開催されました。この間50回を記念して、光月町に佐世保市の市花である花水木を植樹し、記念碑を建立し、友愛の絆を確かめました。

しかし、残念ながら会員の高齢化のため、ながきにわたり続けてきました八福会を、平成19年10月3日、翠涛園・錦にて解散式を行いました。

ガバナー補佐 リレー随想

「八福会の思い出」



第5グループガバナー補佐
岩崎 邦 臣
(佐世保西RC)

に感服したのも懐かしい思い出です。

毎回当番クラブが変わりますので、懇親会場も変わり、楽しみの一つでした。色々の会に参加しておりますが、八福会が私にとって最高の会でありました。会員の中には、幽明異にする方もあり、思い出熱い会でした。

ガバナー補佐として第5グループの各クラブを公式訪問させていただき、会員の減少はあるものの、それぞれのクラブがアイディアと特色を出し合い、楽しいクラブ運営をされている事を知り、ロータリーアンになって良かったと感じることが多くあります。

佐世保8RCの会長・幹事会の、第一回ゴルフ及び懇親会に出席させていただき、これもまた楽しい会でありましたが、八福会のような会もあった事を書き、取りとめのない随想とさせていただきます。



光月町体育文化館ゲートボール練習場横にて

この会に参加させていただき、毎回楽しい会話の中から、ロータリーアンとして多くの事を、先達から学びました。

ゴルフ場でスタート前に雨が降り始め、中止を申し出たところ、このくらいの雨で中止はしないといわれ、その通りハーフ終了時には雨も上がり、先輩の元気のよさと、気象まで予測されること

インバウンド留学生の 「長崎くんち見学小旅行」 を実施しました

地区国際青少年交換委員 川口 史

(長崎南RC)

長崎くんち開催中の10月7日～8日に、国際青少年交換プログラムで来日中の5名の留学生が標題の小旅行を行いました。1日目は、キリスト教渡来・海外貿易の時代をテーマに26聖人殉教地や出島などを見学し、夕方からはおくんちの奉納踊りを楽しみました。また、2日目は近代以降の長崎をテーマに大浦天主堂やグラバー園を見学し、午後には爆心地公園や原爆資料館など原爆関係の見学を行いました。

ほとんどの学生が日本の海外交流における長崎の位置づけを知らず、出島などで熱心な見学をしました。おくんちでは、やはり龍踊りが人気でした。また、原爆資料館では「科学の進歩がこんな悲惨な事態につながるとはショック」との感想がありました。

今回の小旅行には、4名のロテックスの皆さんもボランティア参加、案内や留学生へのアドバイスなど本当によく留学生との交流を深めてくれました。ありがとうございました。



【参加者】

- | | | |
|---------|-----------------|-------------------|
| 〈留 学 生〉 | ティモテ・ヘルメステッター | (佐賀RC、フランス・男子) |
| | ロバート・スヴェレ | (佐世保南RC、ノルウェー・男子) |
| | ジェレミー・ローレンス | (諫早北RC、アメリカ・男子) |
| | サマンサ・ダウンズボロスキー | (長崎RC、アメリカ・女子) |
| | アレックス・フラッケンボール | (長崎南RC、アメリカ・男子) |
| 〈ロテックス〉 | 濱村 恭子 (佐世保南RC) | 本多 正篤 (雲仙RC) |
| | 若杉友香里 (諫早多良見RC) | 平子 咲 (佐世保RC) |
| 〈地区委員〉 | 瀬戸口智彦 (長崎南RC) | 益田 莊一 (長崎RC) |
| | 川口 史 (長崎南RC) | |

ROTARY SHARES

第2回国際青少年交換 オリエンテーション開催される

10月28日(日)、青少年交換プログラム第2回オリエンテーションがグランドパレス諫早を会場に開催されました。来日学生は2ヶ月あまりですが片言の日本語で自己紹介ができました。派遣予定の平山元喜君は最初のオリエンテーションで、すこしはにかみ加減でした。

参加者

■来日学生

- ティモテ・ヘルメステッター (佐賀RC、フランス・男子)
- ロバート・スヴェレ (佐世保南RC、ノルウェー・男子)
- ジェレミー・ローレンス (諫早北RC、アメリカ・男子)
- サマンサ・ダウズボロスキー (長崎RC、アメリカ・女子)
- アレックス・フラッケンポール (長崎南RC、アメリカ・男子)



■派遣予定学生

平山 元喜 (長崎RC)

■帰国学生 (Rotex)

古賀 陽平、濱村 恭子、本多 正篤、竹下 理子、若杉友香里 (Rotex会長)、中島 綾子

■RC関係者

田島 広一 (佐賀RC)、池富 幸男 (佐世保南RC)、橋本 政二 (諫早北RC)

■保護者

平山由紀穂、中山 厚

■ホストファミリー

安達 健蔵 (長崎RC)

■地区委員

瀬戸口智彦 (長崎南RC)、 益田 荘一 (長崎RC)
田嶋 英夫 (長崎北東RC)、川口 史 (長崎南RC)



■事務局

相内 啓子 (交換事業専任)



第2回オリエンテーションに先立ち10時から同ホテルで第4回地区委員会が開催されました。

1. 来日学生の現状の問題点とその経緯 (田嶋)
2. おくんち見学と長崎研修報告 (川口)
3. 九州研修旅行予定(川口)
4. 来日学生の長崎国際大学の好意で日本語研修
5. 来日学生にたいする覚書(確認書)の検討

第2回国際青少年交換オリエンテーション

13:00から2会場に分かれて、それぞれ問題点の検討や指導が行われました。

1. 来日学生の現在までの問題点 (ロータリー関係者と地区委員)

現在まで少なからず問題点が発生しており、ホストファミリーや関係RCの努力により現在まであらかた改善している。

2. 派遣学生平山君への申請書の記入の指導 (相内)
3. 九州研修旅行の説明、地区大会参加 (川口)
4. 日本語研修の説明 (濱村)
5. クリスマスパティー

12月16日 HTBにて (予定)



ROTARY SHARES

職業奉仕部門研修セミナー

報告

地区職業奉仕委員長 竹田 健介
(平戸RC)



2007年10月28日(日曜日)に佐賀市のマリトピアにおいて職業奉仕部門の研修セミナーが開催されました。野口ガバナー、鈴木ガバナーエレクト、馬郡次年度地区幹事をはじめ57クラブから126名の参加をいただきました。佐古亮尊パストガバナーに講師をお願いして、「職業奉仕はロータリーの花」という演題で2時間の講演をしていただきました。

その中にロータリー職業倫理訓の話がありま

した。これは全く無名のロータリアンたちが討議に討議を重ね、相互にアイデアを出し合い、衆知を集めて起草したもので、初期ロータリアンたちがいろんな試行錯誤のすえたどり着いた金字塔であり、職業奉仕についてこれほど明快にその理念を明らかにしたものはありません。これは手続き要覧にも載っていませんので、第1条から第11条までありますが、その中のいくつかを紹介したいと思います。



受講風景

- ①自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好個の機会を与えられたものとするべきこと。
- ②自分の身を修め、自分の実力を涵養し、自分の奉仕を広めるべきこと。ならびに、それを通じて奉仕に徹する者に最大の功德ありとするロータリーの基本原則を実践すべきこと。
- ③自分は事業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが、自分は道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功は、これを欲するものではないことを自覚すべきこと。
- ④社会秩序の立場から他人が絶対に認めないような不正な方法によって、機会を利用し、これによって得た人の成功を正当または倫理的なものと考えてはならない。
いくら儲かることであっても、その手段が非倫理的なものであれば、それは正当な成功として評価してはならない。またそういう儲け方をしてもならない。

日本の土産食品売上ランキングで第1位の赤福の「赤福餅」、第2位の石屋製菓の「白い恋人」、それほどの人気企業が相次いで製造年月日や賞味期限の表示を改ざんし、製造・販売停止に追い込まれた。最近のマスコミ報道では企



(左から) 佐古バスターガバナー、鈴木ガバナーエレクト、馬郡次年度地区幹事、司会者

業の責任者の倫理観を欠いた事件が頻発している。「うそをついていた」ことが企業の屋台骨を揺るがす事態に発展する。今こそ自分の職業に誇りを持ち、職業倫理に基づいた、うそのない生き方をすべきではないだろうか。そういう意味で大いに時宜を得たセミナーではなかったかと思います。

各委員のみなさん、事務局の西岡さん、参加された皆様に感謝申し上げます。



懇親会で乾杯のあいさつをする野口ガバナー



(左から) 野口ガバナー、佐古バスターガバナー、鈴木ガバナーエレクト、竹田地区職業奉仕委員長、馬郡次年度地区幹事

ガバナー公式訪問

長崎東ロータリークラブ

会長/越智 敏征 幹事/西田 哲治

9月14日に、野口ガバナー、阿部第10グループガバナー補佐をお迎えいたしました。

この日は、私共クラブの2001回目の記念すべき日でもあり、ガバナーに楽しく指導していただこうと、初めての試みとして、夜の公式訪問例会を開催いたしました。

懇談会では、当クラブの特徴を熱心に聞かれ、ロータリーに対する考え方、又、財団等についての説明をしていただきました。

例会にはいり、ユーモアを交えながら「ロータリーは楽しむもの」「そこで得た知識を活用して、自分の職業を高めしていくことが、社会の奉仕につながるものだ」というお言葉が印象に残り、感銘を受けました。

又、当クラブの活動計画を大変お褒めいただきましたことを励みとして深く胸に刻み、会員一同、ロータリーを楽しみ、社会への奉仕に努めて参りたいと思います。



諫早多良見ロータリークラブ

会長/北島 良樹 幹事/柴田 克博

去る9月18日(火)、まだまだ残暑厳しいなかでしたが、遠路、野口ガバナー・赤坂地区副幹事、および 緒里ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会・クラブ協議会が開催されました。

当日11時からのガバナーとの懇談会では、国際ロータリーとロータリー財団との関係や、クラブ運営上の独立性などについて、忌憚のない意見の交換ができました。

さらに、ガバナーのロータリーについての考え方、今後のクラブのあり方について、的確なアドバイスをいただき、お蔭さまで有意義な時間を持つことができました。

12時30分からのクラブ例会では、会長の時間、委員会報告、5分間ロータリー情報などいつもの例会の様子をみていただきましたが、ガバナーの熱意がそのまま会員に伝わったようで、より充実した例会になりました。

野口ガバナーには、国際協議会の様子や地区方針について、歯切れのよい明快な卓話を頂戴し、1時間の例会があっという間に過ぎてしまいました。

クラブ協議会では、当クラブの今期運営方針・活動計画等について、それぞれの委員会から説明を行ない、緒里ガバナー補佐、野口ガバナーから所感をいただきました。今後の活動に活かして参ります。

なお、公式訪問後 日をおくことなく、御多忙な中 野口ガバナーから直筆のお礼状までいただき、そのお心遣いに感銘するとともに、大変感銘いたしました。

次回は是非夜の例会にお越しいたごき、クラブ会員と子ども「諫早の街」を楽しんでいただきたいと思います。



ガバナー公式訪問

長崎北東ロータリークラブ

会長/西 亮 幹事/森山

9月19日(水)野口清ガバナー、岩永信昭ガバナー補佐、山下雄司地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

例会前の野口ガバナーをお迎えしての懇談会は西会長の活動方針、クラブ概要を聞かれた後、ガバナーより当クラブの良い点、特徴を問われ下記報告しました。

1. 女性会員が6名で1割を占め、例会時や親睦活動の雰囲気非常に和やかであること。
2. 新入会員を迎えて早くクラブの雰囲気に溶け込めるよう、入会式当日の夜にウエルカムパーティーを行っている事。
3. 同好会(ゴルフ、民謡、麻雀等)があることでより一層の親睦が図られている事。

次に問題点や疑問に思われている事については、ロータリー財団、米山記念奨学についての質問をさせて頂き、その他当クラブの活動内容の一部としてインターアクト、ペルー、アンデスの子供達への文具の支援活動、地域の老人の方々を対象にした健康講話の開催、等をざっくりお話をできた事は非常に有意義でした。

定刻通り例会に入っては、野口ガバナー自ら懇談会での話題をまとめられパワーポイントを使い卓話を頂き、まとめは「ロータリーを楽しみましょう」それから「08、皆でアメリカ、ロスアンゼルスに行きましょう、そして楽しみましょう。」と締め括られました。

今回の公式訪問では岩永信昭ガバナー補佐によるクラブ協議会も同時に開催され、野口清ガバナー、山下雄司地区副幹事にはオブザーバーとして出席頂きました。クラブ協議会は会長挨拶の後各部門の理事より活動報告がなされ、最後にガバナー補佐より補佐所属クラブのことで講評を頂き充実した協議会となりました。

今回は、ガバナーと気さくにお話をさせて頂いた事で多くの点で共感を得る事が出来ました。今後ともお体に十分に留意をされご活躍されますようお祈り申し上げます。



諫早北ロータリークラブ

会長/山口 洋樹 幹事/本田 清秀

9月20日(木)に野口ガバナー、緒里ガバナー補佐、山本地区副幹事をお迎えし公式訪問が実施されました。

会長・会長エレクト・幹事との懇談会、例会卓話、クラブ協議会に於いては、当クラブが抱えている国際青少年交換留学生の件、ロータリー財団への寄付等の問題点についての質問に対して、豊富な経験をもとに意見や適切なご指導を頂き有り難く感謝しております。

3年後に創立40周年を向える当クラブとしては、過去36年間に築いた歴史の中でクラブとしての長所、短所を見極め、その短所を是正し長所とするところを大いに伸ばすことを考え、親睦と融和の明るく楽しい“行かなければいけない”ではなく“行きたい”心のふれあう雰囲気のクラブをつくりたいと思っています。

野口ガバナーにおかれましては今後体調には十分気をつけて頂き、益々のご活躍を祈念し、クラブ会員一丸となってロータリー活動をすすめていきたいと思っております。ご来訪ありがとうございました。



ガバナー公式訪問

東長崎ロータリークラブ

会長/多良 正治 幹事/山口 善生

9月25日(火)、野口ガバナー、阿部ガバナー補佐、嬉野地区副幹事をお迎えし、公式訪問例会を開催いたしました。

ラスト前の公式訪問ということで、和やかな雰囲気の中、11時より懇談会を開催いたしました。まず、ガバナーより「貴クラブのよいところを教えてください」とのお尋ねに、当クラブが取り組んでいる不登校の子どもたちへの支援活動、少ない会員数ではあるが団結力が強く地域と密着した活動を心がけ活動している等の説明をいたしました。また、若い会員が、入会した意味を見つけようとしている姿勢に頼もしさを感じて頂き、とても嬉しくなりました。

例会では、PCを使い、国際ロータリーの歴史について噛み砕いたお話をして頂き、その後の推移や現状をご報告頂きました。最後に、ロータリーを知る楽しみ、ロータリー生活を実践する楽しみも含めて楽しみましょうと提案され、例会を終了いたしました。

今回の来訪で、野口ガバナーの人となりに触れる時が与えられたことに感謝いたします。



諫早西ロータリークラブ

会長/荒木 公義 幹事/植杉 茂

9月26日野口清ガバナー、緒里勇三郎ガバナー補佐(第8グループ)、大坪恵介地区副幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問、クラブ協議会が開催されました。

例会に先立ち、会長、会長エレクト、幹事、副幹事との懇談会は緊張気味でのスタートでしたが「ロータリーを楽しみましょう」をモットーにされています野口ガバナーのお人柄と気配りにより、和やかな雰囲気のなか、我がクラブの良いところ、それに事業計画についての質問など頂きありがとうございました。

例会では30分間と短い時間に於いて、サンディエゴでのガバナー研修をユーモアを交えながらのお話から始まり、国際ロータリーの現状、ロータリー財団、米山奨学会の説明をお聞きし、いままでの勉強不足と思いを深く反省いたしました。これからもご指導を宜しくお願いいたします。

今日、私共のクラブ公式訪問を終えられますと最後のホームクラブでの公式訪問となります。長期間(7月10日~9月27日)に亘りご苦勞様でございました。

来る10月27日記念ゴルフ大会、11月17日~18日の地区大会を楽しみにしております。

国際ロータリー第2740地区
野口 清ガバナー公式訪問



ガバナー公式訪問

佐賀ロータリークラブ

会長/音成日佐男

幹事/岸川 正人

さる9月27日(木)に、野口清ガバナー、小山力生第1グループガバナー補佐、またゲストとして岩永信昭第9グループガバナー補佐においでいただきました。

いうまでもなく当クラブは野口ガバナーの所属クラブであり、会員一同ガバナーの、3ヶ月間で57クラブを訪問(しかも公的交通機関での移動)という大変な“偉業”を祝福する例会となりました。

ガバナー卓話では、パワーポイントを使って大変解りやすく国際ロータリーの成り立ち、RI会長方針や、ガバナー研修の様子を、ユーモアを交えながら、ご説明いただきました。当クラブはガバナー方針「ロータリーを楽しもう」を受けて、楽しむためにはもっとロータリーを知らなければならない、その為に「ロータリーを語ろう」を目標にしております。まさにガバナーの卓話はうってつけの内容だったと思います。訪問には同行したメンバーも多数いるのですが、同内容の卓話でも写真や異なったエピソードをお話いただくなどご配慮をいただきました。最後にバナーと花束をお渡しし全員で記念撮影して例会を終了いたしました。

この記事が載るころには、無事大成功で終わっていると確信しておりますが、当クラブがホストの地区大会の準備に邁進しております。是非多数の皆様にご参加いただきたいと思っております。

最後に、残念ながらお亡くなりになられた、空閑清高地区幹事のご霊前に例会終了後、ガバナーは公式訪問の完了をご報告に行かれたとのことです。蛇足ながら付け加えさせていただきました。



SAGA
JAPAN



* お詫びと訂正 *

先月の『ガバナー月信』Vol.5の掲載記事に間違いがありましたので、訂正をし、謹んで深くお詫びを申し上げます。(ガバナー月信委員会)

【P10 長崎中央ロータリークラブ 会長名・幹事名】

(誤) 会長/堺 末喜
幹事/山本 稔



(正) 会長/植松 俊徳
幹事/井筒 亮平



国際協議会 「入りて学び出でて奉仕せよ」



ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀RC
後藤 謙一 君



佐賀RC
吉住 健二 君



佐賀西RC
山田 耕司 君



北松浦RC
有馬 明彦 君



北松浦RC
江口 守 君



佐世保南RC
岩間 俊之 君



佐世保北RC
西川 正美 君



大村北RC
小川 安広 君



諫早RC
立川 智啓 君



諫早RC
水町 好宏 君



諫早西RC
塚原 浩三 君



諫早西RC
吉野 尋隆 君



長崎北RC
上戸 謙二 君



長崎北RC
高原 至 君



長崎北RC
谷口 佳三 君



長崎東RC
青柳 潔 君



長崎東RC
板坂 勝司 君



長崎東RC
森下 豊邦 君



長崎東RC
山崎 秀章 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	マルチプル・P・H・F	石 松 憲一郎	唐津RC
	メモリアル・コントリビューター	波多野 徹 ご尊父 故波多野 顕様を偲んで	長崎RC
米山記念奨学会	米山功労者	吉 村 正	佐賀南RC
		久 保 康 俊	武雄RC
		井 上 雅 弘	佐世保北RC
	米山功労者 (マルチプル)	保 利 喜 英	唐津西RC
		小 西 宗 十	佐世保北RC
		緒 方 信 行	佐世保北RC
		中 島 閏 二	佐世保北RC
		古 賀 新 二	佐世保北RC
		馬 場 政 廣	長崎東RC
	米山功労者 (メジャードナー)	梅 田 昭 郎	長崎東RC
		堤 和 之	佐賀大和RC
		西 沢 茂	佐世保北RC
		福 田 俊 郎	佐世保北RC

訃報

謹んでお別れいたします 合掌。



故 中村 展三 君
(諫早北RC)

ROTARY SHARES

2007年10月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	85.5	65	0	69	0	4	2	0
	小城	5	91.6	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	3	93.5	33	0	30	0	-3	0	1
	多久	4	87.1	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀大和	5	74.1	24	3	24	3	0	0	0
	小計		86.3	190	8	192	8	2	2	1
第2グループ	佐賀西	4	81.0	48	0	47	0	-1	1	0
	佐賀北	4	87.4	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀南	4	85.1	44	2	44	2	0	0	0
	神埼	4	70.1	32	0	30	0	-2	0	2
	佐賀空港	5	75.6	16	1	18	1	2	0	0
	小計		79.8	180	6	180	6	0	1	2
第3グループ	有田	4	78.6	38	3	38	3	0	0	0
	武雄	4	83.4	55	0	53	0	-2	0	0
	鹿島	4	91.2	40	2	38	2	-2	0	1
	嬉野	4	87.4	24	1	24	1	0	0	0
	大町	4	68.5	26	0	27	0	1	0	0
	白石	5	68.7	16	0	16	0	0	0	0
	太良	4	91.6	9	1	9	1	0	0	0
	小計		81.3	208	7	189	7	-3	0	1
第4グループ	唐津	4	92.9	51	0	53	0	2	0	0
	伊万里	4	95.8	32	0	36	0	4	0	0
	唐津東	4	96.3	47	0	51	0	4	0	0
	唐津西	4	89.4	37	0	39	0	2	0	0
	伊万里西	4	80.0	44	0	47	0	3	0	1
	唐津中央	4	94.0	38	4	38	4	0	0	0
	小計		91.4	249	4	266	4	17	0	1
	第5グループ	佐世保	5	100.0	80	0	81	0	1	0
平戸		4	88.8	40	0	41	0	1	0	0
佐世保西		4	94.2	26	0	27	0	1	0	0
北松浦		5	88.7	22	0	22	0	0	0	0
松浦		4	91.2	31	1	31	1	0	0	0
小計			92.5	199	1	202	1	3	0	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	98.4	75	0	81	0	6	1	0
	佐世保東	4	80.8	29	0	29	0	0	0	0
	佐世保北	4	100.0	45	0	48	0	3	1	0
	佐世保中央	4	100.0	39	0	38	0	-1	0	1
	佐世保東南	4	81.5	24	0	23	0	-1	0	0
	HTB佐世保	5	76.8	28	4	29	4	1	0	0
	小計		89.5	240	4	248	4	8	2	1
第7グループ	大村	5	90.0	51	3	53	3	2	0	0
	島原	5	86.6	34	3	36	4	2	0	0
	雲仙	4	86.4	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	5	100.0	33	0	34	0	1	1	0
	島原南	5	76.0	20	1	21	1	1	1	0
	大村東	4	87.9	47	1	46	1	-1	0	1
	小計		87.8	213	8	217	9	3	2	1
第8グループ	諫早	4	87.9	60	0	62	0	2	1	0
	諫早北	4	81.5	61	0	62	0	1	0	1
	諫早西	4	95.0	44	0	47	0	3	2	0
	諫早多良見	5	86.8	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	4	84.1	29	4	29	4	0	0	1
	小計		87.0	232	4	238	4	5	3	2
第9グループ	長崎	3	88.8	94	0	96	0	2	0	0
	福江	4	80.3	39	0	39	0	0	0	0
	長崎北東	4	87.2	55	6	51	5	-4	0	0
	福江中央	5	91.8	35	1	31	0	-4	0	2
	長崎西	4	81.0	70	0	65	0	-5	0	1
	長崎琴海	4	56.8	22	3	22	3	0	0	0
	小計		80.9	315	10	304	8	-11	0	3
第10グループ	長崎北	4	78.6	68	0	72	0	4	3	0
	長崎南	4	78.4	84	0	85	0	1	0	0
	長崎東	4	98.3	57	0	60	0	3	0	1
	東長崎	4	79.6	30	0	31	0	1	0	0
	長崎中央	4	95.6	56	0	55	0	-1	0	1
	長崎出島	4	67.7	57	12	58	12	1	0	0
	小計		83.0	352	12	362	12	10	3	2
合計		85.9	2,378	64	2,401	63	37	12	13	

文庫通信

242号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- | | | | | |
|---------------------------|-------|------|-----|----------|
| ◎「二人三脚で乗り越えた介護の日々」 | 小山 明子 | 2006 | 19p | (D.2670) |
| ◎「世界の山々をめざして～世界自然遺産との共生～」 | 田部井淳子 | 2006 | 5p | (D.2830) |
| ◎「21世紀のゴールドラッシュと日本」 | 野口悠紀雄 | 2006 | 17p | (D.2710) |
| ◎「豊かなくるま社会を目指して」 | 渡辺 捷昭 | 2006 | 11p | (D.2760) |
| ◎「環境の世紀 日本の世紀」 | 小池百合子 | 2007 | 6p | (D.2740) |
| ◎「どうする地球環境問題」 | 北野 大 | 2007 | 6p | (D.2740) |
| ◎「社会変動を視野に入れた教育」 | 能勢 隆之 | 2007 | 20p | (D.2690) |
| ◎「世界を旅して～活きている地球～」 | 星野 知子 | 2006 | 4p | (D.2560) |
| ◎「国際社会におけるこれからの日本」 | 麻生 太郎 | 2007 | 7p | (D.2580) |

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】

掲載
 しませんか

◎クラブ行事・周年報告 など

ガバナー月信でクラブの行事・周年の報告などをご紹介します。
 《応募方法》500字以内(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



RI第2740地区2007～2008年度地区大会



地区大会記念事業・地区大会記念懇親ゴルフ大会 報告

地区大会記念事業

平成19年10月11日(木)
佐賀市久保泉町 ざわざわ池公園

地球温暖化が叫ばれている今日、みどり（森林）の必要性が認識され、さまざまところでの植樹活動が行われています。

我々ロータリーも各周年事業等々において「ロータリーの森」の計画実施を行ってまいりました。

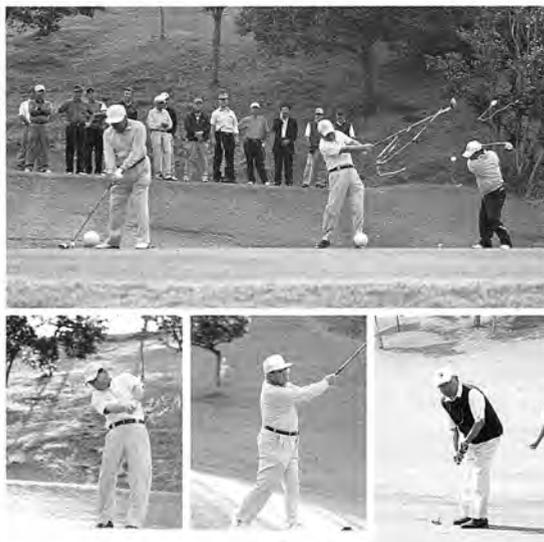
今回も記念事業として、将来を担う子ども達と共に「ロータリーの森」作りを行いました。



地区大会記念懇親ゴルフ大会

平成19年10月27日(土)
大和不動産カントリー倶楽部

参加者：88名



■大会成績（敬称略）

- 1位 金藤 徳久（佐賀西RC）
- 2位 砥綿 正徳（佐賀RC）
- 3位 武富 浩二（牛津RC）
- 4位 為永 伸夫（大村東RC）
- 5位 原 隆司（武雄RC）

■ベストグロス賞

森永 秀史（佐賀北RC）



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



国際ロータリー第2740地区

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail:ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

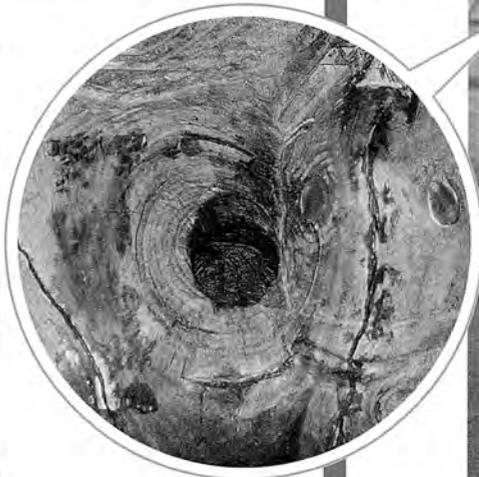
2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信
クラブ会長・幹事各位



2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？(第6話)	1
ガバナーエレクト「年頭の御挨拶」	3
ガバナー補佐「新年の御挨拶」	4
地区大会報告	9
ロータリー財団国際親善奨学生募集要項	11
佐世保東RC 第2000回記念例会	13
聴導犬のデモンストレーション	14
子供達の小さな森づくり	15
交換留学生の九州研修旅行を実施しました	16
新入会員紹介	17
寄付者紹介	18
会員数・出席報告	19
文庫通信	20
クラブガバナー紹介(第1・第2グループ)	裏表紙

えんむす えびす
縁結び恵比須さん (所在地: 長崎市上西山町18-15 諏訪神社境内)

長崎くちで全国的に有名な諏訪神社社殿の左側に鎮座されています。説明札によると、縁結びの恵比須さんだそうです。近づいて見ると、恵比須さんの左胸あたりに、お賽銭入れの穴が開いています。更に、恵比須さんの向かい合わせには大黒さんもいらっしゃいます。

木彫りでできた、とても表情豊かな恵比須さんと大黒さんです。女性は恵比須さんに、男性は大黒さんにお祈りすれば縁がむすばれるかも…。





ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第6話 —

国際ロータリー第2740地区
2007—2008年度ガバナー

野 口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

新年にあたり、 それでもあなたはロータリー 財団に寄付をされますか？

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、地区の会員皆様並びにご家族皆様のご多幸を、心からお祈り申し上げます。

さて、ロータリー財団は国際ロータリーとは違う法人、団体です。国際ロータリーは財団の一法人会員です。国際ロータリーは各ゾーンから選ばれる理事によって運営されます。しかし、ロータリー財団は財団管理委員会によって運営されています。財団管理委員長はパスト国際ロータリー会長から選ばれています。委員はどうかやって選ばれているのか私には分かりません。

財団の寄付は大きく分けると基金として使われるものとプログラム自身に使われるものがあります。前者をベネファクターといいます。後者にはポール・ハリス・フェロー、使途指名



国際協議会議「国際祭りの夕べ」
(写真提供：ロータリーの友)

寄付者、冠名寄付者などがあります。基金は資金運用する資本になるもので、その運用益をプログラムに使うのです。ポール・ハリス・フェローは、①教育的プログラム②人道的プログラム③ポリオ・プラスとして使われます。

地区には3年前の地区の総寄付額の50%が地区に帰ってきて地区活動資金としてその内の20%を人道的プログラムとして使うことが出来る仕組みになっています。しかし、それには色々な制約や複雑な計算式があり実際にクラブで使うことが出来る額は非常に小さな額になってしまうことが多いのです。それに実際に各クラブが申込書を提出すると、日本支局は、「いまどきこんなことも知らないで」とか、「こんな書き方をして」とか、「小額？2万円も出すじゃないですか（実際は全額が98万円のプログラムで）」とか、色々な無礼な返答を返して来ます。これは本末転倒で、誰が寄付したのか！

と言いたくなってくるのであります。地区に帰ってくる寄付を各ロータリークラブがどう使おうと自由なはずですし、分かち合うことが出来るのがロータリーではないのか？財団の態度、姿勢はお金を集めることには熱心で、それを活用することには厳しく取り締まる。（まるで生命保険会社みたい？生命保険会社の人にはごめんなさい。）

財団の日本室長の各ロータリークラブに対する接触の仕方はロータリアン（財団の日本室長はロータリアンです）とは思えないほどの接触の仕方です。これでは寄付をしようと言う気には到底なれません。財団に対してガバナーがこんなことを言うのはいけないことだとは思いますが、問題は提起しなければいけないのではと思います。

みなさんはどう思われますか？

あまりにも過激だったでしょうか？（反省！）

ROTARY SHARES



年頭の御挨拶

国際ロータリー第2740地区ガバナーエレクト 鈴木 泰彦

(佐世保南RC)

新年あけましておめでとうございます。

健やかに御家族おそろいで新しい年をお迎えるの事と存じ、重ねてお慶びを申し上げます。

さて、昨年RI 2740地区のガバナーノミネーとして御指名を頂き、田口直前ガバナー、野口ガバナーのもとで静かに行動を共にしながら、時には引き受けて良かったのだろうか、引き受けるべきではなかったのではなかろうかと自問自答しながら、色々な勉強をさせて頂きました。

諮問委員会ではパストガバナーの皆様のお話を伺っておりますと、本当に勤まるのか心配でなりません。

たぶんこの号がロータリアンの皆様のお手元に届く頃にはサンディエゴでの国際協議会（1月13日～20日）に参加している事と思います。唯一の救いは私の次の予定者、島原RCの高城ガバナーノミネーが決定している事です。

幸いにも次年度馬郡地区幹事をはじめ、市内8RCの協力を頂き、地区副幹事、並びにガバナー事務所スタッフ、更には佐世保南RCの皆様のお協力を頂きました。

私はこの一年を、李東建RI会長のもとで一生懸命に走り抜けて生きたいと思っています。

ロータリーも100年の時を過ぎ、いろんな変化、いろんな国の参加で更に発展しようとしています。

しかし、底流に流れる世界の平和と紛争解決へ向けての奉仕は永遠だと思います。CLPの推奨なり、青少年交換の為の危機管理委員会なり、時代と共に変化していく事も理解できないわけではありません。

ロータリーにとって、大きな変革の年である事も事実でしょう。

国によって、地域によって、政治、経済の状況によって違う事もあるかと思えます。綱領に示されたものを今一度考えて行きたいものです。クラブの理事会が益々充実したものになり、奉仕活動を活発に行なって頂く事がロータリーの発展に寄与するものだと思います。

四つのテストをしっかりと考え、行動していきたいものです。

一期一会を大事にロータリアンの友情を育み、心豊かなロータリアンを目指して行こうではありませんか。

本年が、皆様にとってすばらしい年になりますように心よりお祈り申し上げます。

**ガバナー補佐「新年の御挨拶」**

第1グループガバナー補佐
小 山 力 生 (小城RC)

謹んで新年のお慶び申し上げます。

第1グループの皆様には大変お世話になり感謝致しております。

野口ガバナーの今年度方針「ロータリーを楽しみましょう」「主役はあなたです」「何かひとつ良いことをしましょう」に沿った指導を受け何とか前半の行事を終えることができました。

ガバナー公式訪問、それに続くクラブ協議会には、どのクラブも心温まる歓迎を受け大変あ

りがとうございました。また、合同例会では手狭な会場にも拘らず皆様のご協力によりスムーズに終る事ができました。

後半の行事として3月IMを企画しています。なお、ライラも小城RCが担当になっています。その折には会員皆様のご指導とご協力をお願いし、各クラブの益々の発展を祈り挨拶にかえさせて戴きます。

**ガバナー補佐「新年の御挨拶」**

第2グループガバナー補佐
権 藤 幸 彦 (佐賀空港RC)

ガバナー月信をお借りして新年のご挨拶を申し上げます。

“皆様新年明けましてお目出度うございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます”

子供の頃指折り数えて待ったお正月も、馬令を重ねるに従って流れが速くなり、アレヨアレヨで又新年を迎えることになりました。

1月はロータリー年度で期間の丁度折り返し点であります。

過し方半期を振り返り、行く未半期への糧とすべきと思いますが、上半期は第2グループ内

の会長さん幹事さんを始め会員皆さんに支えて頂いてのお勉強であっただけで、何等皆さんのお役にも立ってないと反省して居ります。

残任期間についても何等具体的目標すら持たず新年を迎えて居ります。

新年の希望に燃える抱負すら持ち合せていません。

折り返し点の今、もう一度ガバナー方針をおさらいし、如何にして後半を皆さんと一緒に楽しむかを思い浮かべながら正月三箇日を過ごそうと考えております。

ROTARY SHARES



ガバナー補佐「新年の御挨拶」

第3グループガバナー補佐
久原 康正 (白石RC)

新年明けましておめでとう御座います。

第2740地区、第3グループ会員の皆様を始め各クラブに於かれましても新春の門出を迎えられ謹んでお慶び申し上げます。

昨年は第3グループのガバナー補佐役を拝命し、その重責を痛感し後悔の念と暗中模索でのクラブ訪問、ガバナー公式訪問、クラブ協議会、地区大会と上半期の行事も関係各位の皆様的心暖かい御支援で辿り着く事が出来ました。その期間中は猛暑厳しい7月上旬より8月上旬までのガバナー公式訪問で野口ガバナーの気力充実した御指導よろしく、クラブ会長、幹事様を始め各委員長の方々には就任早々にも負けずクラブ協議会の資料作成と現況奉仕活動のプログラム内容にも意義ある充実感がありクラブ独特の良き伝統を醸し出されており実に感銘を致した処です。

更にガバナーとの懇談会の折にも各クラブの定款細則は推奨ロータリークラブ細則を手本としたものが多く、時代の経過と経済構造の変化に対応出来えない細則条文には理事会の決議をもって修正し、クラブ活性化を図るようにと縷々説明され、クラブ幹事様共々多めに勉強になりました。

補佐の任期も半年となり各クラブ訪問で会員皆様方と極力接触の機会と3月のIMの開催の準備にも邁進致す所存であります。何卒今日迄頂いた御教示と心暖かい御支援に深く感謝申し上げますと共に、今後とも御指導、御鞭撻の程宜しく御願ひ申し上げます。

会員皆様方の新しい年に向かって御健勝と御多幸を祈念申し上げ新年の御挨拶と致します。



ガバナー補佐「新年の御挨拶」

第4グループガバナー補佐
石松 憲一郎 (唐津RC)

会員の皆様、ご家族様お健やかに2008年の新春を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

今年度は「ロータリーを楽しもう」のターゲットでスタート、各クラブは活動計画に向かって奉仕活動を力強く進められておられます。

さて、ロータリーの友誌によりますと、ジョナサン・B・マジイアベ元RI会長(2003~2004年度/ナイジェリア)のインタビュー記事によると、「日本でロータリーの魅力が失われつつあるのは、ロータリーの原則がないがしろにされる傾向にあるからだと思う。この考えは今日的に見て誤りでしょうか」これに対し元会長は語る「私はロータリーの原則、つまり職業分類制度と例会出席規定は大切にしなければな

らないと考えている。これらの特徴がなければロータリーは、今日迄99年間も続いてはこなかったでしょう」と述べられている。

ロータリー発足当時から一業種一会員制はロータリーの大原則、つまり同業者は本来相争うべき立場にあり、同業経営者から争いをなくすためには、一つの職種から只一人を入会させ会員となった経営者は、地域社会の専門職から代表的な立場として入会すると考えられてきた。ロータリークラブは、これからも職業分類化された一業一会員制を原則とした社交クラブであるべきだと願っております。

本年も、皆様方には健康に留意され、クラブの更なる隆盛を祈念申し上げます。



ガバナー補佐「新年の御挨拶」

第5グループガバナー補佐
岩崎 邦臣 (佐世保西RC)

新年明けましておめでとうございます。
 去年は色々とお世話様になり、有難うございました。

ガバナー補佐として、地区5RCを野口ガバナーに同行させていただき、各クラブの皆様に暖かい気持ちで迎えていただき、公式訪問を終了することができました。

野口ガバナーの今年度の方針「ロータリーを楽しもう。主役はあなたです!」のもと5グループ5クラブが楽しいクラブ運営をされています。

クラブ運営は、クラブ主体で行うこと、RI指導でないことを伺いました。

小生がクラブに入会当時は、ガバナー公式訪問があると、各会員いつもと違いピリピリと緊張して、ガバナーをお迎えし、厳しい指導・指摘を受け、終了までハラハラ、ドキドキした思い出があります。

ガバナー補佐をお受けするとき、自分に勤まるのかと心配でした。前太田ガバナー補佐から、「自分も心配であったが、やって良かったと思うようになりました。」と聞かされてもまだ不安でした。半期終了し、少しばかり、おっしゃった意味が分かりかけた気がします。これも野口ガバナー、各クラブの会長・幹事様はじめ各会員の皆様のご指導・ご協力のおかげであると有り難く感謝しております。

後半期も、各クラブが楽しいロータリークラブ運営を目指していただきたいと思います。

まだ「I・M」「ロスアンゼルス世界大会」が残っております。皆様のご協力を期待しております。

皆様にとって、新年が良い年であります様、祈念申し上げ、本年もあたたかいご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐「新年の御挨拶」

第6グループガバナー補佐
富田 耕司 (佐世保北RC)

ロータリークラブ会員の皆さま、新年を迎えられおめでとうございます。

第6グループガバナー補佐の指名を受けまして、2007年2月25日の地区チームリーダー研修セミナーに始まり今日まで、ロータリーについて改めて色々学ばせていただきました。

まず、私の担当クラブである佐世保南・佐世保東・佐世保北・佐世保中央・佐世保東南・HTB佐世保のクラブ協議会出席、さらにガバナー公式訪問を無事終えることができましたし、また訪問に当たっては楽しい時を過ごさせていただきましたことに対し、各クラブの会長・幹事および会員の皆さまに心より厚くお礼を申し上げます。

野口清ガバナーにおかれましては、親しみやすさと熱い情熱を持ってロータリーを解りやす

く伝えていただき、ロータリーは難しいものではなく楽しいものだと強調されました。

ロータリーが解りやすく親しみが持てる、そして会員相互が本当の友人となり、生涯の友として友情の輪の中で、クラブが運営されるのが大切なことと思います。

野口ガバナーは、会員増強や財団・米山奨学への寄付につきまして、まず、ロータリーを楽しむ奉仕の喜びを体感することから始めようと提言されました。このお考えは大変新鮮で、ロータリー活動を活性化することにつながるだろうと確信いたします。

半期を過ぎた今、ロータリーに参加することの楽しさを味あわせていただいていることに感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

ROTARY SHARES



ガバナー補佐「新年の御挨拶」

第7グループガバナー補佐
岩 切 正 幸 (島原RC)

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には新しい年を新たな思いをもって迎
えられたことと思います。

過ぎし昨年のご命のままに第7グループの補
佐のご用をつとめさせて頂き、各クラブを訪問
させて頂き大変お世話になりました。

それぞれの各クラブが会長さんを芯として一
手一つの心をもって、それぞれの計画に従って
お進み頂いていることを強く感じました。

どうか、年明けて、更に勇んで一つ心をもっ
て奉仕の理想に向かってお励み頂きますことを
祈念致し新年の挨拶といたします。



ガバナー補佐「新年の御挨拶」

第8グループガバナー補佐
緒 里 勇 三 郎 (諫早西RC)

皆様、明けましておめでとうございます。
ガバナー補佐を拝命した時は、浅学菲才の私
にこの重責が務まるのか不安に押しつぶされそ
うな毎日でしたが、就任のご挨拶に各クラブを
訪問いたしました際に、多くの暖かい励まし
の言葉を頂き、不安感が薄らぎ、無事スタート
することが出来ました。感謝いたしております。

今年度は、ガバナー公式訪問とクラブ協議会
は同一日に開催するということになっていただき
ました。この事は、クラブそしてガバナー補佐
にとっても時間、経費の両面で負担軽減になっ
たと思います。

第8グループでは、会長・幹事会が4半期に

1回開催され、グループの共通問題について協
議されています。この協議会に出席させていただ
くのは、ガバナーとクラブの調整役の私にと
っては大きな支えとなっており、感謝申し上げ
ているところです。

第7・第8グループのI・Mは諫早西RCと
諫早多良見RCで3月1日の開催に向け準備を
進めているところです。

各クラブにおかれましては、当初計画されま
した目標を達成されますようお願い申し上げ、
会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ年頭
のご挨拶と致します。

**ガバナー補佐「新年の御挨拶」**

第9グループガバナー補佐
岩 永 信 昭 (長崎北東RC)

皆様、あけましておめでとうございます。
旧年中はクラブ訪問等でお世話になり、ありがとうございました。
暖かく迎え入れて頂き感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。
野口ガバナー年度も早いもので半分が過ぎま

した。地区大会も終了し主要行事は概ね消化しましたが、6月にはいよいよロサンゼルス国際大会が開催されます。当地区からは例年にない参加者数が見込まれ、大いに楽しみです。

最後まで“ロータリーを楽しみましょう。”

**ガバナー補佐「新年の御挨拶」**

第10グループガバナー補佐
阿 部 芳 男 (長崎北RC)

新年明けましておめでとうございます。
第10グループガバナー補佐として各クラブの事前訪問では、野口ガバナーの人柄が解らず、また地区幹事不在と云う異状事態であった為、各クラブ対応等心配してクラブ同士情報交換したり心配しておりましたが「案ずるより産むが易し」お会いしてみると、非常に人柄は良くスポーツマンで、お酒も大好きで自称夜行性とはさばけた人です。趣味は実益を兼ねた、競馬は素人はだし、苦勞はいとわずなんでも自分一人でこなす。直球勝負の性格で、褒め言葉の連続で野口ガバナーの紹介みたいですが大好きな人柄を知り、安心して楽しく野口ガバナーと公式訪問をする事が出来ました。
また、訪問先の各クラブでは心温まる歓迎を受け、大変ありがとうございました。
初めは私の様な者が、ガバナー補佐が務まるか不安な気持ちでスタート致しましたが、会員皆様の御協力に依りいつのまにか6ヶ月が過ぎ

てしまいました。

この間多数のロータリアンとの出会い、知り合いで友情を得る事が出来、私の大きな財産となりました。

11月17・18日に開催された地区大会は趣向を変えた大会で参加が心配されましたが、意外と好評で多数の参加者で成功裏に終了する事が出来ました。ありがとうございました。

私も最後を飾る特別企画ロータリー寄席、大喜利大会に野口ガバナーと一緒に出演する事が出来、楽しい思い出を作る事が出来ました。

大きな行事も終り一段落して、折り返し点となりましたが、残り半年気を引き締めて最後の大仕事が待っています。

今年6月15日からロスアンゼルスにて開催される、2008年国際ロータリー年次世界大会の参加者募集等に力を入れて参りたいと思います。

宜敷くお願い申し上げます。

2007～2008年度
RI第2740地区

地区大会



地区大会を終えて

ガバナー 野口 清

今年の佐賀での地区大会に際しては、実行委員会の皆様、ホストの佐賀、コホストの佐賀西、佐賀北、佐賀南、牛津の各ロータリークラブの皆様、地区の全ロータリアンの皆様（特に会長さん達）、各ロータリークラブの事務局の皆様、本当に色々とお手数、ご心労をおかけいたしました。皆様のお力で何とか大会を無事終了する事が出来ました。心から感謝申し上げます。

地区大会は地区のお祭り、みんなで楽しもうと言う事をキーワードに、初めての試み「みんなで公式訪問」で始まった今年の佐賀での地区大会でした。皆さんの多大なご協力で大成功(?)に終わりました。と言いたいところですが、私の失敗、能力不足、不手際で皆様には多大なご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。懇親会でのハミングバズさんへの失礼、料理を出すタイミングの悪さ、数え上げればきりが無いほど失敗の連続でした。内心忸怩たるものがあります。本当に申し訳ありませんでした。実行委員会は多大な時間を費やし、職業を犠牲にして、一生懸命頑張りました。そこは皆様にもご理解を頂きたいと思えます。ただただ私の能力不足に尽きます。今度開催する時(?)までにはもっともっと自分を成長させておきます。しかし、地区大会の意味を皆さんに考えて頂いたことは収穫だったのではないかと思います。2日目の参加が少ないと言うことは相変わらず解消出来ませんでした。今後日程を含めた運営のあり方も考え直す必要がありそうです。今回の数々の問題点を踏まえて、鈴木エレクトには次回の佐世保での地区大会では必ずや成功に導いてもらいたいと期待してやみません。



「ロータリーを楽しもう！」

●とき／2007年11月16日(金)～18日(日) ●ところ／佐賀市文化会館



地区大会をふりかえって

地区大会実行委員長 指山 弘 養 (佐賀RC)

最初に本年度R I 2740地区の年次大会は、R I 会長代理中山義之氏御臨席のもと11月17日～18日佐賀市文化会館にて地区内57クラブ、およびコ・ホストクラブの皆様をはじめとした関係各位のご協力を頂き、開催そして無事に終了できたことを心より御礼申し上げます。

さて本会議では、冒頭よりの“みんなで公式訪問”で皆様には、地区内各クラブの現況が良くご理解いただけたかと思えます。本年の地区大会は、開催にあたり当初より“ロータリーを楽しもう”という本年度野口清ガバナー提唱＝大会テーマのもと、ご参加いただいた

ロータリアン全員が心からお楽しみいただき、相互の理解を深めていただくための新しい試みでした。

また、大会第一日目の本会議後の五木寛之氏のご講演では、“命の大切さ”を中心にした内容で現代の日本の国を憂うお話で感銘を受けました。

ニューオータニ佐賀での記念懇親会では長崎のハミングバズ皆様の歌声に感心しましたし、多くのロータリアンとの交流ができたのではないかと存じます。

今大会は初日の講演会より二日日本会議後のロータリー寄席についても、一般の市民の方に広く呼びかけ、お出でいただきました。この機会がロータリー活動広報の一助となればと思います。

最後になりますが、本年度地区大会にせっきく登録および参加頂いたにも関わらず、十分なおもてなしができずご不満な点が多々あったと思えます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。ロータリーの友情をもってお許し頂きたく存じます。

2008～2009年度佐世保での地区大会の成功をお祈りいたします。

本当にありがとうございました。



ROTARY SHARES

国際ロータリー第2740地区 2009～2010年度

ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

1. 留学先

ロータリークラブの存在する国

2. 募集人員

①アカデミック・イヤー（1年）国際親善奨学生

（単年度留学）若干名

奨学金額（1年間）世界一律 24,000 US\$

②マルチ・イヤー（2年）国際親善奨学生

（学位取得コース留学生）若干名

奨学金額（2年間）1年間につき一律 12,000 US\$

3. 留学期間

2009年7月から各々の留学期間（主に北半球教育機関）

2010年2月から各々の留学期間（主に南半球教育機関）

4. 申請資格

日本国籍を持ち、奨学金制度が始まるまでに、少なくとも2年間の大学課程を修了した者。

ロータリアン、又はその配偶者、尊属、直系家属でないこと。

リーダーシップがあり、学業成績も優れ、健康で国際親善活動に熱心であること。

留学希望国の言語に精通している者。

【英語圏では、TOEFLのインターネット・テストで100点、コンピュータ・テストで250点、あるいは筆記テストで590点が必要となります。】

上記の一般的資格条件を持ち、更に下記の条件のいずれかに該当すること。

①申し込み地区の高等学校卒業生

②申し込み地区の大学、または、大学院に在学中の者

③申し込み地区の研究機関に在籍中の者

④申し込み地区に就業している者（但し、勤務先の雇

主か上司の推薦状を添付すること）

5. 書類請求先

「2009～2010年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」は、必ずスポンサーロータリークラブを通して、下記のガバナー事務所に請求して下さい。

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

R I 第2740地区ガバナー事務所 宛

TEL 0952-23-1828 FAX 0952-22-7121

E-mail: ri2740k-noguchi@jbz01.plala.or.jp

送付先住所・氏名を明記し返信用切手200円を貼付した角2封筒を同封の上、請求して下さい。

6. 申請手続

①申請者のクラブへの申請書提出期限

……2008年3月末日（クラブによって若干早くなる事が有ります。）

※申請者は、所定の「2009～10年度ロータリー財団国際親善奨学金申請書」の冊子を使用して必要事項を記入し、規定の同時提出書類を添付の上、スポンサーロータリークラブに提出して下さい。（冊子以外の用紙を使用しますと、番号漏れが生じる場合がありますので、ご注意、ご協力下さい。）

※申請者は、和文／英文の2通を作成し、2通とも提出して下さい。

※申請書はガバナー事務所にありますので、クラブは必要部数を請求して下さい。

※申請書記入法については、ガバナー事務所より発送します申請書と同送します。

②クラブからガバナー事務所への申請書提出最終期限

……2008年4月20日

提出申請書を受理したロータリークラブは、申請書記入項目確認の上、顧問ロータリアン1名を指名し、申請書のクラブ会長・顧問ロータリアンの署名欄に署名して、地区ガバナー事務所へ提出して下さい。

注意事項として、クラブ会長・顧問ロータリアンの署名の記入がないときは、書類審査の対象外となります。

③全頁の記入・署名欄は、全て線上に記入してください。

7. 選考方法

①書類審査、選考試験：会場・日時は後日申請者に通知します。

②選考結果の通知：2008年6月下旬、スポンサークラブ及び本人宛に、可否の結果を通知します。

③最終選考：2008年12月頃、ロータリー財団本部より本人宛に受入教育機関の指定があります。

※尚、詳細はガバナー事務所、または、財団奨学委員にお問合せ下さい。

ROTARY SHARES



佐世保東ロータリークラブ 第2000回記念例会



佐世保東RC

平成19年11月1日佐世保東ロータリークラブは創立以来40年10ヶ月余りで2000回目の例会を迎えました。

そこで、在籍するチャーターメンバー5名の夫人を例会に招き記念例会を開催いたしました。

創立時代の古い写真から40周年までの写真を大画面に映し出し、40年前の“若い顔”に笑い声が上がり、会場が沸き立ちました。

また、チャーターメンバーに昔の活動と思い出を一口ずつ話してもらい、和やかな意義ある例会でした。

又、偶然にも2007年最後の例会が2007回目、2008年最初の例会が2008回目になります。



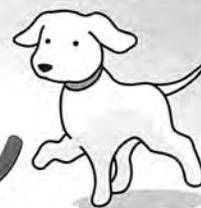
チャーターメンバーのテーブル



チャーターメンバーの奥様方と志水会長

活動
報告

聴導犬の デモンストレーション



佐世保北RC 宮崎有恒

からだの不自由な人の、からだの一部となってサポートする「ほじょ犬」には、みなさんよくご存知の「盲導犬」「介助犬」そして耳の不自由な方に生活に必要な音を知らせる「聴導犬」の3種類がありますが、「聴導犬」は全国に13頭しかいません。

この度、佐世保北ロータリークラブでは、地区補助金を利用して「聴導犬」のことを、たくさんの人々に理解して頂き、からだの不自由な人たちが「ほじょ犬」といっしょに参加できる社会づくりのために、11月12日聴導犬のデモンストレーションを開催し聴導犬の普及活動しているNPO法人・聴導犬育成協会にパンフレット、のぼり、スタッフジャンパーを作成し、寄贈しました。

デモンストレーションは佐世保・大宮幼稚園、日野幼稚園の2ヶ所で開催し、大宮幼稚園では、佐世保高等専門学校ボランティア学生グループ10名にも見学して頂き、作成したパンフレット等の贈呈式を行いました。

両幼稚園では300名の園児や父兄の見守る中、聴導犬「チロ」が目覚まし時計の音、赤ちゃんの鳴き声、火災報知機の音等を聞き分けて知らせるしぐさを一生懸命見ている園児の小さな目が印象的でした。

佐世保北ロータリークラブでは2000年より支援を行っており現在20名の会員がNPO法人・聴導犬育成協会の会員及び賛助会員になり、その活動を支援しています。





子供達の小さな森づくり —“平和の象徴”大きくな~れ—

長崎南RC

子供達に平和の尊さや環境保全の大切さを理解してもらおうと、11月24日、長崎市香焼小学校（沖島哲郎校長）に被爆クスノキ1本とサクラヤマテバシイなど20本の苗木を寄贈し、同小で長崎南RC会員、生徒による植樹式を行った。

この被爆クスノキの苗は高さ3メートルほど。山王神社のクスノキを管理していた植木職人が13年前から育てたものです。「大切に育てて、木と一緒に大きくなりたい」という生徒たちによって苗木は育てられ、30年後の「小さな森づくり」も決して夢ではないでしょう。

また、11月26日には、本田圭助会長が香焼小学校全生徒に「被爆クスノキと小さな森づくり」と題して、講話を行いました。生徒が一昨日植えた被爆クスノキの苗木の話のスライドや写真を交えて紹介。

そして「小さな森づくりの話」では、小さくても森を作るとそこには色んな草花が生き、鳥や昆虫もやってくる事、木や草花

もそつとなでてあげたり声をかけてあげると喜ぶこと、森は地球の温度が上がるのを防ぐ役目を持っている事など、森の大切さ、緑の大切さを説きながら、苗木と友達になって欲しいという話があり、子供達も真剣な表情で聞き入っていました。

一つの事業を多面的に捉え、2日間に亘り実行しましたが、何よりもしなやかな子供達の感性に出会った貴重な体験でもありました。

（今回の社会奉仕事業は、テレビ・新聞・ラジオと多くの報道機関に取り上げていただきました。）



被爆クスノキの植樹



本田会長の全校生徒への講話



交換留学生の九州研修旅行を実施しました

地区国際青少年交換委員 川口 史

(長崎南RC)

国際青少年交換委員会では、11月15日～17日に交換留学生の九州研修旅行を実施しました。この研修旅行は、交換留学生に九州が誇る自然や文化を体感してもらう目的で例年行っているものですが、来日して3ヶ月程度と日本での生活によりやく慣れてきた時点での研修旅行は、留学生相互の結束をはかる意義もあります。さらに、今回はローテックスの濱村恭子さんにも留学生の支援役として参加いただき、充実したものとなりました。



初日は今年度初めて毎週木曜日に実施している長崎国際大学での日本語研修のあと、ハウステンボスのご厚意で同園に入場させていただき、まずハウステンボスの風景やアトラクションを楽しみました。2日目は、熊本城、南阿蘇ミルク牧場、阿蘇山頂と回りましたが、残念ながら厚い雲に阻まれて雄大な阿蘇山の光景を見ることは出来ませんでした。3日目は、錦秋の九州を楽しむべく人気の九重夢吊橋を早朝から訪ね、由布院散策、城島後楽園でのレクリエーションと好天の1日を過ごして、地区大会が行われている佐賀へと向かいました。



留学生たちは大いに九州を見聞し、おおいに語らって相互の交流を深めました。訪問先としては九重の露天風呂、紅葉の由布院の景色や民芸村で見た日本の昔の生活などが特に記憶に残ったようでした。

【参加者】

〈来日留学生〉 MR. ティモテ・エルムステッター (フランス 佐賀RC)
 MR. ロバート・スヴレ (ノルウェー 佐世保南RC)
 MR. ジェレミー・ローレンス (アメリカ 諫早北RC)
 MS. サマンサ・ダウンズブラウスキ (アメリカ 長崎RC)
 MR. アレックス・フラケンポール (アメリカ 長崎南RC)

〈ローテックス〉 濱村 恭子 ('02～'03 タイ派遣 佐世保南RC)

〈地区委員会〉 川口 史 (長崎南RC)

ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介いたします。



佐賀 R C
馬場迫 博 君



牛津 R C
樋渡ちず子 君



佐賀大和 R C
井手 浩利 君



佐賀西 R C
松本 政昭 君



武雄 R C
岡 さとみ 君



佐世保中央 R C
富永 博美 君



島原南 R C
山田 義善 君



島原南 R C
宮崎 友明 君



諫早北 R C
近藤 公德 君



長崎 R C
田島 浩一 君



長崎北 R C
片江 明博 君



長崎北 R C
福井 正義 君



長崎北 R C
宮田 耕一 君



* お詫びと訂正 *

先月の『ガバナー月信』Vol. 6の新入会員でご紹介致しました、立川智啓君（諫早 R C）は物故会員の誤りでした。訂正をし、謹んで深くお詫びを申し上げます。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロ タ リ ー 財 団	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	横 岳 保 雄	有田RC
		樋 渡 千 春	武雄RC
		崎 山 信 幸	佐世保中央RC
		西 村 浩 輝	佐世保中央RC
	マルチプル・P・H・F	富 永 正 嗣	武雄RC
		緒 方 信 行	佐世保北RC
		鈴 木 正 昭	佐世保北RC
		野 畑 義 博	佐世保北RC
		村 里 愛 子	大村RC
	ベネファクター	湯 口 純 二	佐世保北RC
	大口寄付者	福 田 俊 郎	佐世保北RC
	メモリアル・コントリビューター	田 中 蘭 子 様 (故 田中 明会員令夫人)	長崎東RC
	ポリオ・プラス・パートナー	田 中 蘭 子 様 (故 田中 明会員令夫人)	長崎東RC
	米 山 記 念 奨 学 会	米山功労者	小笠原 邦 博
長 富 寿 人			佐世保中央RC
田 代 博 之			佐世保中央RC
四 元 清 安			佐世保中央RC
吉 次 良 治			諫早西RC
堺 末 喜			福江中央RC
本 岡 晃			福江中央RC
山 本 稔			福江中央RC
米山功労者 (マルチプル)		南 野 健	大村北RC
	岡 崎 威	諫早多良見RC	

訃報

謹んでお別れいたします 合掌。



故 酒井 成文 君
(武雄RC)



故 立川 智啓 君
(諫早RC)



故 田中 明 君
(長崎東RC)

ROTARY SHARES

2007年11月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	5	87.7	65	0	70	0	5	1	0
	小城	4	95.6	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	4	88.7	33	0	31	1	-2	1	0
	多久	5	84.3	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀大和	4	79.0	24	3	25	3	1	1	0
	小計		87.0	190	8	195	9	5	3	0
第2グループ	佐賀西	4	85.9	48	0	48	0	0	1	0
	佐賀北	4	94.9	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀南	3	90.9	44	2	44	2	0	0	0
	神埼	4	74.1	32	0	30	0	-2	0	0
	佐賀空港	4	83.3	16	1	18	1	2	0	0
	小計		85.8	180	6	181	6	1	1	0
第3グループ	有田	4	80.0	38	3	38	3	0	0	0
	武雄	4	86.9	55	0	53	1	-2	1	1
	鹿島	4	89.8	40	2	38	2	-2	0	0
	嬉野	4	93.7	24	1	24	1	0	0	0
	大町	5	70.3	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	66.7	16	0	15	0	-1	0	1
	太良	5	89.8	9	1	9	1	0	0	0
小計		82.4	208	7	204	8	-4	1	2	
第4グループ	唐津	4	90.7	51	0	53	0	2	0	0
	伊万里	4	88.8	32	0	36	0	4	0	0
	唐津東	5	94.1	47	0	51	0	4	0	0
	唐津西	4	83.8	37	0	39	0	2	0	0
	伊万里西	4	80.2	44	0	47	0	3	0	0
	唐津中央	3	91.2	38	4	38	4	0	0	0
	小計		88.1	249	4	264	4	15	0	0
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	82	0	2	1	0
	平戸	5	91.0	40	0	41	0	1	0	0
	佐世保西	4	95.1	26	0	27	0	1	0	0
	北松浦	4	88.4	22	0	24	0	2	2	0
	松浦	4	91.1	31	1	31	1	0	0	0
	小計		93.1	199	1	205	1	6	3	0
第6グループ	佐世保南	3	100.0	75	0	81	0	6	0	0
	佐世保東	5	75.6	29	0	29	0	0	0	0
	佐世保北	4	100.0	45	0	48	0	3	0	0
	佐世保中央	5	100.0	39	0	39	0	0	1	0
	佐世保東南	4	81.8	24	0	23	0	-1	0	0
	HTB佐世保	4	73.2	28	4	30	4	2	1	0
	小計		88.4	240	4	250	4	10	2	0
第7グループ	大村	4	96.7	51	3	52	3	1	0	1
	島原	4	75.6	34	3	36	4	2	0	0
	雲仙	3	83.6	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	34	0	1	0	0
	島原南	4	68.0	20	1	20	1	0	0	1
	大村東	4	84.0	47	1	46	1	-1	0	0
小計		84.6	213	8	215	9	2	0	2	
第8グループ	諫早	4	91.7	60	0	61	0	1	0	1
	諫早北	5	82.4	61	0	62	0	1	1	1
	諫早西	4	87.4	44	0	47	0	3	0	0
	諫早多良見	4	86.1	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	4	72.4	29	4	29	4	0	0	0
	小計		84.0	232	4	237	4	5	1	2
第9グループ	長崎	4	96.8	94	0	97	0	3	1	0
	福江	4	96.9	39	0	39	0	0	0	0
	長崎北東	3	85.8	55	6	51	5	-4	0	0
	福江中央	4	97.5	35	1	31	1	-4	0	0
	長崎西	4	82.3	70	0	65	0	-5	0	0
	長崎琴海	4	77.2	22	3	22	3	0	0	0
	小計		89.4	315	10	305	9	-10	1	0
第10グループ	長崎北	4	88.1	68	0	75	0	7	3	0
	長崎南	4	83.3	84	0	85	0	1	0	0
	長崎東	4	98.3	57	0	60	0	3	0	0
	東長崎	4	77.8	30	0	31	0	1	0	0
	長崎中央	4	97.1	56	0	55	0	-1	0	0
	長崎出島	4	69.9	57	12	57	12	0	0	1
	小計		85.7	352	12	364	12	12	3	1
合計		86.8	2,378	64	2,419	66	41	15	7	

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

文庫通信

243号

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2006～2007年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	62,317	雇用保険料預り金	8,833
普 通 預 金	3,911,755	社会保険料預り金	243,754
定 期 預 金	7,000,000	負 債 合 計	252,587
仮 払 金	418,800	正 味 財 産	
現 預 金 合 計	11,392,872	次期繰越剰余金	11,140,285
合 計	11,392,872	合 計	11,392,872

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	29,653,050	委 員 会 費	1,841,298
雑 収 入	448,205	業 務 費	2,747,769
		賃 貸 管 理 費	9,426,989
		人 件 費	16,207,628
		予 備 費	0
当 期 合 計	30,101,255	当 期 合 計	30,223,684
前期繰越収支差額	11,262,714	当 期 収 支 差 額	△ 122,429
収 入 合 計	41,363,969	次期繰越収支差額	11,140,285

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】



◎クラブ行事・周年報告 など

ガバナー月信でクラブの行事・周年の報告などをご紹介します。
 《応募方法》500字以内(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば
 添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りく
 ださい。

(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



国際ロータリー 第2740地区
クラブバナー紹介



第1グループ



佐賀RC



小城RC



牛津RC



多久RC



佐賀大和RC

第2グループ



佐賀西RC



佐賀北RC



佐賀南RC



神埼RC



佐賀空港RC



国際ロータリー第2740地区
 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？(第7話)	1
ガバナー補佐リレー随想	3
背振学園観月会への慰問	4
交換学生 Xmas 会報告	5
国際青少年交換帰国学生レポート	7
国際ロータリー年次大会のご案内	9
新入会員紹介	9
寄付者紹介	10
会員数・出席報告	11
文庫通信	12
クラブバナー紹介(第3・第4グループ)	裏表紙

ふかほり^{えびす}恵比須さん (所在地: 長崎市深堀町)

深堀町の旧道沿いは、今でも昔と変わらない古い佇まいを残す情緒ある城下町。

ここには20体以上の恵比須さんが祀られ、深堀の人々に愛され続けています。ふかほり恵比須さんの特徴のひとつは、きれいな色でお化粧されているところです。毎年8月には「こどもえびす」のまつりが開催されるそうです。一度お出かけになりませんか…。



ROTARY SHARES

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第7話 —

国際ロータリー第2740地区
2007—2008年度ガバナー

野 口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

倫理と道徳

倫理は個人を律する規律、道徳は自分を含めた集団社会の中の規律です。つまり良心は倫理ですし、公序秩序は道徳です。

人間は不完全なものですから、自分自身の欲望と道徳の間でしばしば葛藤を起こします。そして、しばしば道徳を破ります。破ったときに人間は良心の呵責に悩みます。このときに、良心は道徳を守れと叫んでいるのでしょうか？良心は道徳を守れなかった自分を責めているのでしょうか？

話をちょっと変えてみます。道路にごみを捨てる、夜中に大声で騒ぐ、壁に落書きをする、公園の木や花の枝を折る、喫煙場所でないとこ

ろで喫煙する等は道徳に違反することです。

これらにみな共通していることは迷惑と言うことです。お互いに迷惑をかけないようにしようとしているのが道徳です。

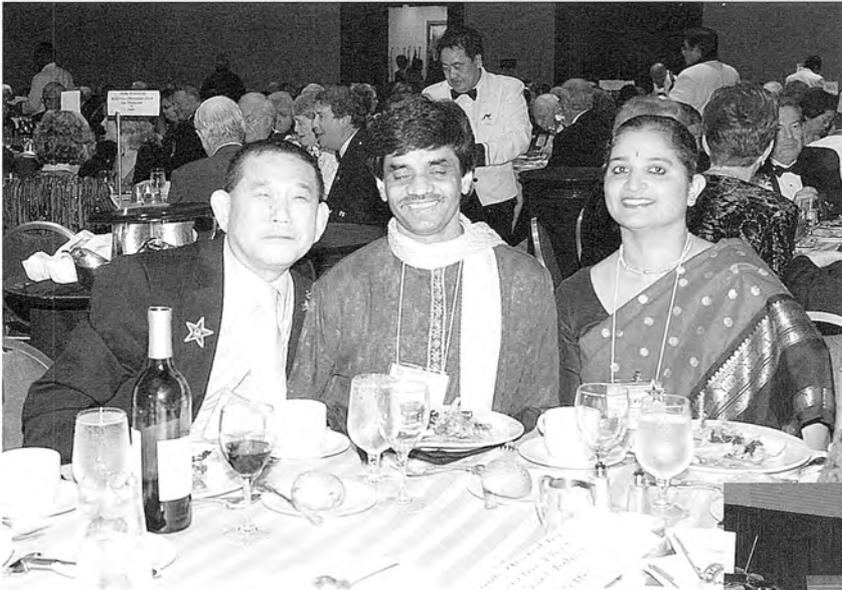
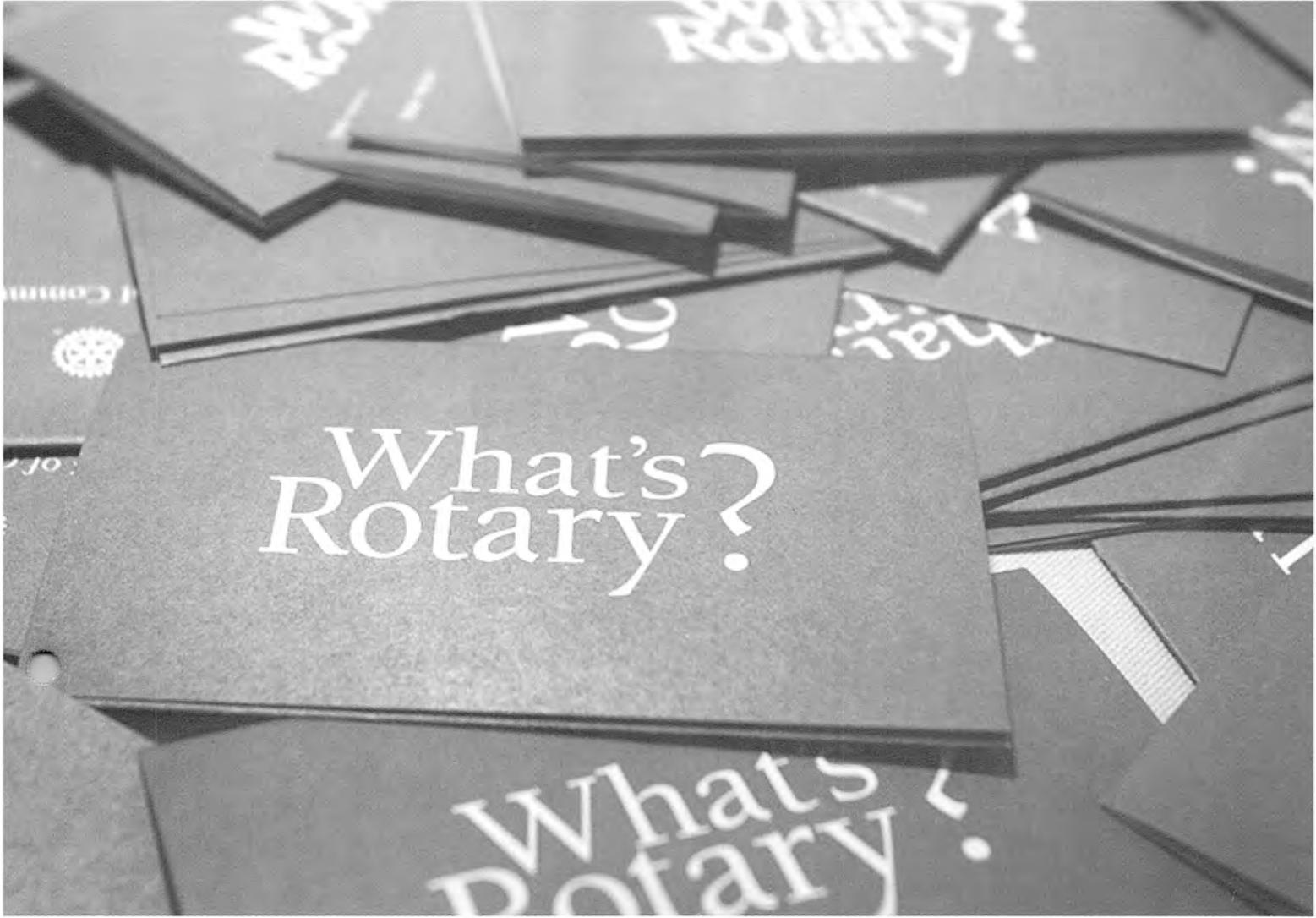
その根底には自分も相手も両方が気持ちよく生活をしようと言う姿勢があります。

嘘をつく、えこひいきをする、自分だけ利益を得る、人を村八分にする、人を差別する、人の心を傷つける言動をとったり行動したりする等は倫理に違反することです。

これらに共通していることは思いやりです、人間愛です。

倫理は思いやりを、人間愛を示しています。





国際協議会「晩餐舞踏会」
(写真提供：ロータリーの友)



ROTARY SHARES

ガバナー補佐として6グループの6つのクラブを担当させて頂き、クラブ協議会・ガバナー公式訪問・IMの案内を兼ねての訪問等、たびたびの訪問に快く迎えて頂いたことに同じロータリーの仲間としての友情を感じます。

会員の多いクラブ少ないクラブ各々の、クラブとしての例会のありか

た、活動のありかたを体験させて頂いた感想として、会員の少ないクラブは会員同志の繋がりが深く、例会の雰囲気もアットホームで居心地のよいことに改めてロータリーの原点を見る思いがしました。

社会奉仕や国際奉仕を含めた大型の活動は難しいところもあるようですが、クラブ奉仕・職業奉仕については個人での活動が基本のため、家族的な気持ちでの活動ができやすいように思えます。新入会員に対しても、少人数のところは全会員がより親密な関係でいられることもあるようです。会員増強は自分のクラブのためにも必要な部分もありますが、増強を強調することより中身を充実させることがロータリーの質

ガバナー補佐 リレー随想



第6グループガバナー補佐
富田 耕司
(佐世保北RC)

を高めることになり、入会してよかったと実感できることが自然と増強に繋がっていく自然な姿ではないでしょうか。

ロータリアンとしての活動について、シュバイツァー博士の次の言葉を噛み締めてみたいと思います。

「この世に存在しているだけでは充分ではありません。生活し家族を養

っていくだけのものを稼いでいるだけでは充分ではありません。

良き父であり、良き夫であること、それはそれで大変結構なことですが、それ以上の何事かをなさなければなりません。

常に、どこかに、何か善いことをする機会はないかと探し求めて下さい。同胞のために、ある程度の時間を割かなければなりません。たとえそれがどんなささやかなことであっても、貴方の助けを必要としている人々のために、何かをしてあげて下さい。何の代償を求めなくとも、何事かをしてあげて下さい。代償は得られなくとも、それをするという偉大な特典が、貴方のものになるのです。」

(シュバイツァー博士の言葉より)



活動報告

背振学園 観月会への慰問

神埼RC 会長 原 康夫 幹事 生島 忠嗣

神埼ロータリークラブでは、社会奉仕委員会の事業の1つとして、平成12年より佐賀県神埼市背振にある、背振学園に毎年、観月会の慰問を行っております。この施設にお伺いするのは観月会と、この施設での運動会訪問の年2回です。今回（10月16日）の観月会では参加会員数21名にて慰問を行いました。お月見弁当を当クラブより準備して入所者の方たちと一緒に席をして、食事をいただきながら色々な話しができました。入所者の方は年齢も性別も異なりますが、皆さん喜んで、楽しくお月見弁当を食べていただきました。

食事の後は、会員知人の専門の方をお願いして、天体望遠鏡の用意をしていただき、月の観察と月、星についての話をさせていただきました。入所者数が51名いらっしゃいますので、1人当たり少ない時間ですが、興味深く観察し、話を聞かれました。

観月の後、地元のボランティアの方によるアルトサックス演奏、学園職員の方々の演劇等、入所者の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

当クラブ会員は、帰りの車中では、今後も、背振学園観月会の慰問を続けていくことが、会員一同、大切な気持ちだと感じております。



施設利用者へのプレゼントを代表の施設長に渡しました。



原会長のあいさつ。

そして、この後施設利用者と向き合って“月見弁当”の夕食です。



職員の出し物に利用者、ロータリアン一同、一体となり観月会は盛り上がりました。

ROTARY SHARES

地区国際青少年交換委員会と 交換学生Xmas会を開催しました

地区国際青少年交換委員長 瀬戸口 智彦
(長崎南RC)

平成19年12月16日(日) 11:00より地区国際青少年交換委員会、13:00よりR I 2740地区交換学生のクリスマスパーティーがHTB・JRホテルで開催されました。

参加者(敬称略)

■交換学生

Timothee Helmster (佐賀)
Jeremy Lawrence (佐世保南)
Robert Sverre (諫早北)
Samantha Downes-Browski (長崎)
Alexander Frackenhohl (長崎南)

■派遣予定学生

平山 元喜 (長崎)

■ROTEX

對馬あづみ (佐賀)	古賀 陽平 (佐賀北)
松永 夕加 (佐世保)	濱村 恭子 (佐世保南)
平田 稔人 (佐世保北)	本多 正篤 (雲仙)
竹下 理子 (諫早)	若杉友香利 (諫早多良見)

■長崎国際大学

田淵 幸親	中野はるみ
栄楽ちぐさ	平山 彩佳
仲野 優	中川 剛
湯浅 大樹	

■ホストファミリー

中山 厚 (佐賀)	山口 嘉浩 (佐世保南)
大浦 倫子 (佐世保南)	白倉 一男 (諫早北)
白倉 容子 (諫早北)	安達志津子 (長崎)



安達健之輔（長崎）	安達美津子（長崎）
筒井 秀充（長崎南）	筒井 聡子（長崎南）
筒井 航一（長崎南）	筒井沙希（長崎南）

■地区委員会

瀬戸口智彦（長崎南）	木村 公康（佐世保）
益田 荘一（長崎）	田嶋 英夫（長崎北東）
川口 史（長崎南）	

当日12:00、HTB・JRホテルの12階のレストランに学生やホストファミリーのみなさんが三々五々に集まりました。華やかな衣裳に着飾ったROTEXの女性陣、相変わらず同じ格好の学生達、今回日本語研修に色々お世話いただいた長崎国際大学のスタッフの皆さん、ホストファミリーのご両親達に華やかに集まっていただきました。川口地区委員の流暢な司会のもとにパーティーは進行してHTBの心のこもった食事にお腹がくちくちになったところでお待ちかねのビンゴゲームがROTEXの古賀、平田の両君の吉本興行なみの賑やかな進行で開催されました。夫々持ち寄ったXmasプレゼントの賞品を夫々獲得してパーティーは午後4時頃に終了しました。なかでも日本的な半纏が当たった学生達はそのままこの半纏を着て家路についたようです。最後にこのパーティーのお世話いただいた佐世保RCの木村公康さんお疲れ様でした。



ROTARY SHARES

国際青少年交換帰国学生 レポート その1



対馬 あづみ

(2006-2007年度 派遣国：ドイツ／ホスト：佐賀RC)

1年間のロータリー留学生生活を振り返って

8月15日。私は1人で日本を旅立った。家族と別れるとき、全く悲しくも無く、さびしくも無く、私の心の中は楽しみでいっぱいだった。私は名古屋、ドバイ経由でドイツまで行ったが、ドバイ空港でどこにいけばよいのか分からなくなったときは本当に焦った。しかし、無事何事も問題なく、8月16日私はドイツのハンブルグに着くことができた。あれから1年経った今、今年の夏が遠い昔のように感じる。しかし、考えてみると1年間あっという間だった。その1年の間に本当にいろんなことがあった。

まず、1番の大きな成果はドイツ語が話せるようになったことだ。ドイツに来たとき私は全く理解できず、話せなかった。1番目のホストファミリーとも学校でも英語でしか話していなかった。

しかし、今は耳に入ってくるドイツ語はほとんど全て理解でき、自分の言いたいことも自由に言うことができる。こんなにドイツ語が話せるようになるとは自分でも思っていなかった。学校でもいつも友達と英語で話し、授業ではちくわ耳のように何1つとして理解してなかった私が、約3ヶ月過ぎた頃からドイツ語がどんどん耳に入り、納得し、理解できるようになっていった。

ある日の授業中に、私が何を勉強しているのか分かったときは、ただただ嬉しかった。しかし、正直言うと、私のドイツ語は文法がめちゃくちゃである。残念ながら私はドイツ語学校やドイツ語講座に通うなどドイツ語をしっかりと基礎から学ぶ機会がなかったので、とにかく家族や友達との日々の日常会話だけで必死に学び、自分のものにした。ドイツ語の文法はとにかく難しすぎる。ドイツ語を完璧に話せるようになるには当分かかるだろうと、素直に思った。もう少しでもちゃんとしたドイツ語が話せるように、これからも続けて学びたいと思います。

しかし、日本ではこんなに必死に学んだドイツ語を使う機会がないと思う。ドイツ人なんていないし、学校でドイツ語の授業もない。これはものすごく残念なことだと思う。どうかしてドイツ語を忘れないように努力したいと思っている。

もうひとつは、ドイツに来て自由な時間、暇をたっぷりいただいたことだ。学校は日によって授業の開始時間が異なるため、遅く始まるときはゆっくり寝ていることができる。また、途中の授業が欠けたりするとその間に家に帰ったり町に出たり、自分のしたいことをすることができる。だいたい学校は、お昼で終わるので午後はたっぷり時間がある。日本の高校では絶対考えられない、あり得ないことだ。

初めのころは暇すぎて何をすればいいのか、はっきり言って分からなかった。日本では毎日時間に追われて、暇だと思ったことは一度もなかった。必ず何かしなければならなかったことがあった。しかし、ドイツでは自分で何かすることを考え、生活しなければならぬ。嬉しいような、大変なような、なんだか不思議な感じだった。

そこで私は自分で情報を集め、テニスクラブに入ることにした。次にジュニアオーケストラでバイオリンを弾き、クラシックバレエまで習



ROTARY SHARES

い始めた。だんだん忙しくなり、毎日が楽しくなった。

そのうち、なんとドイツの大都市ハンブルグの大きなオーケストラであるHaydn-Orchesterで団員として練習できるようになった。毎日ハンブルグまで一人で練習に行った。音楽の国ドイツで、こんなにも素晴らしいオーケストラに入ることができるなんて夢のようだった。そして10月にハンブルグで一番大きくまた古くて伝統のあるMusikhalle音楽ホールで定期演奏会に参加し演奏することができたのだ。こんなに素敵な場所でバイオリンを弾くことができ、私は本当に幸せを感じた。



そして、この年このオーケストラの設立30周年記念として企画されたイタリア演奏旅行にも参加することができたのだ。イタリアでは普通の家庭に滞在し、その家族とも交流ができた。とにかく、イタリアの人たちは、陽気で、元気で、面白く沢山のイタリア人の友達もできた。

私は日本のロータリーの機関で留学ができることに決まり、ドイツに来るなんて正直思っても見なかった。小さいころから英語が身近にあり、英語も少し得意なほうだったので、必ず英語圏の国へホームステイすると思っていた。し



かし、わたしはドイツの小さな自然あふれるかわいらしい町ピンネベルグに行った。ドイツの大都市ハンブルグに近くも近く、ホストファミリーもいい家族に恵まれて、ドイツ語も学べたし、素晴らしい素敵な体験もたくさんできた。今思うとドイツにきて本当によかったと思っている。

一年間を振り返り、私はたくさんの人々に出会い、たくさんのお大切な友達もできた。たくさんの人々に助けられた。そして、やさしさを分けてもらい、笑顔もたくさんもらった。やはり人間生きて行くためには自分ひとりでは生きてはいけない。今私はお世話になった全ての人々に感謝の気持ちでいっぱいだ。

もちろん、日本と違うドイツに来て、何度もおおきな壁にぶつかったり、大泣きしたこともあった。人に助けてもらったこともあったが、自分で自分を励まし、一人で解決したこともたくさんあった。

一年間、親元を離れ、自分自身もとても成長したと思っている。大きな失敗や、間違った決断をしたことも何度もあったが、全てが大事な経験となっている。

一年間で学んだ貴重な体験、経験を絶対無駄にならないように、これからの学生生活、人生にしっかり役立てて行きたいと思っている。

私は、これから将来何をするか決めていないが、大学ではドイツ語学科を専攻し、一生懸命勉強し、きっとヨーロッパに戻り、仕事を見つけ住んでみたいと強く思っている。夢をかなえたいと思う。

最後に、こんなに素晴らしいチャンスを与えていただき、ほんとうにありがとうございました。



ROTARY SHARES

国際ロータリー年次大会

『ロサンゼルス 2008』ご案内

アメリカ カリフォルニア州 ロサンゼルスで開催される年次大会に、野口ガバナーとともに参加し、国際会議の素晴らしい体験と参加会員との親睦と交流を深める旅を、一緒に創りませんか。

開催地	アメリカ カリフォルニア州 ロサンゼルス
開催日程	2008年6月15日(日)～18日(水)
旅行日程	①6日間コース(3コース) 2008年6月14日(土)～19日(木) ②8日間コース(1コース) 2008年6月14日(土)～21日(土)
旅行費用 (概算)	①お一人様 308,000円～488,000円 ②お一人様 448,000円～568,000円 (但し航空機はエコノミークラス、2名様1室ご利用) ※空港諸税・燃油サーチャージ(2008年1月現在 約43,000円)は含みません
大会登録料	305 USドル(別途代行手数料5,250円が必要です) ※大会登録申込み締切：2008年3月24日迄
最少催行人員	各コース20名様以上

現在、全コース合計約30名様のお申込みをいただいておりますが、各コースいずれも最少催行人員に達していませんので、皆様方の多数のご参加をお待ち申し上げます。

詳しくはJTB九州佐賀支店までお問い合わせください。

JTB九州佐賀支店『ロータリーデスク』

(担当：品川・中村・淵上)

〒840-0825 佐賀市中央本町1-10 ニュー寺元ビル

TEL：0952-23-1161/FAX：0952-23-1165

営業時間：月～金 9:30～17:30/土 9:30～12:00/日祝祭日休業

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介いたします。



神埼RC
友田 清君



佐世保北RC
森 豊君



佐世保東南RC
前田順太郎 君



大村北RC
鹿取 栄治 君



大村東RC
森 幸博 君

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

	種 類	氏 名	クラブ名	
ロータリー財団	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	寺 崎 正三郎	佐賀大和RC	
		荒 木 健 治	長崎RC	
	マルチプル・P・H・F	濱 口 吉 治	唐津中央RC	
	ベネファクター	石 丸 忠 重	長崎RC	
	メモリアル・コントリビューター	朝 永 良 介	長崎東RC	
米山記念奨学会	米山功労者	内 田 陽 三	佐賀RC	
		石 坂 和 彦	大村RC	
		田 中 義 信	大村東RC	
	米山功労者 (マルチプル)	犬 塚 勝 政	伊万里RC	
		梅 村 良 輔	佐世保RC	
		福 田 輝 機	佐世保西RC	
		石 丸 忠 重	長崎RC	
		梅 木 誠 一	長崎北RC	
			上 田 恵 三	長崎北RC
	米山功労者 (メジャードナー)	江 頭 泰 幸	佐賀北RC	

訃報

謹んでお別れいたします 合掌。



故 近藤 公德 君
(諫早北RC)

ROTARY SHARES

2007年12月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	76.9	65	0	70	0	5	0	0
	小城	3	95.4	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	3	89.2	33	0	31	1	-2	0	0
	多久	3	94.1	40	3	40	3	0	0	1
	佐賀大和	4	78.0	24	3	24	3	0	0	1
	小計		86.7	190	8	193	9	3	0	2
第2グループ	佐賀西	4	80.9	48	0	49	0	1	1	0
	佐賀北	4	83.9	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀南	4	77.6	44	2	44	2	0	0	0
	神埼	4	77.5	32	0	31	0	-1	1	0
	佐賀空港	3	72.2	16	1	18	1	2	0	0
	小計		78.4	180	6	183	6	3	2	0
第3グループ	有田	4	72.5	38	3	38	3	0	0	0
	武雄	3	77.3	55	0	53	1	-2	0	0
	鹿島	4	87.3	40	2	37	2	-3	1	2
	嬉野	4	88.3	24	1	24	1	0	0	0
	大町	3	71.6	26	0	27	0	1	0	0
	白石	3	71.1	16	0	15	0	-1	0	0
	太良	3	85.1	9	1	9	1	0	0	0
	小計		79.0	208	7	203	8	-5	1	2
第4グループ	唐津	3	89.1	51	0	53	0	2	0	0
	伊万里	4	91.6	32	0	36	0	4	0	0
	唐津東	3	95.9	47	0	51	0	4	0	0
	唐津西	4	86.0	37	0	38	0	1	0	1
	伊万里西	3	77.2	44	0	47	0	3	0	0
	唐津中央	3	92.9	38	4	38	4	0	0	0
	小計		88.7	249	4	263	4	14	0	1
第5グループ	佐世保	3	100.0	80	0	80	0	0	0	2
	平戸	5	91.0	40	0	41	0	1	0	0
	佐世保西	4	94.0	26	0	26	0	0	0	1
	北松浦	3	92.5	22	0	24	0	2	0	0
	松浦	3	90.3	31	1	30	1	-1	0	1
	小計		93.5	199	1	201	1	2	0	4

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	3	100.0	75	0	81	0	6	0	0
	佐世保東	4	76.8	29	0	27	0	-2	0	2
	佐世保北	3	100.0	45	0	49	0	4	1	0
	佐世保中央	3	100.0	39	0	38	0	-1	0	1
	佐世保東南	3	84.0	24	0	24	0	0	1	0
	HTB佐世保	4	60.6	28	4	30	5	2	1	1
	小計		86.9	240	4	249	5	9	3	4
第7グループ	大村	4	100.0	51	3	52	3	1	0	0
	島原	4	84.7	34	3	35	3	1	0	1
	雲仙	4	85.3	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	35	0	2	1	0
	島原南	4	83	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	3	86.5	47	1	47	1	0	1	0
	小計		89.9	213	8	216	8	3	2	1
第8グループ	諫早	4	89.9	60	0	59	0	-1	0	2
	諫早北	3	84.4	61	0	60	0	-1	0	2
	諫早西	3	94.9	44	0	47	0	3	0	0
	諫早多良見	4	86.1	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	3	78.1	29	4	28	4	-1	0	1
	小計		86.6	232	4	232	4	0	0	5
第9グループ	長崎	4	80.4	94	0	97	0	3	0	0
	福江	3	95.4	39	0	39	0	0	0	0
	長崎北東	4	86.1	55	6	51	5	-4	0	0
	福江中央	3	100.0	35	1	30	1	-5	0	1
	長崎西	3	80.0	70	0	65	0	-5	0	0
	長崎琴海	3	62.1	22	3	22	3	0	0	0
	小計		84.0	315	10	304	9	-11	0	1
第10グループ	長崎北	3	82.8	68	0	75	0	7	0	0
	長崎南	4	78.5	84	0	82	0	-2	0	3
	長崎東	3	98.3	57	0	60	0	3	0	0
	東長崎	3	76.8	30	0	29	0	-1	0	2
	長崎中央	3	98.0	56	0	54	0	-2	0	1
	長崎出島	3	73.5	57	12	54	12	-3	1	4
	小計		84.6	352	12	354	12	2	1	10
合計		85.8	2,378	64	2,398	66	20	9	30	

文庫通信

244号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報資料

- ◎「クラブ奉仕を考える」 田中 毅 2007 11p (D.2580 IM)
- ◎「子どもの心を豊かに～ロータリーがいま、できること～(座談会)」
松本 壽通 他 2007 8p (D.2700 月信)
- ◎「韓日から世界の次世代へ」 今井 鎮雄 2007 5p
(第8回ROTARY韓日親善會議報告書)
- ◎「ロータリーの核にあるもの」 深川 純一 2007 18p (D.2610 地区大会)
- ◎「ロータリーにおけるリーダーシップ」 深川 純一 2007 19p (D.2680 月信)
- ◎「我等のロータリー…時空を超えて」 関場 慶博 2007 10p (D.2530 地区大会)
- ◎「より長くロータリーライフを楽しむ仕組みづくりを」
西村 栄時 2007 2p (D.2730 月信)
- ◎「より良きロータリーとより良きロータリアン」 渡辺 好政 2007 7p (D.2620 地区大会)
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/ PDF)]
- ◎「国際ロータリー会長の100の名言集」 R. I. 2007 56p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
[開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日]

掲載
しませんか

◎クラブ行事・周年報告 など

ガバナー月信でクラブの行事・周年の報告などをご紹介します。
《応募方法》500字以内(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



国際ロータリー 第2740地区
クラブバナー紹介



第3グループ



有田RC



武雄RC



鹿島RC



嬉野RC



大町RC



白石RC



太良RC

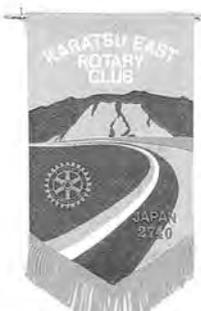
第4グループ



唐津RC



伊万里RC



唐津東RC



唐津西RC



伊万里西RC



唐津中央RC



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



かんこくえびす
韓国恵比須さん (所在地: 長崎市銅座町)

銅座町の電車通りの韓国料理屋さんの前に「大黒さん」と仲良く鎮座されています。

店の女将さんによると、ご主人が12年程前にソウルの骨董品店で見つけた掘り出しものとの事。以来、銅座の町で行き交う人々を温かいまなざしで見つめられているそうです。

CONTENTS

ロータリーとは? (第8話)	1
国際協議会報告	3
ガバナー補佐リレー随想	4
インターアクト後期指導者研修会報告	5
地区米山奨学会「有田見学会」のご報告	7
地区チームリーダー研修セミナー報告	9
新入会員紹介	10
寄付者紹介	10
会員数・出席報告	11
文庫通信	12
クラブガバナー紹介(第5・第6グループ)	裏表紙



ROTARY SHARES

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第8話 —

国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー

野 口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

世界理解月間

われわれロータリーの組織は世界に580地区あります。もともとはみなさんご存知のようにアメリカのシカゴで1905年に始まったものがあります。それが日本でも文化、伝統、習慣を超えて理解され、受け入れられ、広まっている理由を考えてみました。

アメリカはもともと狩猟民族で個人主義の国です。独りで生きていく、自分の身は自分で守る社会です。日本人から見るとアメリカ人は(いや外国人はみんな)我がまま、ひとりよがり、自己中心的に見えます。したがって、自分の主張をはっきりと相手に伝え、白黒をはっきりさせようとしみます。謙遜、謙讓など微塵もなく奥ゆかしさがありません。



ROTARY SHARES



What's Rotary?



国際協議会会場およびその周辺 (写真提供：ロータリーの友)

一方日本はもともと農耕民族で村社会（集団で生きる国）です。和をもって尊とする社会で、波風を立てず、玉虫色で、自分を殺して相手のこと、周囲のことを第一に考え、みんなで助け合う社会を形成してきました。したがって、日本では村八分で、独り放り出されることが最も恐れられていることです。（ところで、お前は本当に日本人か？ そんなには見えないなど周囲から声が聞こえてくるような気がします。でも私ははっきとした日本人です。周囲のことばかり考えて、気を遣ってます？ まあ、損な性格です）。

話は元に戻します。アメリカで始まったロータリーという組織が何故このように違う国民性の中に共通にはびこったのか不思議ですね。その理由はロータリーの基本理念である職業奉仕が大きな要素を担っていると考えることができるのではないかと思います。

日本人はその昔エコノミックアニマルと呼ばれた時期がありましたね。家族より何よりも仕事が大事でした。（外国人にはとても考えられないことでした）。一生懸命にまじめに働きました。そこに日本人の職業に対する考え方が育ってきたと思います。

職業は尊いもの、大事にしなければ、高めなければという思いはいつも日本人にはあったと思います。前にも述べたように日本人は社会のために、お国のために尽くす国民性を有しています。職業を高めることが社会に奉仕することになるという考え方は日本人にはぴったりあったものではなかったでしょうか。

このように違う国民性の中に共通しているのはそこに愛があるということだと思います。愛を広げる活動が倫理啓蒙運動だと思います。その倫理啓蒙活動がロータリー運動だと思います。

したがって、国際理解ということは愛を認め合うことだと考えます。

どうでしょうか？

R I 国際協議会を終えて



2007-2008年度ガバナーエレクト 鈴木 泰彦



2740地区の皆様、サンディエゴの国際協議会へ参加させて頂きました事、まずもって厚く御礼申し上げます。

ガバナーノミニーとなりましてこれまで、多くの方々からアドバイスを受け、その度「国際協議会は大変ですね」と声をかけて頂きました。

確かに1週間のスケジュールは午前9時に始まり、午後8時に食事を済ませ、その後夕べの集いでの踊りの練習、部屋に戻ってベッドに入るのは12時といった予想以上の状態ではありましたが、この間日本から共に参加いたしました各地区ガバナーエレクト、並びに御婦人との交流をはじめ隣り合わせた世界各国のガバナーエレクトとの交流、そして何よりも10回にわたる本会議の中での卓話、各々の部門での世界での取り組みの成果を聞かせて頂き、ロータリーの奥の深さと偉大さを改めて感じました。

次年度 李東建 R I 会長エレクトのテーマは「Make Dreams Real」一夢をかたちにーです。

テーマの話につきましてはあらためてご説明させて頂くとして、私たちは1世紀にわたるロータリーの歴史を振り返りながら更に平和を推進し、水、保健と飢餓救済、識字率向上の強調事項を確実に達成していかなければならないと思います。

そして次世代へとつないでくれるニューリーダーの発掘、育成も我々一人一人のロータリアンの大きな使命でもあろうかと思えます。

野口ガバナーのように知恵も知識も持ち合わせていませんが、国際協議会を終えて今、充実感でいっぱいであり、次年度この充実感を少しでも地区内の会員各位にお伝えできれば喜びに耐えません。

昨年11月佐賀の地区大会で申しあげました「ロータリーで心を耕そう！」この事を考えながら2008年～2009年度を走りぬきたいと思えます。皆様の温かい御支援、御指導の程、宜しくお願い申し上げます。



夢をかたちに



世界中の人間は、幸せを希って暮らしています。その幸せとは何かと、言うことが、解っていない人が多いのではないのでしょうか。どうしたら、幸せになれるのか、幸せへの道も解らない人が多いのではないのでしょうか。

私たちは、幸せと言うことを耳にしますと、必ず、目に見える条件を求めようとします。お金があったら、財産があったら、家が立派に出来たら、仕事がうまくいったら、子供が良く育ったからとか、所謂、幸福の条件ばかりを探し求めようといたします。

大体、人間は目に見える条件に、心を奪われる事が多いようです。例えば、結婚する時など、顔はこの位で、身長はこれ位で、給料はこれ位で、などの条件ばかりを追い求めようとします。

幸福の条件の中でも、殆どの人が、お金さえあれば、人間は幸せになれると思信じていますので、お金を求めることのみを願っているのではないのでしょうか。

先日、私の友人がインドに行ってきました。帰ってからその友人がインドのことを話してくれましたのですが、その友人がインドの人に皆さんは世界の国の中で、どこの国が一番良い国だと思いますかと尋ねましたところ、答えは「日本」とのことでしたのでどうして日本ですかと聞いてみたら、日本の家庭には自動車があり、テレビがあり、電話があり、冷蔵庫があり、洗濯機があり、クーラーが各家庭に揃っている事を申したそうです。そして、日本が一番治安が良いとも言っていたそうです。インドの人から日本を見たら天国のようにも感じていると申していたそうです。

ガバナー補佐 リレー随想

「奉仕による徳づみ」



第7グループガバナー補佐
岩切正幸
(島原RC)

それではその日本に住んでいる、私共は天国と、思っているのでしょうか。今日の日本は物金は豊かになりましたが、心の豊かな人ばかりとは限りません。喜べないで暮らしている人が多いから、自殺者が増え続けて毎年3万人余りの人が自殺しているわけであり、生きてゆく中に面白くないから死を選ぶわけであり、どれだけ物金に恵まれても、喜びのない人が沢山いることを物語るものだと思います。

人間はどうしたら喜べる心がつくれるのかと、文部科学省では「心の教育」をかかげてその対策を考えていますが、なかなか実現していません。心の教育と言うのは私は「徳育」だと思います。人の為に、世の為に奉仕して、徳を積むのが、その教育だと思います。人間は与えを望まない奉仕に徹する徳育こそが人生に幸せをもたらすことになると思信じています。心に徳のある人は喜べますが、徳のない人は喜べません。

お互いは奉仕に励み、徳づみに徹した生活を心がけて通ることが幸せへの道だと信じます。



ROTARY SHARES

インターアクト 後期指導者研修会報告



地区インターアクト委員長 田中丸 治 樹
(伊万里RC)

平成20年1月26日(土)、武雄市文化会館において「インターアクト後期指導者研修会」を開催しました。

野口清ガバナーはじめ、インターアクター62名、顧問教諭18名、ロータリアン32名、合計112名の参加でした。スライドと動画を交えた研修スタイルで参加者も熱心に勉強していました。

■プログラム

1. 開会 点鐘
2. インターアクトの歌斉唱
3. 出席者紹介
4. ガバナー挨拶
5. インターアクト委員長挨拶・地区現況報告
6. 各インターアクトクラブ活動報告
7. 分科会
 - ①指導者部会（顧問教諭のみ）
 - ②インターアクト部会（インターアクター、ロータリアン）
8. 特別講演「アルミ缶を集め車椅子と交換までの歩み」…あさがおレオクラブ
9. 質疑応答
10. 2008－2009年度年次大会について
11. その他
12. 所感
13. 閉会 点鐘



本年度、地区活動目標「原点にかえり、基本の徹底をはかりクラブの活性化を推進する。」に向けた地区現況報告と各インターアクトクラブ活動報告を行い、分科会では指導者部会で顧問教諭のインターアクト活動に対する意見と要望を本音で話し合っていました。インターアクト部会では、基本となるクラブ運営と国際理解に重点をおき、研修を実施しました。

特別講演では、あさがおレオクラブ（佐賀県基山町）前レオクラブ会長 越路友貴子様より「アルミ缶を集め車椅子と交換までの歩み」を講演いただきました。自ら目標を立て目標に向かって自ら行動する奉仕活動の基本とすばらしさを体験談を交えてお話いただき、参加者の刺激となり、今後の活動でお互いに切磋琢磨していけると感じました。

最後に年次大会について脇山由子 唐津西高校 I A C 会長より日程、大会テーマ等について報告していただきました。

2008-09年度インターアクト年次大会

日時：平成20年8月9日（土）～10日（日）

場所：唐津シーサイドホテル

ホスト校：唐津西高等学校 I A C（唐津 R C 提唱）

コ・ホスト校：敬徳高等学校 I A C（伊万里 R C 提唱）

有田工業高等学校 I A C（有田 R C 提唱）

武雄高等学校 I A C（武雄 R C 提唱）

詳しくは R I 2740 地区インターアクトホームページをご覧ください。→ <http://iac.no-blog.jp/>



ROTARY SHARES

地区米山奨学会 「有田見学会」のご報告



地区米山記念奨学委員長 北 郷 雅 子
(長崎出島R C)

地区米山奨学会では、奨学生に「日本文化理解の機会」を設けたいと2月5日(火)有田見学会を開催いたしました。

【平成20年2月5日(火)】

- ①11時から 佐賀県立九州陶磁文化館：見学 …… 学芸委員の説明を受けました。
- ②移動の後12時半から 有田R C例会場：昼食 …… 奨学生のスピーチとインタラクティブ（有工生）との交流
- ③例会終了後 柿右衛門窯：見学 …… 普段は見学できない工房・窯などもゆっくり見学できました。

帰りに卸団地によって帰られたグループもあり、奨学生にとっては、日本文化（陶器の文化）と自国の文化との比較にもなり、ロータリアンの私達にとっても、知っていそうで知らないことを学ぶことが出来、楽しく有意義な一日となりました。

この見学会は、地区米山奨学会のウイークデーの企画でしたが、奨学生13名（地区の奨学生は現在17名）とカウンセラー7名、地区委員など29名参加でした。



有田RC例会時からは、隅田パストガバナー（米山奨学会理事）にもご参加いただきました。奨学生は一人ずつ、「近況報告や今後の進路、或いは当日の有田見学の感想など」をスピーチしました。

また、有田RCの企画でインターアクト『県立有田工業高等学校』の学生達（17名）も指導教員と一緒に参加してくださり、有田RCのメンバーを含め、総勢80名余りの交流会になりました。同じテーブルに奨学生と有工生とロータリアンが座り、楽しい会話が出来ました。

午後からは、酒井田地区委員のご案内で柿右衛門窯の工房を奨学生、有工生たちと見学させて頂きました。

また、ロータリーの活動のことを知って頂く為に、当日の様子を佐賀新聞の有田支局の地方版に載せて頂きました。

有田RCの例会での、それぞれのスピーチが上達していましたのも、お世話クラブでのミニ卓話や出前卓話で日本語を人前で話す機会を持てたからと、感じました。地区内ロータリアンの皆様には、米山奨学事業に対して、ご理解と温かいご支援をお礼申し上げますと共に、引き続き今後とも、よろしくお願い申し上げます。



佐賀新聞 2008.2.9掲載

2008年2月9日
佐賀新聞
地方版
1面
11行
11～12行
（中略）

今後の予定

「地区米山奨学生2007年度の終了式・歓送会」

日時：3月2日(日) 11時から

会場：長崎 花月

「2008年度地区米山奨学会 カウンセラー・奨学生オリエンテーション」

日時：4月12日(土) 14時から

会場：長崎駅前 松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば

ROTARY SHARES

2008～2009年度

地区チームリーダー研修セミナー報告

2008—2009年度ガバナー事務所 事務局長 角 康 隆

(佐世保南RC)

年々、国際協議会が早まる中、連休初日に当たる2008年2月9日(土)、国際ロータリー第2740地区2008～2009年度地区チームリーダー研修セミナーが、佐世保の九十九島観光ホテルにて開催されました。当日のセミナーには研修リーダーの田口パストガバナー、野口ガバナー、鈴木ガバナーエレクト、高城ガバナーノミニーの指導チームと次期ガバナー補佐、次期地区委員長、次期ガバナー事務局のスタッフ等総勢30名強のロータリアンの出席のもと午後2時より始まりました。セレモニーの後、野口ガバナーの挨拶を頂きました。続いて鈴木ガバナーエレクトより馬郡次期地区幹事の紹介のもと、次期ガバナー補佐、次期地区委員長へ委嘱状の交付が行われました。その後、鈴木ガバナーエレクトより国際協議会の会議の様子等の報告と新年度地区方針の発表がありました。まずは、次期RIテーマが「Make Dreams Real」「夢をかたちに」に決定したことが報告されました。内容は、子供を中心とした事に重点が置かれていて、鈴木ガバナーエレクトの方針も同じ様な考えが盛り込まれています。続いて、田口地区研修リーダーから「ガバナー補佐、地区委員長の役割と心得」というテーマの講話がありました。ガバナー補佐の役割としては各グループのクラブの情報を適時に事務局に入れて頂きたい。その事において、ガバナーの活動がよりスムーズになる。又、当然の事ですが事前にクラブ協議会に参加し、各々のクラブ活動状況をガバナーに報告する事が大切である。地区委員長としては、3年の留任と事業の継続性の維持を説得されていました。最後にロータリアンとしての品格と



認識の向上を強調されました。その後、野口ガバナーより「活力のある地区活動について」という演題で講話がありました。まず、国際ロータリーと各クラブの関連についてきちんと区別することの認識が必要であるとの指摘がありました。国際ロータリーの役割としては、①奉仕の哲学の追及、②ロータリーの拡大、③情報の伝達の3項目しかない。地区の位置づけとしては、国際ロータリーの出先機関であり各クラブの活動の手助けをするのが地区の役割である。各クラブの活動については、それぞれのクラブが自主性を持って独自の事業を実践することが望ましい。最後に「ロータリーとは何か」という事をそれぞれの地区リーダーが各自の言葉で説明ができる事が大切であると締められました。その後、新年度地区運営について馬郡次期地区幹事より、又予算について中島次期地区会計長より報告と説明がありました。最後に地区大会について圓田大会実行委員長より大会へのお願いと進捗状況の報告がありセミナーは終了しました。3時間近い研修セミナーではありましたが、出席者全員が熱心に聴講されており非常に実りあるセミナーではなかったかと感じました。セミナー終了後、会場を移動し高城ガバナーノミニーの乾杯の音頭で懇親会に入り参加者一同、和気あいあいの内に、親睦を深め午後6時30分に散会し、大変充実した1日を過ごしました。

最後になりましたが、田口パストガバナー、野口ガバナー、高城ガバナーノミニー、そして出席されましたロータリアンの皆様のご協力に感謝申し上げます。紙面をお借りし、改めて厚く御礼申し上げます。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



神崎 R C
城島 訓浩 君



鹿島 R C
清水 孝昭 君



嬉野 R C
相川 英夫 君



大村東 R C
草野 義人 君



長崎 R C
三山 格 君



長崎北東 R C
浜本 義文 君



長崎西 R C
折式田一豊 君



長崎西 R C
前田 良治 君



長崎西 R C
増崎 進一 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

	種 類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	マルチプル・P・H・F	國 崎 忠 臣	佐世保南 R C
		古 川 和 子	大村 R C
米山記念奨学会	米山功労者 (マルチプル)	村 里 愛 子	大村 R C
		犬 尾 修 三	諫早多良見 R C
	米山功労者 (メジャードナー)	田 中 紀 男	長崎北東 R C

ROTARY SHARES

2008年1月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	77.7	65	0	70	0	5	0	0
	小城	4	90.5	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	3	84.9	33	0	31	1	-2	0	0
	多久	4	85.6	40	3	39	3	-1	0	1
	佐賀大和	3	77.7	24	3	23	2	-1	0	1
	小計		83.2	190	8	191	8	1	0	2
第2グループ	佐賀西	4	72.2	48	0	49	0	1	0	0
	佐賀北	4	80.3	40	3	41	3	1	0	0
	佐賀南	4	86.6	44	2	44	2	0	0	0
	神埼	4	73.3	32	0	31	0	-1	1	1
	佐賀空港	4	65.2	16	1	18	1	2	0	0
	小計		75.5	180	6	183	6	3	1	1
第3グループ	有田	4	75.5	38	3	38	3	0	0	0
	武雄	3	86.1	55	0	53	1	-2	0	0
	鹿島	4	81.9	40	2	37	2	-3	0	0
	嬉野	3	90.2	24	1	25	1	1	1	0
	大町	4	74.1	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	65.0	16	0	15	0	-1	0	0
	太良	4	69.4	9	1	9	1	0	0	0
	小計		77.4	208	7	204	8	-4	1	0
第4グループ	唐津	4	89.6	51	0	53	0	2	0	0
	伊万里	4	89.5	32	0	36	0	4	0	0
	唐津東	4	95.7	47	0	51	0	4	0	0
	唐津西	4	90.8	37	0	38	0	1	0	0
	伊万里西	4	81.1	44	0	47	0	3	0	0
	唐津中央	3	91.2	38	4	38	4	0	0	0
	小計		89.6	249	4	263	4	14	0	0
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	80	0	0	0
平戸		4	88.4	40	0	39	0	-1	0	2
佐世保西		4	96.0	26	0	27	0	1	1	0
北松浦		4	84.6	22	0	24	0	2	0	0
松浦		3	88.8	31	1	30	1	-1	0	0
小計			91.5	199	1	200	1	1	1	2

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	3	98.6	75	0	80	0	5	0	1
	佐世保東	4	84.0	29	0	25	0	-4	0	2
	佐世保北	3	100.0	45	0	49	0	4	0	0
	佐世保中央	4	97.0	39	0	38	0	-1	0	0
	佐世保東南	4	86.9	24	0	22	0	-2	0	2
	HTB佐世保	4	74.4	28	4	30	5	2	0	0
	小計		90.1	240	4	244	5	4	0	5
第7グループ	大村	4	100.0	51	3	52	3	1	0	0
	島原	4	75.0	34	3	35	3	1	0	0
	雲仙	5	92.7	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	35	0	2	0	0
	島原南	4	68.0	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	3	93.4	47	1	48	1	1	1	0
	小計		88.1	213	8	217	8	4	1	0
第8グループ	諫早	3	91.4	60	0	59	0	-1	0	0
	諫早北	4	87.4	61	0	60	0	-1	0	0
	諫早西	4	91.3	44	0	47	0	3	0	0
	諫早多良見	4	88.1	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	3	78.5	29	4	28	4	-1	0	0
	小計		87.3	232	4	232	4	0	0	0
第9グループ	長崎	4	85.4	94	0	97	0	3	1	1
	福江	3	90.6	39	0	38	0	-1	0	1
	長崎北東	4	87.4	55	6	52	5	-3	1	0
	福江中央	4	94.0	35	1	30	1	-5	0	0
	長崎西	4	71.0	70	0	67	0	-3	3	1
	長崎琴海	4	76.7	22	3	21	3	-1	0	1
	小計		84.1	315	10	305	9	-10	5	4
第10グループ	長崎北	3	82.9	68	0	74	0	6	0	1
	長崎南	4	77.3	84	0	82	0	-2	0	0
	長崎東	3	98.3	57	0	59	0	2	0	1
	東長崎	4	84.2	30	0	29	0	-1	0	0
	長崎中央	3	95.5	56	0	54	0	-2	0	0
	長崎出島	3	65.4	57	12	54	11	-3	0	0
	小計		83.9	352	12	352	11	0	0	2
合計		85.0	2,378	64	2,391	64	13	9	16	



国際ロータリー 第2740地区
クラブバナー紹介



第5グループ



佐世保 R C



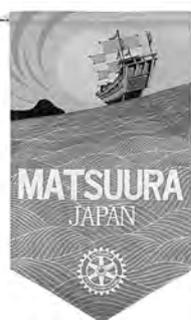
平戸 R C



佐世保西 R C



北松浦 R C



松浦 R C

第6グループ



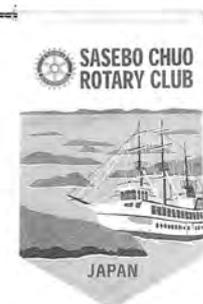
佐世保南 R C



佐世保東 R C



佐世保北 R C



佐世保中央 R C



佐世保東南 R C



H T B 佐世保 R C



国際ロータリー第2740地区
 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？(第9話)	1
ガバナー補佐リレー随想	3
第4・第5・第6グループIM報告	4
第9・第10グループIM報告	5
長崎県スポーツ・エコフェスタ報告	6
会長エレクト研修セミナー報告	7
新入会員紹介	9
寄付者紹介	10
会員数・出席報告	11
文庫通信	12
クラブガバナー紹介(第7・第8グループ)	裏表紙

なんばんえびすさん (所在地: 長崎市銅座町)

出島跡のすぐそばにある十八銀行本店敷地内(おらんだ橋横)に「なんばんえびすさん」がいらっしゃいます。

1977年に創立100周年記念で創られています。「なんばんえびすさん」は「オランダ人のえびすさん」のことだそうです。

記念の碑文には「長崎開港の由来にちなみ よろず繁盛のシンボルとして このえびすの像を 世におくる」と記されています。

長崎のまちが益々繁栄しますように(祈) …。



ROTARY SHARES



国際協議会 (写真提供: ロータリーの友)

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第9話 —

国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー

野口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

こらえ性

ロータリーはトップの集まりです。したがって、個性の集まりと言って良いと思います。当然ぶつかり合いがおきます。相性が良いと特に問題とはなりません、相性が悪いと退会にもつながりかねないこともあります。

ロータリーは自己研鑽の場です。社会には色々な性格の人がいる、その人たちといかにうまく付き合っていくかを学ぶ場であると思います。わが地区の今年の会員の皆様は私みたいな個性の強い、ひとりよがりなガバナーと付き合っておられます。したがって、皆さんはどんな人とでも付き合っていく事が出来ると思います。すばらしいことだと思います。

世間ではよく相性と言いますが、あの人とはどんなことがあっても付き合いたくないと言うことがあります。これは生理的な嫌悪感を伴います。また同じ事でも他の人とは違う受け取り方になりがちです。また、自分がそう感じている相手もそう感じています。人間はそう言う時にそのストレスを回避する方法をいくつか持



What's Rotary?

っています。

たとえば、(1) 相手を全く無視する。(2) 面と向かっては相手の言いなり、陰で相手の非難をする。(3) 相手に向かって公然とたてをつく。(4) 相手の自分に合う部分を何とか探そうとする。(たいていの場合は見つかりません) (5) 相手のいる空間は徹底的に避ける。(6) 相手が自分に合わせざるを得ない資質を持つ努力をする。他にもその人によって色々な方法をお持ちだと思います。生きている限りかなりの数の相性の悪い人とは出会います。

しかし、逆に相性の良い人とも出会います。そこで、相性が良い人とはどうして相性が良いのかを考えて見て下さい。恐らく、自分の考え方、自分の価値観を共有してくれ、自分を受け入れてくれる、なおかつ自分を心地良くしてくれる相手は相性が悪いとは思わないと思います。したがって、こらえ性をもって相性が悪い相手にはこちらが一方向的に相手を心地良くさせてみてみたら如何でしょう？ 相手が心地良く

なって相性が合うと思ったら、こちらの意見を聞く耳を持ってくれると思います。それからでも自分の意見を言うのは遅くはないと思います。

そんなことを学ぶ機会を与えてくれたロータリーに感謝です。

もう一度言います。こんなガバナーを心地良くさせてくれる会員の皆様はこらえ性がある素晴らしい人たちです。

会員の皆様万歳！



ROTARY SHARES

8月1日から禁煙中です。喫煙暦は45年程度でした。過去に何度か周囲に宣言して禁煙を試みましたが、全て失敗。そこで今回は周囲に黙って禁煙を始め、一月後も禁煙できていましたので、もう大丈夫だろうと、周囲に宣言しました。一月では問題にならない、そのうち失敗するだろうと周囲から冷やかされました

が現在も継続していますが、時折もらいタバコがあります。完全禁煙につとめたいと思っています。

朝の目覚めが良くなりました。起きたとたん一服し、ゲーゲー痰を吐いていましたが、それがなくなり、惰性でタバコを吸い、気分が悪くなる時もありましたが、それもなくなりました。そして、仲間のロータリアンが、ビールを飲みすぎて痛風で苦しんだと聞き、私も500ミリを3～4缶飲んでいましたので、焼酎に変えました。禁酒は考えていません。

9月からウォーキングを始めました。きっかけは、左の足・腰が痺れ、整骨院で治療してい

ガバナー補佐 リレー随想

「最近健康管理に気を配るようになりました」



第8グループガバナー補佐
緒里 勇三郎
(諫早西RC)

ましたが治らないので、素人判断で歩けば良いのではとの思いでした。当所は、飽きが来ないようにとコースを変えたり、急な坂道、石段が続く道等も取り入れました。無理は禁物で、足が痛くなりました。当クラブの宮本外科医師の指導もあり、10月頃からは、平坦な土手のサイクリングコースを1時間ほど歩いています。足腰の痺れは、不思議に薬なしで11月頃治りました。

健康に良いだろうと、妻と立ち寄り湯を楽しんでいます。長崎県・佐賀県にも日帰りを楽しめる多くの掛け流し温泉がありますが、歩行浴が出来る温泉は少ないです。幸い、近くの「いいもり月の丘温泉」で水中運動インストラクターの実技指導があることを知り妻と受講しました。1時間水中運動をしますと最初はきついです。体が爽快になります。メタボリックシンドロームにならないよう次は一番難しい食生活の改善が課題です。



第4 第5 第6 グループ IM開催報告

佐世保北RC会長 野 畑 義 博

去る2月10日、2007～2008年度R I 2740地区第4・第5・第6グループIMは、佐世保北ロータリークラブがホストクラブとして、佐世保のハウステンボスJR全日空ホテルで開催されました。ミーティングには、野口清ガバナーはじめ、宮島傳兵衛、市瀬久米嘉、隅田達男の各パストガバナー、鈴木泰彦ガバナーエレクト、馬郡謙一次年度地区幹事、また講師としてR I 2680地区から田中毅パストガバナーに出席いただきました。登録者711名、うち参加者314名という盛況でした。

第1部はパネル・ディスカッションで、テーマは「これからのロータリー活動を語ろう!」。コーディネーターに佐世保北RCの都甲泰臣君、パネラーに唐津東RCの都市右太雄君（第4グループ）、佐世保西RCの安東善重君（第

5グループ）、佐世保南RCの馬郡謙一君（第6グループ）、佐世保北RCの棧護君（第6グループ）、あわせて5名が登壇し、「職業奉仕」の問題をさまざまな角度から掘り下げ、熱心に討議を行いました。

第2部は田中毅氏の記念講演「職業奉仕の実践について」。田中氏はR I 超我の奉仕賞を受けた「職業奉仕」の理論家にして実践家です。「職業奉仕」とは何か、シェルドンの哲学を引用しながら、明快に論じられました。参加ロータリアンの脳裏に職業奉仕の意味がくっきりと刻印された、有意義なミーティングだったと確信します。



第9第10グループ IM開催報告

東長崎RC会長 多良正治

2007～08年度 第9・10グループIMが、去る2月24日（日）、東長崎RCがホスト、長崎RCをコ・ホストクラブとして、ウェルシティ長崎に於いて開催されました。両グループ全12クラブの全員登録を頂き、当日340名の実参加でした。

第1部は、テーマを『地球環境へのROTARY SHARES』と掲げ、第1部講演会で「RIと地球環境」と題し、田口厚パストガバナーにご講演を頂きました。

第2部講演会では、「環境と地域活性化」と題し、立命館アジア太平洋大学学長・モンテカセム氏、環境省地球環境審議官・小島敏郎氏、内閣府審議官・東良信氏によるシンポジウムで、グローバルな視点での地球環境、エネルギー問題に対する国際間の動き、施策の方向性、

国内外の事例等、高度な話を聞くことができ、質疑応答では活発に質疑が出て予定時間をオーバーするほどで、大変有意義な講演会になりました。

第2部は、『友愛の集い』と題し、IMのもう一つの大きな目的である親睦の時間としました。ハミングバズの素晴らしい男声合唱の歌声を楽しみ、シンポジスト・モンテカセムご夫妻の参加もあり、和やかに親睦の輪も広がり、深められたと思います。

岩永信昭、阿部芳男両ガバナー補佐の指導の下、野口清ガバナー、野崎元治、佐古亮尊、田口厚パストガバナー、山本康徳地区副幹事のご臨席を頂き、盛会裏に終了した事をご報告いたします。



活動報告 学んで 動いて 長崎県スポーツ・エコフェスタ! ～環境を守ろう・私たちにできること～

長崎出島RC 会報委員会 深堀 正義

当クラブでは、2月16日に長崎県下児童養護施設の小学生を招いた交流会「長崎県スポーツ・エコフェスタ」を長崎市の県立総合体育館で開催しました。当日は、県下9児童養護施設の151名のこどもたちが参加し、ごみ分別などの身近な環境問題を楽しく学習しながら、有意義な一日を過ごしました。

今回は子供たちの「健全育成」・「体力向上」を願って「環境講座」、そして当クラブ会員との交流を図るスポーツ大会を企画しました。

「環境講座」（長崎市リサイクル推進室の「長崎市出前講座」）では、「ゴミを減らすためにできること」と題し、①ご飯を残さず食べる ②物を大切に使う ③買い物には自分の袋を持つていくなどの大切さをクイズ形式で楽しく学び、子供たちは、環境問題への関心と理解を深め、最後には、ごみの減量に対してのそれぞれの決意表明を目を輝かせながら発表してくれました。スポーツ大会では、心地よい汗を流し、他の施設の子供たちや当クラブ会員とも交流を深めることができました。

今回、特に「環境講座」では、「子供たちの環境に対する関心の高さが伝わり、自分たちが

住んでいる町のためになにをすればいいかを子供たちと共に考えることができたこと」は大変意義があるイベントでした。

最後になりましたが、今回、協力していただいた養護施設の職員の皆さん、長崎市リサイクル推進室の職員の皆さん、長崎南ロータリーの方々に感謝いたします。



会長エレクト研修セミナー報告

国際ロータリー第2740地区 2008～2009年 ガバナー事務所 事務局 北村孝輔

(佐世保南RC)

2008年2月24日(日)13時よりアルカスSASEBO大会議室にて「国際ロータリー第2740地区 2008～2009年度 会長エレクト研修セミナー」が開催されました。野口ガバナーをはじめ本城好春パストガバナー、安部直樹パストガバナー、高城昭紀ガバナーノミニーご出席の中、次期ガバナー補佐10名、次期地区委員長、会長エレクトの皆様など総勢90名強のロータリアンの出席でセミナーを開催致しました。

セレモニーの後、金子卓也PET実行委員長が開会の辞を述べられ続いて鈴木ガバナーエレクトが指導者の紹介と次年度地区役員の紹介をされました。また、野口ガバナーよりPETでの話を各クラブに持ち帰り活用できるものは有効に利用し各クラブが発展される事を期待しますとご挨拶を頂戴致しました。

13時20分より鈴木ガバナーエレクトより「新年度方針」の発表があり、第一にRIのテーマの「夢をかたちに」— Make Dreams Real —の考えの基、第二に強調事項の推進として発展途上国での水、保健と飢餓追放などの援助を各クラブが主導権をもって取り組んで欲しいと話された。第三にポリオに罹っている国が四カ国あるが何とか撲滅終焉をとるRIからの要請で新ポリオ・プラス募金活動にも携わっていききたい。また第四に会員増強各クラブ純増一名を目指していききたい。第五に今年は財団年次寄付目標を一人当たり100ドル推奨していききたい。第六に問題点を改善しつつも米山記念奨学会年間寄付目標を一人当たり1万円全体で2500万円を目標としていききたい。第七に過去は環境問題が取り出されていたが今年は、心が病んでいる人

が多くなってきた今、子供のいじめや自殺者また家庭の崩壊などを考え教育問題にも取り組みロータリーで是非日本人の心を耕すことを考えていきたい。基本は、四つのテストを考えれば自発的に前向きに進んでいくのではないかと、職業奉仕の倫理性や四大奉仕を各クラブで考えてクラブを引っ張って載せたいと述べられた。

休憩後、安部パストガバナーより会長エレクトセミナーとして、「クラブ会長の役割と責務」について話をされました。最初に会議に出るとRIからトップダウンで話ぐる、会員を増やすというのが一番のテーマである。クラブの集まりが地区、その集まりがRIである。日米ロータリーの文化は違うが世界の組織である為、定款、会則は必ず目を通しておくべきだと述べられました。

また、会長職務遂行上特に注意すべき事項として(1)年間書類作成、配布スケジュール表を作成し、会長・幹事・副幹事・事務局が所有し、スケジュール表に伴ってクラブ運営を行う。(2)会長名で配布する書類は全て配布前に会長が間違いが無いことを確認して発送する。(3)週報は必ず会長も校正する。脱字、誤字など見ておくべきだと述べられました。

また定款第九条第五節、出席の記録が改正されている点、第十二条会員身分の存続、第四節終結一欠席(a)出席率、(1)「クラブ例会出席率が少なくとも50パーセントに」など改正がある点をよく理解熟知しておくべきだと述べられました。

更にクラブ運営について(1)会長の資格条件(2)クラブ会長の主な任務(3)公職につ



いている人のロータリー入会について(4)クラブの「機能の喪失」(5)ロータリークラブ会長に選任される為の資格(6)IM(7)炉辺会合(インフォーマルミーティング)(8)インターアクトクラブなど31項目にわたり説明をされました。

それから、日本のロータリーのステータス、理念、親睦か奉仕か、ロータリーのもつ文化の相違点、アメリカ文化と日本文化、ロータリーの哲学、各クラブのもつロータリーの文化のテーマに対して、仏像や茶道のような観念的、哲学的なとらえ方や孔子の論語や親鸞や道元の考え方、高浜虚子や吉田兼好の徒然草、新渡戸稲造の武士道、福沢諭吉の学問のすすめなどの言葉を引き合いにロータリアンの精神などをお話されました。

続いて、新年度地区運営について馬郡次期地区幹事より報告がありました。(1)会員数の件(2)次年度地区組織編成方針でガバナー補佐の編成について10名(10グループ)と現在は考えているが、今後再編成を視野に入れたいと考えているのでご協力賜りたい。(3)ガバナーの公式訪問並びにクラブ協議会は7月~10月にかけて行いたい。通常例会で30分程話をさせて頂きたい。日程は例会の曜日に合わせていますが変更があれば日程の調整をさせて頂きたい。(4)クラブ協議会の開催日については各ガバナー補佐にお願いしているので日程調整を

お願いしたい。(5)次年度地区予算案は過去の実績を勘案して予算をたてますが、分担金については例年通り他については連絡を取りながらと考えています。尚、本案は4月27日の地区協議会席上で正式に決議する予定です。

その後、今年はガバナー補佐を中心にグループ毎の懇談の時間を設け、グループ内の行事、IM等の日程調整等をしていただきました。又、同時に地区委員長ミーティングを行い今後の進め方への意見調整も行いました。

最後に講評を本城地区研修リーダーより頂きました。「ロータリーとは何ですか?」と言う話を直ぐされるが、私は、「人間とは群れをなす動物である、これがロータリーである」また「他人に対する思いやり、これがロータリーの精神ではないかとも考える」と言われ、自分なりに解釈して進んで欲しいと締めくくられました。

全てが終了しましたが、長い時間緊張の糸が切れることもなく真剣に意見交換をされ有意義なセミナーを聴講できたと考えます。

懇親会は場所をホテルトリニティ佐世保へと移動し開催させていただきました。

和気藹々のもと懇親を深め最後に「手に手つないで」を全員で斉唱し無事閉会とさせて頂きました。

参加して頂きましたロータリアンの皆様本当にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀 R C
佐藤 尚男 君



鹿島 R C
田口 和人 君



佐世保 R C
才木 邦夫 君



佐世保西 R C
中村陽一郎 君



松浦 R C
松田 圭史 君



諫早南 R C
宮崎百合子 君



長崎西 R C
近森栄太郎 君



長崎北 R C
水崎 敦雄 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種	類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	藤 井 歸 一	唐津RC
		松 浦 弘	平戸RC
		磯 田 幸 男	平戸RC
		大久保 堅 太	平戸RC
	メモリアル・コントリビューション	中 川 安 明 ご母堂 故中川マチエ様を偲んで	長崎南RC
米山記念奨学会	米山功労者	富 永 正 嗣	武雄RC
		辻 幸 徳	唐津RC
		池 富 幸 男	佐世保南RC
		山 口 洋 樹	諫早北RC
		本 田 清 秀	諫早北RC
	米山功労者 (マルチプル)	加志田 恵 久	伊万里RC
		井 上 良 久	唐津中央RC

訃報

謹んでお別れいたします 合掌。



故 本島 慶次 君
(佐賀RC)

ROTARY SHARES

2008年2月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減			
第1グループ	佐賀	4	75.9	65	0	70	0	5	1	1	
	小城	4	87.6	28	2	28	2	0	0	0	
	牛津	5	89.0	33	0	31	1	-2	0	0	
	多久	4	91.2	40	3	39	3	-1	0	0	
	佐賀大和	4	78.2	24	3	23	2	-1	0	0	
	小計		84.3	190	8	191	8	1	1	1	
第2グループ	佐賀西	4	88.4	48	0	49	0	1	0	0	
	佐賀北	4	80.5	40	3	41	3	1	0	0	
	佐賀南	4	81.2	44	2	44	2	0	0	0	
	神埼	4	78.3	32	0	31	0	-1	0	0	
	佐賀空港	4	52.8	16	1	18	1	2	0	0	
	小計		76.2	180	6	183	6	3	0	0	
第3グループ	有田	3	76.5	38	3	38	3	0	0	0	
	武雄	3	87.4	55	0	54	2	-1	1	0	
	鹿島	4	86.7	40	2	38	2	-2	1	0	
	嬉野	4	81.0	24	1	25	1	1	0	0	
	大町	4	67.5	26	0	27	0	1	0	0	
	白石	4	65.0	16	0	15	0	-1	0	0	
	太良	4	83.3	9	1	9	1	0	0	0	
	小計		78.2	208	7	206	9	-2	2	0	
第4グループ	唐津	3	90.5	51	0	53	0	2	0	0	
	伊万里	4	90.2	32	0	36	0	4	0	0	
	唐津東	4	91.4	47	0	51	0	4	0	0	
	唐津西	4	88.3	37	0	38	0	1	0	0	
	伊万里西	4	77.4	44	0	47	0	3	0	0	
	唐津中央	5	88.8	38	4	37	4	-1	0	1	
	小計		87.7	249	4	262	4	13	0	1	
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	81	0	1	1	0
平戸		3	83.8	40	0	38	0	-2	0	1	
佐世保西		3	95.9	26	0	27	0	1	0	0	
北松浦		4	86.1	22	0	24	0	2	0	0	
松浦		5	83.1	31	1	31	1	0	1	0	
小計			89.7	199	1	201	1	2	2	1	
第6グループ	佐世保南	4	98.6	75	0	80	0	5	0	0	
	佐世保東	4	82.1	29	0	25	0	-4	0	0	
	佐世保北	3	100.0	45	0	49	0	4	0	0	
	佐世保中央	4	97.0	39	0	38	0	-1	0	0	
	佐世保東南	4	77.2	24	0	21	0	-3	0	1	
	HTB佐世保	4	78.0	28	4	30	5	2	0	0	
	小計		88.8	240	4	243	5	3	0	1	
	第7グループ	大村	4	98.3	51	3	52	3	1	0	0
		島原	4	75.0	34	3	35	3	1	0	0
		雲仙	3	91.4	28	0	27	0	-1	0	0
大村北		4	100.0	33	0	35	0	2	0	0	
島原南		4	77.0	20	1	20	1	0	0	0	
大村東		3	82.5	47	1	48	1	1	0	0	
小計			87.3	213	8	217	8	4	0	0	
第8グループ	諫早	4	87.1	60	0	59	0	-1	0	0	
	諫早北	4	79.5	61	0	60	0	-1	0	0	
	諫早西	4	97.8	44	0	47	0	3	0	0	
	諫早多良見	4	90.8	38	0	39	0	1	1	0	
	諫早南	3	80.4	29	4	29	5	0	1	0	
	小計		87.1	232	4	234	5	2	2	0	
	第9グループ	長崎	4	89.8	94	0	97	0	3	0	0
福江		5	87.8	39	0	39	0	0	1	0	
長崎北東		4	96.0	55	6	52	5	-3	0	0	
福江中央		4	95.6	35	1	30	1	-5	0	0	
長崎西		4	85.2	70	0	68	0	-2	1	0	
長崎琴海		4	63.1	22	3	21	3	-1	0	0	
小計			86.2	315	10	307	9	-8	2	0	
第10グループ		長崎北	3	92.8	68	0	74	0	6	0	0
	長崎南	4	84.9	84	0	82	0	-2	0	0	
	長崎東	5	98.3	57	0	59	0	2	0	0	
	東長崎	4	87.0	30	0	29	0	-1	0	0	
	長崎中央	3	97.4	56	0	54	0	-2	0	0	
	長崎出島	5	85.2	57	12	54	11	-3	0	0	
	小計		90.9	352	12	352	11	0	0	0	
	合計		85.6	2,378	64	2,396	66	18	9	4	

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

文庫通信

246号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

世界理解月間・ロータリー創立記念日に因んで

- ◎「ロータリー創立記念日に寄せて 四つの原点」 渡辺 好政 2008 1p (D.2690 月信)
- ◎「世界理解月間にあたって」 成川 守彦 2008 5p (D.2640 月信)
- ◎「世界理解月間にあたって」 海田 司 2008 5p (D.2500 月信)
- ◎「ロータリーに魅せられて」 藤川 享胤 2007 12p (D.2520 地区大会)
- ◎「ロータリーの初心」 濱田五左衛門 2008 5p (D.2800 地区大会)
- ◎「大連宣言にみるロータリーの職業奉仕の心得」 鈴木 政昭 2008 2p (D.2800 月信)
- ◎「職業奉仕こそロータリーの原点」 道下 俊一 2007 9p (D.2510 IM報告書)
- ◎「職業奉仕月間・米山月間によせて (大連宣言と米山基金)」
金子 秀隆 2007 1p
- ◎「『今どきの職業奉仕』地区職業奉仕セミナー」 深川 純一 2007 19p (D.2680 月信)
- ◎「鼎談『職業奉仕—企業の社会的責任』」 村田 純一・堀場 雅夫・平井 義久
2007 8p (D.2650 地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】

掲載
しませんか

◎クラブ行事・周年報告・グループ行事 など

ガバナー月信でクラブの行事・周年の報告や、グループ行事の報告などをご紹介します。

《応募方法》500字程度(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



国際ロータリー 第2740地区
クラブバナー紹介



第7グループ



第8グループ



国際ロータリー第2740地区
 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail : ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ : <http://www.d2740.jp/>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



とんさん
殿様えびすさん (所在地: 佐賀市松原町松原神社境内)

佐賀の街の中心に位置し、佐賀藩藩祖を祀る松原神社境内に建立され、「殿様(とんさん)えびす」と愛称をつけられ、福乃神として広く県内外の人々に尊崇されています。

台座には恵比須神の御神徳に鑑み、幸運・金運の御縁として、松原川河童のお嫁入りで馴染み深い鹿児島県菱刈町より奉納された金鉱石が用いられていて、宝くじ当選の守り神「当り恵比須」として人気を集めています。

CONTENTS

ロータリーとは?(第10話).....	1
ガバナー補佐リレー随想.....	3
第7・第8グループ M報告.....	4
第1グループ M報告.....	5
第3グループ M報告.....	6
第21回 全国ローターアクト研修会について.....	7
国際青少年交換オリエンテーション・地区委員会報告.....	9
新入会員紹介.....	11
寄付者紹介.....	12
会員数・出席報告.....	13
文庫通信.....	14
クラブバナー紹介(第9・第10グループ).....	裏表紙

vol. **11**
2008.5.1

ROTARY SHARES

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第10話 —

国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー

野 口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

職業奉仕

過日、佐世保、北松、唐津地区のIMが職業奉仕をテーマに開催されました。大変有意義な勉強会となりました。実行委員長の棧さんのご活躍、ご苦勞に感謝申し上げます。

私はロータリーの原点は職業奉仕だと思っております。

1905年にシカゴでロータリーを作ったポール達の思いは、恐らく、当時、金のためならどんなことでもして儲けようとしていた職業人が大勢いた社会を何とかしないとイケないという思いが強かったのではないのでしょうか。資本主義の社会はお金が中心になります。しかし、お金は所詮人間が作ったものです。そのお金に使わ





What's Rotary?

れてはいけません。

お金が価値観の中心に座ってはいけません。
お金の幸せは買えるのでしょうか。

経済活動とは何を求めて行われているのでしょうか？お金を求めて行われているのでしょうか？お金は経済活動の介在物に過ぎない、資本主義経済はお金を回すことによって成り立っているのであって、社会の、個人の幸せを追求するのが最終目的ではないのでしょうか。

職業とは社会は個人に対して幸せを売るもので、社会や個人の幸せを犠牲にしてまで行う経済活動はもはや職業とは呼べません。この点で自分の職業が真に社会に個人に幸せを与えているのだろうか、反対に不幸にさせているところはないだろうかと常に反省を怠らない姿勢が必要だと考えます。

しかし、人間は弱いものです、すぐに誘惑に負けてしまいます。また楽な方、安易な方に傾きます。すぐにくじけそうになります。でも、自分の職業を社会や個人に対して有益なものとする、幸せに資すると言う確固たる御旗の印は降ろしてはいけません。そのためには絶え間ない研鑽が必要です。本、映画、テレビ、セミナーなど色々な方法によって自分研鑽の方法はあると思います。

幸いロータリーには自己研鑽の先生となる大勢のロータリーアンが目の前におられます。お互いに先生となって、徒となって自己研鑽にはげみ、自己を高めることによって、自分の職業をより良いものにしていく、これがロータリーの職業奉仕だと思っております。

みなさんお互いがんばりましょう。



国際協議会 GSEミーティング (写真提供:ロータリーの友)

ROTARY SHARES

何を美しいと感じるかは全くもって個人の自由です。美意識という格好つけた言葉を心に銘記するしないに拘らず、人は美しい(=良い)と感じたものに、自然と心魅かれるはずです。趣味、嗜好の選別もそういった心の枠内で行われているのだらうと思います。私がロータリーを好きな理由は自分の美意識の中で「ロータリーは美しい!」と感じている他ありません。以前からの気持ちが、この1年の少々の経験から益々高まった感があります。もっと具体的に言えば、ロータリーに様式美を見出しているからなのです。

*クラブ例会は美しい

会長の点鐘で始まり点鐘で終わる、1時間の限られた中で凝縮されたこの一連の流れに様式美を感じます。入会間もない方はロータリーソングを歌う事に抵抗を覚えてらっしゃるようですが、その気持ちよくわかります。国歌も戦時中の先達の御苦勞とお知恵をかみしめながら歌いたいものです。クラブによっては退会される会員の前途を祝して蛍の光の替え歌、さよならロータリアンを全員で合唱している所もあります。これもまた美しい。

*地区大会は美しい

今年度地区大会のみんなで公式訪問は美しかったです。大画面に写し出される各クラブの様子を背景に会長の皆様の練りに練ったコメント、凝縮された数分間にロータリーに懸ける想いが伝わりました。

*懇親会がまた美しい

各種会合後の懇親会もロータリーらしい華やかさをいつも感じます。今年度地区協議会懇親会でも美しさを感じました。進行役を中心に同心円状に広がる配席に拍手。佐賀南クラブの皆

ガバナー補佐 リレー随想

「美しい団体ロータリー」



第9グループガバナー補佐
岩永 信昭
(長崎北東RC)

様ありがとうございました。何より絶えず美しく感じるのは皆様の友愛のお気持ちです。

*綱領、四つのテストも美しい

綱領を読むとロータリーに入れた意義を実感できますし、四つのテストには自戒する事ばかりです。世間を賑わせた偽装事件の当事者にロータリアンも結構いたと聞くと甚々残念です。皆様よく

ご存じですが、長崎ロータリークラブには草案者ハーバート・テラー元RI会長直筆の四つのテストが掲げられています。ガバナー公式訪問の際仰ぎ見ましたが、字体といい年輪が重なっている事といい、実に美しいと感じました。

皆様おひとり、おひとりにロータリーに在籍されている意義を見出されておられるはずで、これは千差万別、多種多様である事が当然です。

しかしそういった広範囲に及ぶ多様な価値観を大きく包み込む懐の深さがロータリーの魅力だと思います。その魅力を表現する言葉として私は「美しい!」を選びます。



【今年度最も美しいと感じた写真】
写真提供：ロータリーの友

第7 第8 グループ IM開催報告

実行委員長 荒木 公 義
(諫早西RC)

2007～08年度第7・第8グループ合同のインターシティミーティングを去る3月1日(土)諫早平安閣(諫早西RC例会場)に於いて開催しました。ホストクラブは諫早西RC、コ・ホストクラブは諫早多良見RCとし、11クラブの登録者数449名、参加者は260名でした。

今回は地区方針の「ロータリーを楽しもう」をコンセプトに“ロータリアンは委員会活動にどの様にかかわっているのか”を6クラブの社会奉仕(島原、大村東RC)、新世代奉仕(諫早南RC)、クラブ奉仕(諫早多良見RC)、職業奉仕(雲仙RC)、国際奉仕(諫早西RC)

の各委員長にパワーポイントを使ってユーモアたっぷりに発表して頂きました。今回の各クラブの素晴らしい活動の発表が各クラブの活性化につながり、ひいては会員増強、退会防止の一環になるものと思っております。

又、第2部の基調講演を大変ご多忙にも関わらず快くお引き受け頂いた隅田パストガバナーをはじめ、講評を頂いた栗林パストガバナー、お忙しい中ご出席頂きました佐古パストガバナー、大島地区副幹事に心より感謝を込めてIMのご報告と致します。



ROTARY SHARES

第1 グループ IM開催報告

実行委員長 鮎川好彦
(小城RC)

2007～08年度第1グループIM（インターシティミーティング）が、去る3月8日（土）にホテルニューオータニ佐賀に於いて開催しました。

今回は第1グループ内5クラブにおいて174名の登録、111名出席していただき、第一部：



映画鑑賞、第二部：懇親会と新しい試みで企画いたしました。

第一部は、「命の大切さ」をテーマとし『風のダドゥ』を上映し、雄大な阿蘇の自然を舞台に孤独感に耐えきれず生きる希望を見失った少年少女が、元競走馬や周囲の人々に触れ合い、再び生きる力を与えられるストーリーで、会場内は静かに感動を抱きながら青少年の自殺防止に願いを込めました。

第二部は、懇親会で楽しく和やかな雰囲気になり、より一層親睦を深める場となり、無事IMを終了することができました。

最後にご参加のグループ内ロータリアンに心から感謝申し上げます。

今後更に実りのあるIMになるよう祈念致します。



第3 グループ IM開催報告

白石RC会長 岸川 享 仙

第3グループIMは3月23日に開催をいたしました。当日の天気は小雨模様でしたが、野口ガバナー、大坪地区副幹事、牟田パストガバナーを始め地区内会員のたくさんの方の参加で盛会のうちに開催をいたしました。第一部ではNHK熊本文化センター陶磁器講座の講師で、佐賀大和ロータリークラブの会友でもあります宮崎恒氏による「ふるさとことば」という題で講演を戴きました。身近な方言の話などで質問も相次ぎ改めて方言のことを考えさせられました。特徴的に佐賀の「ないない」言葉の意味がやっとわかったような気がします。漢字で書くと「唯」と書くそうで、文献によると「今でも佐賀地方では使われている」とあるそうです。

第二部は、懇親会で第3グループで毎年行われているカラオケ大会歴代優勝者によるカラオケ大会を行いました。流石に歴代優勝者だけあってプロ並みの声を聞かせていただき、野口ガバナーの提唱される「ロータリーを楽しもう」を実践できたのではないのでしょうか。

最後までご参加いただきました野口ガバナー、大坪地区副幹事、牟田パストガバナー有り難うございました、何よりの励ましになりました。

また、開催に当たり久原ガバナー補佐、コ・ホストクラブの鹿島クラブ、嬉野クラブのご協力有り難うございました。何分少ない人数での開催でしたので不行き届きの点多々有ったかと思いますがロータリーの心でお許しいたさますようお願いいたします。有り難うございました。



ROTARY SHARES

第21回全国ローターアクト研修会について

2007～2008年度 地区ローターアクト代表
第21回全国ローターアクト研修会実行委員長

折敷瀬 亜紗美

(鹿島RAC所属)

第21回全国ローターアクト研修会

日時：2009年2月21日(土)・22日(日)

場所：長崎市内(詳細未定、4月上旬時点)



▲ 06～07

第19回全国ローターアクト研修会(石川)にてキャラバン



▲ 07～08

第20回全国ローターアクト研修会(仙台)開会式

この度、「第21回全国ローターアクト研修会」が当2740地区ホストにて開催する事が、前年度金沢で行われました第19回研修会にて決議され、現地区ローターアクト代表 折敷瀬 亜紗美を実行委員長とし、実行委員会を立ち上げ、開催テーマ「E」(evolution・ecology・emotion・enjoy・eternal)の下、地区内11のローターアクトクラブ会員一丸となって準備を進めております。

近年の研修会ではホスト地区ガバナー事務所より多額の助成金を予算立て前にもらい(通常は内容等を考慮し予算立てをおこない、自主財源での不足分を申請するべきだと考えます)内容も華美になり、研修会の主旨より大きく外れてきているとの指摘がある為、当地区がホストする第21回研修会では環境問題等を盛り込み、研修の内容を重視したものを開催しようと考えております。

現在の地区内ローターアクトクラブ(11クラブ約90名)での開催に不安もあるかとは思いますが、今後、会員増強にも力を入れ、一同「絶対に成功させる」という強い意思で取り組んでおります。

この素晴らしい全国ローターアクト研修会という大会を企画・運営することで当地区全てのローターアクトクラブが更なる成長を遂げる事は間違いありませんし、私達2740地区での開催から、新しい全国ローターアクト研修会の礎を築いていき、参加者全員の記憶に残り続け、これからのローターアクトの歴史の中に2740地区の名が刻まれるようなものを創り上げる所存です。

その為には、地区内ロータリークラブ会員皆様方のご理解と絶大なる支援なしには出来兼ねますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

ロータリー家族の一員である私達ローターアクトの今後に期待して頂き、共に、この2740地区の未来の発展を担う事ができれば幸いに存じます。

■全国ローターアクト研修会とは…

地区間のより良い信頼関係を推進し、ローターアクト活動の建設的な意見交換、情報交換、会員の親睦と友好、参加者の指導力養成、ローターアクトの活動を広く紹介するための機会を目的とし、34地区（1地区が活動していない為、現在33地区）のローターアクト「地区代表・地区幹事・地区代表ノミニニー・次期地区幹事」ロータリー「地区ローターアクト委員長・次期地区ローターアクト委員長」の6名が義務出席者となり、義務出席者は分科会（様々な議題について討議したり各地区の現状・問題点・活動などの報告をする場）他一般会員は、一般会（開催地区により内容は様々）を二日間の日程でホストを4ゾーンの輪番制により行っております。



▲07~08 第20回全国ローターアクト研修会（仙台）義務出席者会議1



▲07~08 第20回全国ローターアクト研修会（仙台）義務出席者会議2



▲07~08第20回全国ローターアクト研修会（仙台）次期地区ローターアクト代表所信表明



▲07~08第20回全国ローターアクト研修会（仙台）閉会式後、キャラバン旗前にて集合写真

ROTARY SHARES

第4回国際青少年交換オリエンテーションと 第7回地区委員会が開催されました

平成20年3月30日(日)武雄センチュリーホテルを会場に国際青少年交換オリエンテーションと地区委員会が開催されました。

出席者

■来日学生

ティモテ (佐賀)
ジェレミー (諫早北)
サマンサ (長崎)

■派遣学生

平山 元喜 (長崎)

■RC関係者

田島 広一 (佐賀)

■地区委員

瀬戸口智彦 (長崎南)
益田 荘一 (長崎)
田嶋 英夫 (長崎北東)
川口 史 (長崎南)

■事務局

相内 啓子 (交換事業専任)



1. 来日学生北九州研修旅行の報告

日 時：平成20年3月16日

目 的：北九州、下関の研修旅行

引 率：川口 史 (長崎南)

参 加：ROTEX 濱村 (佐世保南)、松永 (佐世保)、本多 (雲仙)、若杉 (諫早多良見)

来日学生：ロバート(佐世保南)、ジェレミー(諫早北)、サマンサ(長崎)、アレックス(長崎南)

2. 東京・関西旅行予定

日 時：平成20年5月13日（火）～17日（土）

3. 派遣学生 平山 元喜（長崎）の留学準備状況

4. 09～10年度国際青少年交換学生募集要項として

留学期間：09年7／8月～10年6／7月

募集締切：2008年9月16日に変更

5. 来日学生の問題

来日学生の滞在状況について交換親善大使として態度に

対応：いまのままで暫く基本を踏みはずさないように経過観察する。

現在の来日学生は真面目な留学生活を送っており地元地域との交流も成功しているようです。

6. 第5回YEPオリエンテーションのご案内

日 時：平成20年6月15日

地区委員会／11:00～12:00 O R／13:00～16:00

会 場：HTB JRホテル

参加予定：地区委員会、関係ロータリークラブ・ホストファミリー、ROTEX、来日学生、

派遣学生、次年度ガバナーエレクト、副幹事、事務局YEP専任

【プログラム予定】

- ①来日学生への修了証書
- ②ホストファミリー・関係ロータリークラブへの感謝状
- ③来日・派遣学生の夫々のプレゼンテーション



ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀 R C
渡辺 匠 君



佐世保南 R C
田中 準 君



佐世保北 R C
吉澤 俊介 君



大村東 R C
福田 保雄 君



諫早北 R C
石本仁太郎 君



長崎南 R C
岸本 宏利 君



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種	類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F(ポール・ハリス・フェロー)	隅 田 誠 男	唐津RC
	メモリアル・コントリビューター	脇 山 善 文	松浦RC
米山記念奨学会	米山功労者	本 岡 善 敬	伊万里西RC
		野 田 幹 雄	伊万里西RC
		田 中 秀 徳	伊万里西RC
		吉 原 弘 雄	伊万里西RC
		堀 川 博 邦	伊万里西RC
		中 尾 良 樹	伊万里西RC
		福 田 茂 弘	伊万里西RC
		堤 茂 樹	伊万里西RC
	米山功労者 (マルチプル)	池 富 幸 男	佐世保南RC
		金 子 和 斗 志	伊万里西RC
		小 島 清 嗣	伊万里西RC
		朝 永 春 郎	松浦RC
		諸 岡 洋 三	諫早多良見RC
		安 達 一 郎	長崎北RC

ROTARY SHARES

2008年3月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	3	81.6	65	0	68	0	3	1	3
	小城	3	88.5	28	2	28	2	0	0	0
	牛津	4	88.7	33	0	31	1	-2	0	0
	多久	3	83.7	40	3	39	3	-1	0	0
	佐賀大和	3	82.6	24	3	23	2	-1	0	0
	小計		85.0	190	8	189	8	-1	1	3
第2グループ	佐賀西	4	86.0	48	0	50	0	2	1	0
	佐賀北	4	84.2	40	3	40	3	0	0	1
	佐賀南	4	82.9	44	2	43	2	-1	0	1
	神埼	4	73.3	32	0	31	0	-1	0	0
	佐賀空港	4	70.8	16	1	18	1	2	0	0
	小計		79.4	180	6	182	6	2	1	2
第3グループ	有田	3	85.5	38	3	35	1	-3	0	3
	武雄	5	87.7	55	0	54	2	-1	0	0
	鹿島	4	89.5	40	2	37	2	-3	0	1
	嬉野	4	84.0	24	1	24	1	0	0	1
	大町	3	73.0	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	65.0	16	0	15	0	-1	0	0
	太良	3	85.1	9	1	9	1	0	0	0
	小計		81.4	208	7	201	7	-7	0	5
第4グループ	唐津	4	88.0	51	0	52	0	1	0	1
	伊万里	4	85.4	32	0	35	0	3	0	1
	唐津東	3	95.1	47	0	50	0	3	0	1
	唐津西	4	90.8	37	0	38	0	1	0	0
	伊万里西	3	84.1	44	0	47	0	3	0	0
	唐津中央	4	93.8	38	4	36	4	-2	0	1
	小計		89.5	249	4	258	4	9	0	4
	第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	81	0	1	0
平戸		3	85.6	40	0	37	0	-3	0	1
佐世保西		3	94.4	26	0	27	0	1	0	0
北松浦		4	86.1	22	0	24	0	2	0	0
松浦		4	83.0	31	1	31	1	0	0	0
小計			89.8	199	1	200	1	1	0	1

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	99.0	75	0	81	0	6	1	0
	佐世保東	3	81.7	29	0	25	0	-4	0	0
	佐世保北	5	100.0	45	0	49	0	4	0	0
	佐世保中央	3	97.0	39	0	38	0	-1	0	0
	佐世保東南	4	75.3	24	0	23	0	-1	2	0
	HTB佐世保	4	74.4	28	4	30	5	2	0	0
	小計		87.9	240	4	246	5	6	3	0
第7グループ	大村	5	98.1	51	3	50	3	-1	0	2
	島原	4	75.7	34	3	33	1	-1	0	2
	雲仙	5	91.4	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	35	0	2	0	0
	島原南	4	62.0	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	5	81.0	47	1	47	1	0	1	2
	小計		84.7	213	8	212	6	-1	1	6
第8グループ	諫早	3	87.2	60	0	58	0	-2	0	1
	諫早北	3	83.6	61	0	61	0	0	1	0
	諫早西	4	89.3	44	0	47	0	3	0	0
	諫早多良見	4	91.4	38	0	38	0	0	0	1
	諫早南	4	74.4	29	4	28	5	-1	0	1
	小計		85.1	232	4	232	5	0	1	3
	第9グループ	長崎	3	86.4	94	0	96	0	2	0
福江		4	87.6	39	0	38	0	-1	0	1
長崎北東		4	83.7	55	6	51	5	-2	0	1
福江中央		3	98.8	35	1	29	0	-6	0	1
長崎西		4	74.6	70	0	68	0	-2	0	0
長崎琴海		3	68.2	22	3	21	3	-1	0	0
小計			83.2	315	10	303	8	-12	0	4
第10グループ	長崎北	5	78.8	68	0	74	0	6	1	1
	長崎南	4	72.1	84	0	80	0	-4	1	3
	長崎東	4	98.3	57	0	59	0	2	0	0
	東長崎	4	79.3	30	0	29	0	-1	0	0
	長崎中央	4	94.0	56	0	51	0	-5	0	3
	長崎出島	4	70.7	57	12	53	11	-4	0	1
	小計		82.2	352	12	346	11	-6	2	8
合計		84.8	2,378	64	2,369	61	-9	9	36	

文庫通信

247号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

記念講演から

- | | | | |
|------------------------------|----------|------|-------------------|
| ◎「藤沢周平を通して見る庄内山形」 | 山田 洋次 | 2006 | 5p (D.2800 地区大会) |
| ◎「まちを生き活きとさせる建築」 | 伊東 豊雄 | 2006 | 15p (D.2600 地区大会) |
| ◎「日本の進むべき道」 | 上坂 冬子 | 2007 | 9p (D.2590 地区大会) |
| ◎「日本の美と現状」 | アレックス・カー | 2006 | 5p (D.2630 地区大会) |
| ◎「税金の使われ方」 | 浜田 幸一 | 2007 | 2p (D.2770 地区大会) |
| ◎「『内助の功』と『大出世』の虚実一検証・山内一豊伝説」 | 渡部 淳 | 2006 | 14p (D.2670 地区大会) |
| ◎「河内の英雄『楠木正成』」 | 永島 龍弘 | 2007 | 8p (D.2640 地区大会) |
| ◎「未来を切り拓く経営者たち」 | 福島 敦子 | 2007 | 5p (D.2640 地区大会) |
| ◎「人口減少時代の地域経済」 | 藻谷 浩介 | 2007 | 31p (D.2600 地区大会) |

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】



◎クラブ行事・周年報告・グループ行事 など

ガバナー月信でクラブの行事・周年の報告や、グループ行事の報告などをご紹介します。

《応募方法》500字程度(タイトル別)の文章と、関連写真もあれば添付して、ガバナー事務所「月信担当係」までお送りください。

(注)原稿、写真等は郵送でもEメールでも構いません。

国際ロータリー第2740地区のホームページを是非ご覧下さい。 <http://www.d2740.jp/>



国際ロータリー 第2740地区
クラブバナー紹介



第9グループ



長崎RC



福江RC



長崎北東RC



福江中央RC



長崎西RC



長崎琴海RC

第10グループ



長崎北RC



長崎南RC



長崎東RC



東長崎RC



長崎中央RC



長崎出島RC



国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？(第11話).....	1
ガバナー補佐リレー随想	3
「超我の奉仕賞」受賞	4
第2グループ合同行事の報告	5
「米山奨学生2007学年度 終了式・歓送会」のご報告 ..	7
「米山奨学生2008学年度 カウンセラーセミナー・奨学生オリエンテーション」のご報告 ..	9
アレックス君のご両親が来訪されました	11
地区協議会報告	13
新入会員紹介	15
寄付者紹介	16
会員数・出席報告	18
文庫通信	裏表紙

こぞだ えびす
子育て恵比須さん (所在地：佐賀市白山1-3-2 八幡神社境内)

人間の子どもを抱いた日本最初の恵比須さんだそうです。
恵比須さんの右横に記念の碑文があり「今日ほど子育ての重要な時代
はございません。恵比須様は元来商売繁昌・家内安全・大漁満足の神とし
て崇められて来ましたが、このたびは子授け、安産、子育てまで司どつて
いただく柔和でやさしい笑顔の恵比須が御鎮座になりました。これを機
にみんなでやさしく子供を育てましょう。」と
記されています。

未来を担う子どもたちに幸多かれ！(祈)

vol. **12**
2008.6.1

ROTARY SHARES



ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第11話 —

国際ロータリー第2740地区
2007-2008年度ガバナー

野 口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

自然治癒

ロータリアンの皆様の中には大勢のお医者さんがいらっしゃいます。その方々はくれぐれもこの原稿はお読みにならないで下さい。なぜならば私が今から書くことは何も知らない未熟な私の自分勝手な意見で、先生方の感情を害すると思うからです。それでもお読みになった先生方には始めにお詫び申し上げておきます。

私は医者嫌いです。(今の？もちろん私も含めて) なぜならば注射は痛いので嫌い、消毒の臭いが嫌い、薬も嫌い、もちろん切り刻まれるのも嫌い。自慢じゃないですが、今まで検査と言うものはしたことがありません。その私がなぜ医者になったのか。正直に言いますと親父が医者で、職業は医者しか頭になく、何も考えずにしゃにむに医者になりました。





結論から言うと、治る病気は医者がいなくても治る。治らない病気は医者がいなくても治らない。

人間は最後は必ず死ぬということでありませう。人間は精神的・肉体的極限状態に陥れば内因性のモルフィネと言う麻薬を自分の体内で自動的に作って、その苦痛を和らげようとします。それと同じように熱があれば解熱剤を、潰瘍があれば抗潰瘍剤を、血が出れば止血剤を、およそ、この世の中にある体に必要な薬は自分の体で作っています。このように人間は自分の体が窮地に陥れば必要な薬を必要な量だけ作り、必要なところに運びます。

それが人間の自然治癒力と言います。

では医者は要らないではないかと言うことになります。しかし、医者は要るのです。祈禱師として、散髪屋として。



どういうことかと言うと、患者さんの精神的支柱として、患者さんの清潔を保つ役目として、です。患者さんは病気になると不安になります、不安になると自然治癒力が鈍ります。患者さんが不潔にしていると、次から次へと細菌が入り込み自然治癒力が脅かされます。医者の仕事はこの患者さんの持っている自然治癒力をどれだけ高めてやれるかにかかっているわけです。

ロータリーは今病気だと私は思っています。ポール・ハリスが「親睦と奉仕」と言う理想を掲げてはじめたこのロータリーは今存続の危機に直面していると思うのであります。それは今までの月信に書いてきた通りであります。

ロータリアンの皆様が医者となってロータリーの自然治癒力を高めてやってこそ、立ち直れると思っています。



国際協議会 (写真提供：ロータリーの友)

ROTARY SHARES

永年の念願であった、みちのく五大桜の旅で訪れた各地の桜について紹介したいと思います。桜の見頃はその年の気象条件により桜の時期が前後します。従って北上する桜前線を詳細に調査して旅行日程を決めたのですが、その出発日のツアーは人員が集まらず、お流れとなり1週間後の出発となった。

今年の桜の開花は例年より1週間以上早かった様である。仙台空港からバスの旅が始まった。

1. 北上展勝地の桜

北上川の川辺に約2km続く桜並木は東北三大桜名所として約1万本を数えるソメイヨシノに始まりカスミザクラまで美しいピンクの並木に彩られると云われている。訪れた時には前日からの雨で8割が散っていた。

2~3日遅かったようである。

2. 盛岡の石割桜

盛岡地方裁判所の敷地内にあった。

南部藩の家老の屋敷跡である。

どうしてこの様に石が割れたか明らかではないが約350年余り前落雷によって割れその割れ目に桜の種が落ち込んで生育するにつれ石を割ったと云われている。

国の天然記念物として大切に育てられている。少し花ピラが付いている程度で1週間遅かった様だ、残念。

バスの旅は続く。

みちのくの小京都角館に向う途中広大な小岩井農場を廻り道して、NHK連続テレビ小説「どんと晴れ」でおなじみ、岩手山を背景にした有名な一本桜は丁度満開であった。

農園内の桜並木も満開で、ほか期待外れのため一層感動を覚えることが出来た。

3. 角館武家屋敷

みちのくの小京都と呼ばれている角館は1620年芦名義勝により町割りされ佐竹北家の城下町として栄えて来た。390年近

ガバナー補佐 リレー随想

「桜紀行 みちのくの旅」



第10グループガバナー補佐
阿部 芳男
(長崎北RC)

く経た今でも長く続く、武家屋敷の黒塀越しの枝垂れ桜は天然記念物に指定されている。満開の時は、さぞ見事だと思いが今は緑濃い枝垂れ葉桜に変身していた。

緋毛さんに座してお茶を呑みながら案内パンフレットで見事な桜を忍ぶのみであった。

4. 角館桧内川堤の桜

バスの駐車場は武家屋敷と背中合わせで概に80台のバスで満車あり行列していた。

桧内川堤の桜は2kmにわたる桜並木で、昭和

9年現天皇陛下の誕生を記念して植樹されたソメイヨシノ400本余りで国の名勝に指定されている。

5. 弘前城の桜

弘前城公園の桜は江戸の中期に津軽藩士が京都から25本の苗木を持ち帰ったのが始まりと云われている。

その後明治から植栽が始まり現在ではソメイヨシノを中心に枝垂れ桜など約50種、2,600本の桜がある。

最後の期待を抱いて弘前城を訪れた。

ソメイヨシノは5割が散り堤は花ピラで初雪が降った様に白く積もっていた。

お堀の川面は桜の花ピラで埋めつくされていた。この景色も珍しく風情があった。

幸運な事に城内の枝垂れ桜は今が盛りと咲き誇っていた。今迄の不運が吹きとんで満足感を味わう事が出来た、万歳。

機会があったら再度訪れたいと思っている。



弘前城の桜と川面の花ピラ

重大NEWS

「超我の奉仕賞」受賞!!

三原 茂 会員(長崎北RC)、三宅 敏彦 会員(長崎西RC)

ロータリーの標語「超我の奉仕」を象徴するような、模範的な人道的ロータリー奉仕活動をしたロータリアンに贈られる「超我の奉仕賞」は、ロータリアンに対するロータリーの与える最高の栄誉です。その「超我の奉仕賞」が国際ロータリーより三原茂会員(長崎北RC)、三宅敏彦会員(長崎西RC)のお二人に贈られました。

そこで、4月27日に開催されました2008-2009年度地区協議会で、野口清ガバナーより「超我の奉仕賞」伝達が行なわれ、三原茂会員、三宅敏彦会員に出席されたロータリアンから満場の拍手が送られました。

また、長崎新聞(2008年4月12日)にも大きく掲載されましたので、一部を紹介します。

長 崎 新 聞

2008年(平成20年)4月12日

「超我の奉仕賞」に三原さん、三宅さん

(長崎北)

(長崎西)



「超我の奉仕賞」を受けた三原さん(左)と三宅さん
=長崎市内

同賞は世界のロータリー会員から、模範的な奉仕活動を長年にわたり実践した会員に贈られる。国際ロータリーの理事会が毎年百五十人を上限に選考、ロータリー会員にとって「最高の栄誉」とされる。長崎・佐賀両県を活動エリアとする国際ロータリー第2740地区からは、これまでに一人が受賞しているだけ。

整形外科医で県剣道連盟の会長も務める三原さんでも「長崎ののちの電話」



「超我の奉仕賞」を受けた三原さん(左)と三宅さん(長崎北)はロータリーの活動として、一九七八年から少年剣道大会、八六年から年長者市民俳句大会を運営するなど積極的に活動。ロータリー活動以外にも、長崎市の児童養護施設の毛布・布団のクリーニングを続けた。ロータリー活動以外にも、障害者や養護施設の出身者の雇用を積極的に進めている。

賞を受け、三原さんは「剣道も俳句も皆さんが楽しめることを続けてきただけ。一人の力ではなく、ロータリー仲間の協力があって受賞できた。三宅さんも「幼いころ苦労した経験があり、『世間に恩返しを』という自然な気持ちで取り組んできた。いろんな人の手助けがあつてできたこと」と喜びを語った。

ROTARY SHARES

第2グループ 合同行事の報告

佐賀西

佐賀北

佐賀南

神 埼

佐賀空港

ロータリーを楽しもう!

佐賀空港RC 会長 栗田博昭



本年度は、佐賀空港ロータリークラブより創立来、初めてのガバナー補佐（権藤幸彦君）を選出いたしました。第2グループ（佐賀西・佐賀北・佐賀南・神埼・佐賀空港）は会員総数180名と地区内最小数のグループであり、当クラブ自身も18名という最小会員数のクラブであります。しかしながら、野口ガバナーはじめグループ内の先輩4クラブのご支援のもと、次ぎの通り合同行事を無事に終えることができました。

あらためて、第2グループ5RC180名のロータリアンの友情と結束力を再認識し、感謝いたします。

同グループは他のグループに先駆け8月上旬にガバナー公式訪問及びクラブ協議会の全日程を終えることができ、ガバナーのご苦勞に対する慰安と5クラブ相互間の親睦の高揚をと言うことで、各クラブ会長幹事と協議の上、例年は後期2月頃に行われているIM（合同例会）を9月に開催しました。この合同例会では、権藤ガバナー補佐の経験を生かした「私たちの郷土について」の演題で普段住み慣れた郷土と地形地理がどのように関わり構成されているか等について、パワーポイントを使って詳しく説明をして頂き、あるメンバーからは会社でも講演をして欲しいとの要望もでるほどでした。

◎2007年9月26日(火) 『第2グループ5RC IM・合同例会』 於：ホテルニューオータニ佐賀

◎2008年3月18日(火) 『第2グループ5RC 合同親睦会』 於：ホテルニューオータニ佐賀

◇郷土探訪会の部…さが水ものがたり館（石井樋公園）・佐野常民記念館見学



◇ゴルフ会の部……………花祭ゴルフ倶楽部

☆優勝 円田 稔 君 (佐賀西RC)



◇合同親睦例会の部……………ホテルニューオータニ佐賀



また、第2回目は2008年3月18日、『第2グループ 合同親睦会』を開催しました。
 昼の部に郷土探訪会を催し、ふるさと佐賀の歴史や先達の偉業を知ろうと『石井樋公園さが水のもがたり館』と『佐野常民記念館』に学び、日本を代表できる佐賀の歴史文化について触れることが出来ました。夜の親睦例会には、ご多忙の中、野口ガバナーのご臨席を賜りガバナーを囲んでの和やかな会食、またゴルフ大会の表彰式と懇親を重ね、明日からのロータリー活動をより一層楽しもうと語りながら、閉会点鐘を聞きました。



ROTARY SHARES

「米山奨学生2007学年度 終了式・歓送会」のご報告



地区米山記念奨学委員長 北郷雅子
(長崎出島RC)

去る3月2日(日)米山奨学生2007学年度 終了式・歓送会を「花月」で開催しました。当日は米山奨学会理事の隅田パストガバナー、田口パストガバナー、高城ガバナーノミニーを始めガバナー補佐、地区副幹事、次年度地区幹事と地区米山委員会、カウンセラー、そして、奨学生と思い出のひと時を過ごしました。

また、あいにく、ご欠席の野口ガバナー、鈴木ガバナーエレクトからの暖かいご挨拶のメッセージも頂きました。

●平成20年3月2日(日)

11時から「終了式」を花月3階大広間で行いました。隅田パストガバナー(米山奨学会理事)の来賓ご挨拶の後に、「長崎丸山と花月の歴史について」の花月女将の卓話を長崎出島RCのメンバーである加藤公子さんにお願ひしました。その後、田口パストガバナーにご挨拶の後、一人一人と親しくお話交わされながら、米山奨学会からの修了証書を授与して頂きました。また、カウンセラーにも慰労のお言葉とともに感謝状を授与されました。





12時20分から「歓送会」の会場は「竜馬の間」（坂本竜馬の刀傷で有名）に移動。

まずは、卓袱料理の作法通り、女将の「尾ひれをどうぞ」のご挨拶の後、お吸い物を頂いてから、通常の食事会の流れになりました。高城ガバナーノミニーの乾杯のご挨拶と乾杯の後に、卓袱料理を頂きながら、日本舞踊と春の庭の景色を堪能しました。

各クラブ毎にカウンセラーと奨学生が「思い出や感謝の言葉」をスピーチして、欠席者からのメッセージも頂きました。馬郡次期地区幹事の閉会のご挨拶の後、奨学生たちと最後の「手に手つないで」を合唱しました。

花月の資料館や歴史的な建物の中、そして庭などを拝見して、14時解散をしました。

「日本文化を学ぶ」という今年の企画に沿って、長崎市丸山の史跡料亭の花月で、奨学生には、世界へ唯一開いていた長崎という歴史ある街のこと、食べ物のことなどを学ぶ好機会だったこと、また、参加カウンセラーをはじめロータリアンもいつもと違う昼間の花月の風情などにも楽しんで頂きました。

花月を使うに当たっては、ホテルでの経費と同じ位できるように計画しました。料理もお昼のお弁当の料金を卓袱（しっぽく）のように皿盛りにして頂き、雰囲気味わって頂きました。また、歴史的な建物の中や庭を充分見学できましたことも意味があったと確信しております。

そして、奨学生たちは大学の卒業式の後、それぞれ就職先や、進学先に飛び立っていきました。

地区内ロータリアンの皆様に、地区米山委員会といたしまして、これまでの感謝を申し上げますと共に今後とも更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。



「米山奨学生2008学年度 カウンセラーセミナー・ 奨学生オリエンテーション」のご報告

地区米山記念奨学委員長 北郷 雅子
(長崎出島RC)

去る4月12日(土)14時から16時半まで、米山奨学生2008学年度カウンセラーセミナー並びに奨学生オリエンテーションを「長崎えきまえいきいきひろば」にて役員も含めて、合計49名の出席者で開催しました。当日は田口パストガバナー、鈴木ガバナーエレクト、高城ガバナーノミニーを始め次年度ガバナー補佐、地区副幹事、次年度地区幹事と地区米山委員会、次年度のカウンセラー、そして、奨学生と初顔合わせを行いました。また、あいにく、ご欠席の野口ガバナーからは激励のメッセージも頂きました。

委員長の開会挨拶の後、来賓ご挨拶として：田口PG「奨学生へのお願いとしては見返りを求めないが日本と母国との交流の架け橋になって頂きたい。カウンセラーとの交流を有意義にそして末永くしてください。」来賓ご挨拶：鈴木GE「争いのない国際社会の実現のために尽力してください。」野口Gの代読 赤坂地区副幹事：「日本はもちろんのこと佐賀長崎の伝統文化を学び各国に伝えてください。1年間大いに楽しんでください。カウンセラーの皆様には1年間宜しくお願い致します。」とのご挨拶を頂きました。

先ず、セミナーでは「日本のロータリーと米山奨学事業」のDVDをご覧頂いたことで、より事業内容と学友の活躍などのことが、分かって頂けたと思います。





ROTARY SHARES

続きまして、「カウンセラー研修」の30分を委員長がスライドで地区の米山委員会の活動を紹介、奨学生の国別比率などのデータなどを説明した後、奨学生への指導としては、例会への出席、年2回のレポート提出、出前卓話、ボランティアなど地区内の活動への参加などの説明をしました。

中島地区委員からはスライドで、奨学生の先輩(学友)の紹介、お世話クラブでの交流や、地区内での楽しく有意義な交流やイベントの紹介があり、積極的なロータリアンとの交流と大学卒業後も交流を続けて欲しいとの話がありました。

継続奨学生の挨拶を長崎南RCの張仁山さんから「例会で多くのロータリアンと積極的に交流しましょう。」と経験を話してくれました。

その後、奨学生の確約書提出の後に鈴木ガバナーエレクトから奨学金、奨学生のバッヂを授与して頂きました。



閉会のご挨拶を高城ガバナーノミニーから頂いた後、全員で記念撮影をしました。

奨学生にとっては初めての「手に手つないで」を合唱した後、16時半解散をしました。

今年の奨学生は、新規12名 継続4名の計16名で、大村東RC、諫早RC、諫早多良見RCの3クラブに新しいお世話クラブをお願いできました。

尚、地区米山奨学会委員は、全員継続となりましたので今後ともよろしくお願い致します。

地区内ロータリアンの皆様には、本年度も出前卓話などで奨学生との交流をお願い致しますと共に、地区米山委員会といたしまして、これまでの感謝を申し上げますと共に今後とも更なるご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。



活動
報告

アレックス君のご両親が 来訪されました

長崎南RC



米国ニューヨーク州スカニアテレスから当クラブに交換留学中の、アレックス・フラッケンポール君の父スティーブン氏と母サンディさんが来崎し、例会に出席されました。また、同君がお世話になっている南山高校からも、松本勝男校長先生をはじめ4名の先生方にご出席いただきました。日本は初めてというご両親はアレックス君の春休み時期に来日され、一家で東京・箱根・京都・奈良を観光したのち長崎を訪問されたものです。

(松本校長先生)

本日は例会にお招きいただき、ありがとうございます。私事ですが、この4月1日に長崎南山学園の校長に就任しました。アレックス君の件については大変お世話になっているわけですが、これを機会に南山と長崎南RCのつながりが一層緊密になることを願っております。



(スティーブン氏)

日本はとても偉大な国だと思います。私たちは日本の歴史や文化を学ぶことを楽しみにしています。長崎南RCは素晴らしい組織です。私たちの息子をよくお世話いただき、本当に有り難うございます。



(サンディさん)

母親にとり、家を離れる息子を見送るのはとても辛いことでした。でも、日本に行くということで少しホッとした面もありました。その息子に関し、3つの願いがありました。安全であ

ること、幸福であること、周囲の方から愛されること、この3つです。そして、長崎南RCの皆様、ホストファミリーの皆様、そして学校関係者の皆様のおかげで、その3つとも得ることができました。本当に有り難うございます。今回のご縁のおかげで、日本は私たちにとり特別な国になりました。

(アレックス君)

来日した両親と一緒に、楽しい旅行をしてきました。箱根では富士山を見たかったけれど、曇りで見えず残念でした。京都では金閣寺・銀閣寺が素晴らしかった。奈良では東大寺とたくさん鹿を見て、長崎では光源寺の楠さんのお宅に泊めてもらっています。ロータリークラブの皆様のおかげで本当に楽しい思い出が出来ました。

松本校長先生とアレックス一家の挨拶のあと、本日の卓話として、また、ご両親に長崎の伝統芸能を見ていただくという歓迎の意味も込めて、銀屋町鯨太鼓保存会の皆様による勇壮な太鼓演奏が、高木忠弘事務局長のお話を挟み2曲披露されました。

(高木事務局長)

私たちは7年に1回のおくんち本番のために、週に2回太鼓の練習をしています。今日は長崎南RCの皆様の前で叩けることを本当に喜んでます。というのも、銀屋町の奉賛会長は前ガバナーの田口先生で、「ロータリーは分かち合いの心」という高い理念で、普段から厳しくご指導いただいているからです。私たちはそのご指導を忘れずに、長崎のため、くんちのため、そして自分のためにも6年後の本番に向かって一生懸命がんばって参ります。

(長崎南RC週報から一部を転載しております。)

「凧揚げ・お花見」開催

4月6日(日)にアレックス君とご両親をお迎えして、唐八景で「凧揚げ・お花見」を開催しました。予報では雨が心配でしたが、素晴らしい快晴となり、絶好の凧揚げ日和となりました。ご両親も大変喜ばれ、また名人の指導を受けたアレックス君の上達ぶりにも驚かされました。3時間程でしたが、大変楽しい時間を過ごすことができました。



地区協議会報告

鈴木丸出港準備

国際ロータリー第2740地区 2008～2009年度
ガバナーエレクト 事務局補佐 松尾圭祐
(佐世保南RC)



今年度の地区協議会は、2008年4月27日(日)長崎県佐世保市ハウステンボス内のユトレヒトホールをメイン会場に開催されました。天候にも恵まれ多くの観光客で賑わう中、野口清ガバナー、歴代パストガバナーをはじめ、各クラブより多数のご出席を賜り、部門別協議会では今期の指針に深く聞き入り、または熱く語り合い、大変有意義な協議会を行うことができました。ご臨席いただいた各グループのガバナー補佐、地区委員長、研修リーダーの方々はもちろんの



こと、ご出席いただいた全てのロータリアンの皆様に鈴木泰彦ガバナーエレクトをはじめ事務局一同感謝し、厚く御礼申し上げます。

今回の地区協議会は、李東健 国際ロータリークラブ会長エレクトの2008-09のテーマ「夢をかたちに」を受け、鈴木泰彦ガバナーエレクトが「ロータリーで心を耕そう」を合言葉に地区運営方針を発表し、400有余名の参加者に示されました。

当日は、12時からの登録受付、13時の点鐘以降、野口清ガバナーの御挨拶として自分なりのロータリー観をもって、自分なりのロータリーを行って下さいとお話のあと、「超我の奉仕賞」伝達で三原茂会員（長崎北ロータリークラブ）、三宅敏彦会員（長崎西ロータリークラブ）の2名の紹介をされました。鈴木泰彦ガバナーエレクトは国際ロータリーからの連絡事項、「新年度地区方針」発表とともに、日本の国の倫理観の欠如（心が病んでいる）その根本にある教育というテーマには意欲的に取り組む姿勢を語られました。その後引続き、基調講演として、田口厚パストガバナーの「クラブに期待すること（ガバナーを終えて）」が行われ、豊富なご経験を踏まえ、適切にご指導をいただきました。

休憩を挟んで、14時55分から部門別協議会が、今回初めての5部門（幹事部会・クラブ奉仕部門・職業奉仕・社会奉仕部門・新世代部門・国際奉仕部門）に分割され実施されました。部門

ごとに、研修リーダーが創意工夫の進行をされ、部門によってはグループセッションを取り入れ活発な意見の交換を行い、時間をオーバーする状況もありました。

引き続き開催いたしましたホテルヨーロッパでの懇親会では、ホストクラブである佐世保南ロータリークラブ川口睦郎会長の開宴の辞につづき、佐古亮尊パストガバナーの乾杯のご発声で親睦の輪が一気に広がりました。最後の鈴木泰彦ガバナーエレクトの閉宴の辞後もご参加の皆様多数名残惜しくされていましたが、かく言う私も、司会の任を終え会場でほっとしておりました。

ガバナー事務所をはじめ多くの方々のご指導のもと、ホストクラブの佐世保南ロータリークラブ一同協力、最善の努力をしてみりましたが、不行き届きの点多々あったかと思われませんが、ご容赦のほどお願い申し上げます。最後に参加された、全てのロータリアンに感謝し、今後のご協力・ご支援を期待し報告いたします。



ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介します。



佐賀大和 R C
山口 新 君



唐津 R C
志田原 哲 君



佐世保中央 R C
中村 貴 君



佐世保中央 R C
後田 明子 君



大村 R C
石野 和生 君



大村 R C
福田 公成 君



大村東 R C
山田久弥嗣 君



諫早 R C
永瀬 安郎 君



長崎北東 R C
石田美知子 君



長崎琴海 R C
長谷川 宏 君



長崎中央 R C
白坂 貴之 君



長崎中央 R C
段中 伸介 君



長崎中央 R C
細川 浩史 君



* お詫びと訂正 *

先月の『ガバナー月信』Vol. 11の「寄付者紹介」の頁で、メモリアル・コントリビューターのご氏名に誤りがありました。脇山善文君（誤）ではなく、勝山善文君（正）です。訂正をし、謹んで深くお詫びを申し上げます。

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名	
ロ ー タ リ ー 財 団	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	岸 川 正 人	佐賀RC
		江 口 武	牛津RC
		飯 塚 佳 彦	佐世保南RC
		石 田 一 美	大村東RC
		石 田 賢 二	大村東RC
		木 村 暢 義	諫早西RC
		吉 田 知 之	諫早西RC
		東 直 美	長崎北RC
マルチプル・P・H・F	山 本 光 雄	牛津RC	
	久 保 志 郎	佐賀西RC	
	駒 井 英 基	佐賀南RC	
	吉 田 一 夫	佐賀南RC	
	福 田 金 治	佐世保RC	
	筒 井 慶 弘	佐世保南RC	
	雪 竹 弘 男	佐世保南RC	
	村 山 史 男	佐世保南RC	
	太 田 靖 臣	大村東RC	
	島 信 行	大村東RC	
	北 浦 定 昭	諫早RC	
	谷 川 則 仁	諫早RC	
	石 丸 忠 重	長崎RC	
ベネファクター	田 嶋 英 夫	長崎北東RC	
	志 村 宏 一	佐世保南RC	
	辻 本 善 樹	諫早西RC	
大口寄付者	本 田 圭 助	長崎南RC	
	栗 林 英 雄	諫早北RC	
	高 木 聰一郎	長崎RC	

ROTARY SHARES

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

種 類	氏 名	クラブ名
米 山 記 念 奨 学 会	音 成 日佐男	佐賀 R C
	志津田 和 朗	佐賀西 R C
	圓 田 稔	佐賀西 R C
	森 茂 樹	佐賀西 R C
	小 林 貢	佐賀西 R C
	堤 貞 喜	佐賀西 R C
	園 田 嘉 生	佐賀南 R C
	久 原 康 正	白石 R C
	近 藤 豊 守	唐津中央 R C
	志 水 孝 明	佐世保東 R C
	村 瀬 公一郎	佐世保東 R C
	石 田 一 美	大村東 R C
	石 田 賢 二	大村東 R C
米山功労者 (マルチプル)	松 永 清	佐世保東 R C
	毎 熊 滋	諫早 R C
	大 原 玉 瑞	長崎北東 R C
米山功労者 (メジャードナー)	福 田 金 治	佐世保 R C
	栗 林 英 雄	諫早北 R C

訃報

謹んでお別れいたします 合掌。



故 井手篤始輔 君
(佐世保北 R C)

2008年4月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	3	75.8	65	0	68	0	3	0	0
	小城	5	91.0	28	2	27	2	-1	0	1
	牛津	4	86.7	33	0	32	1	-1	2	1
	多久	4	91.6	40	3	39	3	-1	0	0
	佐賀大和	4	78.1	24	3	24	2	0	1	0
	小計		84.6	190	8	190	8	0	3	2
第2グループ	佐賀西	3	81.0	48	0	50	0	2	0	0
	佐賀北	4	78.3	40	3	41	3	1	1	0
	佐賀南	4	76.7	44	2	43	2	-1	0	0
	神埼	4	75.0	32	0	31	0	-1	0	0
	佐賀空港	4	66.6	16	1	18	1	2	0	0
	小計		75.5	180	6	183	6	3	1	0
第3グループ	有田	4	79.5	38	3	37	1	-1	2	0
	武雄	4	78.7	55	0	54	2	-1	0	0
	鹿島	4	92.1	40	2	37	2	-3	0	0
	嬉野	4	93.9	24	1	23	1	-1	0	1
	大町	4	70.3	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	66.6	16	0	15	0	-1	0	0
	太良	4	88.8	9	1	9	1	0	0	0
	小計		81.4	208	7	202	7	-6	2	1
第4グループ	唐津	4	91.6	51	0	53	0	2	1	0
	伊万里	4	92.1	32	0	34	0	2	0	1
	唐津東	4	92.6	47	0	51	0	4	1	0
	唐津西	4	90.0	37	0	38	0	1	0	0
	伊万里西	4	78.4	44	0	47	0	3	0	0
	唐津中央	4	90.9	38	4	35	4	-3	0	1
	小計		89.2	249	4	258	4	9	2	2
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	82	0	2	1	0
	平戸	4	88.8	40	0	37	0	-3	0	0
	佐世保西	4	94.9	26	0	27	0	1	0	0
	北松浦	4	80.5	22	0	24	0	2	0	0
	松浦	4	77.4	31	1	30	1	-1	0	1
	小計		88.3	199	1	200	1	1	1	1

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	4	98.6	75	0	80	0	5	1	1
	佐世保東	4	86.3	29	0	25	0	-4	0	0
	佐世保北	4	97.2	45	0	50	0	5	1	0
	佐世保中央	3	98.0	39	0	39	2	0	2	1
	佐世保東南	5	77.2	24	0	25	0	1	1	0
	HTB佐世保	4	74.1	28	4	30	5	2	0	0
	小計		88.5	240	4	249	7	9	5	2
第7グループ	大村	3	100.0	51	3	52	3	1	2	0
	島原	4	82.3	34	3	33	1	-1	0	0
	雲仙	4	91.1	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	5	100.0	33	0	34	0	1	0	1
	島原南	5	72.0	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	4	87.6	47	1	48	1	1	1	0
	小計		88.8	213	8	214	6	1	3	1
第8グループ	諫早	4	86.9	60	0	58	0	-2	1	1
	諫早北	4	82.2	61	0	65	0	4	4	0
	諫早西	4	93.5	44	0	46	0	2	0	1
	諫早多良見	4	88.1	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	4	80.3	29	4	28	5	-1	0	0
	小計		86.2	232	4	235	5	3	5	2
第9グループ	長崎	4	85.0	94	0	95	0	1	0	1
	福江	4	87.1	39	0	37	0	-2	0	1
	長崎北東	4	91.6	55	6	52	6	-3	1	0
	福江中央	4	93.6	35	1	29	0	-6	0	0
	長崎西	4	77.5	70	0	68	0	-2	0	0
	長崎琴海	4	62.5	22	3	21	2	-1	1	1
	小計		82.8	315	10	302	8	-13	2	3
第10グループ	長崎北	3	77.9	68	0	73	0	5	0	1
	長崎南	4	80.1	84	0	80	0	-4	0	0
	長崎東	4	98.3	57	0	59	0	2	0	0
	東長崎	4	79.9	30	0	29	0	-1	0	0
	長崎中央	4	93.3	56	0	54	0	-2	3	0
	長崎出島	4	71.7	57	12	53	11	-4	0	0
	小計		83.5	352	12	348	11	-4	3	1
合計		84.8	2,378	64	2,381	63	3	27	15	

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩のロータリー観 (3)

- ◎ 「‘心の温かさ’こそロータリーの推進力」 松本兼二郎 1973 4p
- ◎ 「どうしてあなたはロータリアンになっているのですか」
中山 義之 1997 6p (横浜東RC週報)
- ◎ 「ロータリーよ、いずこへ？」 村田 善明 1984 4p
- ◎ 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神とロータリーの理念」
濱川金兵衛 1986 4p
- ◎ 「ロータリーの精神を振るい起こすには」 前原 勝樹 1974 4p
- ◎ 「職業奉仕のお話」 神守源一郎 1981 18p
- ◎ 「良き市民とは…>その心得十カ條」 伊藤次郎左衛門編輯 12p
- ◎ 「四つのテスト」 刈谷RC 1998 9p

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
【開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日】



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F
TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp
ホームページ: <http://www.d2740.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー月信

クラブ会長・幹事各位



ROTARY SHARES

2007-2008年度国際ロータリーのテーマ

ROTARY SHARES

2007-2008年度ガバナー
野口 清



CONTENTS

ロータリーとは？(第12話).....	1
ガバナー補佐退任挨拶	4
地区委員長退任挨拶	9
財団学友近況報告	16
新入会員紹介	17
寄付者紹介	19
会員数・出席報告	21
地区資料	23
年次大会 ロサンゼルス 2008	裏表紙

vol. **13**
総集編

ROTARY SHARES

ガバナー連載シリーズ

ロータリーとは？

— 第12話 —

国際ロータリー第2740地区
2007—2008年度ガバナー

野 口 清

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。

ロータリーソング

今まで色々書いてきましたが、いよいよ今回が最後となります。従って、今回は少々長い文章になると思いますが、我慢して読んでいただければ幸いです。今から書くことは私の敬愛する深川純一パストガバナーのお話を参考にして書かせてもらいます。

皆さんは Object of Rotary 「ロータリーの綱領」と言うのはもちろんご存知だと思います。これは綱領と訳すから分かり難いので、私は「ロータリーの目的」と言った方が分かり易いと思います。ではロータリーの目的とは何か。それは親睦と奉仕と言う言葉に集約されると私は思います。ご存知のように1905年2月23日、シカゴの町、ノース・ディアボーン街のユニテリアルの711号室でポール・ハリスが3人の友達と話し合い、シカゴロータリークラブが発足しました。会員たちが、お互いに助け合って、楽しいクラブを作ろうと言って出発したのです。従って、当初、ロータリーには親睦だけがあったのであり、その当時、奉仕と言うものは未だ陰も形もなかったのであります。

ポール・ハリスは語りかけました。皆が仲良く助け合って生きて行く楽しいクラブを作るた



めには、同業者がいると仲良くなれないから、一つの職種から一人だけ会員を選んでクラブを作ろうと提案したのです。これが一業種一会員制の原則です。なぜ、この様な原則を決めたかと言いますと、資本主義経済では自由競争原理が支配しますから、同業者は、「食うか食われるかの関係」に立たされます。従って、同業者は、競争相手がいるが故に、お互い心を開いて親しくなることが出来ません。ポール・ハリスはクラブの親睦を守るために同業者を排除して、一つの職種から一人だけを選ぶという一業種一会員制の原則を採用したのであります。これがロータリーと言う組織の原点なのであります。そして、1ヵ月後の3月23日には、会員9人が集まってシカゴクラブの創立総会が開催されました。その会合で、ロータリークラブと言う名称を決め、会長・幹事を始めクラブの役員を決め、クラブの組織を決めたのであります。そして、この時も一つの重要な原則を決めました。それは、会員は、4回連続して例会を欠席すると自動的に会員資格を失うという「規則的例会出席」の原則であります。これは、当時のロータリアン達は、皆、零細企業の経営者ばかりでありますから、お互いに厳しい経済状況の中で仲良く助け合って行く為には、皆仲間と

ROTARY SHARES

して必ず出て来いよ、ということでもあります。しかも、当時のクラブの例会は2週間に一回でありましたから、4回連続して欠席すると2ヶ月もクラブに出てこないことになります。従って、そんなに長い間、欠席して、お互いの安否も気遣わない、助け合いもしない、そんな冷たい奴は俺たちの仲間ではない、辞めてもらおうというのがこの原則を立てた彼らの心でありました。

要するに、彼らはまず、「一業種一会員制の原則」と「規則的例会出席の原則」を採択し、ロータリーの最も基本的な組織原理を確立したのであります。このようにして、ロータリーは、親睦が確保され、皆仲良くなって行ったのであります。そこで、ロータリーは、皆が仲良くなるために、色々なことをしております。先ず、会員同士は親類付き合いするのだから、お互いに取引するときには利益を貪ってはならない、と言うので、会員に「原価の取引」を義務付けました。さらに、彼らは物質的な助け合いの他に、精神的にも助け合うようになりました。この助け合いとは、ロータリアンは、皆職業人でありますから、自分の企業経営上の悩みをクラブに持ち寄って知恵を出し合ったのであります。或る会員が「うちの会社では今こういうことで悩んでいるんだ」と言うと、当時は一業種一会員制でありますから会員は皆業界が違います。従って、発想もアイデアも皆違います。「そのことなら私の業界ではもう解決済だ。こうしてごらん」と言って教えてくれます。このようにしてお互いに企業経営上の知恵を出し合い、アイデアを交換して助け合ったのであります。従って、あたかもクラブが経営相談所のような機能を果たすようになり、会員たちは次第に豊かになって行ったのであります。ところが1年半位経った頃、Donald Carterと言う弁理士に入会を勧誘したところ、彼は、「君達は、お互い助け合って豊かになって楽しいだろう。

しかし、一業種一会員であれば、クラブに入れない同業者はどうなるのか。また、職業人のクラブであれば、職業を持っていない一般地域社会の人たちはどうなるのか。私達は、この地域社会に生まれ、地域社会で育てられ、地域社会にお世話になって暮らしている。このお世話になっている地域社会に何ら恩返しもしない、何らの足跡も残さないで、自分たちだけが、お互いに助け合って、豊かになって、やがてこの世を去っていく、そのようなエゴイズムのクラブは永続性がないだろう。そのようなエゴイズムのクラブには入りたくない」と言って、きっぱり入会を断ったのであります。

この報告を聞いて、痛く反省したのがポール・ハリスでありました。「Donald Carterの言うとおりだ。クラブの行き方を変えよう」と言って、それからロータリークラブは、親睦だけではなく、世のため人のためのこと、即ち、奉仕も考えるクラブに変わっていったのであります。そこでポール・ハリスは考えました。ロータリークラブは、世のため、人のための奉仕をするために存在するのであるから、そのようなクラブであれば、これはシカゴの町だけに存在すればよいというものではない。全アメリカの地域社会に存在して然るべきものであると。

ところが、親睦のほかに、このような奉仕を認めることによって、クラブの中に摩擦が生まれました。なぜかと言いますと、親睦と言うのは、クラブの中で会員同士が仲良くして助け合うことでもありますから、親睦のエネルギーは、すべてクラブの中に向いています。これに反して、奉仕と言うのは、会員以外の人たち、即ち地域社会の人たちのために何かしようと言うことでもありますから、奉仕のエネルギーは、クラブの外に向いています。このように、親睦のエネルギーと奉仕のエネルギーは、その向かっている方向が正反対なのであります。シカゴのクラブの大多数の会員たちは、自分たちは、皆仲良く

ROTARY SHARES

して、助け合って、皆が豊かになるために、即ち、親睦を求めて入会したのであるから、地域社会の人たちのこと、即ち、奉仕のことなど考える必要はないと考えていました。これに対して、ポール・ハリスやDonald Carterほかごく一部の会員たちは、ロータリークラブと言うものは世のため人のための奉仕を考えなければ、やがて潰れてしまうという考え方でありました。しかし、奉仕などと言うことを考えるのは大多数の会員の反対するところであり、更に奉仕のためにロータリークラブをたくさん創って行くと言うロータリーの拡大は、クラブにとって大変荷が重い仕事であり、クラブにとっては全く余計なことでもありますから、これまた大多数の会員の反対するところでありました。このような意見の相違からクラブの中に摩擦が生じ、クラブが荒れてきました。

ポール・ハリスは、奉仕を説きますが、大多数の会員たちはこれに反対であります。さりとてロータリーの創始者ポール・ハリスを辞めさせるわけには行かない。そこで、会員たちはおもしろくありませんから、次第に例会に出席しなくなりました。即ち、ポール・ハリスが奉仕を説くとクラブの親睦が崩れます。しかし、親睦を守ろうとすると奉仕を説くことが出来ません。そこでクラブが荒れに荒れるわけでありま

す。このようにして、当初、ロータリーの親睦を作ったのはポール・ハリスでありましたが、実は、その親睦を壊したのもポール・ハリスだったのであります。シカゴクラブの初代の親睦委員長であった、歯科医のDr. William R. Neffはこの状況を見て、「あと1ヶ月でこのクラブもおしまいだ。親睦委員長としてクラブを立て直すために何かをしなければならない。起死回生の策はないのか」と考えました。そこで、彼は、クラブの会計であったHarry Rugglesを呼びました。そして、「君は歌がうまいから、ポール・ハリスが奉仕の話始めて皆がしらけたら、歌を唄ってくれ」と頼んだのであります。そこで、Harry Rugglesは、皆の気分が沈んだときに立ち上がって「諸君、歌を唄おう」と言っただけで、音頭をとって、会員の心を引き立てたのであります。

これがロータリーソングの発祥の物語であります。従って、ロータリーソングというものは、どんな歌でも良いのであります。皆の心を楽しくするものであればよいのであります。

何はともあれ、この親睦と奉仕との調和がロータリーでは最も大事であり、それを実践するには寛容と言う心の支えが必要となるのであります。

自分の考えを人に押し付けてはならないのであります。



国際ロータリー年次大会 ロサンゼルス 2008

ガバナー補佐 退任挨拶



第1グループ ガバナー補佐
小山 力生
(小城RC)

ガバナー補佐退任に際して一言挨拶申し上げます。

第1グループの皆様には私の業務に対し大変良くご協力して頂きました。心から御礼申し上げます。お陰さまで何とか責任が果たせそうです。懸案のIMも無事終了することができました。またライラにつきましても岡部委員長ご指導のもと数年ぶりに1泊2日の研修ができ、テーマ「生命の大切さ」を表題の映画「風のダドウ」鑑賞も好評でした。夜の会員によるディスカッションには佐賀ローターアクト会員の素晴らしいアイデアと企画で熱心に討議されました。

ロータリー理解月間にあたって佐賀大和クラブでは私のつたない卓話をよく聞いて下さいました。今回は第1グループだけのプログラムでしたが、次回からは第1・第2合同で取り組んで頂くよう次期七田ガバナー補佐にお願いして居ります。

最後になりましたが1年間本当にお世話になりました。



第2グループ ガバナー補佐
権藤 幸彦
(佐賀空港RC)

「経過報告」

第2グループは、佐賀西・佐賀北・佐賀南・神埼・佐賀空港の5クラブより成り、会員総数約180名であります。退任にあたり経過報告と感じた事を送ります。

2007年3月 公式訪問日程打合せ

- 4月 各クラブへ挨拶廻り
- 6月 次年度補佐会議
- 7月 17日～8月7日 公式訪問
- 30日 第1回補佐会議
- 8月 1日 第2グループ
第1回会長・幹事会
- 26日 第2グループ合同例会
- 9月 地区大会登録お願い各クラブ訪問
- 10月 第2回補佐会議
- 11月 16日～18日 地区大会
- 1月 グループ第3回会長・幹事会
- 2月 第3回補佐会議
- 3月 5クラブ合同例会・親睦会
- 6月 最終補佐会議

「所感」

野口ガバナーの方針が「楽しもう」と言う事でしたので、そればかり頭において1年過ぎました。

唯、行動を起す場合もひとつ事を行うに、Aさんは楽しかろうが、B君は好まない、そのような事が多々有ると思います。団体行動の難しい所だと思います。考えればきりが無い事ですから、ロータリーのルールより何より、出来るだけ多くの人が楽しむ事を心掛けて来た「つもり」です。私は楽しい1年を過ごさせて頂きました。皆様有難うございました。



第3グループ ガバナー補佐
久原 康正
(白石RC)

梅雨入りの季節を迎え雨音を聞き、梅雨の晴れ間のすがすがしい涼風を受けながら、過去一ヵ年間のガバナー補佐として行動を振り返って見ますと、4月より各クラブを表敬訪問させて

ROTARY SHARES

頂きました折に身に余る歓迎と先輩諸氏の激励の言葉を賜り感謝感激を致したところです。又クラブ会長、幹事様には、就任早々にも係わらず楽しい対話の中で年度のクラブ方針や問題点等を率直に聴く事が出来ましたのも友愛精神の絆で結ばれたロータリアンの仲間としての喜びを、改めて再認識させてもらい誠に有難く再度感激を致しました。

第3グループの現況を申し上げますと、奉仕プロジェクト部門に於いては各クラブ其々に活動計画に基づき推進活動が成され、地域のニーズを把握しながら地域発展や環境保全問題を始め、青少年育成に関する新世代、インタラクティブ、ローターアクト等クラブ委員で色々と具体的な方策を模索しながら効果的な対策を持って実行された功績に対し敬意を表する次第です。更に第3グループ会長幹事会でのクラブの問題点や反省事項等の話題に就いて触れてみますと、会員増強や退会防止に色々対策を講じても良い効果が生じない現状は、未だに前途に光明を見ることさえない経営環境の長期化と、ねじれ国会による政治不況とも重なり地方の経済を圧迫しており、今後クラブ単位の奉仕プロジェクト部門の活動運用資金も減額せざるを得ない状態へ落ち込む可能性も充分にあるとの意見が多く早めの善後策として、第3グループ内でも同類の奉仕プロジェクトに就いては、全体で協議し各クラブに応じた資金を出し合いクラブ合同主催の奉仕活動を推進すれば、最小の費用を持って最大の効果をあげる経済原則にかなった規模の大きな盛り上がりをもった奉仕事業となり広報機関も便乗するし広報活動と奉仕活動の両方が活かされ、新会員の勧誘もでき易く、広く住民の理解と信頼のもとで良き奉仕事業として評価されるものと察し、第3グループでの実現可能な対策課題として有効に活かして頂ければこれ幸いかと思います。

結びと成りますがこの一ヵ年間、野口ガバナ

ーを始め地区役員の皆様、並びにクラブ会長幹事様、会員皆様には心温かい御指導、御支援を賜り多くを学ぶ事と貴重な体験をさせて頂き誠に有難く感謝の念と、補佐の責務を果たす事が出来ましたのも御協力の賜と心から御礼申し上げ、退任の御挨拶と致します。



第4グループ ガバナー補佐

石松 憲一郎

(唐津RC)

野口清ガバナーは、今年度地区目標を「ロータリーを楽しもう」そして「主役はあなたです」「何か一つ良い事をしましょう」と定められた。ロータリーは、相互扶助と親睦にはじまり、日々自分の職業を通じて地域社会に奉仕する事を奨励されている。

その為には、より多くの人と知り合いとなり、例会を通じ交友を深め互いに得た知識を自分の職務に活かして行くべきだと思う。

今年度第4・5・6グループのIMが去る2月10日ホスト佐世保北RC、ハウステンボスJR全日空ホテルで盛大に開催された。テーマは「これからのロータリー活動を語ろう！」厳しい経済環境の折、会員減少傾向のロータリー活動は如何にと3氏は語り合う。記念講演は「職業奉仕の実践について」PG田中毅氏。報告書によると「ロータリアンは、まず自分の事業の繁栄を考え、次に自分が属する業界全体の繁栄、究極的には地域社会の繁栄を図らなければならない」職業は社会に奉仕する為に存在し、健全なる事業を営もうと思えば、経営者の努力に加えて従業員、取引関連の業者、顧客、同業者など地域社会や行政など、すべての協力が必要だと考えられ、私達を取り巻く全ての方々のお蔭で自分の事業が成り立っており、利益を自分一人占めするのではなく、自分の事業に関する人達と適正シェアしながら事業を進めて行けば必ず己の事業は発展して行くはず」と。これは現

在でも立派に通用する真理だと思われる。

お陰様で各RCの皆様から心温まる歓迎を頂き、互いに楽しい出会いがあり、一年間の任期を務めさせて頂き心よりお礼申し上げます。

各RC様のご活躍とご繁栄を心より祈念申し上げます。



第5グループ ガバナー補佐
岩崎 邦臣
(佐世保西RC)

本年度1年間、ガバナー補佐の大役を経験させて頂き有難う御座いました。

野口ガバナーと第5グループ、5ロータリークラブを公式訪問致しました。公式訪問時、大変緊張しての訪問でしたが、各クラブの会長・幹事・会員様皆様の暖かいお迎えを頂き、無事公式訪問を終えることが出来ました。特に佐世保RCの訪問では、本当に緊張いたしました、会長・幹事様のあたたかい気配りを頂き大変ありがたかった事は、日頃佐世保RCにメイキャップに行き辛い・「敷居が高くて」と思っていましたので、皆様方に、明るく、あたたかく接していただき、感謝感激いたしました。

野口ガバナーと同行させて頂き、RIと各クラブの関係を伺いました。

- ①ロータリーは奉仕する団体でなく、奉仕する人を育てる団体である。
- ②RI財団主導ではなく、クラブ主導であるべきだ。
- ③全てのルールは、クラブ主導で決められるものでなければならない。
- ④ロータリアン個人が、ロータリーを楽しんで始めて、各会員が全員増強に努力する。
- ⑤ロータリー活動の中で、色々な役割を経験することで、ロータリーを理解出来るようになる。
- ⑥RクラブとLクラブの違いについて。

6月15日、ロータリー世界大会に出席して参

りました。ロスアンゼルス幅広い会場に世界各国より多くのロータリアンが参加され、盛大な大会でした。

スケジュールは

6月14日 出発

6月15日 2008年国際ロータリー年次大会開
会式参加 (ロスアンゼルス・コン
ベンションセンター)大会終了後、
アナハイムに於いて野口ガバナー
主催2740地区の夕べに参加 (有名
なローリーズ・レストランで豪華
なステーキをご馳走になる)

6月16日 ラスベガスへ 19時よりラスベガ
ス・ショー見学

6月17日 グランドキャニオン観光

6月18日～19日 日付変更 佐世保帰着

野口ガバナーはじめ各クラブの皆様と同行出
来、楽しく有意義な世界大会出席となりました。

年度最後まで、ロータリーを楽しもう…を実
践できました。

本年度、各クラブの会長・幹事・会員の皆様
大変お世話様になりました。

野口ガバナー・第2740地区9グループ・ガバ
ナー補佐の方々ご指導有難う御座いました。お
蔭様で、ガバナー補佐の任を終了出来ました事、
重ねて感謝いたします。有難う御座いました。



第6グループ ガバナー補佐
富田 耕司
(佐世保北RC)

ガバナー補佐を退任するにあたり御挨拶と御
礼を申し上げます。

平成19年2月25日の地区チームリーダー研修
セミナーより正式に補佐として教育を受け、そ
の後部門別セミナー及びガバナー補佐会を通し
てロータリーについて多くのことを学び楽しむ
ことができました。

野口清ガバナーの人間味あふれるリーダーシ

ROTARY SHARES

ップと多くのガバナー補佐との交流、懇談を経験できましたことは、楽しく思い出に残るものです。公式訪問クラブ協議会及びガバナー公式訪問のお伴の折の各クラブ会長幹事様はじめ会員の温かいもてなしに心より感謝申し上げます。

又、第4・5・6グループ共催のIMにおきましては、職業奉仕についてのパネルディスカッションと卓話について多くの方々からお褒めの言葉を頂き有り難く思います。

ガバナー補佐の指名を受けた折は大変だと思いましたが、今となればたくさんの方と知り合える機会を持てた良き年度だったと思います。

次年度の鈴木ガバナー、内海ガバナー補佐の御活躍をお祈り致します。



第7グループ ガバナー補佐
岩 切 正 幸
(島原RC)

私は、53年前、大咯血を致しました。医療生活を送るうちに、私の病気は、医学だけでは癒らないと判断をいたし、人を助ける道に入りました。所謂、奉仕の世界である、宗教の道に没頭いたしましてより、53年の歳月が過ぎ去りました。

ロータリークラブに入会しましても、奉仕をすることには、何の抵抗もなく通って参ることが出来ました。

補佐の役を頂いた時にも、全身全霊を捧げて務めさせて頂く決心を致しましたので、この1年間で過ぎ去るのが、大変早く感じられました。

2740地区の補佐一同は、ロータリーの経験豊かな人ばかりで、1年間のつき合いでいろいろなことで語り合いを重ねてまいりましたことは、私の人生を豊かにしてくれる1年間でもありました。

最後になりましたが、野口ガバナーとの出会いの場は、これ又大変懐かしく、私の生涯のすばらしい思い出となりました。心からお礼申し

上げます。有難うございました。



第8グループ ガバナー補佐
緒 里 勇 三 郎
(諫早西RC)

各クラブのクラブ協議会に出席し、その結果をガバナーに報告することが重要な任務ですが、今年度はクラブ協議会とガバナーの公式訪問を同日開催とされクラブ協議会にもガバナーが同席されましたので私は心強く各クラブの活動計画等を聞く事が出来ました。

活動結果を集約させていただきましたが、会員増強を残し、他の部門は全てのクラブがクリヤーしていただきました。

ガバナー補佐のもう一つの任務である、第7・8グループのIMを3月1日に開催いたしましたところ445名の会員中250名余りの参加をいただき、盛大に開催することができました。来賓の佐古パストガバナー、基調講演者の隅田パストガバナー、講評をいただきました栗林パストガバナー、クラブ事業を発表していただきました6クラブの皆様、ホストクラブの諫早西クラブ、コ・ホストクラブの諫早多良見クラブの皆様、そして、懇親会の終わりまで参加いただきました全てのロータリアンに感謝申し上げます。

紙面が少なく、意を尽くしませんが、1年間ご支援ご協力をいただきました5クラブの会長・幹事様に改めて感謝申し上げ、ガバナー補佐退任のご挨拶と致します。



第9グループ ガバナー補佐
岩 永 信 昭
(長崎北東RC)

「ロータリーとは間柄の美学である」

ある日、野口清ガバナーからさりげなく1冊の本を手渡されました。「これ、僕の考えに近いから読んでみて…」中国の故事に倣ってつけ

られた題名「双鯉雁信帖」(下写真)というこの著は、斯界の権威佐藤千壽第2580地区パストガバナーと深川純一第2680地区パストガバナーとの私信の往復から構成された職業奉仕の真髓に迫る内容でした(ロータリーの友7月号、縦組み冒頭にお二人の対談が丁度載せられていました)。若輩には理解できない部分も多々ありましたが懸命に読んでみました所、珠玉の文面が散りばめられており、すっかり魅了されてしまいました。中でも心に響いたのがタイトルの言葉で、佐藤パストガバナーの造語だそうです。今年度は野口ガバナーを始め、多くのロータリアンと新たな間柄を築かせて頂きました。到らない面ばかりだったと思いますが、私にとりましては大変ありがたい素晴らしい間柄の方々ばかりでした。ロータリーに入らなければ味わう事ができなかったであろう醍醐味のようなものを秘かに感じています。ロータリーがとりもつ美しい間柄に感謝しつつ最後にこう申し上げたいと思います。

この1年間“ロータリーを楽しみました!”



第10グループ ガバナー補佐
阿部 芳男
(長崎北RC)

野口ガバナーの補佐役として早くも1年が経過しました。会員のご指導ご協力で職責を果たす事が出来たと自己満足しております。

ガバナーが提唱する地区方針

1. ロータリーを楽しみましょう。
2. 主役はあなたです。
3. 何か一つ良い事をしましょう。

方針に従って努力したと思っておりますが、評価はどうだったのか?

10グループの各クラブを訪問させていただき、沢山の会員と語り合い交流が出来た事は大変勉強になりました。

また補佐会議、会長幹事会と毎月の様に皆様と話し合い杯を酌み交わして親睦を計る事が出来、楽しく補佐として1年過すことが出来て幸せでした。

思い出に残る事は、ロータリー地区大会で野口ガバナーと一緒にロータリー寄席の高座に上って大喜利を演じたら、本職の様に似合っていると冷やかされてしまいました。

また、野口ガバナーのご努力で長崎北ロータリークラブ三原茂会員と長崎西ロータリークラブ三宅敏彦会員のお二人が、ロータリアン最高の栄誉である「超私の奉仕賞」を授賞された事です。この授賞式・祝賀会を野口ガバナー、岩永補佐、授賞者のクラブ会長始め会員の皆様と会長幹事会と合同で盛大な祝宴を主催する事が出来、感謝申し上げます。

最後の務めとして、ロータリーを楽しもうを実践してチャーター便とはゆきませんでした。第2740地区会員及びご婦人を含んだ約40数名でロサンゼルス第99回国際ロータリー年次大会に参加して、好意と友情を深めて参りました。この1年ロータリーを楽しく過す事が出来、私の人生に忘れられない貴重な1ページを作る事が出来ました。

野口ガバナーには夜の部もお付き合いいただき、また事務局の皆様にも大変お世話になりました。10グループ各クラブの会長、幹事、会員の皆様に心から感謝を申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

ROTARY SHARES

地区委員長 退任挨拶



クラブ奉仕総括委員長
金 武 良 弘
(佐賀南RC)

1年半前に野口ガバナーよりクラブ奉仕委員への依頼があり、同窓のよしみで軽い気持ちで引き受けましたが、月日がたつにつれて責任の重大さと共に、ロータリアンとして未熟であることに気が付き、ガバナーに迷惑がかからないだろうかと心配しましたが、四つの委員会の委員長さん達の協力を得て、どうにか職を全うすることが出来ました。ありがとうございました。RI会長のウィルフリッド J.ウィルキンソン氏は「Rotary Shares」(ロータリーは分かち合いの心)をテーマに掲げられこれを受けて野口ガバナーはロータリーの原点に戻って「ロータリーを楽しもう」と提唱されました。ロータリーの原点は「親睦」。今年度のクラブ奉仕部門は、この原点に戻り「親睦」をメインテーマとして活動を進めてまいりました。例会は楽しくなければなりません。例会が楽しくなければ欠席が増える。欠席が増えれば退会につながると云うように、親睦は例会運営の活性化及び退会防止に必要不可欠と思います。

次年度は委員長の職を辞して委員の一人として末席を汚す事になっております。今後ともよろしく申し上げます。



会員増強委員長
飯 盛 康 登
(多久RC)

2007-2008年度「RI全国会員増強セミナー」が、2007年6月3日東京新高輪プリンスホテルで開催され野口ガバナー、鈴木ガバナーエレクトと共に出席し、我が国における会員増強がいかに緊急で切実な問題であるか、特に30代・40

代と女性会員の増強等について情報交換をしながら地区にもち帰り、RI会員組織コーディネーターPGの西村栄時氏と共に研修を致しましたが、今日の厳しい経済状況の中で純増が出来ず増強委員長として残念な思いで一杯です。最近ロータリーの原点が崩壊しつつあると思います。例えば、具体的には一業種一人という原則から複数に、またパソコン上のロータリークラブを創るとか、ロータリーの一番の魅力は顔と顔でそれぞれの業種の最も素晴らしい人達からいろいろ話を聞いたり接したり、それが一番のロータリーの魅力であると思う次第です。

RIは金集め、人集めにと走りすぎてロータリーのロータリーたる原則が薄れてきている様に思えてならない様な気がします。

ポール・ハリスによって始められたロータリーの原則をもう一度理解をし、ロータリーの基本にかえろうよと声を大にしながら、会員増強と会員維持は私達にとって最大の課題といっても過言ではないと確信します。

ロータリアンの皆様お互いに頑張りましょう。



ロータリー情報・広報委員長
堤 和 之
(佐賀大和RC)

時が経つのは速いものです。就任のときの抱負をめくると地区内外に情報を発信しようと張り切っていました。しかし、結果はいささかも貢献できずに退任することになりました。申しわけありません。

二十一世紀初期のこんにち、IT社会は発展成熟段階に入りましたが、地区内クラブがその機能を十分に活用しているとは残念ながら思われません。距離と経費を考えると通信手段の有効活用こそが、情報共有という目的を容易に達成できる感じがしますがいかがでしょうか。

話は少しそれますが、慶応義塾を創設した福沢諭吉（1826～1924）は、幕末前後のアメリカへ、1860年と1867年の二度も通訳、翻訳の大役をになって渡航しました。派遣リストになかった彼は、政府要人に面接をこころむなど苦心しながらとうとう渡航を現実のものとししました。

140年前の日本とアメリカは、全てに比べるべくもありません。格差を思いしらされ衝撃を受けた彼は、帰国後に政府要人として教育制度をはじめ素晴らしい活躍をしたことはご存知のとおりです。

このように情報の共有は時代を見つめるのに欠かせないものです。新しい地区年度は、ぜひとも全クラブがホームページを開設されることを願っています。地区当委員会のみなさんのご協力を心から感謝いたしております。ありがとうございました。



ロータリー女性委員長
時 津 芽久美
(唐津中央RC)

2007～2008年度の女性委員長として、無事1年を終えることができました。活動としては、昨年11月に行われた地区大会で「女性の集い」を開催し、多くの女性会員のご参加をいただきました。

普段なかなか話す機会の少ない他クラブの女性会員の方と、昼食をとりながらの短い時間ではありましたが、貴重な意見交換ができたと感じております。また、男性会員の方も含めた意見交換ができれば、女性会員だけでは出てこないいろいろな話を聞いたのではと思うのですが、力及ばず実現することができなかつたことが残念です。

次年度では「女性委員会」はなくなりませんが、クラブ奉仕統括委員会の中で、会員増強の一環としての活動となります。より多くの会員の方々の女性会員に対するご理解と、女性会員の加入がしやすい環境の整備に、これまでと変わる事のないご協力とご支援をいただけますよ

うお願いいたします。

野口ガバナーを初め多くのおみな様のご尽力に感謝いたしまして、退任の挨拶に代えさせていただきます。1年間大変ありがとうございました。



出席委員長
白 石 公太郎
(牛津RC)

1年間を振り返り、あっという間に過ぎてしまった様な気がします。

出席委員長としての役割も良く理解できぬまま、皆様には大変御迷惑をおかけした事と思えます。しかし出席率の向上には大変悩み又大変な努力をされている事が良く解りました。出席率100%のクラブの皆様方のロータリーに対する熱意と心構えが素晴らしく、又ロータリアンとしての自覚と誇りを持って活動しておられます事に感動致しました。各クラブの皆様には何一つ提案する事が出来ず申し訳ない気持ちでいっぱいです。又野口ガバナーをはじめ、各地区委員長の方々には大変御世話になり御迷惑をおかけ致しました、にもかかわらず温かい御指導御協力頂きました事を深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



職業奉仕委員長
竹 田 健 介
(平戸RC)

職業奉仕委員長を受けるに当たり、まず職業奉仕とはということから考えてまいりました。ロータリーの友などで各ロータリアンの職業奉仕に対する思いを知るにつれ、各人各様の思いがあり、それは一様ではないと感じました。アーサー・F・シェルドンはその基本理念を「自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られる」という考えを提唱致しました。まさにこの理念に帰結するのではないかと思います。

ROTARY SHARES

す。今年度は一年の世相を表す文字が「偽」に象徴されたように、職業に対する倫理観の欠落が問われた年でした。そういう意味から佐古バスターガバナーにお願いし研修セミナーを開催いたしました。「職業奉仕はロータリーの花」というテーマで、ロータリーの先人達が協議を重ねた職業倫理訓の話をしていただきました。やはり根本の考え方がしっかりしていなければ行動もそれに見合うものになります。

各クラブの職業奉仕委員長だけでなく会長、幹事にも声をかけ、126名の参加をいただきました。時宜を得たセミナーだったと思います。

しかし私達はややもするとこの理念からはずれ、自己中心主義に陥りがちです。その基軸から外れぬよう、各クラブではその理念の徹底を図り、地区ではその考え方を実践する研修が必要だと思います。



社会奉仕委員長

緒 方 信 行

(佐世保北RC)

2006-2007年度の委員に引き続き2007-2008年度は委員長を拝命し、何とか1年を過ごすことができました。今年度は、前年度の田口バスターガバナーの提唱された「地球温暖化防止」を引き継ぎ、地区で1. ノーマイカーディ 2. 室温の調節 3. 植樹の促進 という3つのテーマを決め、各クラブで取り組んでいただくことに致しました。思えば、昨年4月3日の最初の委員会に野口ガバナーと委員の方全員、それに富田耕司第6Gガバナー補佐(佐世保北RC)、松尾辰二郎特別カウンセラー(佐世保北RC)にも参加していただき、今年度の地区方針を決めました。

委員会活動として、年4回の委員会と各クラブにアンケートをお願いして集計しました。各クラブのテーマに対する取り組みは、現状では車はなかなか切り離せず、また室温の調節もなかなか対応できなかったようです。植樹に関しては、各クラブともかなり熱心にやっているよ

うでした。今後とも、地球温暖化防止には、各クラブで是非取り組んでいただきたいと思います。この一年間の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



新世代統括委員長
ライラ委員長

岡 部 景 光

(有田RC)

今期は2期目のライラ地区委員長を賜り、準備が早めに出来た1年でした。

第29回ライラのホストを小城ロータリークラブに、前年度中に受けていただいて、時間的に余裕があり、委員会としては小城クラブとの摺り合わせを多く取れました。3年間続いていた会期1日が、1泊2日に戻ったこと、若者達だけだったディスカッションの輪にロータリーも加わったこと、大会テーマ「こころ」にふさわしい映画・「風のダドゥ」に涙したこと、建設から半世紀ほど経っている佐賀県立黒髪少年自然の家の設備が足らなかつたり、駐車場が狭かつたりでしたが、参加者が黙って協力してもらったこと、自然の新緑が美しい環境だったことなど、主催委員会としては嬉しい大会となりました。

小城クラブの小山力生第1グループガバナー補佐、鮎川好彦会長、大家和義実行委員長、諸島貞一副実行委員長、会員の皆様ありがとうございました。無事に今期の役目を終えることが出来ました。

ライラ地区委員会の役目は、地区新世代育成プログラムの一翼を担う「ロータリー青少年指導者養成セミナー(RYLA ライラ)」を、毎年開催して行くことです。歴代の地区ガバナーもインターアクト、ローターアクト、国際青少年交換留学と同様に、ライラ実施には高い関心と理解を示されておりまして、地区委員会はその意を受けています。ライラは1980年5月に第一回目が開催されて以来、途絶えることなく毎年実施して、幾多の若者の参加を得て来ました。殆どの若者は国際ロータリーのことを知らない人で、ライラがどのような大会かも知らずに来

ます。今まで知らなかった者が、2740地区内から多数集って講演を聞いたり、施設見学したり、食事、入浴、宿泊、大会テーマでのディスカッションなどの研修を受けます。そして帰る時には、ロータリーのこと、大会テーマの意図すること、自分を見つめ直すこと、新しい友を得たことなど多くを学んでいます。

これらの場や時間を提供するのが、ロータリーであり会員の皆様だと思っています。新世代育成を含めた社会奉仕活動には、会員の皆様からの浄財がなければ出来ません。永年のご理解とご指導をお願いします。ライラへのご助成ありがとうございます。来期の第30回大会は大村北クラブのホストで実施します。参加よろしくをお願いします。

新世代統括委員会は、グループ内の4つの委員会での交流、協力を合い言葉にしています。ライラはローターアクト会員に手伝ってもらいました。これによってロータリーの目的と若者の感性が生かされ、会員数の少ないローターアクトクラブもライラのホストが、出来るようになります。インターアクトとローターアクトも、それぞれの年次大会に参加し、お互いの利点を学んでいます。青少年交換留学は、最近留学生が少なくなってライラへの参加がありません。新世代部門の危機管理委員会が必要になったりする世情で、学生の交換が難しくなったのでしょうか、若い人が世界に飛び出して行って勉強して欲しいと望みます。

来期、ライラ委員長は退き、新世代統括委員長は2年目を続けます。よろしくをお願いします。



インターアクト委員長
田中丸 治 樹
(伊万里RC)

2007-2008年度インターアクト地区委員長の田中丸です。本年度を省みて退任のご挨拶を申し上げます。

本年度の活動テーマを「原点にかえり、基本の徹底をはかりクラブの活性化を推進する」と

して1年間活動をしてまいりました。

「インターアクトの歌」を歌えない、徽章(バッジ)をつけていない、現状を変えるため、事あるたびに言い続け、本来の姿を追い続けた1年でした。

意識改革、クラブ運営等の急激な変化は難しいですが、少しずつ変えてそれを継続し、インターアクト・クラブ内で継承される環境を作る必要があると感じました。

インターアクト・クラブ例会訪問を実施して、各クラブの現状と課題を収集できたことは、今後に大いに役立つと感じました。ただ、全てのクラブを訪問できなかった事は、残念でした。

提唱ロータリーと学校の関係、インターアクターの意識、顧問教諭の立場等、いろいろな問題がありますが、問題解決には提唱ローターアクトクラブがもっと積極的に学校に出向き、話し合う環境づくりと信頼関係を築く必要があると感じました。インターアクター、顧問教諭、ロータリアンが三位一体となってクラブの活性化をはかっていかなければなりません。

最後に長崎北陽台高校インターアクト・クラブ終結は、危機感を感じていながら何も出来なかった事を深く反省しております。

2008-2009年度も引き続き委員長の任にあたらせていただきます。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



ローターアクト委員長
大 島 隆
(佐賀RC)

毎年の課題であるアクトメンバーの拡大と活性化、インターアクトクラブとのコミュニケーション強化、そして提唱クラブとのより密度の高い連携等を目標に各クラブ一丸となつてのアクト活動は評価できる1年であったと思います。温暖化対策の継続事業、インターアクトクラブとのスポーツ大会、ライラへの積極的な参加等そして何よりも来期2月開催の長崎での全国ローターアクト研修会に向けての準備に取り

ROTARY SHARES

組む姿勢にはアクトメンバーの成長を見る事ができました。来年の大会の成功に向けてロータリー家族として応援して頂きたいと思えます。

提唱クラブだけに留まらずロータリアン全てが新世代の意義、目的をもう一度検討し原点に立ち戻りスタートする時期に来ているように思われます。最後にローターアクト序論の中からの一節を紹介して報告に替えたいと思えます。

●なぜ、ローターアクト・クラブを結成するのか

今日の若い人々は、明日の親となり、専門職務と事業に携わる指導者、地域社会の指導者となります。ローターアクトのようなプログラムの力を借りて、若い人々が責任感のある生産的な社会の一員となるために必要な手段と技能を身につけることができます。新世代の若者に自分自身の力を試し、新しい技能を開発し、人生の中で直面する問題に立ち向かうように促すことによって、ロータリークラブが未来に焦点を当てる時が来たのです。ローターアクトプログラムはローターアクターに、将来の世代に伝えることのできる生き方を教えるものです。



国際青少年交換委員長

瀬戸口 智彦

(長崎南RC)

07-08年度の地区国際交換学生プログラムを振り返りにあたり忸怩たる思いを申し上げます。今年度は昨年と同様の色々な難問が山積し担当クラブは勿論、地区委員会、ガバナー事務所はその対応におおわらわといった1年間でした。野口PG、大島前副幹事と実際に問題の解決にご尽力された地区委員さらに担当スポンサーRC・ホストRCの関係各位の皆様には多大のご協力をいただきました。おかげで当初心配したことほど問題にはならずそれぞれ無事落ち着くところに落ちていて交換学生達は楽しい思い出を胸に秘めてそれぞれの国元に帰ることができました。

国際青少年交換制度は本来担当クラブが互い

に交換して初めて成立するものでございます。

昨今、当地区からの派遣学生の応募が激減しており、今年度はスポンサーに長崎RCからのただ1名の派遣がありその他はまったくこのクラブも派遣の申し出がありませんでした。外国からは日本派遣の希望は多数ありましたが肝心の当地区からはホストにもスポンサーにもご協力いただけない状態に陥っています。

各クラブにおける交換事業には平均して100万以上の多額な費用がかかる事や昨今のロータリアンには受け入れに躊躇するような風潮が見られる事など数え上げればきりが無いほどの問題点が浮き彫りにされております。

国際青少年交換事業の良さは既にどなたも認めておられますがいざ実際に引き受けてみると食事がどうだ、門限がどうだ、携帯電話の使用、Emailの使用がとほんとに言い出せばきりが無いほどの苦情や問題がぞくぞくと出てきてそれぞれ担当クラブや地区委員会で対応策を検討して解決にあたってきました。これは日本も外国も全く同じで我が子可愛さのあまり留学中の子供を気遣って日本の担当クラブや地区委員長に問題解決を迫るといった事態が再三にわたって見られました。

1昨年度、昨年度と2年間にわたって地区委員長を努めさせていただき交換学生数が激減しましたことはこれは委員長の力不足と恥じ入っておりますが、ふがない委員長を一生懸命支えていただいた地区委員の皆様にもう1回感謝のことばを申し上げ07-08年度の国際交換地区委員長としての責めを果させていただきます。



国際奉仕統括委員長

常多勝己

(長崎北RC)

幸か不幸か、次年度もまたまた本委員会に居座ることになりました。

まずは本年度ガバナー事務所を始め配下各委員会委員長に大変ご協力いただいたことに深く感謝申し上げます。

この委員会は田口厚パストガバナーの組織編成に伴い新たに作られた委員会でこれまでの組織に比べ特に目新しい内容を持ったものではありません。国際奉仕に関するロータリー財団委員会、財団奨学・学友委員会、およびGSE委員会の3つの委員会の活動を円滑に行えるよう統括をすることを目的として設置されました。この分野の仕事内容は理解しにくいことも多く、ベテランの諸先輩からいろいろ教えていただき勉強しながら役目を終了することができました。

我々ロータリアンひとりひとりの中にあるであろう「何か他のひとの役に立ちたい、ニュースで見る状況をそのまま放ってはおけない」という純粋な奉仕の気持ちを大きく集約してこれを国際間の協力、親善、平和に寄与しようということがRIの国際奉仕に対する基本方針の要旨でしょう。この方針に従って今後も各委員会活動を統括していきたいと考えております。

来年度も配下各委員会には経験豊富な委員長・委員が配置されており、皆さんとともに与えられた仕事を一つ一つこなしてゆきたいと思っております。

ご協力よろしくお願い申し上げます。



ロータリー財団委員長

森 永 太

(佐賀西RC)

あっという間の1年でした。野口ガバナーの要請を受け何も分からないまま財団委員長という重責を担うことになりましたが、前年度から引き続き地区委員をしていただいた皆様のご協力のお陰で何とか1年を乗りきることができました。

ロータリー財団の人道的扱いは教育的プログラムの実践を通して、ロータリーは国際的に高い評価を受け、またロータリアンも地域で誇りをもって活動してきました。そうしたロータリーの活動の情報を皆様に提供し理解していただくことが皆様のロータリー財団プログラムへの

参加(寄付)を促すことになり、それが我々財団委員会の役目であると考えていますが、なかなか1人年間100ドルという目標額を達成するのは容易なことではありません。

本年度も引き続き財団委員長を担当いたしますが、皆様のご指導とご協力を心からお願いいたします。



財団奨学・学友委員長

澤 山 俊 雄

(長崎出島RC)

地区ロータリー財団奨学・学友委員会委員長の澤山俊雄(長崎出島RC所属)です。

この一年間皆様に大変お世話になり誠に有難うございます。地区委員・副委員長を務めたあと、今年度一年間、田中前委員長の後を受け委員長として活動致しました。

一番の思い出は、昨年6月の選考会を経て最終的に7人の奨学生を輩出できたことです。全員とても健康的で極めて学力も高い優秀な子ばかりです。それぞれが7月以降指定校に飛び立っていきますが1年後、2年後が楽しみなのは、野口ガバナーはじめ顧問ロータリアンの方も同じ気持ちだと思います。

本国際親善奨学金制度はロータリーの中で1947年に発足以来民間レベルとしては世界最大規模の国際奨学金プログラムで、毎年世界70カ国から1,000名前後が受入国に飛び立っています。今回の委員長の仕事は、想像以上の実務と奨学生の教育機関が正式に決まるまでは気の抜けない任務ですが、ガバナー事務所のご支援もあり無事任務を遂行できました。

又、奨学生に関しては次年度応募者が語学力の選定基準がアップしたことも一因ではあったでしょうが少なかったという事実を踏まえ、今後の課題となりましたので、来年の選考会にむけ各クラブからの推薦と帰国した奨学生のネットワーク作りにご理解とご協力をお願い致します。尚各スポンサークラブにおかれましては、帰国した奨学生には必ず自クラブで帰国報告と

ROTARY SHARES

学友会に入会するようご指導願います。最後に次年度は私も委員として残り微力ながらお手伝いさせていただきます。そして、野口ガバナーはじめ委員の皆様一年間本当に有難う御座いました。



GSE委員長

牟田 清 敬

(佐賀RC)

1年なんてあっという間に過ぎていくものですね。この前、GSE地区委員長就任挨拶を書いたと思ったら、もう退任挨拶を書くことになりました。

正直なところ、何もできないまま地区委員長を終わるとい感じです。就任後、これまでの2740地区の活動を勉強しましたが、あまりにも偉大な功績で、どこから手をつけていいものか、困惑し放しでした。

関係委員会の委員各位とお話する機会をもつたびに地道な下準備が必要であることがわかってきました。GSEは大がかりなプロジェクトですから、さまざまな人脈も必要です。ロータリアンには多様な職種の会員がおられます。海外との取引、交渉等に日頃関与されている会員がGSE委員として活躍されることが望ましいと実感しました。

何もできなかった私の反省を活かして次期委員長には頑張ってくださいと思います。



米山記念奨学委員長

北 郷 雅 子

(長崎出島RC)

米山奨学事業も、今年40年目を迎え、理事長が交代されたり、いろいろな意味で転換期でした。

当地区の米山奨学委員会の運営に当たりましては、PG隅田奨学会理事、田口PG、野口G、鈴木GE、高城GN、ガバナー補佐を始め、浜本・前田・高木前地区委員長の幾多のご指導とご協力を賜り、無事に1年間の勤めが終わりましたことを感謝いたします。そして、地区内口

ロータリアンの皆様方には寄付金や奨学生との交流での暖かいご支援に厚くお礼を申し上げます。また、10名の地区委員の皆様とも年間6回の協議を行ない、それぞれの地区委員のご意見と、女性としての視点も加えて、この事業も、やっと一段目が見えたような気がいたします。

おかげさまで、学生18名(継続4名含む)の奨学生の「世話クラブ」とカウンセラーの「米山奨学会事業」も3月に終わり、4月からはまた新しい学生16名(継続4名含む)の奨学生で皆様のお世話になっております。ロータリアンとの交流の場としての「出前卓話」も例年より倍近いクラブに奨学生が伺いました。また、2回3回と年間を通して、奨学生の卓話を受け入れてくださったクラブもありました。

今年度からの試み「日本文化を学ぶ会」として、2月に「有田・柿右衛門窯見学会」3月終了式を「長崎・花月」で開催いたしましたことも、奨学生だけでなく、ロータリアンも一緒に勉強ができた好機会でした。

また、11月には学友(奨学生OB)の消息調査が実施され、消息がわからない学友がいること、その理由の一つに、カウンセラーが退会されたためということもあり、これからの課題は、カウンセラー・世話クラブ・事務局だけでなく、楽しい思い出をたくさんの方のロータリアンと共有することが「ご縁が続く」ポイントになると感じました。また、奨学生の現地就職も何名もあり、学友として後続の奨学生と共に引き続き交流を持ちたいと思います。

次年度も米山記念地区委員会のメンバーは全員継続いたしますので、よろしくお願いいたします。これからも、「日本ロータリーの誇り」とも言うべき、米山奨学事業の継続と発展の為に、皆様方ロータリアンお一人お一人の暖かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



財団学友 近況報告

学友の林裕子さん（佐賀RC）から近況報告をもらいました。優秀な奨学生をだせたこと、誇りに思います。

地区財団奨学・学友委員長 澤山俊雄
（長崎出島RC）

羽ばたくOB

佐賀大学からオックスフォード大学修士課程へ

早いもので、Oxfordに来て4ヶ月が経とうとしております。私は佐賀大学文化教育学部を2007年3月に卒業後、文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム（長期海外留学支援）」の支援の下、Oxford大学の修士課程（MSc in Applied Linguistics and Second Language Acquisition）に在籍し、2007年の10月より応用言語学・第二言語習得について勉強し、研究を進めております。名門大学というだけあり、授業のレベル、課題の量、学生間の競争等想像をはるかに上回っており、そのレベルについていくのに必死になっている状態ですが、日々良い刺激を受けながら、恵まれた環境の中で勉強を進めることができます。

1学期目は4つのモジュールを受講し、学期末に試験の一環として4つの論文を書き上げました。学期中、何度も壁にぶつかるとはありましたが、予習・復習を怠らずに受講し、コースの学生や指導教官の先生方と話し合う機会を十分に持った結果、困難を無事に乗り越えることができました。学業面で専門分野における知識を深めたほか、日々の生活の中では、何事も抱え込まずに「話すこと」、「仲間とのコミュニケーションを活用すること」の大切さを改めて実感した1学期となりました。



現在、私はOxford大学のウォルチェスターカレッジという伝統ある美しいカレッジに所属しております。残念ながら、ハリポッターの撮影の舞台となったカレッジ（Christ Church College）ではありませんが、ハリポッターの映画に出てくるダイニングホールは私が所属するウォルチェスターにもあり、制服であるガウンを着て正装し、定期的に食事をとっています。入学式にて着ている洋服が制服です。

現在は2学期目が始まり、新たに4つのモジュールを受講しております。今学期は修士論文の作成に本格的に取り組むため、1学期目より更に勉強、課題の量が増えます。しかしそうは言いながらも、やはり「楽しむこと」も大切ですので、時間を有効に使う方法を見出だすことも今学期の目標にしたいと思っております。

文部科学省
「大学教育の国際化推進プログラム」
（長期海外留学支援）
Oxford大学修士課程
林裕子さん
2007年3月 文化教育学部卒



学友とともに



Oxford大学の入学式

ROTARY SHARES

新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々をご紹介いたします。



佐賀RC
上別府保慶 君



佐賀北RC
平尾 康史 君



鹿島RC
山下 泰徳 君



鹿島RC
水城 正治 君



唐津中央RC
中村 康則 君



唐津中央RC
和泉 誠徳 君



平戸RC
萩原 謹二 君



佐世保東RC
須崎 満弘 君



佐世保中央RC
川島 千鶴 君



佐世保東南RC
田崎三佐男 君



佐世保東南RC
森 隆弘 君



佐世保東南RC
古川 正美 君



島原RC
森山 一秀 君



大村東RC
佐藤 忠美 君



諫早RC
八木 一則 君



諫早北RC
江島 晃好 君

ROTARY SHARES



諫早北 R C
川本 善英 君



諫早北 R C
津浪 勉 君



諫早多良見 R C
前川 功 君



諫早南 R C
宮園 貴教 君



長崎琴海 R C
大石 優 君



長崎北 R C
濱崎 宏明 君



長崎北 R C
福永 俊幸 君



長崎北 R C
山田浩一郎 君



長崎南 R C
伊藤 克樹 君



長崎南 R C
小山 英樹 君



長崎南 R C
酒井 健男 君



長崎南 R C
藤澤雄一郎 君



長崎出島 R C
山下 将智 君



ROTARY SHARES

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

5月

種	類	氏 名	クラブ名
ロータリー財団	P・H・F (ポール・ハリス・フェロー)	古井直樹	多久RC
		前田博彦	多久RC
		宮本峻光	諫早西RC
	マルチプル・P・H・F	新富哲也	唐津RC
		福田興造	伊万里西RC
		野田弘之	諫早北RC
		山田康生	長崎RC
米山記念奨学会	米山功労者	太田善久	唐津東RC
		新富芳和	唐津東RC
		伊藤勇	長崎RC
		進藤和彦	長崎RC
		天本俊太	長崎RC
		中尾盡一	福江中央RC
		神之浦 潔	福江中央RC
		堺 末喜	福江中央RC
		多良正治	東長崎RC
		米山功労者 (マルチプル)	新富繁樹
	丸山茂夫		唐津東RC
	山口信義		唐津中央RC
	大原玉瑞		長崎北東RC



寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付者をご紹介します。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

6月

種 類	氏 名	クラブ名	
ロ ー タ リ ー 財 団	P・H・F(ポール・ハリス・フェロー)	辻 哲 康	神埼RC
		生 島 忠 嗣	神埼RC
		相 川 章	松浦RC
		山 本 勝 治	松浦RC
		戸 村 正 司	HTB佐世保RC
	マルチプル・P・H・F	原 康 夫	神埼RC
		中 瀬 和 隆	大村RC
		村 里 愛 子	大村RC
		吉 田 茂 視	長崎中央RC
	ベネファクター	松 尾 清 治	北松浦RC
米 山 記 念 奨 学 会	米山功労者	竹 内 大 介	HTB佐世保RC
		岩 崎 修 一	諫早北RC
		今 西 建 夫	長崎中央RC
	米山功労者 (マルチプル)	米 倉 保 治	鹿島RC
		中 山 虎 雄	唐津中央RC
		村 里 愛 子	大村RC
		廣 瀬 和 一 郎	雲仙RC
		堀 洋	諫早RC
	米山功労者 (メジャードナー)	瀬 頭 昭 治	諫早北RC
		隅 田 達 男	伊万里RC

訃報

謹んでお別れいたします 合掌。



故 犬尾 修三 君
(諫早多良見RC)



故 大久保隆生 君
(長崎RC)

ROTARY SHARES

2008年5月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	79.3	65	0	67	0	2	0	1
	小城	4	86.2	28	2	27	2	-1	0	0
	牛津	5	88.1	33	0	32	1	-1	0	0
	多久	5	85.1	40	3	39	3	-1	0	0
	佐賀大和	3	80.5	24	3	24	2	0	0	0
	小計		83.8	190	8	189	8	-1	0	1
第2グループ	佐賀西	3	84.4	48	0	50	0	2	0	0
	佐賀北	4	81.5	40	3	40	3	0	0	1
	佐賀南	3	78.2	44	2	43	2	-1	0	0
	神埼	3	70.0	32	0	31	0	-1	0	0
	佐賀空港	3	66.6	16	1	18	1	2	0	0
	小計		76.1	180	6	182	6	2	0	1
第3グループ	有田	3	70.7	38	3	37	1	-1	0	0
	武雄	3	86.4	55	0	54	2	-1	0	0
	鹿島	3	90.7	40	2	38	2	-2	1	0
	嬉野	4	97.8	24	1	23	1	-1	0	0
	大町	4	67.6	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	66.7	16	0	15	0	-1	0	0
	太良	5	88.8	9	1	9	1	0	0	0
小計		81.2	208	7	203	7	-5	1	0	
第4グループ	唐津	3	87.6	51	0	53	0	2	0	0
	伊万里	4	91.9	32	0	33	0	1	0	1
	唐津東	4	90.2	47	0	51	0	4	0	0
	唐津西	4	85.8	37	0	36	0	-1	0	2
	伊万里西	4	80.3	44	0	47	0	3	0	0
	唐津中央	4	88.1	38	4	36	4	-2	1	0
	小計		87.3	249	4	256	4	7	1	3
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	82	0	2	0	0
	平戸	4	92.5	40	0	38	0	-2	1	0
	佐世保西	3	94.4	26	0	27	0	1	0	0
	北松浦	3	79.6	22	0	24	0	2	0	0
	松浦	3	81.3	31	1	30	1	-1	0	0
	小計		89.5	199	1	201	1	2	1	0

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第6グループ	佐世保南	5	98.3	75	0	80	0	5	0	0
	佐世保東	4	85.6	29	0	26	0	-3	1	0
	佐世保北	3	97.0	45	0	49	0	4	0	1
	佐世保中央	5	98.0	39	0	40	2	1	1	0
	佐世保東南	3	69.3	24	0	25	0	1	0	0
	HTB佐世保	3	74.0	28	4	30	5	2	0	0
	小計		87.0	240	4	250	7	10	2	1
第7グループ	大村	3	100.0	51	3	52	3	1	0	0
	島原	3	79.8	34	3	33	1	-1	0	0
	雲仙	4	95.1	28	0	27	0	-1	0	0
	大村北	4	100.0	33	0	34	0	1	0	0
	島原南	6	68.0	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	3	87.6	47	1	48	1	1	0	0
	小計		88.4	213	8	214	6	1	0	0
第8グループ	諫早	5	85.8	60	0	58	0	-2	0	0
	諫早北	4	84.2	61	0	65	0	4	0	0
	諫早西	4	93.3	44	0	46	0	2	0	0
	諫早多良見	3	87.3	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	3	77.0	29	4	28	5	-1	1	1
	小計		85.5	232	4	235	5	3	1	1
第9グループ	長崎	4	82.6	94	0	95	0	1	0	0
	福江	4	81.6	39	0	37	0	-2	0	0
	長崎北東	4	90.1	55	6	52	6	-3	0	0
	福江中央	3	95.5	35	1	29	0	-6	0	0
	長崎西	3	81.3	70	0	68	0	-2	0	0
	長崎琴海	4	70.2	22	3	21	2	-1	0	0
	小計		83.5	315	10	302	8	-13	0	0
第10グループ	長崎北	3	84.9	68	0	76	0	8	3	0
	長崎南	4	78.7	84	0	83	0	-1	3	0
	長崎東	4	98.3	57	0	59	0	2	0	0
	東長崎	3	81.6	30	0	29	0	-1	0	0
	長崎中央	3	93.0	56	0	54	0	-2	0	0
	長崎出島	4	74.3	57	12	54	11	-3	1	0
	小計		85.1	352	12	355	11	3	7	0
合計		84.7	2,378	64	2,387	63	9	13	7	

ROTARY SHARES

2008年6月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数					新入	退会
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	増減		
第1グループ	佐賀	4	80.0	65	0	65	0	0	1	3
	小城	4	86.0	28	2	25	2	-3	0	2
	牛津	4	85.9	33	0	32	1	-1	0	0
	多久	4	83.3	40	3	39	3	-1	0	0
	佐賀大和	4	82.2	24	3	24	2	0	0	0
	小計		83.4	190	8	185	8	-5	1	5
第2グループ	佐賀西	5	81.0	48	0	49	0	1	0	1
	佐賀北	4	80.5	40	3	38	3	-2	0	2
	佐賀南	3	80.3	44	2	42	2	-2	1	2
	神埼	4	79.2	32	0	30	0	-2	0	1
	佐賀空港	3	70.3	16	1	18	1	2	0	0
	小計		78.2	180	6	177	6	-3	1	6
第3グループ	有田	4	71.2	38	3	37	1	-1	0	0
	武雄	5	80.7	55	0	52	2	-3	0	2
	鹿島	4	88.5	40	2	37	2	-3	1	2
	嬉野	4	95.6	24	1	21	1	-3	0	2
	大町	4	70.4	26	0	27	0	1	0	0
	白石	4	66.1	16	0	14	0	-2	0	1
	太良	4	88.8	9	1	9	1	0	0	0
小計		80.1	208	7	197	7	-11	1	7	
第4グループ	唐津	4	89.6	51	0	52	0	1	0	1
	伊万里	4	90.1	32	0	31	0	-1	0	2
	唐津東	4	95.1	47	0	51	0	4	0	0
	唐津西	4	91.0	37	0	35	0	-2	0	1
	伊万里西	4	75.2	44	0	45	0	1	0	2
	唐津中央	4	91.8	38	4	36	4	-2	1	1
	小計		88.8	249	4	250	4	1	1	7
第5グループ	佐世保	4	100.0	80	0	78	0	-2	0	4
	平戸	4	88.5	40	0	38	0	-2	0	0
	佐世保西	4	94.8	26	0	27	0	1	0	0
	北松浦	4	85.2	22	0	20	0	-2	0	4
	松浦	4	90.0	31	1	29	1	-2	0	1
	小計		91.7	199	1	192	1	-7	0	9
	第6グループ	佐世保南	4	98.0	75	0	76	0	1	0
佐世保東		4	84.3	29	0	24	0	-5	0	2
佐世保北		5	92.5	45	0	48	0	3	0	1
佐世保中央		4	98.0	39	0	39	2	0	0	1
佐世保東南		4	79.6	24	0	22	0	-2	0	3
HTB佐世保		3	74.0	28	4	30	5	2	1	1
小計			87.7	240	4	239	7	-1	1	12
第7グループ	大村	1	100.0	51	3	51	3	0	0	1
	島原	4	84.5	34	3	34	1	0	1	0
	雲仙	4	96.2	28	0	26	0	-2	1	1
	大村北	4	100.0	33	0	34	0	1	0	0
	島原南	4	62.5	20	1	20	1	0	0	0
	大村東	5	83.6	47	1	49	1	2	1	0
	小計		87.8	213	8	214	6	1	3	2
第8グループ	諫早	4	90.1	60	0	58	0	-2	-2	1
	諫早北	4	85.7	61	0	64	0	3	3	2
	諫早西	4	91.0	44	0	45	0	1	1	1
	諫早多良見	4	91.2	38	0	38	0	0	0	0
	諫早南	4	78.5	29	4	28	5	-1	-1	0
	小計		87.3	232	4	233	5	1	1	4
	第9グループ	長崎	4	81.2	94	0	92	0	-2	0
福江		4	86.5	39	0	38	0	-1	1	0
長崎北東		4	90.8	55	6	50	6	-5	0	2
福江中央		4	91.6	35	1	29	0	-6	1	1
長崎西		4	72.0	70	0	63	0	-7	0	5
長崎琴海		4	65.9	22	3	22	2	0	1	0
小計			81.3	315	10	294	8	-21	3	11
第10グループ	長崎北	5	83.1	68	0	75	0	7	2	3
	長崎南	4	76.8	84	0	82	0	-2	1	2
	長崎東	4	98.3	57	0	54	0	-3	0	5
	東長崎	4	81.7	30	0	26	0	-4	0	3
	長崎中央	5	93.9	56	0	54	0	-2	0	0
	長崎出島	4	72.8	57	12	52	11	-5	1	3
	小計		84.4	352	12	343	11	-9	4	16
合計		85.0	2,378	64	2,324	63	-54	16	79	

※上記の表の新入・退会は当月中の数字です。

地区資料 (2007～2008年度)

目 次

主な活動実績	24
会員異動	25
出席率推移	26
ロータリー財団寄付者	27
ロータリー米山記念奨学会寄付者	29
ロータリー財団国際親善奨学生	31
米山奨学生	32
国際青少年交換学生	33
インターアクトクラブ一覧	34
ローターアクトクラブ一覧	34
年間行事報告	35
2007～2008年度物故会員	38
地区資金一般会計収支決算書	39
地区委員会費内訳	40
地区資金「特別会計」収支決算書	40
ガバナー事務所費・月信費会計収支決算書	40
国際青少年交換事業会計収支決算書	41
米山記念奨学会補助金会計収支決算書	41
ROTEX勘定 収支決算書	41
地区大会収支決算報告	42
PETS決算書／地区協議会収支決算書	42
ローターアクト代表事務局収支決算報告	43
インターアクト年次大会収支決算報告	44
第29回 RYLA収支決算報告	44

《主な活動実績》

I 2007-2008年度会員増強拡大関係報告（平成20年6月30日現在による）

■会員数報告

地区内会員数 2,324名 7月1日現在比 54名減
 （内 女性会員 63名 7月1日現在比 1名減）

■優秀クラブ（クラブ別会員動向）

種 類	ロ ー タ リ ー ク ラ ブ		
会 員 増 減 率	佐賀空港RC 112.5%	長崎北RC 110.2%	唐津東RC 108.5%
最 多 新 規 会 員	長崎北RC (14名)		
退会防止(退会者0名)	佐賀空港RC・大町RC・太良RC		

II 第2740地区 各種表彰 受賞クラブ・受賞者紹介

■RI会長賞

クラブ名	会 長 名	クラブ名	会 長 名
長 崎 R C	石 丸 忠 重	伊 万 里 R C	一ノ瀬 芳 信
長 崎 北 R C	上 田 恵 三	佐 世 保 北 R C	野 畑 義 博

■RIインターアクト会長賞

佐賀女子高等学校 提唱クラブ/佐賀北ロータリークラブ

■RI「会員増強・拡大賞」

☆最高の増加率〔期初16名 今期（5月15日現在）18名 増加率12.5%〕

佐賀空港ロータリークラブ 会長/栗 田 博 昭

☆最多数の新会員入会〔今期（5月15日現在）12名入会〕

佐賀ロータリークラブ 会長/音 成 日佐男

☆最高の会員保持〔今期（5月15日現在）退会者0名〕

佐賀空港ロータリークラブ ・ 大町ロータリークラブ

太良ロータリークラブ ・ 北松浦ロータリークラブ

■超私の奉仕賞

三 原 茂（長崎北RC） 三 宅 敏 彦（長崎西RC）

ROTARY SHARES

《2007-2008年度 会員異動》

	クラブ名	7月1日 会員数	うち 女性会員	本年度中 新規会員	うち 女性会員	本年度中 退会会員	うち 女性会員	本年度末 会員数	うち 女性会員	6月30日比 増減数	うち 女性会員
第1グループ	佐賀	65	0	12	0	12	0	65	0	0	0
	小城	28	2	0	0	3	0	25	2	-3	0
	牛津	33	0	4	1	5	0	32	1	-1	1
	多久	40	3	1	0	2	0	39	3	-1	0
	佐賀大和	24	3	2	0	2	1	24	2	0	-1
小計	190	8	19	1	24	1	185	8	-5	0	
第2グループ	佐賀西	48	0	5	0	4	0	49	0	1	0
	佐賀北	40	3	2	0	4	0	38	3	-2	0
	佐賀南	44	2	2	0	4	0	42	2	-2	0
	神埼	32	0	2	0	4	0	30	0	-2	0
	佐賀空港	16	1	2	0	0	0	18	1	2	0
小計	180	6	13	0	16	0	177	6	-3	0	
第3グループ	有田	38	3	3	0	4	2	37	3	-1	-2
	武雄	55	0	3	2	6	0	52	0	-3	2
	鹿島	40	2	5	0	8	0	37	2	-3	0
	嬉野	24	1	1	0	4	0	21	1	-3	0
	大町	26	0	1	0	0	0	27	0	1	0
	白石	16	0	0	0	2	0	14	0	-2	0
小計	208	7	13	2	24	2	197	7	-11	0	
第4グループ	唐津	51	0	3	0	2	0	52	0	1	0
	伊万里	32	0	4	0	5	0	31	0	-1	0
	唐津東	47	0	5	0	1	0	51	0	4	0
	唐津西	37	0	2	0	4	0	35	0	-2	0
	伊万里西	44	0	4	0	3	0	45	0	1	0
	唐津中央	38	4	2	0	4	0	36	4	-2	0
小計	249	4	20	0	19	0	254	4	1	0	
第5グループ	佐世保	80	0	5	0	7	0	78	0	-2	0
	平戸	41	0	2	0	5	0	38	0	-3	0
	佐世保西	26	0	2	0	1	0	27	0	1	0
	北松浦	22	0	2	0	4	0	20	0	-2	0
	松浦	30	1	2	0	3	0	29	1	-1	0
小計	199	1	13	0	20	0	192	1	-7	0	
第6グループ	佐世保南	75	0	7	0	6	0	76	0	1	0
	佐世保東	29	0	1	0	6	0	24	0	-5	0
	佐世保北	45	0	5	0	2	0	48	0	3	0
	佐世保中央	39	0	6	2	6	0	39	2	0	2
	佐世保東南	24	0	4	0	6	0	22	0	-2	0
	H T B 佐世保	28	4	4	1	2	0	30	5	2	1
小計	240	4	27	3	28	0	239	7	-1	3	
第7グループ	大村	51	3	4	0	4	0	51	3	0	0
	島原	34	3	4	1	4	3	34	1	0	-2
	雲仙	28	0	0	0	2	0	26	0	-2	0
	大村北	33	0	2	0	1	0	34	0	1	0
	島原南	20	1	1	0	1	0	20	1	0	0
小計	213	8	17	1	16	3	214	6	1	-2	
第8グループ	諫早	60	0	4	0	6	0	58	0	-2	0
	諫早北	61	0	10	0	7	0	64	0	3	0
	諫早西	44	0	3	0	2	0	45	0	1	0
	諫早多良見	38	0	1	0	1	0	38	0	0	0
	諫早南	29	4	3	2	4	1	28	5	-1	1
小計	232	4	23	2	22	1	233	5	1	1	
第9グループ	長崎	94	0	8	0	10	0	92	0	-2	0
	福江	39	0	3	0	4	0	38	0	-1	0
	長崎北東	55	6	2	1	7	1	50	6	-5	0
	福江中央	35	1	1	1	7	2	29	0	-6	-1
	長崎西	70	0	4	0	11	0	63	0	-7	0
	長崎琴海	22	3	2	0	2	1	22	2	0	-1
小計	315	10	20	2	41	4	294	8	-21	-2	
第10グループ	長崎北	68	0	14	0	7	0	75	0	7	0
	長崎南	84	0	6	0	8	0	82	0	-2	0
	長崎東	57	0	4	0	7	0	54	0	-3	0
	東長崎	30	0	1	0	5	0	26	0	-4	0
	長崎中央	56	0	3	0	5	0	54	0	-2	0
	長崎出島	57	12	4	0	9	1	52	11	-5	-1
小計	352	12	32	0	41	1	343	11	-9	-1	
合計	2,378	64	195	11	249	12	2,324	63	-54	-1	

ROTARY SHARES

《2007-2008年度 出席率推移》

	クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
第1グループ	佐賀	83.1	80.5	79.5	85.5	87.7	76.9	77.7	75.9	81.6	75.8	79.3	80.0	80.2
	小城	89.6	90.0	94.8	91.6	95.6	95.4	90.5	87.6	88.5	91.0	86.2	86.0	90.5
	牛津	91.7	92.5	91.0	93.5	88.7	89.2	84.9	89.0	88.7	86.7	88.1	85.9	89.1
	多久	90.0	85.0	91.4	87.1	84.3	94.1	85.6	91.2	83.7	91.6	85.1	83.3	86.8
	佐賀大和	84.3	81.9	76.0	74.1	79.0	78.0	77.7	78.2	82.6	78.1	80.5	82.2	80.2
	小計	87.1	85.9	86.5	86.3	87.0	86.7	83.2	84.3	85.0	84.6	83.8	83.4	85.3
第2グループ	佐賀西	80.1	77.0	84.6	81.0	85.9	80.9	72.2	88.4	86.0	81.0	84.4	81.0	81.8
	佐賀北	86.4	83.8	91.1	87.4	94.9	83.9	80.3	80.5	84.2	78.3	81.5	80.5	84.4
	佐賀南	80.2	80.6	84.6	85.1	90.9	77.6	86.6	81.2	82.9	76.7	78.2	80.3	82.0
	神埼	70.0	74.4	75.7	70.1	74.1	77.5	73.3	78.3	73.3	75.0	70.0	79.2	74.8
	佐賀空港	67.6	60.0	79.1	75.6	83.3	72.2	65.2	52.8	70.8	66.6	66.6	70.3	69.1
	小計	76.8	75.1	83.0	79.8	85.8	78.4	75.5	76.2	79.4	75.5	76.1	78.2	78.4
第3グループ	有田	84.2	70.9	70.5	78.6	80.0	72.5	75.5	76.5	85.5	79.5	70.7	71.2	76.2
	武雄	87.3	83.9	82.7	83.4	86.9	77.3	86.1	87.4	87.7	78.7	86.4	80.7	84.0
	鹿島	93.3	91.2	90.1	91.2	89.8	87.3	81.9	86.7	89.5	92.1	90.7	88.5	89.3
	嬉野	91.6	91.6	89.5	87.4	93.7	88.3	90.2	81.0	84.0	93.9	97.8	95.6	90.3
	大町	74.0	70.3	74.0	68.5	70.3	71.6	74.1	67.5	73.0	70.3	67.6	70.4	70.9
	白石	70.3	71.8	68.7	68.7	66.7	71.1	65.0	65.0	65.0	66.6	66.7	66.1	67.6
	太良	83.3	77.7	77.7	91.6	89.8	85.1	69.4	83.3	85.1	88.8	88.8	88.8	84.1
	小計	83.4	79.6	79.0	81.3	82.4	79.0	77.4	78.2	81.4	81.4	81.2	80.1	81.0
第4グループ	唐津	90.8	90.3	91.2	92.9	90.7	89.1	89.6	90.5	88.0	91.6	87.6	89.6	90.1
	伊万里	95.5	92.2	94.4	95.8	88.8	91.6	89.5	90.2	85.4	92.1	91.9	90.1	91.4
	唐津東	92.1	92.3	94.4	96.3	94.1	95.9	95.7	91.4	95.1	92.6	90.2	95.1	93.7
	唐津西	87.8	87.5	92.4	89.4	83.8	86.0	90.8	88.3	90.8	90.0	85.8	91.0	88.6
	伊万里西	88.1	86.2	81.9	80.0	80.2	77.2	81.1	77.4	84.1	78.4	80.3	75.2	80.8
	唐津中央	90.0	82.6	91.4	94.0	91.2	92.9	91.2	88.8	93.8	90.9	88.1	91.8	90.5
	小計	90.7	88.5	90.9	91.4	88.1	88.7	89.6	87.7	89.5	89.2	87.3	88.8	89.1
第5グループ	佐世保	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平戸	87.3	93.8	92.5	88.8	91.0	91.0	88.4	83.8	85.6	88.8	92.5	88.5	89.3
	佐世保西	93.9	94.2	92.3	94.2	95.1	94.0	96.0	95.9	94.4	94.9	94.4	94.8	94.5
	北松浦	89.0	100.0	89.0	88.7	88.4	92.5	84.6	86.1	86.1	80.5	79.6	85.2	87.4
	松浦	93.5	90.3	87.9	91.2	91.1	90.3	88.8	83.1	83.0	77.4	81.3	90.0	87.3
	小計	92.7	95.6	92.3	92.5	93.1	93.5	91.5	89.7	89.8	88.3	89.5	91.7	91.7
第6グループ	佐世保南	100.0	100.0	100.0	98.4	100.0	100.0	98.6	98.6	99.0	98.6	98.3	98.0	99.1
	佐世保東	76.8	78.7	77.7	80.8	75.6	76.8	84.0	82.1	81.7	86.3	85.6	84.3	80.8
	佐世保北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.2	97.0	92.5	98.8
	佐世保中央	98.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.0	97.0	97.0	98.0	98.0	98.0	98.5
	佐世保東南	79.1	77.4	83.6	81.5	81.8	84.0	86.9	77.2	75.3	77.2	69.3	79.6	79.4
	H T B佐世保	83.9	84.3	76.7	76.8	73.2	60.6	74.4	78.0	74.4	74.1	74.0	74.0	75.3
	小計	89.6	90.0	89.6	89.5	88.4	86.9	90.1	88.8	87.9	88.5	87.0	87.7	88.6
第7グループ	大村	93.9	99.2	100.0	90.0	96.7	100.0	100.0	98.3	98.1	100.0	100.0	100.0	98.0
	島原	89.2	86.1	87.5	86.6	75.6	84.7	75.0	75.0	75.7	82.3	79.8	84.5	81.8
	雲仙	93.9	90.8	87.2	86.4	83.6	85.3	92.7	91.4	91.4	91.1	95.1	96.2	90.4
	大村北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	島原南	64.0	71.0	68.0	76.0	68.0	83.0	68.0	77.0	62.0	72.0	68.0	62.5	70.7
	大村東	84.4	92.0	83.9	87.9	84.0	86.5	93.4	82.5	81.0	87.6	87.6	83.6	86.2
	小計	87.5	89.8	87.7	87.8	84.6	89.9	88.1	87.3	84.7	88.8	88.4	87.8	87.8
第8グループ	諫早	93.0	90.6	91.7	87.9	91.7	89.9	91.4	87.1	87.2	86.9	85.8	90.1	89.4
	諫早北	84.3	83.0	82.7	81.5	82.4	84.4	87.4	79.5	83.6	82.2	84.2	85.7	83.4
	諫早西	92.9	94.7	91.8	95.0	87.4	94.9	91.3	97.8	89.3	93.5	93.3	91.0	92.7
	諫早多良見	93.1	88.2	94.6	86.8	86.1	86.1	88.1	90.8	91.4	88.1	87.3	91.2	89.3
	諫早南	82.9	77.4	76.6	84.1	72.4	78.1	78.5	80.4	74.4	80.3	77.0	78.5	78.3
	小計	89.2	86.8	87.4	87.0	84.0	86.6	87.3	87.1	85.1	86.2	85.5	87.3	86.6
第9グループ	長崎	85.3	84.4	84.7	88.8	96.8	80.4	85.4	89.8	86.4	85.0	82.6	81.2	85.9
	福江	88.2	91.2	91.6	80.3	96.9	95.4	90.6	87.8	87.6	87.1	81.6	86.5	88.7
	長崎北東	88.7	91.1	86.2	87.2	85.8	86.1	87.4	96.0	83.7	91.6	90.1	90.8	88.7
	福江中央	96.5	98.9	96.9	91.8	97.5	100.0	94.0	95.6	98.8	93.6	95.5	91.6	95.8
	長崎西海	72.0	70.0	73.0	81.0	82.3	80.0	71.0	85.2	74.6	77.5	81.3	72.0	76.6
	長崎琴	71.5	73.8	64.7	56.8	77.2	62.1	76.7	63.1	68.2	62.5	70.2	65.9	67.7
	小計	83.7	84.9	82.8	80.9	89.4	84.0	84.1	86.2	83.2	82.8	83.5	81.3	83.9
第10グループ	長崎北	77.3	78.7	84.4	78.6	88.1	82.8	82.9	92.8	78.8	77.9	84.9	83.1	82.5
	長崎南	85.7	85.2	79.1	78.4	83.3	78.5	77.3	84.9	72.1	80.1	78.7	76.8	80.0
	長崎東	98.2	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3	98.3
	東長崎	81.0	85.5	87.4	79.6	77.8	76.8	84.2	87.0	79.3	79.9	81.6	81.7	81.8
	長崎中央	93.8	91.7	95.1	95.6	97.1	98.0	95.5	97.4	94.0	93.3	93.0	93.9	94.8
	長崎出島	75.0	77.1	72.1	67.7	69.9	73.5	65.4	85.2	70.7	71.7	74.3	72.8	72.9
	小計	85.2	83.6	84.3	83.0	85.7	84.6	83.9	90.9	82.2	83.5	85.1	84.4	85.0
	合計	86.7	86.2	86.3	85.9	86.8	85.8	85.0	85.6	84.8	84.8	84.7	85.0	85.6

ROTARY SHARES

《ロータリー財団寄付者》

■ポールハリスフェロー

氏名	クラブ名
岸川 正人	佐賀RC
江口 武	牛津RC
古井 直樹	多久RC
前田 博彦	多久RC
寺崎 正三郎	佐賀大和RC
池田 和雄	佐賀北RC
辻 哲康	神埼RC
生島 忠嗣	神埼RC
横岳 保雄	有田RC
樋渡 千春	武雄RC
藤井 歸一	唐津RC
隅田 鹹男	唐津RC
松浦 弘	平戸RC
磯田 幸男	平戸RC
大久保 堅太	平戸RC
相川 章	松浦RC
山本 勝治	松浦RC
飯塚 佳彦	佐世保南RC
崎山 信幸	佐世保中央RC
西村 浩輝	佐世保中央RC
戸村 正司	HTB佐世保RC
里脇 岩男	大村東RC
石田 一美	大村東RC
石田 賢二	大村東RC
木村 暢義	諫早西RC
吉田 知之	諫早西RC
宮本 峻光	諫早西RC
大神 照彦	長崎RC
荒木 健治	長崎RC
東 直美	長崎北RC

■マルチプルポールハリスフェロー

氏名	クラブ名
野口 清	佐賀RC
山本 光雄	牛津RC
久保 志郎	佐賀西RC
駒井 英基	佐賀南RC
吉田 一夫	佐賀南RC
原 康夫	神埼RC
富永 正嗣	武雄RC
石松 憲一郎	唐津RC
新富 哲也	唐津RC
福田 興造	伊万里西RC
松下 隆義	唐津中央RC
濱口 吉治	唐津中央RC
大神 邦明	佐世保RC
川添 忠彦	佐世保南RC
川口 睦郎	佐世保南RC
中村 文昭	佐世保南RC
國崎 忠臣	佐世保南RC
筒井 慶弘	佐世保南RC
雪竹 弘男	佐世保南RC
村山 史男	佐世保南RC
緒方 信行	佐世保北RC
鈴木 正昭	佐世保北RC
野畑 義博	佐世保北RC
村里 愛子	大村RC
古川 和子	大村RC
中瀬 和隆	大村RC
南野 健	大村北RC
太田 靖臣	大村東RC
島 信行	大村東RC
北浦 定昭	諫早RC
谷川 則仁	諫早RC

ROTARY SHARES

■ベネファクター

氏名	クラブ名
野田 弘之	諫早北RC
石丸 忠重	長崎RC
山田 康生	長崎RC
浜中 洋	長崎北東RC
田嶋 英夫	長崎北東RC
松島 福男	長崎南RC
吉田 茂視	長崎中央RC

氏名	クラブ名
松尾 清治	北松浦RC
志村 宏一	佐世保南RC
湯口 純二	佐世保北RC
辻本 善樹	諫早西RC
石丸 忠重	長崎RC
浜中 洋	長崎北東RC
本田 圭助	長崎南RC

■大口寄付者

氏名	クラブ名
福田 金治	佐世保RC
福田 俊郎	佐世保北RC
栗林 英雄	諫早北RC
西村 金造	長崎RC
高木 聡一郎	長崎RC

■ポリオプラス・パートナー

氏名	クラブ名
田中 蘭子 (故 田中 明 会員 令夫人)	長崎東RC

■メモリアルコントリビューター

氏名	クラブ名	
脇山 善文	松浦RC	
波多野 徹	長崎RC	ご尊父 故 波多野顕様を偲んで
中川 安明	長崎南RC	ご母堂 故 中川マチエ様を偲んで
田中 蘭子	長崎東RC	
朝永 良介	長崎東RC	

ROTARY SHARES

《米山記念奨学会寄付者》

■米山功労者

氏名	クラブ名
野口 清	佐賀RC
内田 陽三	佐賀RC
音成 日佐男	佐賀RC
志津田 和朗	佐賀西RC
圓田 稔	佐賀西RC
森 茂樹	佐賀西RC
小林 貢	佐賀西RC
堤 貞喜	佐賀西RC
吉村 正	佐賀南RC
園田 嘉生	佐賀南RC
蒲原 健次	有田RC
久保 康俊	武雄RC
小笠原 邦博	武雄RC
富永 正嗣	武雄RC
森田 常正	鹿島RC
山本 武	大町RC
久原 康正	白石RC
辻 幸徳	唐津RC
中野 隆三	伊万里RC
太田 善久	唐津東RC
新富 芳和	唐津東RC
本岡 善敬	伊万里西RC
野田 幹雄	伊万里西RC
田中 秀徳	伊万里西RC
吉原 弘雄	伊万里西RC
堀川 博邦	伊万里西RC
中尾 良樹	伊万里西RC
福田 茂弘	伊万里西RC
堤 茂樹	伊万里西RC
近藤 豊守	唐津中央RC
池富 幸男	佐世保南RC

氏名	クラブ名
志水 孝明	佐世保東RC
村瀬 公一郎	佐世保東RC
井上 雅弘	佐世保北RC
長富 寿人	佐世保中央RC
田代 博之	佐世保中央RC
四元 清安	佐世保中央RC
竹内 大介	HTB佐世保RC
石坂 和彦	大村RC
松永 忠義	雲仙RC
島 信行	大村東RC
田中 義信	大村東RC
石田 一美	大村東RC
石田 賢二	大村東RC
山口 洋樹	諫早北RC
本田 清秀	諫早北RC
岩崎 修一	諫早北RC
西村 柳介	諫早西RC
吉次 良治	諫早西RC
伊藤 勇	長崎RC
進藤 和彦	長崎RC
天本 俊太	長崎RC
本岡 晃	福江中央RC
山本 稔	福江中央RC
中尾 盡一	福江中央RC
神之浦 潔	福江中央RC
三浦 達美	長崎東RC
多良 正治	東長崎RC
今西 建夫	長崎中央RC

ROTARY SHARES
■米山功労者(マルチプル)

氏名	クラブ名
米山保治	鹿島RC
新富繁樹	唐津RC
犬塚勝政	伊万里RC
加志田恵久	伊万里RC
丸山茂夫	唐津東RC
保利喜英	唐津西RC
金子和斗志	伊万里西RC
小島清嗣	伊万里西RC
井上良久	唐津中央RC
山口信義	唐津中央RC
中山虎雄	唐津中央RC
大神邦明	佐世保RC
梅村良輔	佐世保RC
福田輝機	佐世保西RC
朝永春郎	松浦RC
前田一彦	佐世保南RC
川口睦郎	佐世保南RC
中村文昭	佐世保南RC
松永清	佐世保東RC
小西宗十	佐世保北RC
緒方信行	佐世保北RC
中島閏二	佐世保北RC
古賀新二	佐世保北RC
村里愛子	大村RC
廣瀬和一郎	雲仙RC
相原孝一	雲仙RC
南野健	大村北RC
毎熊滋	諫早RC
堀洋	諫早RC
瀬頭昭治	諫早北RC
岡崎威	諫早多良見RC

氏名	クラブ名
犬尾修三	諫早多良見RC
諸岡洋三	諫早多良見RC
石丸忠重	長崎RC
堺末喜	福江中央RC
大原玉瑞	長崎北東RC
梅木誠一	長崎北RC
上田恵三	長崎北RC
安達一郎	長崎北RC
馬場政廣	長崎東RC
梅田昭郎	長崎東RC

■米山功労者(メジャードナー)

氏名	クラブ名
堤和之	佐賀大和RC
江頭泰幸	佐賀北RC
松尾雄次郎	唐津RC
隅田達男	伊万里RC
福田金治	佐世保RC
岩崎邦臣	佐世保西RC
西沢茂	佐世保北RC
福田俊郎	佐世保北RC
栗林英雄	諫早北RC
田中紀男	長崎北東RC
永田幸人	長崎東RC

ROTARY SHARES

《2008～2009年度 ローター財団国際親善奨学生》

■一学年度国際親善奨学申請者(アカデミック・イヤー)

氏 名	留 学 国	研究分野	推薦RC
石 井 祐 子	イギリス	芸術学	佐賀大和RC
吉 田 育 美	U. S. A	国際文化	佐賀北RC

■二学年度国際親善奨学申請者(マルチ・イヤー)

氏 名	留 学 国	研究分野	推薦RC
堀 田 彰 子	ニュージーランド	経済開発学	佐賀西RC
福 永 洋 介	スイス	国際文化	島原RC
古 井 陽 子	ガーナ	教育学	長崎RC
三 浦 あゆみ	イギリス	英語史	長崎RC
川 崎 絵里子	イタリア	声楽	長崎出島RC

《2008学年度 米山奨学生》

■2007～2008年度 来日学生

氏名	カナ	性別	国籍	大学	専攻	課程	奨学金 種別	お世話クラブ
劉 鳴 鳴	リュウ メイメイ	女	中国	佐賀大学	教科教育・ 社会科教育	修士2	YM	佐賀
韓 冬 梅	カントウバイ	女	中国	佐賀大学	金融経済政策	修士2	YM	佐賀西
ガイレ・ユバ・ラズ		男	ネパール	佐賀大学	生物生産学	修士2	YM	佐賀南
カドウラ・デ・シルバー・ シャナン・ケネディ		男	スリランカ	長崎国際 大学	国際観光	学部4	YU	佐世保南
辜 筱 筑	コ ショウ チク	女	台湾	長崎国際 大学	観光学	修士2	YM	佐世保北
チャン・ティ・フェ		女	ベトナム	長崎国際 大学	国際観光	学部4	YU	HTB佐世保
スポンパッディ・ ブンティパッサート		男	ラオス	長崎大学	社会開発工学	学部4	YU	大村東
姚 磊	ヨウ ライ	男	中国	長崎大学	経済経営政策	修士2	YM	諫早
孟 飛	モウ ヒ	女	中国	長崎大学	海洋生産科学	博士3	YD	諫早多良見
申 鉉 浩	シン ヒョン ホ	男	韓国	長崎大学	海洋生産科学	博士3	YD	長崎
陳 垚 岳	チン レイガク	男	台湾	長崎総合 科学大学	電子情報学	修士2	YM	長崎北東
王 馨 欣	ワン シンシン	女	台湾	長崎総合 科学大学	建築	学部3	YU	長崎南
張 仁 山	ジャン イン サン	女	韓国	長崎大学	医療科学	函博4	YD	長崎南
呉 鳳 葦	ゴ ホウクン	女	中国	長崎純心 大学	人間文化	修士2	YM	長崎東
チャン・ティ・フォン		女	ベトナム	長崎総合 科学大学	経営情報	学部4	YU	東長崎
ウイマラスーリャウーシンハ ムディヤンセラゲ・サナット		男	スリランカ	長崎大学	機械システム 工学	学部4	YU	長崎出島

ROTARY SHARES

《国際青少年交換学生》

■2007～2008年度 来日学生

氏 名	ニックネーム	出 身 国	ホストクラブ
Timothee Helmstetter	Timothee	フランス	佐賀RC
Robert E.C.Sverre	Robert	ノルウェー	佐世保南RC
Jeremy Lawrence	Jeremy	アメリカ・コネチカット	諫早北RC
Samantha Downes-Borowski	Sam	アメリカ・ミネソタ	長崎RC
Frackenhohl Alexander	Alex	アメリカ・ニューヨーク	長崎南RC

■2007～2008年度 派遣学生

氏 名	在 籍 校	派 遣 国	スポンサークラブ
中山 康 平	佐賀西高校	フランス	佐賀RC
大 浦 薫	聖和女子学院高校	ノルウェー	佐世保南RC
平 野 美 里	西陵高校	アメリカ・ニューハンプシャー	諫早北RC
橋 本 将	南山高校	アメリカ・ニューヨーク	長崎南RC

《インターアクトクラブ一覽》

IAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
佐賀清和高校	佐賀	1972. 7.27	19	月 4:00	〒840-0047 佐賀市与賀町78
牛津高校	牛津	1982. 7.18	18	月 4:00	〒849-0303 佐賀県小城市牛津町牛津274
佐賀工業高校	佐賀西	1965. 6.10	13	水 3:50	〒840-0841 佐賀市緑小路1-1
佐賀女子高校	佐賀北	1978. 9.19	14	第3土 1:00	〒840-0047 佐賀市与賀町153
有田工業高校	有田	1965. 2.24	24	火or木 3:50	〒844-0018 佐賀県西松浦郡有田町中部丙954-9大有田焼会館3F 有田RC
武雄高校	武雄	1967.12.13	10	第1・3火 4:30	〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡7719 武雄商工会議所内 武雄RC
塩田工業高校	嬉野	1976. 1. 8	8	火・金 4:00	〒849-1411 佐賀県藤津郡塩田町大字馬場下甲1418
唐津西高校	唐津	1969.11.10	7	第1木他 5:00	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津RC
敬徳高校	伊万里	1970. 4.25	10	不定 4:00	〒848-0027 伊万里市立花町86
西海学園高校	佐世保	1980.10.20	5	第2・4水 3:40	〒857-0011 佐世保市春日町29-22
聖和女子学院	佐世保南	1976. 1.27	24	水 1:10	〒857-0015 佐世保市松山町495
E.J.キングスクール	佐世保南	1989. 5. 1	5	隔週1回 3:00	〒857-0056 佐世保市平瀬町 米海軍佐世保基地内
向陽高校	大村	1971. 6.22	13	第2・4木 12:25	〒856-0825 大村市西三城町16
島原中央高校	島原	1978. 5.20	5	不定 不定	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
大村工業高校	大村北	1963.11.30	38	火・金 3:45	〒856-0815 大村市森園町1079-3
大村城南高校	大村東	2001. 4.23	15	水 1:10	〒856-0835 大村市久原1-416
諫早農業高校瑞徳寮	諫早	1979. 2.21	38	第3水 8:00pm	〒854-0043 諫早市立石町1003
鎮西学院高校	諫早北	1985. 5.21	20	第3水 4:00	〒854-0081 諫早市栄田町1057
長崎女子高校	長崎	1979. 1.16	20	木 4:40	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治生命長崎ビル4F 長崎RC
長崎北陽台高校	長崎北東	1984. 5.12	2	水 3:50	〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷3672
五島高校	福江中央	1985. 3.24	38	月 4:00	〒853-0018 五島市池田町1-1
海星学園	長崎西	1997. 1.18	11	第1・3土 1:30	〒850-8586 長崎市東山手町5-3
長崎女子商業高校	長崎南	1976. 2.24	31	火 4:10	〒850-0875 長崎市栄町2-10
活水中学高等学校	長崎出島	2001. 9.12	38	第2火 12:30	〒852-8016 長崎市宝栄町15-11

《ローターアクトクラブ一覽》

RAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
佐賀	佐賀・佐賀西・佐賀北	1968.12.12	8	第1・3水 7:30	〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館3階 ローター合同事務所
唐津東	唐津東	1973.10.18	8	第2・4水 7:30	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5階 唐津東RC
鹿島	鹿島	1981. 5.20	14	第1・3木 8:00	〒849-1311 鹿島市大字高津原4296-41 鹿島商工会館2階 鹿島RC
伊万里西	伊万里西	1987. 3.15	1	第1・3月 7:30	〒848-0041 伊万里市新天町663 伊万里商工会館3階 伊万里西RC
長崎国際大学	佐世保	2005. 3.13	7	第2・4月 12:00	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
佐世保東	佐世保東	1974. 4. 9	5	第1・3火 7:30	〒859-3215 佐世保市早岐2-16-10 佐世保東RC
島原	島原	1981. 4.10	8	第1・3水 7:30	〒855-8550 島原市高島2-7217 島原商工会議所内 島原RC
諫早	諫早	1970. 5.29	7	第2・4水 7:30	〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会議所 諫早RC
長崎	長崎	1971. 2. 4	11	第1・3火 7:30	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル4階 長崎RC
長崎北	長崎北	1970. 5.20	7	第2・4木 7:15	〒850-0033 長崎市万才町6-38 明治安田生命長崎ビル4階 長崎北RC
長崎東	長崎東	1983. 3.11	4	第2・4水 7:15	〒850-0033 長崎市万才町3-13 千代田生命ビル8階 長崎東RC

ROTARY SHARES

《年間行事報告》

7月	2日(月)	ガバナー事務所開設	
	5日(木)	第1回諮問委員会	佐 賀
	7日(土)	全国ガバナー会	東 京
	8日(日)	ロータリー財団地域セミナー	東 京
	10日(火)	鹿島RC公式訪問	鹿 島
	11日(水)	小城RC公式訪問	小 城
	12日(木)	多久RC公式訪問	多 久
	13日(金)	嬉野RC公式訪問	嬉 野
	14日(土)	雲仙RC公式訪問	雲 仙
	17日(火)	佐賀大和RC、佐賀南RC公式訪問	佐 賀
	18日(水)	白石RC公式訪問	白 石
	19日(木)	太良RC公式訪問	太 良
	20日(金)	牛津RC公式訪問	牛 津
	22日(日)	第1回財団国際親善奨学生研修会	長 崎
		国際青少年交換派遣学生選考会	佐 賀
	23日(月)	武雄RC公式訪問	武 雄
	24日(火)	有田RC公式訪問	有 田
	25日(水)	佐賀空港RC、佐賀北RC公式訪問	佐 賀
	26日(木)	唐津東RC公式訪問	唐 津
	27日(金)	福江RC、福江中央RC公式訪問	福 江
	29日(日)	クラブ奉仕部門研修セミナー	佐 賀
	30日(月)	佐賀西RC公式訪問	佐 賀
		第1回ガバナー補佐会議	佐 賀
31日(火)	佐世保西RC公式訪問	佐 世 保	
8月	1日(水)	伊万里RC公式訪問	伊 万 里
	2日(木)	伊万里西RC公式訪問	伊 万 里
	3日(金)	佐世保南RC公式訪問	佐 世 保
	4日(土)	インターアクト年次大会(～5日)	長 崎
	7日(火)	唐津RC、神埼RC公式訪問	唐津・神埼
	8日(水)	佐世保東南RC公式訪問	佐 世 保
	9日(木)	大町RC公式訪問	大 町
	10日(金)	諫早RC公式訪問	諫 早
	18日(土)	国際青少年交換学生オリエンテーション(～19日)	伊 万 里
	20日(月)	長崎北RC、大村東RC公式訪問	長崎・大村
	21日(火)	HTB佐世保RC公式訪問	佐 世 保

ROTARY SHARES

	22日(水)	佐世保 R C 公式訪問	佐 世 保
	23日(木)	平戸 R C 公式訪問	平 戸
	24日(金)	松浦 R C 公式訪問	松 浦
	27日(月)	長崎中央 R C 公式訪問	長 崎
	28日(火)	長崎西 R C、大村 R C 公式訪問	長崎・大村
	29日(水)	唐津西 R C 公式訪問	唐 津
	30日(木)	長崎琴海 R C 公式訪問	長 崎
	31日(金)	唐津中央 R C 公式訪問	唐 津
9 月	2日(日)	米山の集い	佐 賀
		国際奉仕部門研修セミナー	武 雄
	3日(月)	佐世保北 R C 公式訪問	佐 世 保
	4日(火)	北松浦 R C 公式訪問	佐 世 保
	5日(水)	島原南 R C 公式訪問	島 原
	6日(木)	長崎 R C 公式訪問	長 崎
	7日(金)	長崎出島 R C 公式訪問	長 崎
	10日(月)	諫早南 R C 公式訪問	諫 早
	11日(火)	島原 R C 公式訪問	島 原
	12日(水)	長崎南 R C、大村北 R C 公式訪問	長崎・大村
	13日(木)	佐世保東 R C、佐世保中央 R C 公式訪問	佐 世 保
	14日(金)	長崎東 R C 公式訪問	長 崎
	18日(火)	諫早多良見 R C 公式訪問	諫 早
	19日(水)	長崎北東 R C 公式訪問	長 崎
	20日(木)	諫早北 R C 公式訪問	諫 早
	25日(火)	東長崎 R C 公式訪問	長 崎
	26日(水)	諫早西 R C 公式訪問	諫 早
		第 2 グループ I M	佐 賀
	27日(木)	佐賀 R C 公式訪問	佐 賀
10 月	2日(火)	第 2 回諮問委員会	佐 世 保
	6日(土)	九州四地区インターアクト連絡協議会	福 岡
	7日(日)	国際青少年交換来日学生おくんち見学小旅行(～8日)	長 崎
	11日(木)	地区大会記念植樹	佐 賀
		第 2 回ガバナー補佐会議	嬉 野
	20日(土)	佐賀空港 R C 10 周年記念式典	佐 賀
	27日(土)	地区大会記念懇親ゴルフ大会	佐 賀
28日(日)	職業奉仕部門研修セミナー	佐 賀	

ROTARY SHARES

11月	15日(木)	国際青少年交換来日学生九州研修旅行(～17日)	大 分
	16日(金)	R I 会長代理歓迎晩餐会	佐 賀
	17日(土)	地区大会(～18日)	佐 賀
	20日(火)	ロータリー財団地域セミナー	東 京
	21日(水)	ロータリーゾーン研究会(～23日)	東 京
12月	2日(日)	第2回ロータリー財団国際親善奨学生研修会	長 崎
	4日(火)	第3回諮問委員会	佐 賀
	16日(日)	国際青少年交換来日学生クリスマス会	佐 世 保
1月	12日(土)	佐世保南RC50周年記念式典	佐 世 保
	20日(日)	米山奨学生選考会	長 崎
	26日(土)	インターアクト後期指導者研修会	武 雄
2月	7日(木)	第3回ガバナー補佐会議	佐 賀
	9日(土)	地区チームリーダー研修セミナー	佐 世 保
		全国ローターアクト研修会(～10日)	仙 台
	10日(日)	第4、5、6グループIM	佐 世 保
	16日(土)	国際青少年交換来日学生とROTEXの交流会	北 九 州
	24日(日)	PETS	佐 世 保
第9、10グループIM		長 崎	
3月	1日(土)	第7、8グループIM	諫 早
	2日(日)	米山記念奨学生修了式	長 崎
	8日(土)	第1グループIM	佐 賀
	23日(日)	第3グループIM	大 町
	30日(日)	国際青少年交換来日学生オリエンテーション	武 雄
4月	6日(日)	第3回財団国際親善奨学生研修会兼壮行会	長 崎
	12日(土)	米山記念奨学生オリエンテーション	長 崎
		RYLA(～13日)	武 雄
	27日(日)	地区協議会	佐 世 保
5月	13日(火)	国際青少年交換来日学生京都・奈良・東京旅行(～17日)	京都・奈良・東京
	15日(木)	第4回諮問委員会	佐 世 保
	24日(土)	第5回全国ROTEX会議(～25日)	東 京
6月	1日(日)	ロータリー財団国際親善奨学生選考会	長 崎
	3日(火)	新旧ガバナー補佐会議	佐 世 保
	7日(土)	ローターアクト年次大会(～8日)	長 崎
	15日(日)	国際青少年交換来日学生オリエンテーション	佐 世 保
		国際大会(～20日)	ロサンゼルス

《2007～2008年度 物故会員》

(敬称略)

田 中 明	長 崎 東 R C	2007. 10. 6 逝去	享年80歳
中 村 展 三	諫 早 北 R C	2007. 10. 14 逝去	享年77歳
立 川 智 啓	諫 早 R C	2007. 11. 8 逝去	享年52歳
酒 井 成 文	武 雄 R C	2007. 11. 19 逝去	享年85歳
近 藤 公 徳	諫 早 北 R C	2007. 12. 1 逝去	享年44歳
本 島 慶 次	佐 賀 R C	2008. 2. 1 逝去	享年90歳
犬 尾 修 三	諫早多良見 R C	2008. 3. 10 逝去	享年68歳
井 手 篤始輔	佐世保北 R C	2008. 5. 6 逝去	享年66歳
大久保 隆 生	長 崎 R C	2008. 6. 25 逝去	享年68歳

対象期間：2007.7.1～2008.6.30で各クラブからの報告に基づき作成しました。



ROTARY SHARES

2007-2008年度 地区会計報告

《地区資金一般会計 収支決算書》

	科 目	内 訳 科 目	予 算	決 算	予 算 対 比	
収 入 の 部	[1]	地区資金分担金	14,880,000	14,783,900	-96,100	
	[2]	地区大会分担金	14,400,000	14,454,000	54,000	
	[3]	日本事務局分担金	R 文庫協力金	720,000	715,350	-4,650
			全国G会分担金	480,000	476,900	-3,100
	[4]	特別会計分担金	G S E 資金	1,200,000	1,192,250	-7,750
			世界社会奉仕資金	864,000	858,420	-5,580
	[5]	その他収入 (地区大会余剰金)	0	540,264	540,264	
		本年度収入合計	A	32,544,000	33,021,084	477,084
		前年度繰越金		14,296,249	14,296,249	0
		収入合計	B	46,840,249	47,317,333	477,084

	科 目	内 訳 科 目	予 算	決 算	予 算 対 比	
支 出 の 部	[1]	ガバナー関係費	G E 国際協議会	1,200,000	1,200,525	525
			全国G・PG会議費	2,500,000	2,739,345	239,345
			地区G・PG会議費	1,300,000	1,293,200	-6,800
			各種会議費	900,000	1,140,931	240,931
			G 記念品代	100,000	150,000	50,000
			渉外・広報費	420,000	853,790	433,790
			小 計	6,420,000	7,377,791	957,791
	[2]	地区活動補助金	地区大会	14,400,000	14,454,000	54,000
			地区協議会	300,000	31,951	-268,049
			P E T S	300,000	168,782	-131,218
			地区チーム研修セミナー	300,000	399,261	99,261
			インターアクト年次大会	600,000	600,525	525
			ローターアクト年次大会	700,000	700,210	210
			ライラ年次大会	300,000	0	-300,000
			R財団学友会	100,000	0	-100,000
	小 計	17,000,000	16,354,729	-645,271		
	[3]	ガバナー補佐費		1,500,000	1,523,399	23,399
	[4]	地区委員会費	クラブ奉仕部門	340,000	385,250	45,250
			職業奉仕部門	150,000	43,619	-106,381
			社会奉仕部門	120,000	60,256	-59,744
			新世代部門	930,000	810,391	-119,609
			国際奉仕部門	1,920,000	1,234,552	-685,448
			米山記念奨学部門	300,000	211,036	-88,964
			小 計	3,760,000	2,745,104	-1,014,896
	[5]	日本事務局分担金	R 文庫協力金	720,000	715,350	-4,650
			全国G会分担金	480,000	476,900	-3,100
			平和奨学生支援金	0	35,865	35,865
			小 計	1,200,000	1,228,115	28,115
	[6]	特別会計繰入金	G S E 資金	1,200,000	1,192,250	-7,750
			世界社会奉仕資金	864,000	858,420	-5,580
規程審議会積立金			200,000	200,000	0	
小 計			2,264,000	2,250,670	-13,330	
[7]	ガバナー事務所・月信会計繰入金支出	0	950,264	950,264		
[8]	その他支出	400,000	386,100	-13,900		
	本年度支出合計	C	32,544,000	32,816,172	272,172	
	本年度収支差額	A-C	0	204,912	204,912	
	次年度繰越金	B-C	14,296,249	14,501,161	204,912	

※地区委員会費内訳

委員会	予算	決算	委員会	予算	決算
クラブ奉仕統括委員会	80,000	236,130	ローターアクト委員会	350,000	411,854
出席委員会	70,000	0	ライラ委員会	50,000	10,790
会員増強委員会	60,000	83,435	国際青少年交換委員会	1,000,000	0
R情報・広報委員会	80,000	65,685	国際奉仕統括委員会	80,000	443,510
R女性委員会	50,000	0	R財団委員会	400,000	216,260
職業奉仕委員会	150,000	43,619	財団奨学・学友委員会	360,000	570,372
社会奉仕委員会	120,000	60,256	G S E 委員会	80,000	4,410
新世代統括委員会	80,000	20,580	米山記念奨学委員会	300,000	211,036
インターアクト委員会	450,000	367,167	小計	2,620,000	1,868,232
小計	1,140,000	876,872	合計	3,760,000	2,745,104

《地区資金特別会計 収支決算書》

		前年度繰越	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越
世界社会奉仕資金	予算	*****	864,000	0	*****
	決算	9,790,250	858,420	1,940,197	8,708,473
G S E 資金	予算	*****	1,200,000	0	*****
	決算	5,926,720	1,192,250	0	7,118,970
規程審議会積立金	予算	*****	200,000	0	*****
	決算	0	200,000	0	200,000

世界社会奉仕資金 地区大会で1,803,360円、長崎北RC他6クラブ「フィリピン古着送付プロジェクト」で136,837円を取崩しました。

《ガバナー事務所費・月信費会計 収支決算書》

科目		予算	決算	予算対比
収入の部	G事務所分担金	7,680,000	7,630,400	-49,600
	月信費分担金	4,560,000	4,319,650	-240,350
	R I 補助金	1,500,000	2,077,626	577,626
	地区資金より	0	950,264	950,264
	その他収入	0	16,807	16,807
	収入合計	A	13,740,000	14,994,747

科目		予算	決算	予算対比	
支出の部	公式訪問旅費	400,000	804,962	404,962	
	人件費	2,500,000	2,700,000	200,000	
	月信費	4,560,000	4,559,055	-945	
	通信費	700,000	913,294	213,294	
	消耗品費	1,200,000	1,241,351	41,351	
	室料及び会議費	720,000	1,104,126	384,126	
	旅費交通費	400,000	422,290	22,290	
	G E 事務所費	3,000,000	3,000,840	840	
	直前G事務所費	100,000	100,525	525	
	予備費	160,000	0	-160,000	
	雑費	0	148,304	148,304	
	支出合計	B	13,740,000	14,994,747	1,254,747
	収支差額	A - B	0	0	0

ROTARY SHARES

《国際青少年交換事業会計 収支決算書》

	科 目	予 算	決 算	予 算 対 比
収 入 の 部	青少年交換分担金	4,800,000	4,769,000	-31,000
	地区資金補助	1,000,000	0	-1,000,000
	クラブ負担金	0	400,000	400,000
	来日学生負担金	0	387,500	387,500
	本年度収入合計 A	5,800,000	5,556,500	-243,500
	前年度繰越金	0	1,603,258	1,603,258
	収入合計 B	5,800,000	7,159,758	1,359,758

	科 目	予 算	決 算	予 算 対 比
支 出 の 部	学生滞在費補助	2,500,000	1,201,785	-1,298,215
	学生合同旅行	1,100,000	1,416,128	316,128
	オリエンテーション費	1,100,000	567,457	-532,543
	学生歓送迎費ほか	50,000	51,555	1,555
	委員会・全国委員長会議費	550,000	1,208,463	658,463
	印刷費ほか	200,000	89,460	-110,540
	通信費	200,000	15,520	-184,480
	事務委託費	100,000	737,123	637,123
	青少年交換維持協力金	0	238,325	238,325
	傷害保険料	0	25,087	25,087
	本年度支出合計 C	5,800,000	5,550,903	-249,097
本年度収支差額 A-C	0	5,597	5,597	
次年度繰越金 B-C	0	1,608,855	1,608,855	

以上の通りご報告申し上げます。
2008年8月30日

方 パ ナ ー 野 口 清
地区会計長 嬉 野 勝 利
監 査 税理士法人九州合同税務会計梶島文字事務所
梶 島 武 彦

●米山記念奨学会補助金会計、収支決算書

	収入の部	支出の部	収支差額
奨学生活動費	830,481	973,138	-142,657
選考試験補助費	300,000	193,410	106,590
合 計	1,130,481	1,166,548	-36,067

2008年7月15日

地区米山記念奨学委員長 北 郷 雅 子

●ROTEX勘定、収支決算書

前年度繰越金	収入の部	支出の部	次年度繰越金
1,960,955	100,000	278,955	1,782,000

この会計は、ROTEX（国際青少年交換の派遣・帰国学生）の留学準備や帰国後の交流に資する資金の勘定で、収入金は全て派遣学生の負担金による。

《地区資金から補助金を支出した先の収支決算報告》

①地区大会収支決算報告(確定分)

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	決 算 金 額	備 考	項 目	決 算 金 額	備 考
大会人頭分担金	¥ 14,454,000	¥6,000×2,409名	事務局	¥ 5,328,611	
本会議登録料 会員	¥ 14,090,000	¥10,000×1,409名	総務部会	¥ 5,929,841	
新世代	¥ 505,000	¥5,000×101名	事業部会	¥ 5,218,992	
地区外クラブ	¥ 120,000	¥10,000×12名	会議部会	¥ 10,445,342	内会場設営関係費 ¥ 3,606,720
地区外同期ガバナー	¥ 80,000	¥10,000×8名	接待部会	¥ 9,827,147	
記念懇親会 会員	¥ 3,348,000	¥6,000×558名	奉仕部会	¥ 563,976	
家族	¥ 20,000	¥5,000×4名	ゴルフ部会	¥ 453,187	
RI会長代理晩餐会	¥ 2,256,000	¥16,000×141名			
記念ゴルフ	¥ 445,000	¥5,000×89名			
女性会員の集い	¥ 36,000	¥3,000×12名			
雑収入	¥ 1,150,000	祝儀他	小計	¥ 37,767,096	
世界社会奉仕資金	¥ 1,803,360		余剰金	¥ 540,264	地区資金へ繰り入れ
収入の部合計	¥ 38,307,360		支出の部合計	¥ 38,307,360	

国際ロータリー第2740地区

ガバナー 野 口 清
 大会実行委員長 指 山 弘 養
 大会会計 嬉 野 勝 利

②PETS決算書/地区協議会収支決算書

PETS収支決算書

収 入	登録料	1,110,000
	地区補助金	168,782
	合 計	1,278,782
支 出	会場・懇親会費	1,217,500
	資料	52,760
	雑費	8,522
	合 計	1,278,782

以上の通りご報告申し上げます。

2008年8月30日

ホストクラブ 佐賀ロータリークラブ

地区協議会収支決算書

収 入	登録料	5,016,000
	合 計	5,016,000
支 出	会場・懇親会費	3,527,417
	資料・記録誌作成	1,087,785
	雑費	253,312
	余剰金	147,486
	合 計	5,016,000

以上の通りご報告申し上げます。

2008年5月2日

ホストクラブ 佐賀南ロータリークラブ

ROTARY SHARES

③ R A 代表事務局収支決算報告

収入の部

科 目	予 算	決 算	予算対比	備 考
地区補助金	700,000	700,000	0	
負担金				
代表事務局	1,320,000	1,260,000	-60,000	
地区情報誌	150,000	128,000	-22,000	
名簿	128,000	112,000	-16,000	
地区行事	220,000	220,000	0	
小 計	1,818,000	1,720,000	-98,000	
年次大会広報支援金	120,000	120,000	0	
他地区登録料	0	1,058,000	1,058,000	
雑収入	0	1,328,797	1,328,797	
本年度収入合計 A	2,638,000	4,926,797	2,288,797	
前年度繰越金	205,633	205,633	0	
収入合計 B	2,843,633	5,132,430	2,288,797	

支出の部

科 目	予 算	決 算	予算対比	備 考
負担金				
地区行事	220,000	220,000	0	
小 計	220,000	220,000	0	
登録料				
周年行事	40,000	0	-40,000	
その他	0	0	0	
小 計	40,000	0	-40,000	
他地区交流費				
登録料	349,000	221,500	-127,500	
交通費	559,340	760,367	201,027	
全国 R A 研修会	134,000	124,000	-10,000	
交流費	40,000	12,000	-28,000	
小 計	1,082,340	1,117,867	35,527	
旅費				
交通費	162,600	126,140	-36,460	
駐車場代	0	8,180	8,180	
宿泊費	0	0	0	
小 計	162,600	134,320	-28,280	
事務管理費				
事務用品費	5,000	2,300	-2,700	
通信費	55,000	42,850	-12,150	
印刷・製本費	150,000	264,589	114,589	
記録費	0	0	0	
地区情報誌発行費	150,000	100,530	-49,470	
小 計	360,000	410,269	50,269	
年次大会				
年次大会記念品	23,400	27,452	4,052	
表彰関係	15,000	7,110	-7,890	
ガバナー助成金	700,000	700,000	0	
小 計	738,400	734,562	-3,838	
保険料	7,000	0	-7,000	
慶弔費	10,000	10,000	0	
他地区登録料	0	2,231,000	2,231,000	
雑費	15,000	20,487	5,487	
参加11R A Cへ返金	0	4,455	4,455	
予備費	208,293	0	-208,293	
本年度支出合計 C	2,638,000	4,882,960	2,244,960	
本年度収支差額 A-C	0	43,837	43,837	
次年度繰越金 B-C	205,633	249,470	43,837	

④2007～2008年度インターアクト 年次大会収支決算報告

収入の部

項 目	金 額
登録料	3,005,000
提唱クラブ協力金	1,610,000
ホストRC援助金	150,000
コホストRC援助金	300,000
地区助成金	600,000
コンベンション開催助成金	200,000
お祝	20,000
預金利息	604
収入合計	5,885,604

支出の部

項 目	金 額
講師関係費	445,000
表彰関係費	157,326
会場費	2,849,500
印刷費	988,483
記念品代	110,250
会議費	361,042
通信費	84,311
雑費	648,966
平和祈念事業費	100,000
余剰金	140,726
支出合計	5,885,604

⑤第29回 R Y L A 収支決算報告

収入の部

項 目	金 額	備 考
前期繰越金	91,155	唐津中央RCより
クラブ負担金	1,710,000	57クラブ×30,000円
登録料	606,000	101名(ロータリアン)×6,000円
登録料	304,000	76名(青年)×4,000円
収入合計	2,711,155	

支出の部

項 目	金 額	備 考
会議費	485,561	地区、RACとの準備打合せ等
研修費	318,342	宿泊費、食事代
プログラム	561,180	映画料『風のダドゥ』及び監督講師料 記念品(ボールペン)名札代
通信費	85,430	切手、郵送費用
印刷費	158,820	プログラム・終了証印刷
記録誌代	595,500	写真撮影、記念誌
会場設営	134,400	看板代
交通関係費	173,000	車両借上料他
雑費	24,185	
繰越金	174,737	
支出合計	2,711,155	

国際ロータリー年次大会 ロサンゼルス 2008

Snapshot



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



国際ロータリー第2740地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

2007-2008年度ガバナー 野口 清

■ガバナー事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-2-35 佐賀商工会館B1F

TEL:0952-23-1828 FAX:0952-22-7121 E-mail: ri2740k-noguchi@bz01.plala.or.jp

ホームページ: <http://www.d2740.jp/>